

50年の歩み



一般社団法人 東京キワニスクラブ



目次

あいさつと祝辞	2
藤原武平太 東京キワニスクラブ会長	
ダンター・ガッサー国際キワニス会長へのインタビュー	
小川恵三 国際キワニス日本地区ガバナー	
小池和子 キワニス日本財団理事長	
写真で見る東京キワニスクラブ50年の歩み	6
50年を振り返って	31
歴代会長の回想	32
歴代事務局長による座談会	46
12の委員会の活動	63
その他の活動	89
50周年記念事業	98
50周年記念式典・祝賀会	
「慰霊の泉」改修工事	
青少年教育賞受賞団体交流会	
キワニス・ユースフォーラムの活動の充実	
会員増強キャンペーン	
国際キワニス・ASPAC 合同年次総会 東京・千葉大会	
会員に対するアンケート	109
資料	138
歴代会長	
歴代役員	
会員名簿	
皆勤タブ保持者一覧	
会員数の推移	
国際年次総会・ASPAC 年次総会	
国際キワニス (KI) に関する豆知識	
こよみ	151



あいさつと祝辞

■ 東京キワニスクラブ 50周年を迎えて

一般社団法人 東京キワニスクラブ 会長 藤原 武平太



東京キワニスクラブは、本年2014年、平成26年、設立50周年を迎えました。1964年1月24日、当時の実業界、メディア、中央官庁のリーダーが中心となって、誕生しました。以来、半世紀にわたって、社会貢献と会員相互の啓蒙、親睦を目的として、順調に歩みを続けてまいりました。本年4月11日、約200人が参加して、50周年記念式典と祝賀会を盛大に挙行了しました。靖國神社の慰霊の泉の大改修も無事終わりました。

当クラブの特筆すべき活動として、次の3つを挙げることができると思います。

第1は、キワニスドールの製作と寄贈です。2001年以来、東京キワニスクラブは、約2万個のキワニスドールを寄贈してきました。当クラブは、大変活発にこの事業に取り組んできています。クラブの会員がドールを作るのみならず、30余に上る学校と企業の有志の方々との間で、ドールづくりのネットワークを構築し、拡大途上です。各地の新聞にも広く報道され、キワニスドールは、日本の教育、医療、企業のCSR活動の中で、市民権を獲得しつつあります。

第2は、日本地区の皆様と一緒に、キワニスの国際的な活動に協力・貢献することです。エリミネイト・プロジェクトでは、本年4月2日に東京キワニスクラブは、10万ドル以上の寄付実績のある100Kクラブを達成しました。また、個人として2.5万ドル以上の寄付を誓約されたMAJOR DONORが3人誕生しております。

7月17日から19日まで第99回国際キワニス・第39回ASPAC合同年次総会が、世界50地区から約3,000人が参加して、千葉市幕張メッセで開催されました。開会式には、秋篠宮殿下、同妃殿下をお迎えし、キワニスの一層の奉仕活動を期待するとのお言葉をいただきました。当クラブをはじめとする日本のクラブが提供した日本らしい数々のプログラムと「おもてなしの心」が海外からの参加者に感銘を与え、過去に類を見ない素晴らしい総会であった、と評価されました。

第3は、青少年・学生のボランティア団体の活動に対する支援の充実です。わがクラブは、クラブ会員と彼等との交流の場として、「キワニス・ユース・フォーラム」を

設立しました。これをボランティア団体相互間の経験交流の場に拡大しつつあります。SNS も立ち上げました。国際総会では、ユース・フォーラムとしての独自の展示を行いました。

50周年記念事業として、これらに加え、50周年史の編集、会員増強に鋭意取り組んでいます。昨年12月、東京キワニスクラブ

福井県人サテライトが発足しました。5月には、同パソナサテライトが発足しました。

東京キワニスクラブにとって、本年2014年が、次の50年を見据え、さらなる発展の基盤を築く年となるよう、会員諸兄とともに努力して参ります。

■ Gunter・Gasser 国際キワニス会長への インタビュー



平成26年4月11日の50周年記念祝賀会に参加された、Gunter Gasser 国際キワニス会長から50周年を迎えた東京キワニスクラブへのお言葉をいただきました。(インタビューアーは、堀井紀壬子元会長)

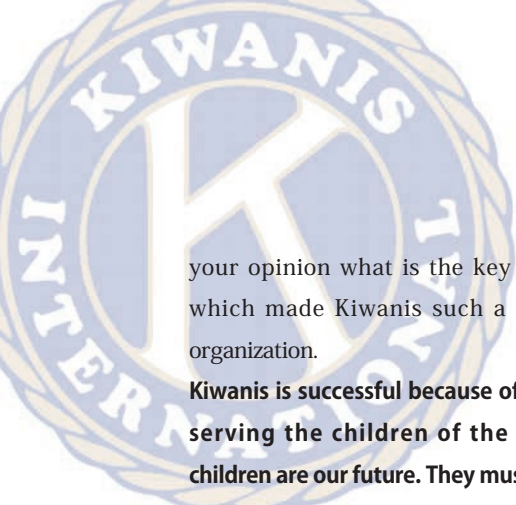
First of all, please give your congratulatory remarks to the members of Tokyo Kiwanis Club.

Congratulations to the Kiwanis Club of Tokyo for 50 years of service to the community and the world. Your charity has changed the lives of countless children and adults.

Looking back to the past 50 years, what is the most remarkable achievement Tokyo club has done.

The Kiwanis Club of Tokyo continues to accomplish many great charity projects that help a large number of people, especially children. However, the club's most remarkable achievement is bringing the Kiwanis movement to the Asia-Pacific region of the world. That decision paved the way for thousands of Kiwanians in hundreds of Asia-Pacific communities to add their hearts and hands to improving the world, one child and one community at a time.

Next year, 2015, Kiwanis International will also celebrate 100th anniversary. It is the great mile stone for Kiwanis International to prove that Kiwanis attracted so many people all over the world for such a long time. In



your opinion what is the key for success which made Kiwanis such a sustainable organization.

Kiwanis is successful because of its mission, serving the children of the world. The children are our future. They must be healthy in mind, body and spirit so they can carry on the mission of improving the quality of life for all.

Also, please share your vision for next 100 years to come.

In my vision, I see a world where there are more Kiwanis clubs on every continent. I see a world where all children have the opportunity to live safe, successful and fulfilling lives. I see a world where every community is made better every day because

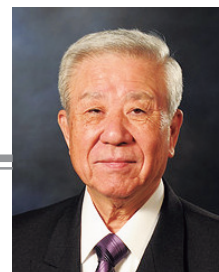
of Kiwanians.

In your future vision, how do you position Japan District including Tokyo club. In other words, what is your expectation to Japan District and Tokyo club in the future.

I believe the Kiwanis Club of Tokyo and the entire Japan District will continue to be leaders in the Kiwanis movement. Whether it is supporting the next world service project or helping develop strong members of the Kiwanis International Board of Trustees, I know Japanese Kiwanians will stay true to the mission of serving the children of the world.

■ 東京キワニスクラブ 50周年に寄せて

国際キワニス 日本地区ガバナー 小川 恵三



東京キワニスクラブが50周年を迎えられました。誠におめでとうございます。国際キワニス日本地区の中核、東京キワニスクラブの誕生から今日までの歩みは、日本地区の50周年と同意義に私には感じられます。中国の聖人孔子は40歳で不惑の境地に至り、「50にして天命を知った」と伝えられます。

東京キワニスクラブの50周年を言い表すにふさわしい言葉を私なりに考えてみますと、陳腐ではありますが、孔子さまの「天命を知る～知命」という教えに思い至りました。

キワニス本部に掲げられた六つのキワニスの目的は、まさにキワニアンに与えられた「天命的な指針」であります。そして現在キワニ

ス日本地区は「国際大会の遂行」、「エリミネイト活動」、「CFG 活動」の重点的項目に加え、日本地区の国際的な発言力強化にも取り組んでいます。これらは紛れもなく日本キワニスにおける「知命」と呼ぶにふさわしい活動であり、この中核部分は豊かな人材と規模を持つ東京クラブが担ってきました。この節目の時にあたり、東京キワニスクラブの半世紀にわたる多大なご尽力に対し、改めて深く敬意を表する次第です。

ただ「横綱だけでは相撲は取れぬ」と相撲

鼯の私の古い友人は言います。「強者には得てして弱者のつらさが理解できぬ時がある」とも言われます。ガバナーとして各地区のクラブを訪問して感じた、“中央”が留意すべき点ではないでしょうか。どうかお気に留めていただければ幸甚です。キワニス日本地区は今、100年紀への折り返し地点に立っています。次の半世紀もわれわれ 30 クラブのリーダー格として、東京キワニスクラブの皆様が輝かしい王道を歩まれることをお願い申し上げます。

■ 東京キワニスクラブ設立 50周年へのお祝い

公益財団法人 キワニス日本財団 理事長 小池 和子

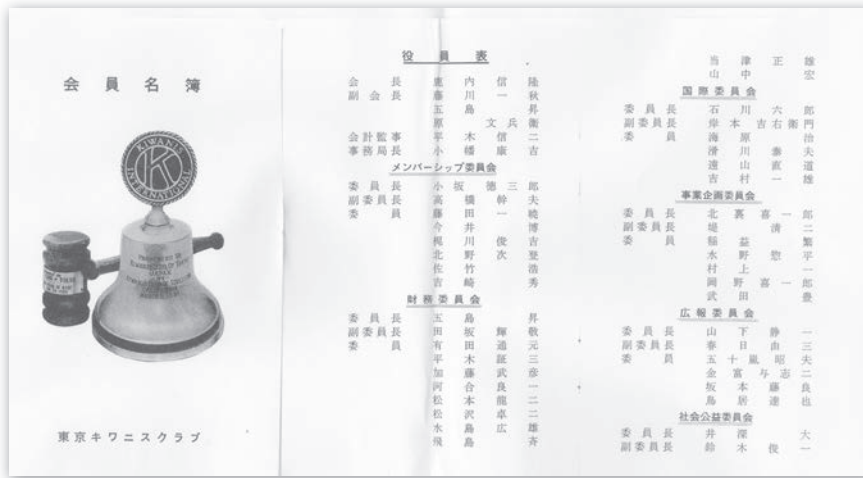


このたびは東京キワニスクラブ設立 50周年心よりお祝い申し上げます。

キワニス日本財団は平成 22年 11月に、東京クラブの佐藤満秋氏を中心に、川崎氏、木村氏、小島氏、中田氏、安原氏、吉江氏の東京クラブの会員とともに当時の日本地区のガバナーでいらっしゃいました大堀太千男氏が加わって設立されました。また、キワニス財団の基本財産として東京クラブより 500万円もの可処分のご寄附もいただいております。

このようにキワニス財団は東京クラブの多大なご協力の下、今日を迎えることができました。財団の目的である社会奉仕の精神に

のっとり社会福祉事業や社会福祉活動に対する支援、国際社会に対する支援、青少年に対するサ-ビス、日本文化の推進、世界、国内におこる各種災害に対する支援などに活動を深めておりますことは大変ありがたいことだと感謝申し上げます。今後財団を充実させ、一人でも多くの子どもたちの幸福とより良い社会の実現のために努力したいと思います。50年という素晴らしい年を迎えられた東京クラブのますますのご発展を祈り、日本におけるキワニスクラブのリーダーとしてご活躍いただけますよう、心よりお願い申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



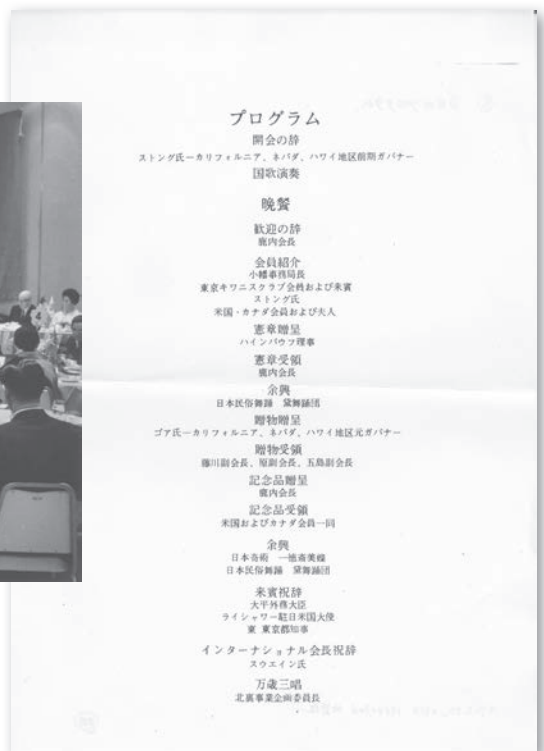
設立時の会員名簿(抜粋)

チャーターパーティー

1964.3.6



東京ヒルトンホテルでの祝賀パーティー



当日のプログラム



挨拶する鹿内会長



ライシャワー駐日米国大使を迎えて



来賓の東都知事を囲んで

Kiwanis Int'l Charters Tokyo Club: 1st In Orient

The Kiwanis Club of Tokyo, the first in Japan and the Orient, is the newest member of Kiwanis International which has 5,200 clubs throughout the world with a membership of 260,000 Kiwanians.

Kiwanis International, originally established as a service club in Detroit, Michigan, in 1915, adopted at its 46th national convention the resolution to branch out into the free nations of the world, so that Kiwanis International can contribute its services to all the people in the free world.

On April 17, 1962, a program of international extension was begun with the chartering of the Kiwanis Club of Tijuana, Mexico, the first club outside the parent countries of the United States and Canada.

Since then, Kiwanis Clubs have been established in rapid succession in Mexico City, Mexicali, Ensenada, Monterrey and Guadalajara, Mexico; Nassau in the Bahamas; Vienna, Austria; Brussels, Belgium; Basel, Zurich, Berne, and Lucerne, Switzerland; Frankfurt, Germany; Oslo, Norway; and Reykjavik, Iceland.

The chartering of the Tokyo club has extended Kiwanis International to 11 countries of the world.

Completing the necessary procedures, the Kiwanis Club

of Tokyo was formally organized on January 24 of this year and was officially chartered on March 5 with the personal attendance of President Charles A. Swain and 30 official representatives.

The head office in Chicago and the California-Nevada-Hawaii District, and Pacific North Western District of Kiwanis International were joint sponsors of the Tokyo club, with the Kiwanis Club of Riverside California, as the major sponsor.

Presentation of the charter to the Kiwanis Club of Tokyo was made by Harold M. Heimbaugh, trustee, Kiwanis International, and accepted by Nobutaka Shikana, president of the Tokyo club, whose other officers are:

Vice presidents — Kazuki Fujikawa, Bunei Hara, and Noboru Goto.

Treasurer — Shinji Hiraki, Secretary — Kokiichi Obata.

Directors — Masaru Ikuo Kiehlomon Kishimoto, Shunichi Suzuki, Seiji Tsutsumi, Rikuro Ishikawa, Kiehiro Kitaura, Mikio Takahashi, Seiji Yamashita, Yoshikazu Kasugi, Tokusaburo Kosaka, and Teruyoshi Tasaka.

There are 96 charter members of the Tokyo club.

Tokyo Kiwanis Charter Ceremony



Presenting the charter is Harold M. Heimbaugh, with Nobutaka Shikana standing beside him. Seated at the main table are President Charles A. Swain of Kiwanis International and Mrs. Swain.

Attended by the president of Kiwanis International and Kiwanians from the United States and Canada, with their wives, the charter ceremony of the Kiwanis Club of Tokyo, the first in Japan and the Orient, was held at the Pearl Ballroom of the Hotel Hilton Friday night, March 6.

Guest speeches on the auspicious occasion were given by Foreign Minister Masayoshi Ohira, American Ambassador Edwin O. Reischauer, and Governor Ryotaro Azuma of Tokyo Metropolis. The main address was delivered by Charles A. Swain, president, Kiwanis

International. With Audrey L. Stone, immediate past governor, California-Nevada-Hawaii District of Kiwanis International, as the toastmaster, the presentation of the charter was made by Harold M. Heimbaugh, trustee, Kiwanis International, and accepted by Nobutaka Shikana, president of the Kiwanis Club of Tokyo.

In an exchange of gifts, Thomas E. Gore, past governor, California-Nevada-Hawaii District, and Shikana made the presentations.

The newly formed Kiwanis Club of Tokyo has 96 members.

チャーターセレモニーを伝える
英文毎日新聞

慰霊の泉



慰霊の泉



除幕献納式 1967.4.18



献納記念特別例会 1979.4.13



献納記念特別例会 2001.4.6



慰霊の泉参拝記念 2011.03.29



慰霊の泉清掃会 2012.03.27

50周年記念事業「慰霊の泉」改修工事



工事開始 2014.4.25



新たに英文を加えた銘板



竣工祭 2014.6.10



キワニスドール



2005.11.20



荏原看護専門学校 2003.10.12



田園調布学園 2013.1.19



キワニスドールシンポジウム 2014.5.24



ドールシンポジウム(グループディスカッション)
2014.5.24



東日本大震災の被災地 福島をドールが訪問
2011.6.2





UBS 証券ドールを作る会 2014.4.15



JCB ドールを作る会 2012.6.4



田園調布学園ドールを作る会 2012.6.2



岡村製作所ドールを作る会 2014.6.25



挨拶する藤原会長



グンター・ガッサー国際キワニス会長とバナーを交換



鏡開き



ゲストの中丸三千繪さん

国際キワニス・ASPAC 合同年次総会 東京・千葉大会 2014.7.17～19



開会式



開会の鐘を鳴らすグンター・ガッサー 国際キワニス会長と
小田 ASPAC 議長 2014.7.17



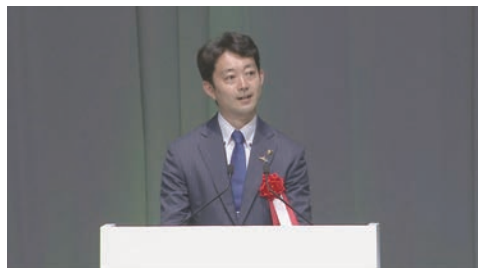
祝辞を述べられる秋篠宮殿下



ケネディー駐日米国大使のビデオメッセージ



祝辞を述べられる森田千葉県知事



祝辞を述べられる熊谷千葉市長



幕張総合高校合唱部 2014.7.17



ジャパンナイトで歌う
海上自衛隊の歌姫
2014.7.17



華道のデモンストレーション
2014.7.18



国際代議員総会代議員席
2014.7.18



100K クラブの表彰 2014.7.19

キワニス文化賞



第1回 キワニス文化賞 1966.11.12



社会公益賞



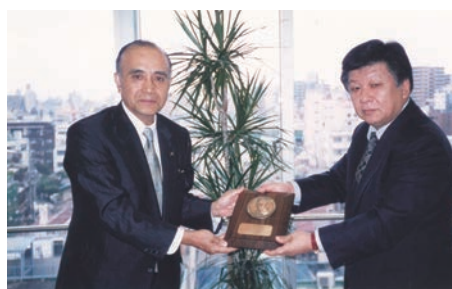
第7回 1972.7.14



第26回 1992.7.24



第38回 2004.7.16



国際キワニス基金英雄賞を授与する
仁平社会公益委員長 2002.5.16

青少年教育賞



第27回 2011.9.17



第24回 2008.7.4



第25回 2009.6.19



第29回 2013.9.21



表彰式後の交流会 2013.9.21



青少年教育賞受賞団体交流会(50周年記念事業) 2014.8.30

子ども虐待防止



子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー
2011.10.30



世界にひろがるキワニスの輪

国際キワニス



美濃部都知事を表敬訪問 1967.11.17



慰霊の泉参拝 1967.11.16

ジェームス・モラー国際キワニス会長夫妻公式訪問



国際キワニス 50周年記念大会(ニューヨーク市) 1965.7



次期ガバナー研修(インディアナポリス)
2013.11.6～9

ASPAC



ASPAC 台中大会 市中をパレードする参加者
1979.7.23 ~ 26



ASPAC 東京大会 1981.4.5 ~ 8



ASPAC 東京大会 エンスタット国際キワニス会長



ASPAC 東京大会 会場風景



ASPAC ダバオ大会
KIF の活動について演説する佐藤 KIF 理事
2000.3.23 ~ 26



ASPAC マラッカ大会
東日本大震災義援金を受取る川崎ガバナー
2011.3.11

ヨード欠乏症撲滅キャンペーン (IDD)



IDD をテーマに小島広報委員長の
インタビューを受ける安藤ガバナー
1994.11.14



IDD について語る高橋日本地区会長 1998.11



日本地区大会で報告する大堀 IDD 対策委員長
1999.9.10



IDD 協力に感謝のため来日、ファミリーデーに参加
したロジャー・ムーア (国際キワニス名誉大使兼
ユニセフ親善大使)

2001.4.17

母子破傷風撲滅（エリミネイト）



準備会議 2010.12.10



ASPAC 広島大会で市民にアピール 2013.3.18



新年例会で募金キャンペーン 2014.1.10



例会風景



例会風景 2014.1.31
(第2167回)



鹿内初代会長追悼例会 1990.12.14
(第1291回)



岡本太郎氏 1977.11.11
(第665回)



堺屋太一氏 1978.1.20
(第673回)



佐藤栄作氏 1964.6.12
(第17回)



司馬遼太郎氏 1966.6.10 (明治百年記念講演 第5回)
(第117回)



春日野清隆氏 1979.3.30
(第730回)



中山恒明会員 1980.9.26
(第803回)



渡辺美智雄氏 1982.1.22
(第865回)



ペトロ・ホリー氏(駐日チェコ共和国大使館) 2009.7.17
(第2046回)

ファミリーデー



一周年記念家族パーティー
1965.3.26



30周年記念ファミリーデー 1994.4.4



第34回 春季レディスデー 1982.5.14



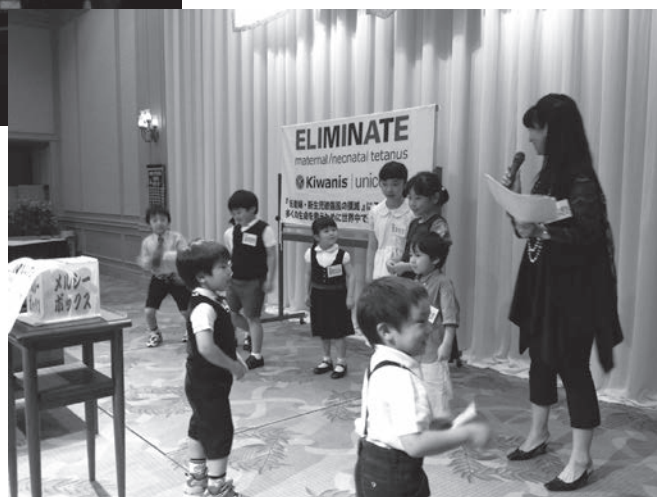
第10回 レディスデー 1969.11.27



第7回 レディスデー
1968.3.27



第62回 ファミリーデー 2011.5.27



第64回 ファミリーデー 2013.5.31



第64回 ファミリーデー 2013.5.31

クラブライフを楽しむ

新年互礼会



2012.1.6

七福神めぐり



2014.1.7

新入会員オリエンテーション



2012.2.27



2013.3.11

国際懇話会



2014.6.3

京都クラブ祇園祭例会



2013.7.17

サマーパーティー



2010.7.27



フラの女神がドール作りに参加
2010.7.27

大相撲観戦



2014.9.28

旅行



尾瀬 2008.8.27 ~ 28

ゴルフ



軽井沢でのゴルフ会 1966.5.7 ~ 8



秋季ゴルフ大会 2012.10.8

見学会



イージス艦 2006.4.6



日光東照宮 2006.5.19

なぎさ会



2013.2.14

小唄同好会



2001.12.7

囲碁愛好会



藤沢会員による大盤解説



対戦風景

年末囲碁大会 2010.12.18

50年を振り返って

歴代会長の回想

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ■佐藤満秋 元会長 | ■小島章伸 元会長 | ■木村太郎 元会長 |
| ■大堀太千男 元会長 | ■中田一男 元会長 | ■菅野 明 元会長 |
| ■吉江 誠 元会長 | ■川崎 弘 元会長 | ■北里光司郎 元会長 |
| ■伊藤康成 元会長 | ■堀井紀壬子 元会長 | ■緒方謙二郎 前会長 |

歴代事務局長による座談会

- | | | |
|-------------|--------------|-----------------|
| ■山下幸雄 元事務局長 | ■菊岡平八郎 元事務局長 | ■廣瀬駒雄 元事務局長 |
| ■重成 侃 元事務局長 | ■佐藤隆國 元事務局長 | ■小野洋一郎 元事務局長 |
| ■中川 惇 元事務局長 | ■吉田浩二 元事務局長 | ■藤井和雄 元事務局長 |
| ■古屋俊彦 前事務局長 | ■広畑史朗 事務局長 | ■増田好平 広報委員長(司会) |

12の委員会の活動の紹介

- | | |
|--------------|-----------|
| ■財務委員会 | 鍬川陽介 委員長 |
| ■メンバーシップ委員会 | 吉國眞一 委員長 |
| ■事業企画委員会 | 狩野省市 委員長 |
| ■国際委員会 | 林 昭彦 委員長 |
| ■社会公益委員会 | 中門 弘 委員長 |
| ■広報委員会 | 増田好平 委員長 |
| ■文化委員会 | 西村清邦 前委員長 |
| ■レクリエーション委員会 | 石井亜佳理 委員長 |
| ■青少年教育委員会 | 磯田壯一郎 委員長 |
| ■ボランティア活動委員会 | 高坂和夫 前委員長 |
| ■クラブ新設委員会 | 尾崎聖治 委員長 |
| ■Kファミリー委員会 | 中村禎良 前委員長 |

その他の活動

- | | |
|----------------|----------|
| ■囲碁愛好会 | 佐藤隆國 会員 |
| ■なぎさ会 | 荒木なぎさ 会員 |
| ■ワインを楽しむ会 | 石井亜佳理 会員 |
| ■火曜会 | 広畑史朗 会員 |
| ■エリミネイト・プロジェクト | 北里光司郎 会員 |
| ■さくら会 | 木村博子 様 |
| ■一般社団法人への移行 | 伊藤康成 会員 |
| ■IDD | 大堀太千男 会員 |

歴代会長の回想



佐藤 満秋

平成 11年 10月～平成 12年 9月

現存歴代会長の中では、横川さんに次いで古い会長として何か記事をとの増田(広報)委員長の依頼があったので、当時を思い出して書いてみることにする。

思い出にはいろいろあったが、何といても会長になる時の経緯であろう。当時は、関口さんが会長で、関口さんの任期が終わりかけた時に、関口さんから4人の副会長に相談があった。「自分としては、次は役人出の人が良いと思うので、安原さんか佐藤さん」だとの提案があった。それに対して安原さんは、頑強に拒絶された。そこで佐藤さんはどうかとの話があった。私としては、キワニスには赤澤さんが入れというので入った経緯からして赤澤さんの意向を聞いてみるということで、赤澤さんに相談したところ赤澤さんは前向きではなかった。数年後にその時の理由を聞いたが、返事はなかった。

そこで、私としては、会長、副会長会議に「赤澤さんが積極的にサポートしないのであれば、私も引き受けない」との返事をした。

そこで、関口さんは横川さんにどうかと依頼した。横川さんは「自分は会社の会長をしていることでもあり、会社に戻って諮りたい」ということで、数日後に引き受けるという返事があった。

さて、その後は永田さんが次いで会長になったが、その間に私がKIFの理事になり、そこで判ったことは、KIF及びKIの理事は

地区のガバナー経験者になるのが前提であるということであった。しかし、ガバナーになるためには、東京クラブの会長になることが必須であるため、永田会長にお願いして次の会長に就任した。

私の任期1年が経って後任の会長を誰にするかの問題が生じた。私としては長い間大蔵省出身の会長がいなかったこともあり、キワニス会員でもあった長岡さん(当時はJTの顧問)に相談に行った。

長岡さんは、即座に「安原君」だとのこと選択があり、私としては、過去の経緯もあるが、安原さんを説得するしかないことと決心した。しかし、安原さんに何度お願いしたろうか、何度も断られたが、私も後に引けないので粘り強くお願いした。

最後に根負けされたのか、「では条件を出すので、それを約束してくれ」とのことで、自分の後任を佐藤さんが説得して決めてくれということだった。

私は2つ返事でわかりましたと言って、安原さんの後任には小島さんとほぼ腹の中で考えていたので、小島さんに話をしたところ、直ぐにOKの返事もらった。

さて、私の会長のときの新しい副会長をどうするというについては、安原さん、小島さん以外に当時のキワニアンの中では大堀さんが将来の会長候補でどうかと思っていたので、大堀さんにお話をしたところ、顔を赤らめながらもOKの返事をしてくれた。だが、キワニスの役員については、種々の議論もあったが、私は、人物本位で決めるのがスジだと思っていたので、この案で実行した。



小島 章伸

平成 13年 10月～平成 14年 9月

会長時代の思い出 ―過渡期の時代―

東京キワニスクラブ創立 50周年、まことにおめでとございます。入会して 30年余、半世紀という大きな節目に在籍する喜びを噛みしめながら、変化し、進化してきたクラブの来し方を顧み、感慨一入のものがあります。

私が会長を仰せつかったのは、2001－2002年度ですが、当時はバブル崩壊後、「失われた 10年」といわれていたときでした。戦後体制に終わりを告げて日本の社会の姿も大きく変わっていました。キワニスの活動も否応なく意識革新を迫られる過渡期の時代、いわば、曲がり角に立っていたような気がします。

いうまでもなく、キワニスは「世界の子ども達のために」という志を持っていろいろな分野の方々が参加している社会奉仕団体です。世の中の変化とともに NPO によるボランティア活動の重要性が強く叫ばれるようになり、キワニスの奉仕活動にもそうした面からの関心が高まってきました。会長に就任してまず考えたことは、「そのためにこそキワニアン意識を変え心一つにすること」でした。例会をはじめあらゆる機会をとらえて、「元気に、明るく、仲良く、楽しく」と訴え、親睦活動の中で「楽しいクラブライフ」の実現に努めました。キワニスの集まりの縁と友情を大切に社会貢献活動の基盤を確りと固めたいとの思いからです。

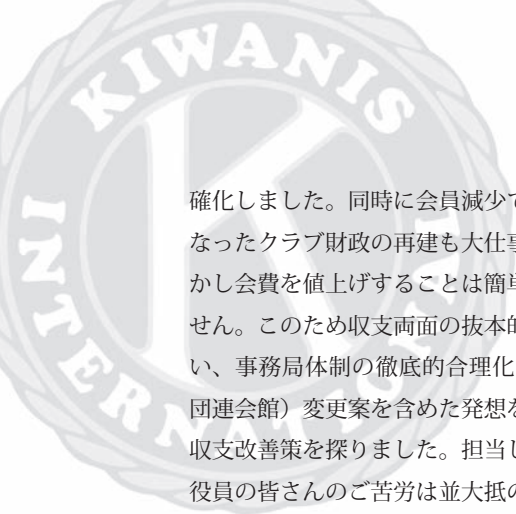
会長時代の一番の思い出はキワニスドールづくりを始めたことです。東京キワニスクラブはアジア太平洋地域で最初のクラブですが、創立時のいきさつから官民各界有力者が集まる沙龙的な雰囲気でした。もちろんヨード欠乏症撲滅のための寄付活動など高く評価されましたが、いわゆる汗をかく奉仕活動の面では「靖国神社慰霊の泉」清掃以外あまり行われませんでした。

そんなとき、オーストラリアで始まったキワニスドールの製作を東京でもという声があったのです。まず会員一人当たり五個を製作目標とする一方、受け入れ先病院探しなど苦労も多かったのですが、家族も巻き込んでの楽しい共同作業としてスタートしました。

私事にわたり恐縮ですが、私の孫(娘)が難病に苦しんだことがありました。そのとき入院中の幼い彼女をいつも元気づけていたのは「アンパンマン」でした。夫婦でそのことを思い出しながら「病氣と戦うこども達の癒しの『友達』になってほしい」との願いを込めて夜なべ仕事に励んだものです。

このキワニスドールは日本キワニスとして全国展開がはかられ、いまは大学、高校や病院、企業の社会貢献活動とも結びつき、組織的なドールづくりに発展してきました。メディアに取り上げられる機会もふえ、広く世の話題になっています。私たちの社会奉仕活動の核ともなり、嬉しい限りです。

変革はクラブ運営の面にも及びました。総務会(会長経験者で構成)を廃止し、会長の諮問機関としての「会長懇談会」に切り換える一方、次期会長候補を指名するなど現職会長のリーダーシップと執行部の責任体制を明



確化しました。同時に会員減少で赤字続きとなったクラブ財政の再建も大仕事でした。しかし会費を値上げすることは簡単ではありません。このため収支両面の抜本的見直しを行い、事務局体制の徹底的合理化や例会場(経団連会館)変更案を含めた発想を新たにした収支改善策を探りました。担当して下さった役員の方々のご苦勞は大抵のものではなかったと思います。

もう一つ忘れられない思い出はガバナーの任にあった佐藤満秋会員のアジア太平洋地域 KI 理事当選(2002年 3月)です。日本のキワニスクラブから初めてのという画期的快

挙でした。有力対抗馬との一騎打ちで、決して容易な選挙ではなかったのですが、佐藤さんの力と情熱と周到な準備によって圧勝しました。私もタヒチの ASPAC 総会に出席して一票を投じましたが、勝利の感動を日本のキワニアンとして分かち合えたことは幸せでした。そして、今年は北里光司郎会員が 3 人目の KI 理事に就任されました、素晴らしいことです。世界の中の日本、今後とも国際キワニスにおける日本の存在感が大きくなっていくことを期待してやみません。東京キワニスクラブが感謝と感動を共有し合う楽しいクラブであり続けることを心から願っています。



木村 太郎

平成 14 年 10 月～平成 15 年 9 月

私が平成 14 年に会長を仰せつかった時期は、東京キワニスクラブにとって一つの転換期であったように思います。と言うのも、ロータリークラブ、ライオンズクラブなど他の同類の社会奉仕クラブに遅れること 40 年余り、昭和 39 年にキワニスとして漸く日本への進出を果たして誕生した東京キワニスクラブはその独自性を誇示する意図もあって錚々たるメンバーによる一級の奉仕活動を標榜して、それなりの実績を積み重ねてきたのですが、所謂バブル崩壊後の社会経済情勢の変化や会員の高齢化などの事情もあって、ひと頃 300 名を超えていた在籍会員が、その後、減少の一途を辿って 200 名を割込むまでに至り、例会出席者数も 40 名に達しないことも間々あるという状態で、つれてクラブ財政

も赤字が常態化しておりましたから、何とかこの局面を打開してクラブの活性化を図ることが会長を仰せつかった私に課せられた喫緊の課題でありました。

そこで、次期会長の大堀太千男さんを長とする「クラブ活性化プロジェクトチーム」を立ち上げ、手始めに全会員に対するアンケートを実施し、そこに示された会員の意向を踏まえ、

① キワニスの奉仕の精神に共感する入会希望者には会員の推薦を条件にメンバーシップ委員会の議を経て広く門戸を開くとともに、入会金を 10 万円から 3 万円に引下げる。

② 例会日を毎週金曜日から第 1、第 3、第 5 金曜日の隔週開催に改める。

③ 肥大化した事務局体制の刷新により経費の節減を図る等

の対策を実施しました。このうち③の事務局改革は当時の事務局長であった佐藤隆國さんが事務局に常駐し、実態を掌握して取り組まれた功績は特筆に値すると思います。

こうした改革とその後のクラブ運営を担われた役員、諸会員の皆さん方のご努力でこの頃の例会では、しばしば会場に溢れんばかりの出席がみられるようになり、クラブ財政の健全化も達成されたことはまことにご同慶の至りです。

また、クラブの奉仕活動と言う点でも、従来から国際キワニスのヨード欠乏症撲滅運動に協賛した募金活動などでは顕著な実績を上げてきましたが、奉仕クラブとしての実践活動として、キワニスドールの作製提供とか、児童虐待防止活動への協力などの諸活動が展開されるようになったのもこの頃からのことですし、子どもに対する奉仕に特化するうえで優れて女性の活躍に期待するところが大きいという事もあって女性会員の増加と女性か

ら会長が出るなど役割の増大が進んだことも大きな前進と評価されるべきでしょう。

更に、会員の奥さん方の集まりとして「さくら会」が生まれキワニスドールの作製などの活動への協力が行われたことも注目される動きでしたが、後継者が続かず途絶えようとしているのは残念なことと言わなくてはなりません。

クラブ会長に続いて日本地区ガバナーをお引受した次年度には名古屋でASPAC大会が開催され大成功を収めたほか、東京クラブの40周年記念行事が行われ、静岡クラブの誕生をみるなど多くの出来事がありましたが、これらも万事会員の皆様方のご協力のお蔭と感謝のほかありません。



大堀 太千男

平成 15年 10月～平成 16年 9月

10年ひと昔

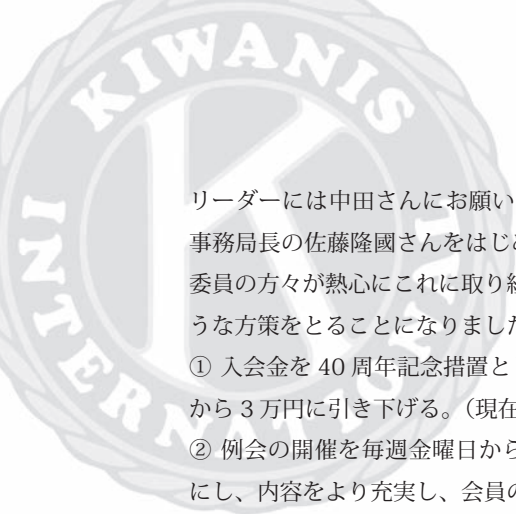
設立 50 周年誠におめでとうございます。皆様とともに心からお慶び申し上げます。

私は、設立 40 周年という節目の年に会長を務めさせていただき大変光栄に思っております。その一年を振り返ってみると常に頭の中にあったのは、記念行事をいかに成功させるか、また懸案であったクラブの活性化をいかに進めるかなどまさに課題の多い緊張の一年でした。

平成 16 年 3 月に開催された ASPAC 名古屋大会に参加されたロバート・ムーア国際会長が 40 周年記念大会にも出席されるということでその処遇を含めて記念行事の内容の検

討に週 2～3 回会議を行なったこともありましたが、皆さん時間を都合して熱心に討議していただきました。記念行事の一つとして慰霊の泉の改修が終わり、見違えるように新しくなり、清楚なたたずまいを見たときの感動は忘れられません。40 周年記念誌として作成した「この 10 年の歩み」は財政上の理由もあり、コンパクトなものですが、実行委員の方々のご尽力により立派な記録ができたと思っています。

次に、「クラブの活性化」の問題ですが、これは当時東京クラブは、次のような課題を抱えていたのです。それは、会員数の減少が著しく、クラブの財政状況がまさに危機的状況にあり、クラブの活力が弱まってきていたということです。前任の木村さんが会長のときに「クラブ活性化プロジェクトチーム」を立ち上げられ、私とそのチームリーダーに任命されました。私が会長になりましてからは



リーダーには中田さんをお願いしましたが、事務局長の佐藤隆國さんをはじめ 10 数人の委員の方々が熱心にこれに取り組み、次のような方策をとることになりました。

- ① 入会金を 40 周年記念措置として 10 万円から 3 万円に引き下げる。(現在も継続)
- ② 例会の開催を毎週金曜日から奇数日金曜にし、内容をより充実し、会員の負担軽減と出席率の向上を図る。
- ③ 新入会員が退会予備軍にならぬように、オリエンテーションを行う。例会のときの座席配置を工夫して新入会員に声をかける。
- ④ 事務局の改革。(コンピューターの導入による事務のシステム化・合理化など)
- ⑤ 財務処理を見直して冗費を無くす。

これらの措置は木村会長のときから一部実行され、私が引き継ぎましたが、それらを定着させ、より進展させることが会長である私の大きな課題だったのでした。

東京クラブのこの 10 年の歩みは素晴らしいものがあると思います。

- ① 会員数、特に女性会員とアクティブな会員の増加が著しい。
- ② 10 年ほど前には 30 数名にまで減少した例会出席者が最近では 70 人を下らない。
- ③ ドールの作成などを通じ多くの若者のボランティア団体との連携が出来てきた。
- ④ 単に寄付をするだけでなく汗をかく会員の増加。

など全体的に活気を感じ、嬉しく思います。

会長当時行った活性化のための努力が実をむすびつつあることを本当に嬉しく思い、あらためて当時ご協力をいただいた会員の皆様に御礼申し上げます。

まだまだ課題は多いと思います。知名度のアップもその一つでしょう。これからの 10 年更なる発展を願ってやみません。



中田 一男

平成 16 年 10 月～平成 17 年 9 月

キワニスクラブに感謝がいっぱい

東京キワニスクラブが 50 周年の記念すべき年を迎えられたことに、改めて、お祝い申し上げますとともに、キワニスの皆様方に、私の感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

私がキワニスクラブとご縁ができたきっかけは、昭和 47 年に、大蔵省(現 財務省)中国財務局長に赴任したことでした。

当時、広島では、現役の公務員を会員とし

て受け入れているキワニスクラブには、中央官庁の出先機関の長が、引き継ぎ事項の一つとして、入会するならわしになっていました。つまり、高検の検事長、地検の検事正、財務局長、国税局長、通産局長、郵政局長等、皆様が会員でした。

中国電力(株)や広島ガス(株)などの地元企業でも、広島キワニスクラブが 10 年程前に発足した当時、専務や常務として、キワニスに入会されていた方々が、その後、会長や社長に昇進しておられ、官民のトップの集うクラブとして、注目を集めていたものです。

東京に帰任して、現役時代は、キワニスクラブとのご縁は途切れていましたが、退官を機に、東京キワニスクラブに入会し、再び、

キワニス活動に参加することになりました。勤務先が公庫ビルにあり、経団連会館のお隣でしたので、例会には、殆ど出席させていただきました。

クラブでは、文化委員長、広報委員長を経験した後、副会長に推され、前任の副会長さん方が会長を務められた跡を継いで、平成16年10月に会長に就任しました。

10年前の頃は、会員の減少傾向に歯止めが掛からず、財政的にもピンチに見舞われ、クラブの存続すら危ぶまれる状況の中で、創立40周年の記念事業の一環として、全会員が一丸となって、会員増強運動に取り組み、平成16年には、年間50名の新入会員の獲得に成功しました。一方では、退会者も急増して、会員の純増は年間で10人程度に止まりました。しかし、総数200名余の会員の約四分の一が新入会員に占められたことによ

り、例会の出席者は増加し、クラブの諸活動は、見違えるほど活性化したことが、強く印象に残っています。

このように、東京クラブの困難な時期に、木村太郎さん、大堀太千男さんの後を受けて、副会長、会長として、皆様方とともに、東京クラブの再生の仕事ができたことは、望外の幸せであり、諸先輩をはじめ、会員の皆様方に、心から感謝しているところです。

あれから10年、今年は、50周年を迎え、藤原武平太会長はじめ、キワニスクラブ歴の比較的短い方々が、東京キワニスクラブを支え、会員の先頭に立って、キワニスドールの製作、普及を始め、幅広い活動に熱心に取り組んでおられる現状に、キワニスクラブのますますの発展を夢見て、感謝の念を新たにしているところです。



菅野 明

平成17年10月～平成18年9月

2005-2006年ころのこと

東京キワニスクラブに入会したのは、平成3年4月です。例会への出席をとやかく言われないのが特色と聞いて入会しました。私を誘ってくれた先輩が、「会費を納めて出席しないのも社会奉仕の一つのスタイルだから心配するな」と言ってくれたのをよいことに、最初の10年間は、まさに会費を払って名簿に名前を載せてもらっているだけという状況でした。

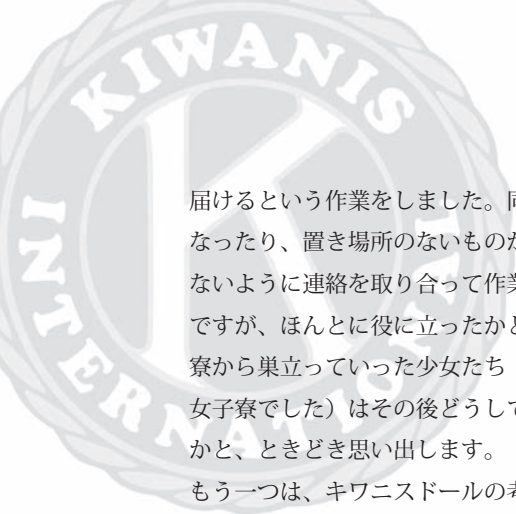
入会后10年ほどたって例会にも出られるようになり、それまで何もしていなかったこ

とに気が咎めて、少しずつクラブの運営のお手伝いを心がけるようになりました。

そのころのクラブの活動で覚えていることについて、一つ二つ書いてみます。一つは、幼児虐待防止に関することです。

幼児虐待防止の問題は、理解するだけでも難しく、専門家をお願いして勉強会を催したりもしましたが、キワニスクラブの会員として何ができるかということになると、問題が大きいだけに、自らの無力を嘆くことになるばかりでした。

ちょうどそのころ、副会長をしておられた木全さんのご尽力で、カリヨンの家という、虐待から救い出された少年少女が独り立ちして社会に出るまでの間暮らす寮の設営をお手伝いすることになり、そこで使われる家具・什器・食器・日用品などを会員が持ち寄って



届けるという作業をしました。同じものが重なったり、置き場所のないものが届いたりしないように連絡を取り合って作業したつもりですが、ほんとに役に立ったかどうか、あの寮から巣立っていった少女たち（最初の寮は女子寮でした）はその後どうしているだろうかと、ときどき思い出します。

もう一つは、キワニスドールの考案者のオーストラリアのジェリー・シルクさんが東京キワニスクラブのファミリーデーに出席したときのことです。シルクさんは、丁度その時、従妹さん・友人の三人連れで日本を旅行中で、東京キワニスクラブの例会に出席したいとの連絡が入りました。ご都合を訊くとファミリーデーに出られることがわかり、事業企画委員長をしておられた伊藤康成さんのご尽力で一行三人のファミリーデー出席が実現しました。

当時すでにドール作りに熱心だった東京クラブとしては、まことにうれしいゲストをお

迎えしたわけですが、さらに、その日の最後のイベントの福引で、連れの従妹の方に一等賞が当たりました。一等賞は、最新型電気炊飯器（佐藤隆國会員のご厚意によるもの）でした。出席者一同大拍手でしたが、旅先であるうえ、オーストラリアで使えるかどうかもわからないので、オークションにかけて代金を寄付したいと言われます。大歓声の中でオークションが行われ、代金の寄付も行われました。その炊飯器は、現在我が家で使わせてもらっています。

クラブの活動は年度をまたいで流れるように続きます。会員各位の協力、事務局の実務、各委員会の活動、副会長・会長などの役割も、すべて流れるように続くという点は同じです。50年の記念に何か思い出をと言われ、記憶に残っていることを書きました。これからのキワニスの活動が質量ともにますます発展することを祈りつつ筆を擱きます。



吉江 誠

平成 19年 10月～平成 20年 9月

41人目の会長としての日々

50周年記念のアンケートにも書いたのですが、私が東京キワニスクラブの会員になったのは、平成2年5月のことである。平成10年に仕事の第一線を退いてからは例会等諸行事への出席率も高くなり、平成19年には皆勤タブも10年になっていた。その間、国際、青少年の委員長をも務め、理事、副会長には任じられていたものの、錚々たる歴代会長の後を継ぎ会長を務めることになろうとは夢に

も思ってもいなかった。しかし、会員歴の長さからであろう、平成19年～20年の会長をやれ、ということになった。改めて歴代会長のリストに目をやると錚々たる顔ぶれが並んでおり、数えてみると自分は41人目の会長になるのだが、本当に自分でよいのかなとお引き受けした後でも、空恐ろしくなったものである。

諸先輩にご助言をいただきながら役員人事が決まり、いわば相棒役の事務局長を飛谷安宣さん（現在休会中）にお引き受け願えた時には、まずはほっとしたものだ。

就任早々、東京キワニスクラブのホームページにて就任のご挨拶を述べ、会長就任後の第一回例会で運営方針を述べた。設立当初

の東京キワニスクラブのステータス・クラブ的な色彩がやや薄れ奉仕団体的な面が強くなってきたが、東京クラブとして大事なことは品格と奉仕活動のバランスを取ってゆくことだと申し上げたと記憶している。

就任後の会長としての日々は予想以上に多忙であった。歴代諸会長もご同様であろうが、役員会、委員会、諸行事、国際大会、日本地区総会への出席に加え諸会議の議事録作成作業…今となって自分のパソコンのドキュメントのアイコンを並べると、当時のものが大きな部分を占めている…も大変だった。自分なりに活動にアクセントを付けようと思い、青少年教育委員長時代に手掛け始めた外部の学生さん達とのドールを作る会には努めて参加した。そのほか印象に残るのは、平成20年末から当局による公益法人の見直し検討が始

められることになり対策検討会を発足させたこと、名誉会員制度が発足したこと、そしてその第一号のお一人である今は亡き内海倫氏にお電話にて名誉会員をお受け頂けるかどうかお願いをして直々ご承諾のお声を聞いたことなどである。これ以外にも、悩み喜んだことも多々あるが紙面の制約もあり割愛せざるを得ない。

多忙であった割には力不足もあり、会員増強、クラブ新設をはじめ当初の計画に対し、さしたる成果を上げることが出来なかった1年であったが、微力な小生を時には叱咤激励してくれた飛谷事務局長、そして寛大なるキワニヤン諸兄姉のご協力を得て大過なく任務を終えることができたのだと思う。この機会をお借りしてお礼を申し上げる次第である。



川崎 弘

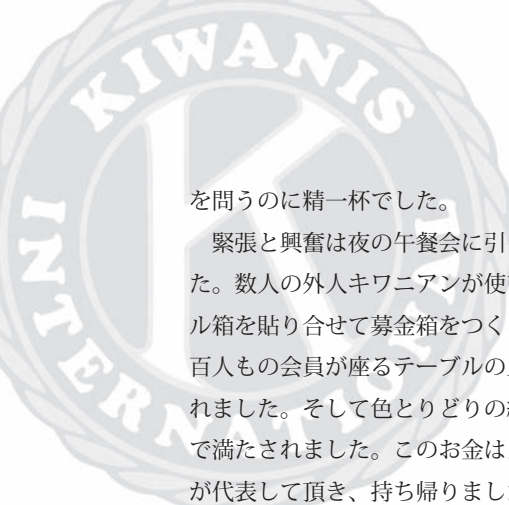
平成 20年 10月～平成 21年 9月

輸銀をやめて東京電力に入社後まもなく荒木常務（のち東電社長、会長を歴任）にキワニスクラブ入会を誘われました。それまでキワニスがどんな組織・団体であるのか承知せずいささか面くらいましたが、通産省の先輩の赤澤璋一さんも有力会員として鎮座されていたので、まあいいか、と軽い気持ちで入会致しました。入ってみると、輸銀時代、机を並べていた塚崎理事以下10人程の輸銀出身の会員もおられ、いろいろと教えて貰うなど旧交を暖めることができました。

キワニス活動への理解が深まるにつれ、小生も通産省の後輩や東電時代に知り合った東

電現役やOBに声をかけ入会、勧誘につとめました。

さて、これまでのキワニス生活で一番印象に残っているのは、平成23年3月11日午後2時過ぎに襲来した東日本大震災です。この時私はマカオで開催されていたASPACの総会に出席していました。午後2時半過ぎ多くの内外のキワニヤンが会場にとびこんで、日本が大地震と津波におそわれて大変だと口々に叫びました。それを聞いた我々も会場外に飛び出してテレビに映る光景に釘付けになりました。そして、春まだ浅い東北の地が地震、津波に飲み込まれていく様を呆然と見送っていました。海外のキワニヤンは日本人を見ると慰めとお悔やみを述べ、お手伝いできることがあれば遠慮なく言って欲しいと言いました。我々は謝意を述べるとともにそれぞれが自宅や故郷のクラブに電話して安否



を問うのに精一杯でした。

緊張と興奮は夜の午餐会に引き継がれました。数人の外人キワニアンが使い古したボール箱を貼り合せて募金箱をつくり、それが何百人もの会員が座るテーブルの上に引き廻されました。そして色とりどりの紙幣やコインで満たされました。このお金はガバナーの私为代表して頂き、持ち帰りました。ボール箱で始まった被災者救援基金はその後の全世界のキワニアンの募金活動につながり、多額の寄付金が被災地に送られました。

3ヵ月後の6月、現地にかがう機会を得ました。被災地の惨状は筆舌に尽くせぬものでした。わたしは石巻の門脇小学校の崩れ落ちた瓦礫の中に置かれた人形と花束を見つけ、ご冥福を祈りました。

小生、生涯の悲しい思い出になることでしょう。

平成20年10月から21年9月までの一年間、東京クラブの会長の大役を仰せつかりました。吉江誠前会長から引き継いだもので、いろいろと親切にご指導いただいたことを思い出します。

ところで、百年に一度と言われた国際的な金融危機とそれに触発されたリーマンショック（实体经济の世界同時不況）は、国際キワニスの活動にも少なからぬ悪影響をもたらしました。メンバー数の減少、クラブ活動の低迷、停止などの問題が表面化し、キワニス本部でもその対策をいろいろと模索し始めました。その結果として、キワニスメンバーの活動や組織・運営方式の活性化を实践するため創造性、多様性、柔軟性志向をもっと大胆に取り入れることを奨励し始めました。

次期ガバナーとして研修を受けるため本部を訪れていた小生や秋山事務総長なども黒板に書かれた3つの志向について、本部幹部といろいろと意見を交わしたことが思い出さ

れました。

その結果、出てきたことはサテライトクラブや企業団体クラブ形態の活動です。クラブの組織や構成する会員に多様性を持たせる工夫です。サテライト形態の小規模クラブの発足を認めたり、また構成員もユースメンバー主体（ユースクラブ）或いは（女性クラブ）とそれぞれの地域の実情に合わせた工夫を凝らせば、成果も期待できましょう。既に日本地区では熊本が遠隔地型のサテライトクラブ、女性クラブの2クラブ、芦屋、西宮がそれぞれユースクラブ1つずつの設立に成功されています。学生会員のキワニス活動を支えることも重要です。CSRに熱心な企業や団体とのネットワーク化による奉仕活動プロジェクトの推進も重要です。キワニスドールプロジェクトもその一角を担うものとして貴重です。

国際キワニスに取り組む第二次ワールドワイドサービスプロジェクトは「妊婦、新生児破傷風撲滅運動」に決定、本格的取組が進んでいます。

北里 光司郎

平成 21年 10月～平成 22年 9月



「楽しい仲間で社会貢献」をモットーに

会長の役を務めるにあたって、まず第一に行ったことは、中川惇会員に事務局長を務めていただくことをお願いしたことでした。中川さんに、快諾をしていただき、早速二人で、どのように進めるかについて打ち合わせを行い、その結果、3つの重点方針を打ち出しました。

- ①「多様化した分野から新しい仲間を増やそう」、
- ②「キワニスの社会奉仕活動の裾野を拡げよう」、
- ③「キワニスの活動にもっと参加し、もっと楽しもう」の3つでした。

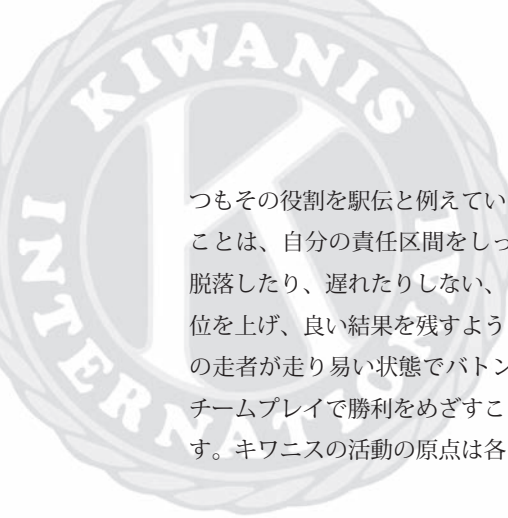
それぞれについての具体的な重点施策を各委員会に落とし、各委員会がこの重点方針にそって活発に活動を行い、出来ることから、直ちに実行に移すこととしました。モットーとして「楽しい仲間で社会貢献」を掲げることとしました。

次に取り組んだことは、3つの重点施策を各委員会活動とどう結びつけて行き、結果を出して行くかということでした。例えば、「新しい仲間を増やす」ために、メンバーシップ委員会で、特別キャンペーン期間を設け、各役員1人ずつ新入会員を獲得するなどのアクション・プランを実行しました。柔軟な形でクラブ新設と会員増強を行えるように、サテライト・クラブの検討も始めました。広報委員会で、東京キワニスクラブ紹介のパンフレットを作成し、朝日新聞等にキワニスの記

事広告を掲載してもらうなど、広報活動の強化を図りました。第2の「活動の裾野を拡げよう」では、ボランティア活動委員会、青少年教育委員会、社会公益委員会等の活動の充実により活動の裾野が拡がるように図りました。例えば、キワニス・ドールでは、キワニス・ドールの作り方のDVDを作成し活用するとともに、東芝本社の会場で開催した第2回キワニス・ドールシンポジウムでは、東京、横浜、埼玉に加えて、関西北ディビジョン（神戸、京都、西宮、芦屋）と結んで、シンポジウムを行いました。第3の「もっと参加し、もっと楽しもう」では、事業企画委員会、国際委員会、文化委員会、レクレーション委員会等の皆さんが一層がんばって、ファミリーデー、国際懇話会、囲碁、歌舞伎、文楽、落語、宝塚、第九、ゴルフ、お酒、ワイン等を楽しむ会の幅を広げる努力が行われました。公益法人化への方向付けも大きなテーマとして取り組みを始めました。委員会、役員会での討議を行い、次年度に行われることになった一般社団法人化へと繋がりました。事務局長の案で各委員会の年間計画については、12か月分をA3の一覧表に表示して毎月の役員会で進捗状況の確認を行いながら進めるよう、見える化を図りました。

このように、各委員長の方々の努力で、重点施策に沿って色々成果が上がったことについては大変感謝しています。一方で中々結果が出なかった分野があることも事実です。例えば、サテライト・クラブやクラブ新設などは、種をまくだけで精一杯で、任期中には結果が出ず、結局その成果が出るには数年の年月が必要であることが分かりました。

クラブ会長の任期は1年ですから、その期間にやれることは限られています。私はい



つもその役割を駆伝と例えています。大事なことは、自分の責任区間をしっかりと走り、脱落したり、遅れたりしない、出来るだけ順位を上げ、良い結果を残すように努力し、次の走者が走り易い状態でバトンを渡すこと、チームプレイで勝利をめざすことだと思います。キワニスの活動の原点は各クラブにある

と思います。特に東京クラブは人材豊富であり、子ども達を支援するという高い志を持ってお互いに力を合わせて活動すれば社会にもっと大きな社会貢献をする集団になることが出来ると思います。会長としての1年間はそのようなことを学んだ1年間だったように思います。



伊藤 康成

平成 22年 10月～平成 23年 9月

会長時代の思い出

1 マラッカで東北太平洋沖地震の発生を聞く。

会長在任中最大の事件は、あの東日本大震災です。この日は ASPAC 第 34 回大会出席のためマレーシアの古都マラッカにいました。現地では開会式が進み地元のパフォーマンスが始まっていた時でした。もちろん情報がすぐに届くはずありません。日本からの参加者に携帯電話等で断片的に情報が入りはじめたのは、式典も終了近くになっていたと記憶します。急ぎホテルに戻り TV を見れば大津波の様子が映し出されます。自宅に電話しようとしても容易につながりません。何回か試して千葉の家の固定電話につながり被害なしと分かったのは幸いでした。日本の参加者は各クラブから 70 人ほどだったと思いますが、幸い大きな被害にあった方はいなかったと思います。

その夜の歓迎夕食会では早速お見舞いの義援金が集められ各国からの参加者の芳志が川崎ガバナーに贈呈されました。これもキワニ

スならでの出来事でしょう。

2 義捐金の募集と被災水産高校支援

帰国すると日本地区ガバナーと公益財団法人キワニス日本財団 (KJF) 理事長連名の義捐金募集要請がすぐであり、会員に呼びかけました。KJF への寄付は優遇税制の対象となることも幸いしたと思いますが、募金は異例の 580 万円余に達しました。国内各クラブはもとより、台湾初め各国のキワニスクラブからも多額の義捐金が寄せられて総額は 3 千 8 百万円余になり、日本地区と KJF では被災地を対象としたキワニス共同基金を設けて今日も子どもたちへの支援を続けています。

当クラブとしては、この義捐金募集とは別に永く積立っていたメルシー基金で未来を担う少年・少女を支援する独自の事業を始めることにしました。これは堀井副会長が担当し、被害の大きかった水産高校を対象に東北 4 県の 7 校にそれぞれの規模や被災の程度に応じて年 11 万円から 147.5 万円を教材費等として 3 年間贈呈するもので、ほぼ 1 千 5 百万円ほどです。平成 23 年 9 月に第 1 回分を送金し、平成 25 年 4 月で終了しましたが、早期の支援で各校から丁寧なお礼の手紙が届いています。

3 その他の主な事業

平成23年に国際キワニス世界大会（7月・ジュネーブ）でエリミネイト・プロジェクトが正式にスタートしました。しかし、日本地区は東日本大震災の義捐金募集を優先し、エリミネイトには翌年から取組む方針で国際本部にその旨を伝えています。実際当クラブも約1年遅れでスタートしましたが、結果はご承知のとおり早期に目標達成しています。

例会の卓話、キワニスドールシンポジウム、社会公益賞、青少年教育賞等全ての事業が滞りなく行われたのは偏に各委員会のご尽力と会員の積極的な協力によるもので、まことに有難く感謝しています。また、青少年教育賞の授賞式と懇談会で若い受賞者達が大いに盛り上がり、今のキワニスフォーラム発足のきっかけとなりました。後生畏るべし。将来何が誕生するでしょう。



堀井 紀壬子

平成23年10月～平成24年9月

平成23年10月から平成24年9月まで伝統ある東京キワニスクラブの会長を務めさせていただきました。

会長に就任した、その時のご挨拶は、このようなものでした。

「今年の合言葉

Enjoy Kiwanis

キワニスクラブの活動を会員全員が楽しむ。
楽しみ方は十人十色。

* 素晴らしい経験や知見をもつ会員との会話や交流を楽しむ

* なにか世の中の役に立つことをすることを楽しむ

* キワニスドールづくりで、間接的にも病気の子どもたちの笑顔を感じて楽しむ

* なぎさ会で日本酒を楽しみ、ワインを楽しみ、そこでの会話を楽しむ

* 草の根の活動を世の中に紹介することを楽しむ

* ゴルフの会、囲碁の会、小唄の会を楽しむ

* さまざまな芸術文化活動の鑑賞を楽しむ

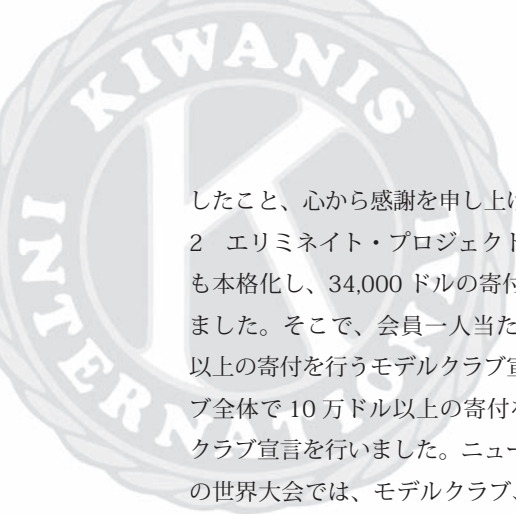
会員がクラブの活動を楽しむことができるよう会長として努力いたします。」

言葉通り、皆さんに楽しんでいただけるクラブ運営ができたかどうかは、皆様のご判断に委ねますが、私自身はこの一年間を楽しく活動させていただきました。

事務局長の藤井様、副会長の緒方様、藤原様、秋山様、青野様、各委員会の委員長の皆様のご活躍と、前会長伊藤様、前事務局長吉田様のありがたいご指導、アドバイスのおかげで、無事に大役を果たせたこともありがたく思っております。

この期の活動として忘れられないことを列挙します。

1 なんとといっても、一般社団法人への移行手続きの完了です。伊藤前会長のご尽力で、2月29日移行認可申請書を提出、9月27日に認可を受けました。さらに、伊藤前会長が新定款、細則等の制定と諸規定の整備をすべて担当していただき、移行が問題なく終了



したこと、心から感謝を申し上げます。

2 エリミネイト・プロジェクトの寄付活動も本格化し、34,000ドルの寄付が寄せられました。そこで、会員一人当たり750ドル以上の寄付を行うモデルクラブ宣言と、クラブ全体で10万ドル以上の寄付を行う100Kクラブ宣言を行いました。ニューオーリンズの世界大会では、モデルクラブ、100Kクラブの宣言に対して、ステージで表彰され、エリミネイトプロジェクト成功への貢献を誓ったものです。平成25年末、東京クラブの寄付は、これらの目標に向かって順調に推移しています。目標達成まであと3年、ぜひ、皆さんで成功をお祝いしたいと思います。

3 キワニスドールの普及活動も順調で、この期は1639個の製作、1783個の寄贈を達成しました。特筆すべきは、製作活動に関わる団体の拡大と多様化です。学生ボランティアのキワニスドールづくりはこの期も活発で、田園調布学園など10校以上の学校、大学のサークル等が製作に協力してくれました。また、この期、企業でのCSR活動の一環としてのキワニスドール製作も、公益社団法人日本フィランソロピー協会のご協力でスタートしました。社内で行えるボランティア活動として、キワニスドール製作は企業の方々からも好評で、知名度向上にも効果が上がっています。

4 若い世代との連携の機会への模索も始まりました。この期、社会公益賞は46回目、青少年教育賞は28回を数えますが、過去の受賞者の中で、主に大学のボランティアグループを中心にして、キワニス会員と学生ボランティアの交流を図る活動へむけて、関連委員会が計画を作成し始めました。この試みはその後、「キワニス・ユース・フォーラム」の発足につながります。若者たちとの交流や、キワニスクラブ会員が、どのように学生ボラ

ンティア団体を支援できるか、課題は多いと思いますが、息の長い活動に育ってもらいたいと思います。

50周年を迎えた東京キワニスクラブが、さらに「子ども達のために、日本の未来のために」役に立つ団体として、活動を発展させていくことを心から願っております。

緒方 謙二郎

平成 24年 10月～平成 25年 11月



49年目を振り返って

会員歴は長いが活動歴は短く、キワニスについての知識、経験が乏しかったので、固辞したのだが、結局平成 24 年に会長を引き受けることになってしまった。折りしも、公益法人改革により、それまでの民法上の公益法人から特別法に基づく一般社団法人に移行する時であった。新しい定款の作成や面倒な認可手続きは伊藤康成元会長が一手に引き受けて下さり、無事 10 月 1 日に新しい一般社団法人として発足すると同時に会長に就任することとなった。

新しいといっても目的や事業に変更がある訳ではないのだが、ひとつ問題になったのが会計年度と役員任期のずれだった。キワニスの会計年度は日本も国際本部も 10 月～9 月で、従来は役員の任期もこれと一致していた。ところが、総務省の統一方針で役員（理事）の任期は当該年度の決算が承認されるまでとされたため、11 月末の定時総会が交代時期となり、ずれが生じることとなった。他方、国際本部や日本地区、法人でない他のクラブは 10 月で新役員となるので、約 2 ヶ月間変則的事態となる。今回も、東京クラブ会長の交代は 11 月末に行ったが、日本地区役員の東京クラブ推薦の副ガバナーその他の役員は 10 月 1 日で行った。また、東京クラブの各委員長、委員についても 11 月を待たず早めに候補者を定め、新年度には二人三脚で活動を始められるよう運用を弾力的に行ったので特に問題は生じなかった。

クラブの活動としては、キワニスドール、エリミネイト・プロジェクトを中心に従来からの活動を引き続き推進するとともに、若者のボランティア活動の支援やサテライトクラブの新設を進めることに力を入れ、同時に楽しいクラブになるよう心がけた。具体的には、若者のボランティア活動の横のつながりやキワニスとの連携の可能性を追求するため、「キワニス・ユースフォーラム」を発足させ、交流会を開催したほか、会員増強については、特に若手や女性会員の勧誘に務めるとともにサテライトクラブ方式の活用が検討され、初めて福井県人サテライトクラブが設立されることになった。この方式は今後拡大していくことが期待されている。

エリミネイトの募金活動では、新たに支援コンサートが始められ募金の多様性が増すことになった。楽しいクラブ活動としては、文化、レクリエーション両委員会の活動の充実、日本酒の会と並びワインの会の隆盛などが挙げられよう。

任期中の大会としては、3 月に ASPAC 広島大会、6 月にバンクーバー国際総会、9 月に日本地区新潟大会があったが、来年の世界大会、ASPAC 大会が 7 月に幕張メッセで同時開催されることが決まったのは大事件であった。早速、北里前ガバナーを委員長とするホストコミティーが組織され、オールジャパンで大会を成功させるための準備が始まった。東京クラブとしては、自身の 50 周年記念事業を行うと同時に、国際大会の中核となることが期待されていることから、藤原次期会長を委員長とする支援委員会がスタートし、2014 年の 50 周年に向けて万全の体制を整えることとなった。

歴代事務局長による座談会

50周年史の企画の一つとして、歴代事務局長にご参集いただき、座談会(平成26年1月31日、法曹会館にて)をおこないました。出席いただいた方々は、山下幸雄元事務局長、菊岡平八郎元事務局長、廣瀬駒雄元事務局長、重成侃元事務局長、佐藤隆國元事務局長、小野洋一郎元事務局長、中川惇元事務局長、吉田浩二元事務局長、藤井和雄元事務局長、古屋俊彦前事務局長、広畑史朗事務局長です。司会は、増田好平広報委員長が務めました。

【司会】

本日は、50周年史を編纂するために、歴代の事務局長さんにお集まりいただいたの座談会を企画いたしました。それでは、まず、直近の事務局長からお話しをしていただきたいと思います。直近ということになると、古屋さんですが、よろしくお願いします。

【古屋】

当初1年でいいのかなと思ったら、一般社団法人への移行に伴いまして、1年2ヶ月事務局長を務めました。これまでとちょっと違うのは、一般社団法人への移行に伴って、会計整理や理事会の議事録の書き方が結構法律に縛られるようになったことでした。また、定款類を全面的に見直す必要がありましたが、これについては、伊藤康成さんのご尽力のおかげであると感謝しております。

一番気になりましたのは、一般社団法人への移行を念頭に公益目的支出ということで、残余金でもある、メルシー基金を結構使ってきてるんです。その結果、ここ数年、赤字予算で赤字決算でしたから、将来これは心配だなと思ひまして、各委員長さんをお願いして出来るだけ経費の節約ということをお願い致

しました。ボランティア活動における会場費もパソナさんのおかげで無料で使わせていただいたというようなことで、去年はやっと何とか黒字にできました。やはり、今後中長期的に見て、蓄積を図っていかないといけないと思います。ボランティア活動や各種の奉仕活動、また、表彰制度の基金は必要なわけですから、そのためにも蓄積が必要です。それから、事務所経費の削減に努め、事務所の賃料についても初めて値下げをお願い実現できました。

良かったのは事務局長ですから委員会行事など方々に出席しますので、かつてないほどの出席ポイントになりました。これだけあれば3年か5年分いいんじゃないかなと思うんですが、実際は1年で帳消しになるので、残念ですが……。あとは、いろんなレクリエーション活動や奉仕活動に参加させていただいて、楽しく過ごさせていただいたというのが私の実感です。

【司会】

次に、藤井さんお願いいたします。

【藤井】

私は、平成23年の10月から、24年9月まで、事務局長を拝命いたしました。事務局長は、佐藤さんや中川さんなど、私の大先輩がやっておられましたので、私なんかやるのは10年早いんじゃないかと思いました。また、事務局長の仕事を見てみると、随分実務が伴わないといけないということもあって、私は実務から離れておりましたので、できるかどうか非常に心配でしたが、何とかやろうということでやりました。もう一つ、気持ちのうえでは、堀井様が初めて女性の会長に就任されましたので、気持ちを引き締めて務めさせていただきました。

どういう仕事をしたかということについては、今、古屋さんから話がありましたようですが、一般社団法人へ移行する時の事務局として、実際はほとんど伊藤康成様にやっていただいたんですが、それでも色々な実務がありまして、半年でしたが、かなりのインパクトを受けたと思っています。12月1日に、伊藤康成様から認定が下りたという連絡をいただいて、ほっと致しました。それから、事務局コストの適正化ということについてやらなければとの思いで取り組みました。1年でずから十分なことはできませんでした。ほとんど古屋さんに引き継ぐということで、何の成果も上げられなかったんですが、会員増が期待できない状況下でありましたので、この辺で手を打っておかないとだめだなという問題意識を強く持っておりました。

日々の事務局長の仕事はもうルーチンをこなすだけでしたけど、多くの方々と交流を深めることができ、また、キワニス活動の知識、理解を高める上ではやって良かったと思っています。



これからは、キワニス日本地区の拡大をどのような戦略でもって進めていくかということが大事ななと思っています。

【司会】

次は、中川さんお願いします。

【中川】

私が事務局長の時の会長は北里さんで、北里さんとは、事務局長を引き受けるに当たって、かなり突っ込んだ議論をさせていただいてスタートしました。私自身は、一種の組織論者なので、徹底して、会長のやりたいことをどうやってやるべきかということがポイントだろうと思っておりました。

前年に1年間務めていた事業企画委員長を通して、キワニスクラブをどうしたらいいかという問題意識がありましたので、それを踏まえて、北里さんと意見交換をして、会長の思いをどのようにして、基本方針にし、戦略にし、更に、それを会議でどう伝えるかというのが、事務局長の最大の仕事だと思っておりました。

具体的に行ったことは、3つありますが、まず、一つ目は、全員にどうやって情報を共有化して、思いを共有してもらうかということです。会員は皆さん、何らかの委員会に入ってるので、その委員会を活性化する以外ないということで、A3、1枚に、全委員会の年間計画をまとめました。そして、毎月、その実績を記載して、役員会のときに共有すれば、どこの委員会が活性化していて、どこが悩みを抱えているかというのが見えてくると思ったのです。心のなかでは、これは、委員会の通知簿で、うまくいけば、各委員会で競



争の原理が働けばいいのかなと思っておりました。そして、この点を如何に柔らかに、会長のメッセージとして、伝えるかに腐心しました。まあ、非常にきついなという印象を最初出したとき言われましたが、やって良かったと思っています。

二つ目は、継続性です。1年で会長も変わる、委員も変わる。事務局長も変わるわけですが、その上で、継続性を組織としてどうすべきか、問題意識をどうやって次の時代に引き継いでいくかということです。中・長期的な観点から、ディスカッションを行う場を作るということで、北里のKをとってKプロジェクトというものを立ち上げて、伊藤さん、堀井さんという次の会長候補2名に入ってもらって、さらに、テーマに応じて、例えば、どうもキワニスドールが増えない、じゃあどうしようかというときには、ボランティア活動委員長を呼んでディスカッションするということに。これを毎月月末に継続して行いました。

この二つをやってみると、やはりいろんな問題意識が出ました。私は、事業企画委員長のときも、事務局長のときも、毎回、受付をやりました。受付を通して、会員の皆さんにお声をかけたりすることにより、いろんな問題点とか、リクエストが把握できるんじゃないかと。火曜会も、事務局長時代は、皆出席、事業企画委員長のときも皆出席、そのあとは結構ずばらになってますが。

そういうことをきっかけに、いろいろ聞きますと、過去にもいろんな問題点を解決しようというんなディスカッションやってるんですよ。例えば、佐藤さんの時代も、キワニスクラブはこれでいいのか、会員を増やすためにどうしたらいいか、活性化するのにどうしたらいいか、組織運営の在り方は、他の地区への波及の仕方とか、いろんなことを議論を

され、かなり調査もおやりになり、議事録もきれいに整理されて残ってるんですよね。そういう蓄積があると、次の一手をうちやすいのかなと思います。

それから3番目は、広報の問題です。当時、古屋さんが広報委員長をされておられましたが、やっぱり誰に聞いてもキワニスの知名度が低い、じゃあ発信力、知名度を高めるために何をやるかということで、私は北里さんを属人的ですけども、キワニスの顔として、どうやって広報活動をやるかということに力をいれました。

最後に感想ですが、キワニスには多士済々なメンバーいるわけで、出前教育というような形で、この人たちの知見をもっと対外的にアピールしていくのも広報の今後の課題なのかなということを実感しておりました。

【司会】

ありがとうございました。それでは次、小野さんお願いします。

【小野】

私は、平成20年から21年にかけて、川崎会長の下で事務局長をやらせていただきました。平成20年6月頃、当時の川崎副会長から「事務局長を引き受けて欲しい」というお話がありました。

その時は、入会してまだ4年と日が浅くその任には堪えられないと思ったこと、また、12月には京都検定2級を受験する予定で自分の時間が欲しいことを理由に辞退しました。その後、会合の後や電話で何度か熱心に説得され悩んだ末、受験は1年延ばすことにして引き受けることにしました。ただ、その時に、1年後は受験のため休会させて欲しい



とわがままをお願いして、ご理解をいただきました。

それから事務局長をお受けしたときの私の心構えは、主役は会長でありますので、私は連絡調整役に徹しました。今、大河ドラマでやってますけど、黒田官兵衛みたいな軍師というか、黒子のつもりで1年間やり通しました。

もう一つは事務局長というのは先ほど、中川さんからもありましたように、色々な委員会、イベント、例会はもちろんのこと、基本的には全部出るというつもりでやりましたので、かなりスケジュール調整が大変でした。でも、そこそこうまくいきまして、例会も休んだのは1回だけでした。委員会にもたくさん出ることができて、多くの会員を知り温かいご支援やお付き合いをいただき、これをやってよかったなと思っています。委員会はそれぞれの目的に沿って活動しますけれども、やはり横の調整というのはなかなか難しい。役員会がありますが、そこへ上る前の調整が大切なんです。私が、委員会に出ていますと、他の委員会ではこんなふうに考えているようですなどと、ある程度、調整ができ情報の共有化が図れました、委員会に参加していて、プラスになった点かなと思っています。

それからあとは、例会の会場を経団連から法曹会館に移したのが私の時期でした。平成21年5月です。前の事務局長の飛谷さんが会場の選定をしてくれていましたので、私は、事務的なことを調整したり、例会の進め方などの打ち合わせを事務局と一緒に円滑な移行ができました。ここ法曹会館は、クラシックで、明るい感じで非常にいい形の会場なもので、よかったなと思っています。

【司会】

ありがとうございました。それではその次は、栗山さんご欠席、木村さんご欠席と申しますので佐藤さんお願いします。



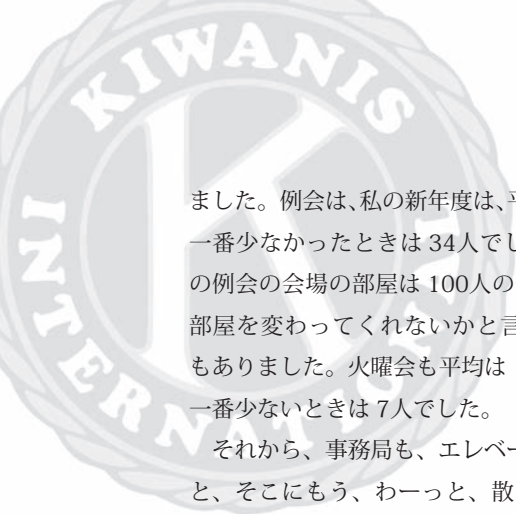
【佐藤】

私は、20人目の事務局長なんですね。会長が木村さん、大堀さんのときですが、木村さんが会長のときに私の自宅にお見えになりまして「事務局長をやってくれ」とおっしゃるのですね。びっくりしました。「伝統だから、指名されたら名誉として引き受けなきゃいけないんだよ」というようなことを言われまして、引き受けた次第でした。木村会長からは、二つ言われました。一つは、当時メンバーがどんどん減ってって、例会の出席者も少なくなっているということで、クラブを活性化したいということ。それから、もう一つが財政を健全化したいということでした。

そこで、まず、「活性化プロジェクトチーム」というものを、会長、副会長、メンバーシップ委員長、事業企画委員長、レクリエーション委員長、財務委員長、それから事務局長の9人をメンバーとして作り、2週間に一遍、2時間必ず出席するというで議論しました。

第1回のときに、アンケートを全員にしようということになりまして、全員にアンケートを配りました。回答率が大変よくて、98人から回答をいただきました。

その当時の財政は毎年約400万の赤字、会員が大体20～30人は減っていくという状況でした。三百数十人が会費未納者を除くと200人を切るという状況になってきました。また、例会、火曜会の出席率も減ってき



ました。例会は、私の新年度は、平均は 45人。一番少なかったときは 34人でした。経団連の例会の会場の部屋は 100人の部屋なんで、部屋を変わってくれないかと言われたこともありました。火曜会も平均は 15人ぐらい。一番少ないときは 7人でした。

それから、事務局も、エレベーター出ますと、そこにもう、わーっと、散らかってる。どこにも行きようがないような乱雑な状態でした。

また、クラブも奉仕団体ですけども、奉仕というよりは、どちらかと言えば、少し上から目線というか、自らやるのではなくて表彰中心でした。

そういう状況の中でプロジェクトチームを立ち上げたわけですが、皆さん、大変熱心に、全然欠席者もなく、2時間びっちり、9回やりました。討議の内容は、例会関係では、会場、頻度、講師の謝礼、会務報告の要否、料理などです。また、年会費や入会金の在り方、刊行物、財政問題、委員会活動、それから、事務局の改革などでした。その結果、例会については、毎週から隔週にしました。そうしたら、出席者が増えました。また、例会の食事の注文方法も出席者数に関係なくまとめて注文するという無駄な形をやめました。また、例会の受付を会員がやるようにしました。

財務関係では、入会金 10万円を期間限定で 3万円にしました。これがいまだにそのままになってますが。それから、会費未納者が 30人ぐらいいましたが、通知を出して、厳正にルールどおり、退会していただくことにしました。徹底した経費削減もやりました。それこそコピーの 1枚も、ノートにちゃんとつけてやることにしました。

新入会員に対するオリエンテーションも、このときから始めました。

それから、自分で汗をかく奉仕活動をしよ

うということですが、2001年の世界大会で当時の国際キワニス会長夫人から、全世界のキワニアンに対し、キワニスドールを作ろうと呼びかけがあり、東京クラブも、事務局長は私の前の重成さんでしたが、早速これを取り入れ、広報委員会やボランティア活動委員会と協力して組織的に普及させることを始めました。

広報関係ではホームページを作成しました。

そして、事務局の大改革をやったわけですけども、まず、環境整備、整理整頓をやりました。重成さんのときに作っていただいた就業規則を厳格に実施しました。また、朝礼をやったり、週報を作って、それを会長と事務局長に回すということもしました。私の思いは、事務局を誰でもできる事務局にしたかったということです。透明度を上げて、事務局がやっていることは特定の人にしかわからないという形ではなく、誰でも見えるようにしたい。

事務局長をやって私が本当に感激しているのは、いろいろやりました結果、タブレットオブオナーっていうものをいただいたことです。突然、例会で発起人から呼びかけがあり、50人の方に 70万円寄付していただきました。タブレットオブオナーというのは 2000ドルですから、残ったものはまた、事務局の改革に使わせていただいたということで、とっっても、うれしかったです。

【司会】

それでは、重成さん、お願いします。

【重成】

私は、小島会長の時の事務局長ですが、就任の依頼をいただいた当時、常勤の仕事をしておりましたので、果たして務まるかなと随分逡巡しました。ただ、ぜひというお話でもあり、悩んだ揚げ句お引き受けしました。貴重な経験をさせていただいて、結果的には大変良かったと思っていますが、できれば事務局長は、常勤の仕事のリタイアしてからやるほうが、やりたいことをもっとできるかなという思いがあります。

いろいろ思い出はあるのですが、一つだけ申しますと、事務局職員の就業規則の制定とそれに至る経緯についてです。就業規則を作りましたのは、あるきっかけで、事務局体制の改革が必要だと痛感したからです。事務局長就任後まもなく、これまで外部とどのように契約をしているのか等の関心から契約書等の書類をチェックしたところ、会長も私も全く知らないうちに、ある担当者(既に退職)の独断で、外部業者とコンピュータのハードとソフトの5年間のリース契約が行われていたことを見つけました。事務局の外部との契約など重要事項は、まず、会長、事務局長の承認を得て進めるのが当然のルールであります。そこで、小島会長にご相談して、事務局体制の一新を図ることになりました。

まず一つは、会長印の保管と使用のルールを制定し、会長、事務局長の許可なく使用できない等の厳格ルールを定めました。次いで、事務局職員の定年や懲戒規程等を定める「就業規則」がそれまで何故かなかったのをこれを作ることにしました。これによって事務局の規律を正し、職員の交代も必要に応じて行うことができると考えたのです。ただ、就業



規則作成の経験はなかったので、当時の労働省の担当官に問い合わせたり、会員の弁護士の意見もきいて夏にかけて原案を作りました。その後、9月の役員会で、ご了承いただきました。9月までが任期でしたので、ぎりぎり間に合ってホッとしたということを感じています。

このようにして、その後の事務局改革のスタートを切ることができたのは良かったのですが、そこで1年の任期が終わってしまい、あとのフォローができなかったのは幾分心残りでした。

【司会】

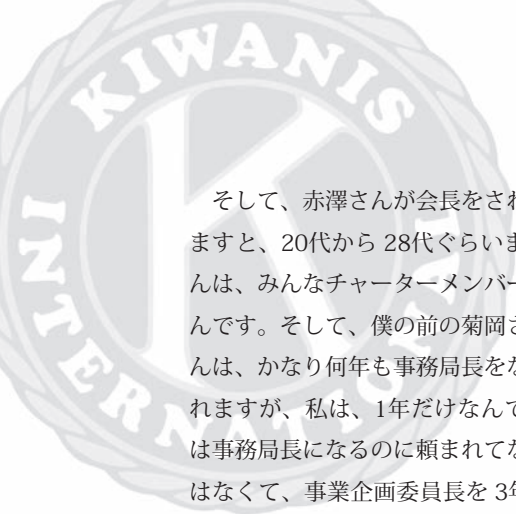
廣瀬さんお願いします。

【廣瀬】

私は、事務局長としては、あまり仕事してないんじゃないかなという印象が非常に強いです。イメージで思っていることだけで言いますと、私が事務局長をしていたときの状態は、赤字ではなかったので財政的な苦勞はしていないといったイメージです。それから、キワニスのメンバーの半分程度は会社で会費を負担してもらってる人でした。そして、私は、20世紀最後の事務局長なんです。さらに、まだ、チャーターメンバーが13人いました。

私が入会したときの経緯をちょっと紹介すると、当時の会長は赤澤さんですが、オリックスの宮内さんがキワニスを辞めることになって、赤澤さんがダミーを出せとということで、宮内さんから「ちょっと赤澤さんのところ会いに行ってくれないか」と言われて、実はそれは入会の面接だったような気がします。





そして、赤澤さんが会長をされた前後を見ますと、20代から28代ぐらいまでの会長さんは、みんなチャーターメンバーがやってるんです。そして、僕の前は菊岡さんと山下さんは、かなり何年も事務局長をなさっておられますが、私は、1年だけなんです。で、私は事務局長になるのに頼まれてなったようではなくて、事業企画委員長を3年か4年やらされたうえで、日本地区の事務総長を引き受けるために東京クラブの事務局長を1年間務めるような雰囲気だった気がします。

たった1年ですが、やったことのひとつは、チャーターメンバーを全員集めろと赤澤さんにいわれて、さらに、もう退会された方も含めてお声をかけることになりましたが、実際は、5人ぐらいしか集まりませんでした。あと思い出すことはチャーターメンバーの木戸さんの所へお見舞いに行けというような、どちらかというと、会の運営というよりは、何かこうチャーターメンバーの秘書業務的なことのほうが多かったんです。

あと私の中で一番印象に残っているのは、日本地区総会を東京でやることになり、実際は私のあとの吉岡さんのときの総会なんです。私の一つ前の芝原さんのときから準備にかかるんです。芝原さんのときは、新宿の京王プラザホテルが第1候補だったのを、当時、佐藤さんが会長だったんですが、やっぱり帝国ホテルにしようよということで、帝国ホテルと交渉して、予算化までは私のときにやりました。

その後、私は、日本地区の事務総長になっていたわけですが、ある日突然、安原さんから「ちょっと来てくれ」と言われて、行ってみると、日本地区総会の予算が、200万ぐらい足りないというわけです。当初の予算通りに帝国ホテルと調整をしまして何とか問題のない形に致しましたが、かなり慌てたこと

は覚えてます。

もう一つお話しをすると、当時は、東京クラブはインディアナポリスへの関心が非常になかったときなんですね。インディアナポリスで行われる地区事務総長のトレーニングにも、東京クラブの会員が行っていないという状態でありました。

それまで、東京クラブは財界、官界で名の通った方が多く、インディアナポリスとは異なる日本のルールでいけばいいという、雰囲気があったようでした。

そんな中で、私が第1号で、関口さんに「おまえ行けよ」といわれて、インディアナポリスに行くことになったのですが、ちょうど、東京クラブの中にそういう雰囲気でのいいのかなという感じが出てきた時だったようです。

その関係でいうと、佐藤満秋さんが、トラスティに立候補した話もあります。票読みでは、立候補しても満秋さんは敗れるということになったもんですから、東京クラブは、名誉ある撤退をすべきだという議論が出たときに、私は佐藤さんが手を挙げていくっていうんであれば、どうぞ行ってくださいと主張しました。そしたら、何故か、タヒチで、そのときの最有力候補に見事に勝ちました。

私は、あの当 때가、東京クラブもインディアナポリスにもっと合わせていかなきゃいけないんじゃないかという国際化の入り口だったのかなというような印象を持っています。



【吉田】

私は、ここにおられる中川さんの後任という形で、事業企画委員長、事務局長をやらせていただきました。「面白いしぜひやってくれ」と、こういうお話を、何度かいただいてやってきたという印象があり

ますので、中川さんにおんぶにだっこしたいと思いますか、いろいろご指導を受けながらやって来たという経過でございます。

私は、伊藤康成会長のときの事務局長で、いくつか思い出がありますが、その一つは事務局の職員の雇用関係の話です。これが、それまで実は、口伝のかたちになってまして、一番最初にできた雇用契約書が全然更改されていなかったわけです。経理をずっとご担当いただいておりました伊藤さんに、「あなた、雇用契約書どうなってるの」と尋ねたら、「いやいや、それはもう1番最初のしかもらってない」という答で、それでは、6カ月で切れたあと、雇用契約がなくなっていることになっている訳です。また、休暇届とか、そういった人事の基本的な部分が整っていなかったという状態でもありました。これは、まあ、家庭的なかたちで事務局が運営されてきたということだろうと思いますが、やはり、組織体として、コンプライアンスという観点もありますので、その辺はきちっとしなきゃいけないと思い、そういう管理フォームもを作らせていただきました。

それから、事務局の宇田川さんが、定年退職の時期を迎えられたのですが、宇田川さんがキワニスのことをよく知っており、会員の皆さんから信頼が厚いということで、ぜひ、ノウハウ、あるいは記憶、こういったものを大事にしていこうということで、特別職員というタイトルで引き続きやっていただくようにいたしました。また、将来の事務局の体制についての、先輩方のご懸念もあったもんですから、それにも対応させていただきました。

事務局長のときに、一番印象に残ってますのは、一般社団法人化です。これについては、伊藤さんが会長としてぜひ自分の任期のうちやりたいということで、そのお手伝いをさせていただきました。結果として、一般社団

法人への移行は、翌年になりましたが、これはある意味で言いますと、画期的な決断だったと思っております。

また、それまでに一度も参加したことがなかった国際大会に初めて参加いたしました。場所はラスベガスでしたが、7000人ぐらい集まっていたものですから、キワニスが、非常に大きな団体であることを実感いたしました。国際会長さんが、朗々とうこうあるべきというようなことで、いろいろ方針等々を出されるわけですが、それが日本にどういうふうにかかされてくるのかがもう一つよくわかりませんでした。インターナショナルと日本地区、それから東京クラブ、その辺をどうやって橋渡しをしていけばいいのかというようなことを考えだしたきっかけになりました。

【司会】

それでは、菊岡さん、お願い致します。



【菊岡】

私は、大ベテランの山下大先輩が7期事務局長を務められたあとを受けまして、平成7年から2年間、事務局長をさせていただきました。その間の一番の仕事は、今の米山ビルへの事務局の移転でございました。チャーターメンバーの産経新聞社の鹿内さんのお力で、32年間、サンケイビルに無料で事務局を置かせていただいていたんですが、サンケイビルを建て替えるということで、立ち退きを要求されたんです。しかし、そう言われても、移転のための金がないので引っ越しが出来ないと訴えましたら、産経新聞から100万円、立退き料をいただきました。ゴネ得ではございませんけれども、だいぶ財政には貢献できたかなと思っております。

また、当時は毎週経団連会館で例会があり、パレスホテルが昼食を出していたのですが、その料理代を値上げすると言われ、3千円だった例会の会費をやむを得ず、4千円にアップさせていただきました。皆さんからだいぶお叱りを受けましたけれど、昼食会を止める訳にはいかないということでやらせていただきました。

【司会】

それでは、長きにわたって事務局長を務められた山下さん、お願い致します。



【山下】

この歴代事務局長のリストを見ると私の前後で皆さん退会とか、物故とか多いので、私もそろそろこの仲間に入るんじゃないかと思っております。

今皆さんの話してらっしゃる、事務局のことなんですが、私が事務局長のときも、平成5年頃だと思うのですが、当時財務委員長をしておられた寄木さんに頼んで、「中をもう一遍見直してくれ。経理のことは私電気屋なものでわからないので」と言ってやっていただいたときに、いろんなことが出てきたということがあります。それから、先ほど廣瀬さんがおっしゃったように、キワニスクラブそのものが、現在のキワニスクラブと私が入ったときのキワニスクラブが性格として全然違うんですね。

私は、木戸(孝彦、昭和61年10月～62年9月会長)先生との関係で、キワニスに若い

のに入ったという経緯がございます。当時私、三菱重工にいて社長の直属の部下だったんですが、いろんな海外との取引のときに、いつも木戸先生をはじめとする弁護士グループと社長と各役員と私がいって、話をしていたのですが、そういう経緯の中で、木戸先生が「山下君、キワニスクラブっていうのがあるよ、入ってくれよ、入らないかって」ということで、入ったわけでございます。

当時私が入ったときに、会員の方から「おい、ヤングボーイ、君は何年生まれだ」と、こうやられました。大正15年と答えると、「何、大正15年、おまえそれは昭和元年じゃないか、おまえ何言ってるんだ、昭和の子どものくせに、大正の人間のような顔をするな」と言われてしまいました。当時のメンバーで昭和の方はいなかったです。大正の方も10年、11年生まれという方が多かったですね。その当時、木戸先生に、「キワニスクラブというものは、どういうクラブですか」とお聞きしたら、「東京キワニスクラブは、鹿内さんが作ったもので、アメリカのキワニスクラブとはちょっと違うんだよ」と言われました。というのは鹿内さんがアメリカに行かれたときに、キワニスクラブの本部でキワニスクラブの会長さんとお会いになったときに、「作ってくれないか」ということを向こうの会長から、いわれたということのようです。何故かという、鹿内さんは、産経新聞の社長であり、フジテレビの社長でもあったんですが、その肩書よりも、実は、箱根の美術館の館長というものに注目されたいいんです。海外に行きますと、美術館のオーナーってのは、一種普通の会社のランキングよりも上になる、ですから、美術館を持っているとか、美術館のオーナーであるということになると、大変なりスペクトを受けるということのよう

です。そういうことで、当時のキワニスの会長は、日本の箱根の美術館の館長が来たからということで、ぜひ会いたいってということで、お会いになって、それで、鹿内さんに、キワニスクラブの説明をした。鹿内さんとしては、当時はライオンズとロータリーしか日本にはなかったの、そういうものもあるんですかということで、それなら日本に第3の拠点として作るのも悪くないかなと思ったそうです。そういう経緯で、東京に、あるいは日本にキワニスクラブを作ったというのが、そもそも始まりという風に、私は、鹿内先生からも木戸先生からも聞いております。

当時、時々、鹿内さんがおっしゃっていたのは、アメリカからキワニスクラブを作ってくれと言われたときに、東京だけはいわゆるキワニスクラブの今までのやり方は踏襲しないよ、日本は日本独自のものでやりたい、私が声をかけているんな会社の有力者を集めて会を作るけれども、そういうことを了解してくれるならば東京に作ってもいいということで、その点を約束して作ったという話です。従って、先ほど廣瀬さんがおっしゃったように、「ここは違うんだ」という感じを持ってた会員の方がほとんどですね。

当時のメンバーを見ますとね、大会社の社長の皆さんがほとんど全員入ってんですよ、ほとんど。それに現職の事務次官が何人か入っているんです。警視総監も入ってましたしね。原文兵衛さんなんかも入っておられるし。もちろん法曹界も検事総長や次長検事がおられました。

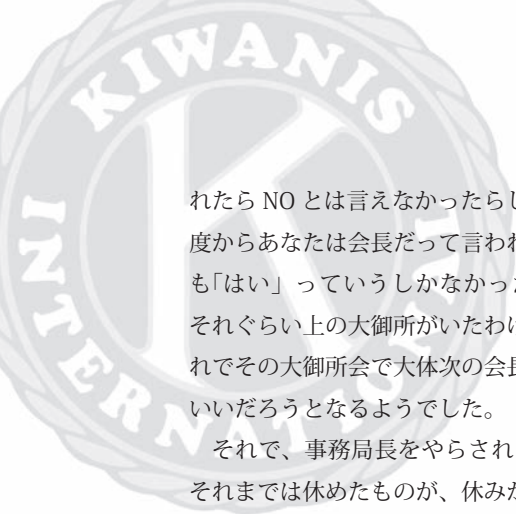
私が恥をかいたんですけど、山本さんという次長検事がいましてね。それであるときに、隣に座ったときに、次長検事の山本さんだと言われて、ああそうですか次長となると今度いつ検事になられるんですかって言っ

たら、おまえは何言っとるんだと、次長検事ってのは検事総長の次だよって言われた。はあ、そうですかっていう次第です。

従って、会員のほとんどは社長ですからね、お金が個人の金なのか会社の金なのかかわからないわけですよ。いくら必要といえ、パッと出てくる。大会をやるからお金が要ると言ったら、ポンと、社長が、出してくれるわけです。それから、当時、ビール会社の専務もおられましたので、会議やってるとその会社のビールが無料で出てきました。ですから、お金ということが全然必要でない当時のクラブであったわけで、私も金のことで心配したことは一度もありませんでした。

当時、いつも頭を悩ましていたのは、会員になりたいという方がいるのにそういう方に入れられないことでした。メンバーシップ委員会の委員は、赤澤さんや財界の大物でした。私が事務局長をやっているときに大阪のメンバーだったのですが、転勤のため、東京のメンバーになりたいという通産省の方がいたのですが、赤澤さんが、「その人はまあいい人だけどさ、大阪では局長かもしれないけど東京に来たら部長になるんだよ、だから、通産省のもっと上が入っている所にはまだ早すぎる」と言って、ぼんと切っちゃうわけです。そういうような関係で、今の事務局長さんが頭をしぼっておられるメンバーを増やさないといけないってことは、あの頃は一度もありませんでした。

それから、私は、昭和59年に最初の事務局長を務めたのですが、そのときは事務局長なんて全然考えてなかったですけど、呼ばれてね、「君、明日から事務局長やれ」、それで終わりです。YESともNOとも全然ないわけですね。当時の東京クラブの会長も言わ



れたらNOとは言えなかったらしいです。今度からあなたは会長だと言われてたら、会長も「はい」っていうしかなかったようです。それぐらい上の大御所がいたわけですね。それでその大御所会で大体次の会長はこの人でいいだろうとなるようでした。

それで、事務局長をやらされたおかげで、それまでは休めたものが、休みがなくなってしまうでしたね。会がある日は必ず出なくちゃいけない。そのおかげで皆勤賞もいただきました。

当時は、忘年会を浅草の婦志多という料亭でやっていたんです。婦志多の周りに自家用車が50台ぐらい並んだので、警察がびっくりしたなんてこともありました。赤澤さんが、「山ちゃん、みろ、これ日本の将来を考える会をやっているようなもんだよ」と言っていました。

そして、当時、鈴木俊一さんが東京都知事になられたり、原文兵衛さんが国会議員になれましたが、そのときに、書類があるかどうかはわかりませんが、選挙を伴う政治家はキワニスで退会するのが原則であるというルールをメンバーシップ委員会で決められました。なぜならば、キワニスの会員が選挙活動の応援を頼みますと言われてたらね、1人ならともかく、2人3人となったら困ることが起きるからです。そういうことでずっとやってきたということです。それから、もう一つちょっと話しておきたいのは、東海汽船という会社がありますが、当時、その社長が、大変ユニークな会員で、毎年、夏、熱海の花火のときには、その東海汽船の屋上全部、キワニスのために開放して、そこでパーティをやってくれるんです。

最後に、廣瀬さんがおっしゃたように、アメリカの本部に言われることを別にそのとおりやらなくてもいいんだ、右へならえしなく

てもいいんだという気持ちは鹿内さんが作ったときの気持ちとしてありましたね。日本は、日本独自のキワニスクラブを東京で作ったんだからというような気持ちだったと思います。今はもう時代が変わりましたから違うのかもしれませんが、そういう時代があったんだなってと受け取っていただければありがたいと思いますね。

折角の機会ですので、皆様のご存じのない話をさせていただきました。

【司会】

どうもありがとうございます。今、最後に、山下さんから貴重な、私など全く知らない時代のお話をいただきましたが、どうも、できあがったころの東京キワニスクラブと最近の東京キワニスクラブとでは、だいぶ違う雰囲気・・・。

【山下】

それはもう仕方ないです。だって、今はどこの会社でも接待に料亭使ったりなんかしないでしょ。我々のときは、使わないとおかしいという時代でしたから。

【司会】

最近のキワニスクラブは、奉仕活動といえますか、キワニスドールを中心にやっているクラブだっていうイメージになってきているように思いますけれども、こういうふうに変わってきたというのは、どのような流れということなんでしょうか。ここからはもう時間も限られてますけど、自由に皆さんでご発言をいただきたいと思います。

【佐藤】

古い書類などを見ますと、最初の頃は、50歳以下の現役を入れようということに

なってるんです。50歳以上は入れないと。しかも、先ほど廣瀬さんからもお話がありました。法人会員が主で、個人会員っていうのは本当に珍しい。

【山下】

あの頃はメンバーになるのは、一部上場の常務以上でなければいけない、それも、まず社長、もしくはそれに匹敵する役員を入れるというようなハウスルールを作っていたわけです。したがって、そういう人たちばかりが集まった、これは仕方ないことですね。そういうことだと思うんですけどね。ですから、世の中が今と違ってらんです。今、料亭に行く人もあまりいないわけですが、当時は、すぐ料亭へ行ったりしてましたし。税法も変わってきてますしね。日本の社会そのものも変わってきてますから、それに応じて変わってきたんじゃないかと思えます。

【廣瀬】

先ほど話の出た、浅草の「婦志多」へは、僕の代は行ってらんです。それが急にならんです。あんな所に行く馬鹿はいないっていう雰囲気になってきてね。

それから、事務局長のときの雰囲気は「おまえ赤字だったら、奉加帳を持って回れ」っていうんです。ですから、私は、いわば、ご年配の方々へ絶えず気配りをしてりゃいいんです。そして、もし、お金が必要になったら、赤澤さんに相談して奉加帳持って歩きゃいいんですよ。そういう世界の最後だったような気がします。それからどんどん変わっていったらと思います。

【菊岡】

今、赤澤さんの名前出ましたけど、私が事務局長のときは、日本地区の事務総長も兼

ねていたのですが、赤澤さんがガバナーでした。そして、赤澤さんが国際会議出るのに、「何で俺にエコノミーの旅費しかくれへんのや。俺はファーストクラスしか乗ったことねんだ」っていうので。「いやあ、赤澤大先輩申し訳ないです。キワニスの出せる経費では、いくらガバナーであっても、エコノミーしか出ませんから、勘弁して下さい」と答えて、随分、それは叱られましたね。

【廣瀬】

やっぱりね、木戸さんのところにお見舞いに行けとかね。聖路加へお見舞いに行くわけですよ。「ちゃんとおまえ持っていったか」「はい」って。そういう何かね、僕はそういう最後じゃないのかな。

【司会】

そうすると、今、山下さん、廣瀬さん、菊岡さんのお話しされた時代には、奉仕活動などは、全くなかったのでしょうか。

【廣瀬】

親睦会でした。ファミリーデーには、一流の芸能人が出てきましたしね。

【佐藤】

キワニスクラブが、変わっていくのは、小島(章伸) 会長(平成13年-14年期) ぐらいのときからだろうと、私は思いますね。

【司会】

ということは、最近ってことですね。

【廣瀬】

平成一桁の最後の方からではないでしょうか。



【佐藤】

だと思います。だんだん、現役で会社が会費を出してた人が、会社が出せなくなった、その結果、OBが多くなって、個人会員になってくる。それに合わせて変わってきたんだと思います。

【重成】

やっぱり具体的な背景としては、90年代からずっと引き続いてきた、いわゆる「失われた10年」、不況が続きましたからね。もう企業が金を出すというようなムードでなくなった。まあその中で、どうしても現役の会員は入ってくれませんよ、企業のために精いっぱい働いているので。従って、会員も減る、それから法人で金を出すところも少なくなる。そういう中で、どういうふうにキワニスクラブを維持発展させていくかということになると、やはり、個人が自分で奉仕活動をする、そういう人がむしろ中核になっていけばいいんじゃないかということになったんですね。

佐藤さんがおっしゃったように、小島会長の頃からね、やはり奉仕活動を増やそうというような、何とか歯止めをかけるためのいろいろなアイデアが出ました。例会月4回は忙しい人にはなかなか大変だから、月2回にしたらどうだっていう案もその頃出てたんです。まあそのときはやっぱり4回は維持しなくちゃいけないんじゃないかっていうような声もあって、そのとき実現しませんでしたけれども。やはり、90年代に入って以降の経済的、社会的な環境変化っていうのが、結構ここにはあったんじゃないかという気がしますね。

【山下】

それと、昔は、オーナー社長が多かったですね。オーナー社長ですから、会社がある限り、ずっと社長でいるわけですよ。ですから、あまりお金のことを言われることはなかったですね。それで、確かにお金が足りなくなると、当時の会長なりに、ちょっと相談をすると、どっかから出てくるんですよ。そういうことですから、ぐうたら事務局長だったと思いますけどね。

それで、私はもう、まあ強制的にもう1年、もう1年っていうことで事務局長を続けて、間にちょっと2、3年お休みいただいたら、またやれということで事務局長に務めさせていただいて、高橋弘篤さんが会長のときに、菊岡さんにバトンタッチさせていただきました。

【小野】

個人会員が多いというのは、私は、キワニスの一つの特徴じゃないかなと思います。ライオンズクラブにしてもロータリークラブにしても、ほとんどオーナーの人が多いですね。地元の商店の社長とかそういう人たちが、小さな地域で、そこに根ざした人たちがメンバーなんですよ。それに比べると、キワニスは、非常に大きな、東京なら東京という一つのエリアで、個人で入ってるというのが一つの特徴だと思いますね。そこがキワニスの一つの売りといいますか、伸ばしていくポイントの一つではないかなと感じています。

【重成】

ロータリークラブは、1業種で1人というように業種の代表が集まるクラブという感じがありますね。

【廣瀬】

僕が聞いたのは、ロータリーがビッグネームで、ライオンズはスモールネームだと。メンバーは、皆、事業者です。対して、キワニスはそのようなものではない。大会社の経営者も多いんだけど、役所の方も本当にものすごく多いんですね。キワニスは、ロータリーやライオンズと比べるようなものではないという言われ方をされたことがあります。キワニスは、別格なんだよと。

【菊岡】

やはり、東京キワニスクラブの創設期に、原文兵衛さん、三輪良雄さん、秦野章さんなどの役所の先輩の人がたくさんおられて、みんな後輩を入れたからということがありますね。

【廣瀬】

僕が経験したのですが、アメリカでキワニスに入れなかった人が、東京で入れるんだったら入りたいというので、東京クラブに入会したんですね。ところが、入ったら、あんな偉い人ばかりで嫌だっという、嵩高いっていうんですよ。だから疲れる、のびのびと出席できないから嫌だと、そう言った人もいましたね。

【司会】

会員数というのは、300人を超えていた時代もありますが、現在は、200人強ですね。そして、今、50周年記念ということで会員増強キャンペーンを行っていますが、会員規模というのは、このぐらいでよろしいということなんでしょうか。

【佐藤】

世界でみると、インディアナポリスのキワニスクラブは、確か500人超しているんですよ。

【廣瀬】

ライオンズもロータリーもこんなに多いのじゃないじゃないですか。

【重成】

私は一つのクラブとして人数が多ければ良いということはないと思う。キワニス全体の人数は多ければ多いほどいいとおもいますが、やっぱり一つのクラブとしては、ある程度まとまりやすい人数があると思います。私は、現役の頃はロータリークラブにいたんですが、ロータリークラブは100人を超えると、若手のほうが、別のロータリークラブを作って別れようみたいな話が出るんですね。そういった意味で、何となく一つのクラブとして、適正とかまとまりやすい人数があるんじゃないかという気がしますね。

【吉田】

国際キワニスで統計を取ったところ、40人から50人ぐらいの規模のクラブというのが非常に永続性があるということのようですね。大きいと大きいなりに、活動はできるけどしばしば分裂するみたいで、一番最強なのは40人から50人ぐらいの規模のようですね。

国際のレベルでの投票数というのは、クラブ単位で、クラブの人数じゃないんですね。それに対して、批判もありまして、やっぱり人数も投票の数に影響させるべきだと主張するところもあるわけです。例えば、フィリピンは、規模で見たら、一つのクラブが20人ぐらいなんですが、クラブの数が多いわけです。



従って、投票数も多いんですね。

逆に、日本は、ちょっと特別といいますか、非常に規模の大きなところが多いですね。東京の他にも、名古屋も熊本も大きいですね。

【廣瀬】

東京クラブは10票ぐらいもってちょうどいいわけですね。

【吉田】

と、思いますけどね。今、(日本地区全体で)6票しかないですけどね。

【重成】

やはり、日本全体を考えれば、むしろクラブ新設に力を入れていって、全体としての人数が増える方向に力をいれるべきだと思いますね。

【古屋】

私も、昔ロータリーに入っていたことがありますが、大体50人ぐらいになってきますと、同じ町の中で、新しいロータリーを作ろうという傾向がありましたね。

ただ、東京キワニスクラブの実態からいうと、今の事務局運営費は、会員の会費で基本的にまかなっているわけですから、200人を切るとかなり財政上苦しいんじゃないかと、社会貢献活動、表彰制度、ボランティア活動というような基本的なことができなくなってしまふ気がします。200を超えて250ぐらいまでの間であれば、いいかなと思うんですが、今年度は会員増強で何人増えるか楽しみです。

【司会】

そうすると、会員の規模をそれなりに維持していくということが、必要ということです

ね。

【吉田】

東京クラブはその点とてもうまくやっているとと思うんですよ。すごくエリートクラブだったのがだんだん色彩が一般的なクラブに変わっていくということを見事に乗り切りつつあるのではないかなと思うんですよ。乗り切っていないところあるんですよ。早く創立されたようなところで、この方向で行くと、若い人たちも女性も入ってきて、日本でのキワニス活動をリードできていくクラブとしてずっと継続していけるんじゃないかなというふうに思いますね。

【中川】

僕も吉田さんの意見に同感ですね。地方から東京クラブを見た場合に、何となく見えるものというのはそういうことなんじゃないかな、また、さっきの廣瀬さんの指摘も当たっているとと思うんですね。ロータリーとライオンズというのは、民の文化だということで、それじゃあ官主体のもの作ろうということでキワニスができる。そして、時代が変わってきたら、吉田さんが言うようにそれに合わせてうまく変貌してるのかなと思います。東京については、損益分岐点が200人ぐらい。地方は、ロータリー、ライオンズも含めて、損益分岐点が4、50人ということなんじゃないかな。そして、大きくなったらまとまらないから細分化していく。そういう意味では、大きなマクロの流れは吉田さんがコメントしたようなものだと思いますね。

【菊岡】

私は、千葉と横浜のキワニスを渡り歩いて東京に来たんですが、東京は威張ってる、えらい人ばかりだという感じは、千葉と横浜

にいたときはありましたね。ですから、東京は置いて、東京湾挟んで両方で仲よくしようといっていました。千葉や横浜の人たちは、東京の人たちはえらい人たちで、やかましくてうるさくてという感じでしたね。

昔、赤澤大先輩がいつも言っていたのは、東京クラブはエクセレントメンバーだ。その意味は、民間なら一部上場会社の常務以上で50歳以下、役人も本省の審議官、局次長以上だと。そのぐらい、頭が高いって言う感じでしたね。

【小野】

今でしたように、キワニスクラブは全国にたくさんあるんですが、今まで横の交流が意外と少なかったんじゃないかな。なぎさ会は、横浜クラブ、埼玉クラブの方が入って、それからガバナーだった名古屋の齋藤さんが入って、最近では神戸クラブからも来るんですよ、2人ね。そういうつながりがあると、いろんな情報交換ができるんですね。私は、このきっかけは、東京、横浜、埼玉が合同で行ったドールシンポジウムだと思うんです。あれが一つのきっかけになって、少しずつ横に広がりが出てきて、この前の横浜クラブの花火に東京クラブが相乗りするというような、そういう相互交流がはかれるっていうことになる、一気に全国というのは難しいですけれども、少なくとも向こう三軒両隣ぐらいは、いろいろ仲よくして、共同の事業をやってみたり、懇親を一緒にやってみたりというようなことになる、少し輪が広がっていくんじゃないかなという感じがしますね。

【山下】

その通りだと思いますよ。

【古屋】

統計的にみても、毎年少しずつ東京クラブの人たちが、他のクラブの例会やイベントに行く件数が増えてきてますよね。例えば、札幌クラブの40周年に出かけるとか。そういう形の相互交流がこれから広がっていくことを期待したいと思います。

【重成】

キワニスの場合、奉仕活動が大きな柱なんですけど、海外などとのコミュニケーションとか、交流とかも、これはやはり非常に大切だと思うんですね。そういう意味では、200人規模の会で、うまくいってるのは、一つは、なぎさ会とかワイン会とかいう形で、夜お酒を飲みながらの交流が増えたのがすごい、貢献してんじゃないかと思います。

【吉田】

地区には、ディビジョンっていうのがあるんですよ。これが、これまで長いこと、有名無実だったんですよ。私は、今度副ガバナーということで、ディビジョンを統括する立場になりますけど、いろんなことを最近お願いしたいと思っています。ですから、クラブ間の交流についても、まず、ディビジョンでどんどんやっていくべきだと思います。例えば、東京ディビジョンには、金沢も千代田も入っているんですね。そういった意味で、まず、ディビジョンが折角あるわけですから有効活用していくべきだと思います。

ディビジョンというものを存じない方もまだいらっしゃるんじゃないかと思います。実は、私も事務局長の時に、「あなたの所は、いくつディビジョンがあるんですか。」と訊かれて、知らなかったの、「いや、うちはディビジョンなんかありませんよ。」と答えてしまったぐらいなんです。

【司会】

最後に、現事務局長の広畑さん、今後の抱負をお願いします。

【広畑】

昨年的一般社団法人化のあとに事務局長になりましたので、事業年度とずれてまして、昨年の12月から事務局長を仰せつかっていますが、まだ会員歴も事務局長歴も新米です。古屋前事務局長にサポートしていただきながら、若葉マークでやっていますが、今日諸先輩方のお話をお聞きしてみると、諸課題の一つずつ克服され、その遺産の上に現在の私たちが乗っているのかな、ということを変えて感じた次第です。安直に乗っかっているだけではいけないので、現在の課題一つでも二つでも解決し進展させて、次の世代に引き継いでいかなければいけない、と思います。

今年は創設50周年という節目の年に当たり、記念式典、靖国神社の慰霊の泉の改修など様々な大きなイベントがあります。キワニスクラブの通常の活動もしっかりやっけていながら、大きな節目の行事についても、皆さん方のお知恵をお借りしながら事務局長として精いっぱい頑張らねばと思っています。

また、東京・千葉国際大会という大きなイベントも夏に控えています。吉田さんがホストコミティの事務総長としてご尽力いただいております、私もオブザーバーとして参加しています。確かに先ほど出たそれぞれのクラブ間の相互交流が少なかったという過去もあるようですけれども、今回のホストコミティを拝見しておりますと、東京、千葉、埼玉、横浜、それに千代田の5クラブの方々



が参加しております、横の交流というのも一層図れてきているという気がします。

山下元事務局長はじめ諸先輩のお話をうかがうと、時代の変遷を経て、キワニスの性格も少しずつ変化しているようです。今年の50周年という節目を機に、過去の伝統なり遺産を大事にしつつ、新たな伝統、新たな遺産を積み重ねていく年にしたいものです。新米事務局長も微力ながら頑張りますので、諸先輩事務局長からのお力をお借りしたいと存じます。よろしく願いいたします。

【司会】

朝早くから長時間皆さんありがとうございます。



12の委員会の活動

財務委員会

鏡川 陽介

東京キワニスクラブの創設以来、財務委員会は、原則会費のみの資金によりクラブの風格を保ちながらも、健全財政を維持することに努力を傾けてきました。財務委員会の活動は、予算の策定から決算書類の作成審議が主な活動ですが、他の委員会から新しい枠組みでの活動が提案された際に、会計・財務的見地からその新しい活動をサポートする事も、財務委員会の重要な役割となっています。

ここでは、あまり表に出ることのない財務委員会の活動の中でも、わりあいに会員の方々に馴染みのある事項を少数ではありますがご紹介し、他の委員会とは少し毛色の異なる財務委員会の活動を知っていただきたいと思えます。

1 メルシー基金

メルシー積立金は、定時総会でご承認をいただいている決算書類の中でも、位置づけが度々変わっている項目で、財務委員会では過去に様々な検討が行われてきました。

メルシー基金は、陽の当たらない施設への援助を目的として昭和44年に設定され、爾来45年が経過しているものです。その用途は、「慰霊の泉」の修理維持費、キワニスドール関係の支援費、施設への寄付等に用いられておりますが、昭和54年には盲人職能開発のためのオプタコン(文字読取装置)2台を寄贈という例も記録に残っています。その当時はキワニスメルシーボックス基金と呼ばれていたようです。

このメルシー基金は、平成17年9月期までは「一般会計」に対して「メルシー特別会計」として独立した会計単位を構成していました

が、平成18年9月期からは「メルシー積立金」という項目で「一般会計」を経由した上での、「積立金収支」としての表示に変更されました。

また、平成23年9月期には、当時の社会的情勢の中で監督官庁の指導を受けて従来の「メルシー積立金」を新たに「メルシー基金会計」「メルシー基金」という項目に変更しています。

さらに、平成25年9月期の決算書類では、過去からの処理を継続し負債として表示されていた「メルシー基金」の会計的な性質が見直され、正味財産の内訳項目として表示されるに至っています。

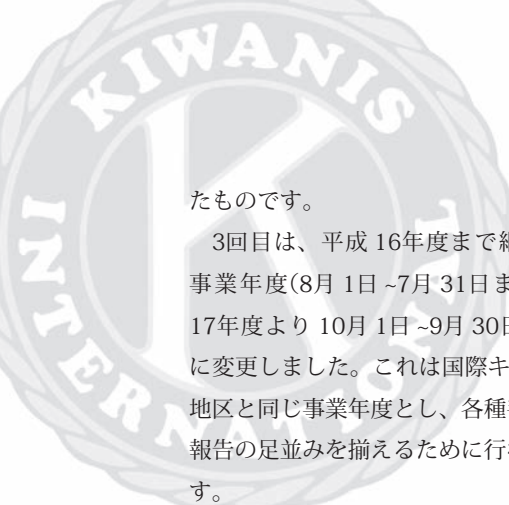
これらの決算書類の変遷は、それぞれの時点でクラブの置かれた状況を考慮し、最も適切にクラブの状況を表すため、財務委員会で議論が行われた結果です。

2 事業年度の変更

クラブは、この50年において3回の事業年度変更を行っています。

最初の変更は昭和44年度です。創設以来の事業年度は1月1日~12月31日でしたが、役員任期や年次総会の開催日の変更とともに事業年度も整理が行われ、昭和44年から事業年度末は9月末となりました。

2回目は、昭和57年度において、事業年度を8月1日~7月31日へ変更しています。これは役員の任期が10月から9月であったため、役員選任の定時総会を9月末に行っていましたが、事業年度が10月1日~9月30日では定時総会に決算書類を提出することができないという状況を解決するために行われ



たものです。

3回目は、平成16年度まで継続してきた事業年度(8月1日~7月31日まで)を平成17年度より10月1日~9月30日の事業年度に変更しました。これは国際キワニス・日本地区と同じ事業年度とし、各種手続きや数値報告の足並みを揃えるために行われたものです。

これらの事業年度の変更についても、その時代ごとにクラブの置かれている状況を考慮し、理事会をサポートする形で財務委員会でも議論が行われてきたものです。

3 一般社団法人への移行

クラブは、平成24年10月に一般社団法人東京キワニスクラブとして新たなスタートを切りました。この経緯については、一般社団法人への移行において多大なお力を発揮された伊藤康成会員が説明されていますので、そちらをご覧くださいと思いますが、その

過程においては財務委員会での議論が行われたことは言うまでもありません。

4 サテライトクラブの設立

近年、福井県人サテライトクラブやパソナサテライトクラブが設立されています。これらは、より柔軟にクラブの活動を活性化することや活動の幅を広げていくことを目的としています。クラブサテライトという新たな枠組みで設立されるものですから、会計財務面においても検討をすべきことが発生します。これらの新しい枠組みが順調に出発できるよう、事前に会計財務面の問題点を検討するのも財務委員会の活動の一つです。

最後に、財務委員会では各委員会及び会員の方々が充実した活動を行うる財政状態を陰ながら維持し、クラブの更なる発展に寄与していくことを、これからの50年においても継続していくことを確認させていただきま

メンバーシップ委員会

吉國 眞一

キワニスクラブの活動にとって、積極的に活動に参加する会員を確保していくことが極めて重要であることは言うまでもありません。メンバーシップ委員会は、入会、退会、休会希望の審査という定例的な活動を通じて、会員をコンスタントに補充し、増強していくよう努めています。1964年、オリンピックの年に91名でスタートした東京クラブの会員数は、日本経済の発展と共に順調に増加し、1992年には、300名の大台に達しました。しかし、その後は、バブルの崩壊で日本経済が低迷する中、会員数は減少に転じ、21世紀に入って、一時は200名スレスレにまで落ち込みました。その後、サテライト・ク

ラブの設立なども含む会員増強活動により、50周年を迎えた本年には、240台にまで回復しております。

キワニスクラブの発足当時は、「一部上場企業の代表権を持つ役員ないしこれに準ずるもの」といった高いハードルが事実上の資格要件となっており、ロータリーやライオンズ同様、財界活動の一環として入会され、会費も会社負担といった会員も多かったそうです。バブル崩壊後、企業の余裕資金が減少し、一方、CSR活動が多様化するなかで、そうした実質法人会員のなかたちでの勧誘は困難になってきたことが、会員数減少の基本的な背

景と考えられます。こうしたなかで「子ども達のための活動」という目的に共鳴する個人の集合体という、キワニスの原点に立ち返って勧誘活動を行っていくことが必要になっている訳です。

会員数の増強と並ぶ課題は、会員の高齢化対策です。1964年の発足時に、49歳だった正会員の平均年齢は、20周年では63歳に上昇し、現在69歳です。日本ではキワニスの母国アメリカのようにNPO活動が定着していません。常勤の仕事を持つ方々が例会等の活動に参加することが難しい状況では、新入会員に想定される年齢層が有る程度高いものになるのは、止むを得ないでしょう。しかし、子ども達の支援というキワニスクラブの理念を考えた場合、できるだけ若手の会員を増やすことが望まれます。若年層にとっても魅力的なクラブとなるよう、キワニス・ユース・フォーラム等との連携の活動を強化していくことが求められています。若手を対象としたサテライト・クラブの新設も一つのアイデアです。このほど新設されたパソナ・サテライト・クラブは20代、30代の会員が中心になっています。

今一つ重要な課題は、女性会員の増強です。国際キワニスが女性に門戸を開放したのは、1987年でしたが、東京クラブ最初の女性会員誕生は、1996年とかなり遅れました。当時の記録をみると、女性会員に否定的な意見を持った会員も多かったようです。その後は、女性の会長やガバナーも誕生するなど、女性会員はすっかり定着しました。しかし、日本地区の女性会員比率は、最新時点で約15%と、キワニスの平均(2012年時点で26%)を大きく下回っています。特に、東京クラブの女性比率は8%と日本地区のなかでも低い方に属しています。メンバーシップ委

員会では、本年、女性会員増強のタスクフォースを立ち上げ、サテライト・クラブの新設も視野に入れた検討を行っています。

この間、新入会員がキワニスの活動にスムーズに入っていけるように、入会後のフォローアップに努めることも必要です。メンバーシップ委員会では、半年に1回程度、その期間に入会された会員と、役員との懇談を通じてクラブの活動についての理解を深めてもらう、「オリエンテーション」を開催しているほか、人数の少ない若手会員から意見を聞く機会を設けたりしてきました。

それでも、例会等で疎外感を味わい、休会したり、幽霊会員化したりするケースもみられています。特に会員数の少ない女性会員の場合、肌理細かいフォローアップが望ましいとの意見もあり、メンバーシップ委員会では、入会后1年間程度、新入会員と連絡をとって、例会等の出席、委員会活動への参加についてアドバイスをを行う「メンター」制度の導入を図ってはどうかとの観点から、当面、推薦者にその役割をお願いするというかたちで試行的に開始することとしました。



若手会員意見交換会の模様
(2011年8月)

東京キワニスクラブは、東京オリンピックが開催された1964(昭和39)年1月24日に設立され、今年で50周年を迎えました。この機会に、事業企画委員会の活動状況につき、50年の歴史を振り返りながら、ご報告したいと思います。

事業企画委員会の所掌は、細則によれば、例会およびファミリーデーの計画、運営並びに委員会に属さない事項とされています。

因みに、今年度の事業計画書では、会員の資質向上のための例会等での講演会と会員相互の交流・親睦のための各種会合、レクリエーション、文化活動の充実をはかることを基本方針としています。具体的な活動としましては、

- ①例会、昼食講演会の開催(毎月第1、第3、第5金曜日、1回あたり平均約70名の出席)
- ②昼食懇談会の開催(毎週火曜日、同約30名の出席)
- ③新年互礼会の開催
- ④ファミリーデーの開催(今年度は、50周年記念式典・祝賀会)
- ⑤靖国神社「慰霊の泉」献納記念昇殿参拝並びに竣工祭の開催、を実施しております。

例会は、設立当初は、毎週金曜日の昼に開催していましたが、2003(平成15)年5月から、第1、第3、第5金曜日に変更され、現在に至っています。本年1月21日に開催された例会は、当初から数えて2169回を迎えております。

例会は、スタート時の1964年には、前年の1963年に、永田町に開業したばかりの

真新しい東京ヒルトンホテル(ビートルズが1966年来日時に宿泊したホテルで、現在はキャピトル東急ホテルとなっています)で開催されておりました。その後、1976(昭和51)年1月9日、経団連会館に移され、さらに、経団連会館の建て替えに伴い、新経団連会館、学士会館、如水会館、銀行倶楽部等、例会会場をどこにするか検討した結果、2009(平成21)年5月15日、現在の会場となっている法曹会館に移されることになりました。

例会時における講演会の講師選定にあたっては、会員の社会貢献の精神涵養を念頭に置き、政治、経済、歴史、文化、芸術等多岐にわたって、その道に造詣の深い方々をお願いしておりますが、こうした中で、とくに今年は会員増強に力を入れてきた結果、多くの新入会員に入会していただいたこともあり、新入会員の方々に積極的に講師役をお願いしているところです。

例会講演について、このたびの50年史作成にあたって、「東京キワニス30年の歩み」を紐解いたところ、大変興味深い例会時における講演会の記録が残っておりまして、ここにご紹介させて頂きたいと思います。

1966(昭和41)年に、明治百年記念事業として、「慰霊の泉」献納とともに、例会時に「明治百年記念講演会」が開催されましたが、この講演会の趣旨は、この100年の間に活躍した人物や重要な事件を回顧することにより、「日本人とは何か」「日本人はいかに生きるべきか」「日本の今後の方向はどうあるべきか」を探求しようということであったそうです。1966年4月から1年半、30人の講師の方々に講演頂き、後にこのうち21

名の講演を収録した「秘話・日本の百年」が大和書房から刊行されました。当時1万部近くの販売実績を上げたそうです。本書は、事務局に数冊保存されていますので、ご興味をお持ちの方は、一度事務局に出向かれ、お手にとられてみては如何でしょうか。

ご参考までに、記念講演の演題および講師を引き受けて下さった方々は、以下のとおりです。

- 1 「山本五十六」雑談 阿川弘之
- 2 東京語のうづりかわり 池田弥三郎
- 3 三代疑獄史 河井信太郎
- 4 国粹主義者の系図 児玉誉士夫
- 5 新撰組の経済的背景—明治維新前夜—
司馬遼太郎
- 6 演劇改良運動に活躍した人達
戸坂康二
- 7 三悪追放 菅原通済
- 8 2・26事件の回想 和田日出吉
- 9 三代財界人気質 三鬼陽之助
- 10 日清日露戦争
—明治の軍人と昭和の軍人— 高木惣吉
- 11 東条英機とその時代 矢次一夫
- 12 日本共産党秘史 神山茂夫
- 13 三代を生きるわが母おはなはんの生涯
林謙一
- 14 教育(大学) 三代 永井道雄
- 15 三代株屋気質 遠山元一
- 16 三代宰相論 御手洗辰雄
- 17 誇り高き官僚 後藤文夫
- 18 大蔵大臣列伝 小汀利得
- 19 三代男の花道 小島直記
- 20 三代竹の園生 入江相政
- 21 三代サラリーマン気質 坂本藤良
- 22 日本官僚論 細川隆元
- 23 三代謀略秘話 岩畔豪雄
- 24 誇り高き資本家たち 野田一夫
- 25 第二次廃藩置県 水野重雄
- 26 三代作家気質 今東光
- 27 満州大陸にかけた夢 星野直樹
- 28 八月十五日—終戦秘話— 木戸幸一
- 29 戦後20年 大宅壮一
- 30 明治200年 松永安左衛門

事業企画委員会では、連綿と続く伝統ある例会が一層盛り上がりますよう、卓話の講師選考には総力を挙げて取り組んでいく所存ですが、これまで以上に会員皆様のお力添えを頂きたく、よろしく願い申し上げます。

新年互礼会は、毎年第一金曜日の夜、銀座7丁目のサッポロライオン クラシックホールで開催されています。

今年の新年互礼会は、大寒波到来で、この冬一番の冷え込みにもかかわらず、50周年の節目の年ということもあり、会員、パートナー合わせて96名と大勢の方々に参加されました。藤原会長による思いの籠った新年のご挨拶の後、午年生まれの会員による鏡開き、リージョン・オブ・オーナーの表彰、福引等が行われ、大変賑やかで和やかな新春の歓談となり、50周年にふさわしい幕開けとなりました。

事業企画委員会のもうひとつの大きなイベントであるファミリーデーの歴史は古く、東京キワニスクラブが設立された翌年の1965(昭和40年)3月に第1回レディスデーが開催されています。毎年春秋に、パートナーとご一緒に、東京プリンスホテル等で開催されておりました。その後、1987(昭和62)年、ワシントンで開催された国際キワニス年次総会で女性会員が承認されたことを契機に、ファミリーデーと名称変更となりました(因みに、初代女性会員は、1996年11月に入会

された志賀真理子会員と奥谷禮子会員のお二方です)。ファミリーデーの会場も東京プリンスホテルから、1972(昭和47)年に京王プラザホテル、2001(平成13)年には銀行倶楽部へと移転され、本年度で第65回の歴史を重ねております。

今年ファミリーデーは、50周年記念事業として、50周年記念式典・祝賀会と名称変更し、4月11日(金)午後5時40分から、丸の内銀行倶楽部で開催されました。

グンター・ガッサー国際キワニス会長ご夫妻はじめ、マレーシア、台湾、フィリピン、国内18クラブのキワニアン、「慰霊の泉」建立のご縁で、靖国神社の宮司にもご参加いただき、総勢178名と大勢の方々のご出席のもと、盛大な祝宴となりました。藤原会長から力強い開会宣言がなされた後、グンター・ガッサー会長はじめご来賓の方々からご祝辞をいただきました。ソプラノ歌手の中丸三千繪さんによるリサイタルでは、有名なオペラ・アリアから懐かしい日本の歌も織り込まれ、場内割れんばかりの拍手喝采で、会全体も大いに盛り上がりました。来賓および会員の皆様には、お土産に50周年記念の栞とピンバッチをお持ち帰り頂き、50周年記念にふさわしい拡大ファミリーデーとなりました。

最後に、事業企画委員会主催で、靖国神社「慰霊の泉」献納記念昇殿参拝を行っております。これは、例会の一環として、毎年、「慰霊の泉」を献納いたしました4月18日に最も近い金曜日に開催されておりました。しかし、2003(平成15)年に例会を隔週開催したことを契機に、例会時の講演を聴く回数が減少するという問題もあって、翌2004年から、桜の開花状況に合わせて、3月下旬から4月上旬にかけての火曜日の午前中に昇殿

参拝を行ない、そのまま火曜会に出席できるように変更されました。

本年は、50周年記念事業として、10年振りに「慰霊の泉」の大改修工事を行ったこともあり、その竣工祭に合わせて、6月10日(火)に、昇殿参拝が厳かに取り行なわれました。

以上のように、東京キワニスクラブ50周年を機に、この間の事業企画委員会の活動状況を振り返ってみましたが、事業企画委員会としましては、今後50年を見据えて、東京キワニスクラブによる社会貢献のベースを一層拡充してまいりますとともに、会員の社会奉仕意識の涵養に努めてまいりたいと思っておりますので、今後とも皆様のご協力・ご支援を、よろしくお願い申し上げます。



東京キワニスクラブ ファミリーデー
(2009年5月29日)

国際委員会

林 昭彦

国際委員会では、夏季を除いて隔月、年5回程度の頻度で国際懇話会を開催しております。ここでは国際的に活動している内外の方々を夕食会に招き、その時々のホットな国際問題について約1時間の講演をお願いし、その後20~30分間の質疑の時間を設けています。

昼の例会より時間をかけて踏み込んだ話を伺い、さらに、質疑応答を通じて国際問題についての参加者の理解を深めることができたと考えております。



第20回国際懇話会
講師 朱建榮東洋学園大学教授
(2004年6月11日)

国際懇話会一覧

1	1996.4.18	マーティン・ローレンス・ヴィヴァース (駐日ニュージーランド大使)	ニュージーランド政府の改革について
2	1997.9.3	ヴィットリオ・ヴォリピ (スイス銀行駐日代表)	日本とイタリアの文化の違い
3	1998.11.16	田中 雅 (華麗な転身をした国際的チェリスト)	為替トレーダーの創造的人生
4	1999.2.10	ドブロヴォルスキー (在日ロシア大使館特命全権公使)	ロシア及び日露関係の現状と展望
5	1999.5.26	バルバラ・スウォムカ (ポーランド大使館文化担当一等書記官)	ショパン没後150周年 ショパンの生涯と音楽について
6	1999.9.27	辺 真一 (コリア・エンタープライズ編集長)	朝鮮有事と日本有事
7	2000.1.27	神余 隆博 (外務省欧亜局審議官)	今日(こんにち)のドイツ
8	2000.9.4	グレン・フクシマ (アーサーDリトル社長)	21世紀の日米関係
9	2001.6.13	谷野 作太郎 (前駐中国大使)	最近の中国と日中関係
10	2002.3.1	木島 輝夫 (前駐アルゼンチン大使)	日本から一番遠い国 (アルゼンチン)の話
11	2002.9.24	ロバート F. グロンディン (在日米国商工会議所代表)	The Effect of Enron Bankruptcy on Global Corporate Governance
12	2002.12.16	グレン S. フクシマ (日本ケイデンス・デザイン・システム社長)	最近の日米関係
13	2003.5.22	ヤドヴィガ M. ロドヴィッチ (駐日ポーランド共和国大使館代理大使)	日本・ポーランドの友好関係
14	2003.6.26	関 志雄 (独立行政法人経済産業研究所上席研究員)	中国の台頭と日本
15	2003.7.17	佐藤行雄 (前国連大使(財)日本国際問題研究所理事長)	国連と日本
16	2003.9.10	ドミンゴ L. シアゾン (フィリピン共和国大使館特命全権大使)	東アジア共同体の建設と日本の役割
17	2003.11.5	康 仁徳(カンジントク) (元統一院長官、元韓国中央情報部第9(北朝鮮)局長)	韓国の政情と北朝鮮問題
18	2004.2.13	サム・ジェームソン (ジャーナリスト、元カゴ・トリビュン、LAタイムズ東京支局長)	バブル崩壊後の第三の日本



19	2004.4.14	山内昌之 (東京大学教授)	大中東構想とイラク復興をめぐる — 21世紀日本外交の選択
20	2004.6.11	朱 建榮 (東洋学園大学教授)	中国第三の革命 社会と国民意識の変化を見る
21	2004.11.2	渥美堅持 (東京国際大学教授)	なぜ世界は 中東に大きな関心を持つのか
22	2004.11.29	グレン・S・フクシマ (日本 NCR (株)代表取締役共同社長)	アメリカ大統領選を踏まえて、 今後の日米関係について
23	2005.3.28	寺谷弘壬 (青山学院大学教授)	大国ロシアと日露関係
24	2005.6.8	デビッド H. サターホワイト (在日米商工会議所副会長)	変貌をとげつつある日本と東アジアの関係に ついての考察 —社会経済的、政治的、及び教育的側面から—
25	2005.9.28	鈴木典幸 (ラジオプレス理事)	北朝鮮問題の現在
26	2006.2.6	ピーターデイヴィドピーターセン (イースクエア代表取締役社長)	LOHAS 的ライフスタイルのすすめ
27	2006.3.6	森本 敏 (拓殖大学海外事情研究所長)	アジアの現状と日本外交
28	2006.6.7	金 英柱 (ジョージワシントン大学名誉教授)	北朝鮮の核問題とアメリカの対応
29	2006.9.25	片倉邦雄 (元イラク、エジプト大使)	イスラームの日常・非日常
30	2006.11.28	孔 健 (NPO 法人日中経済促進協会理事)	これからの日中関係 — 本当の故錦濤時代の到来と今後の展望
31	2007.2.5	小川和久 (軍事アナリスト)	我が国の防衛はいかにあるべきか
32	2007.4.23	ケント・カルダー (ジョンズホプキンス大学高等国際問題研究所ライシャワー東アジア研究所長)	これからの日米関係と日本の役割
33	2007.6.12	辺 真一 (コリアレポート編集長)	どうなる北朝鮮問題
34	2007.9.10	柳井俊二 (前駐米大使、有識者懇談会座長)	今なぜ集团的自衛権か
35	2007.11.12	畑中美樹 (よじき) (国際開発センターエネルギー環境室)	中東世界の変貌と今後の展開
36	2008.2.5	M. Y. ガルージン (在日ロシア連邦大使館 公使)	ロシア外交の現状と日露関係について
37	2008.4.7	平林 博 (元駐インド大使、日印協会理事)	躍動を始めた巨象インドと日印関係
38	2008.6.17	ロジャー・バルバース (東京工業大学教授、世界文明センター長)	日本の正真正銘の国際化は可能か？
39	2008.9.29	松尾文夫 (ジャーナリスト)	近づく米大統領選挙と日米関係
40	2008.11.17	R.A. フェルドマン (モルガン・スタンレイ証券マネージング・ディレクター兼経済調査部長)	日本経済 品種改良の時代
41	2009.2.23	高島肇久 (日本国際放送(株)社長)	オバマ時代の日本と米国の関係
42	2009.5.20	金美齡	台湾は中国とどう向き合っていくのか
43	2009.9.28	野上義二 (日本国際問題研究所理事長兼所長)	国際金融後の世界情勢について
44	2009.11.30	武貞秀士 (防衛研究所 統括研究官)	北朝鮮の核開発と日本
45	2010.2.3	日高義樹 (韓米問題研究所理事長)	米政権から見た、鳩山政権
46	2010.4.27	アブドゥルアジーズ・トルキスターニ博士 (駐日サウジアラビア王国特命全権大使)	サウジアラビアと日本
47	2010.6.28	松浦晃一 (前ユネスコ事務局長)	世界遺産の今後
48	2010.9.2	黄 茂雄 (東元集団会長、中華民国工商協進會榮譽理事長)	台湾から見た中国と日本
49	2010.11.29	宮本雄二 (前駐中国大使)	中国の現状と日中関係

50	2011.2.7	脇祐三 (日本経済新聞社論説副委員長兼編集委員)	中東の構造変化と日本
51	2011.4.25	足立直樹 (株式会社スピアリティ代表取締役)	石油から生物資源の時代へ ～日本とアジアがリードする生物多様性経営
52	2011.6.27	武内進一 (独立行政法人国際協力機構 JICA 研究所上席研究員)	現代世界の中のアフリカ
53	2011.9.6	馮寄台 (台北駐日経済文化代表処代表)	これからの日台関係
54	2011.11.21	猪口孝 (新潟県立大学学長)	東アジア情勢と日米関係
55	2012.2.20	立川敬二 (独立行政法人宇宙航空研究開発機構理事長)	日本の宇宙開発と国際協力
56	2012.4.23	山内昌之 (東京大学大学院教授)	中東の危機と民主化の将来
57	2012.6.18	田中伸男 (日本エネルギー経済研究所特別顧問)	ポスト福島のエネギー政策
58	2012.9.24	田中 均 (日本総合研究所 国際戦略研究所理事長)	世界の変動と日本の将来
59	2012.11.19	古森義久 (産経新聞ワシントン駐在編集特別委員・論説委員)	大統領選挙後のアメリカと世界
60	2013.2.11	菅野雅明 (J.P. モルガン証券チーフエコノミスト)	2013年の世界の潮流と日本経済
61	2013.3.21	藤崎一郎 (前駐米大使)	藤崎一郎 (前駐米大使)
62	2013.6.19	宮家邦彦 (キャンピンググローバル戦略研究所研究主幹)	最近の北朝鮮をめぐる 米中そして日本を加えた4国間のダイナミズム
63	2013.9.26	坪谷 ニュウエル 郁子 (東京インターナショナルスクール代表 国際バカロレア機構アジア太平洋地区 理事)	グローバルリーダーの育成について
64	2014.2.5	中前忠 (中前国際経済研究所代表)	デフレに向かう世界経済 ー進む国際収支調整ー
65	2014.6.3	丹羽宇一郎 (前中国大使、元伊藤忠商事社長・会長)	日中関係と日本経済のこれから
66	2014.9.9	齋藤 健氏 (自由民主党農林部会長、衆議院議員 (千葉7区))	TTP・農業改革

社会公益委員会

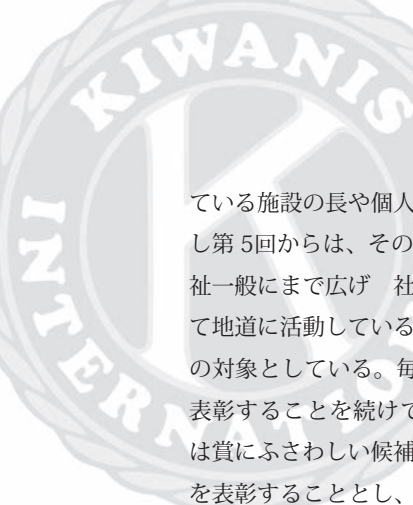
中門 弘

社会公益委員会は、キワニスの主要活動のひとつであり、長年継続して実施している「社会公益賞」の贈呈について、それに関連する諸活動を行っている。賞の対象となる候補者、団体のリストアップから選考方針、審査について、必要に応じて委員会を開催し、活発な議論を行っている。また、候補者が絞られてきた段階では委員が分担して当該団体への訪問調査を行っている。その結果、委員会としての結論をまとめ、役員会に諮った上で受賞者が決定されることになる。なお、平成 26

年の社会公益委員は 24 名である。

社会公益賞は、社会公益のために世間に知られず、酬いられることも少なく、長い間、献身的労苦を続けている人達を広く探し求め、これに賞を贈り、その功績に敬意を表するために、昭和 41 年に創設された。以降、昭和 53 年を除き、毎年授賞を続け、キワニス 50 周年の平成 26 年で 48 回目となる。

創設後数年は授賞の対象を心身障害者対策に絞り、心身障害者の援助や救済に貢献し



ている施設の長や個人を表彰してきた。しかし第5回からは、その選考範囲を広く社会福祉一般にまで広げ、社会公益のために継続して地道に活動している団体または個人を選考の対象としている。毎年1団体ないし1人を表彰することを続けてきたが、第46回からは賞にふさわしい候補が多数ある場合は数件を表彰することとし、第46回、第47回、第48回はそれぞれ3団体を表彰している。また、選考範囲を社会福祉一般としているが、実際の受賞者は、キワニスの活動重点である「子どものための奉仕活動」の観点から、恵まれない子ども達や障害を持つ子ども達への支援活動を行っている団体や個人が多く選ばれている。

授賞の選考については、候補者を東京都福祉保健局、東京ボランティア・市民活動センターおよび会員から推薦してもらい、社会公益委員会で数次にわたる慎重審査の選考を経て、役員会で受賞者を決定している。選考の対象は年により異なるが、10ないし20の候補のなかから選考している。最近では社会福

祉団体の多くがNPO法人となっており、組織や財政基盤が大きいものも少なくないが、選考に当たっては、賞の創設の当初の趣旨を尊重して、規模が大きくなり世間にもあまり知られていないが、継続して地道に活動している団体を重視するように配慮している。

賞の贈呈式は毎年7月の例会で行い、表彰状および副賞を贈呈した後、受賞者から活動の状況や受賞に当たった感想を語ってもらっている。

なお、創設以来の歴代受賞者は一覧表のとおりである。



第47回社会公益賞 受賞者

「キワニス社会公益賞」歴代受賞者

第1回 昭和41年	彦根学園園長 西原正則 (重度盲精薄)
第2回 昭和42年	秋津療育園理事長 草野熊吉 (重症心身障害)
第3回 昭和43年	多摩藤倉学園園長 川田はな (精薄)
第4回 昭和44年	日本聾話学校校長 大嶋 功 (聾)
第5回 昭和45年	島田療育園総婦長 中沢千代子 (重症心身障害)
第6回 昭和46年	浴風園寮母 菅谷キヨ (養護老人ホーム)
第7回 昭和47年	本木隣保館主任 種田あい (セツルメント)
第8回 昭和48年	ベテスダ奉仕女母の家 いづみ寮指導員・奉仕女天羽道子 (婦人保護)
第9回 昭和49年	宇都宮地区 BBS 会 (ともだち活動)

第10回 昭和50年	健康普及会会長 及川裸観(にこにこ裸運動)
第11回 昭和51年	第二聖明園園長 本間昭雄(盲老人ホーム)
第12回 昭和52年	小田原少年園補導主任 横川積治(更生保護)
昭和53年	小田原少年園火災見舞いのため見送り
第13回 昭和54年	日本盲人職能開発センター常務理事 松井新二郎(盲人の録音タイプ速記)
第14回 昭和55年	よこいとグループ(在宅障害児へのボランティア活動)
第15回 昭和56年	「香蘭」店主林 景東(精薄児雇用促)
第16回 昭和57年	東京ヘレンケラー協会点字出版局長 井口 淳(盲人福祉)
第17回 昭和58年	本所ベタニヤ母子寮長 長睦すめる(母子福祉)
第18回 昭和59年	(社福)日本キリスト教奉仕団アガペ身体障害者作業所センター所長 武間謙太郎(重度障害者授産)
第19回 昭和60年	城北福祉センター健康相談室医師 楯取正彦(長年の山谷の医療福祉活動)
第20回 昭和61年	タカラクラブ会長 澁沢歌多子(長年にわたるボランティア、福祉活動)
第21回 昭和62年	手話通訳 飯塚千代子(聴覚障害者の福祉に寄与 手話の発展に貢献)
第22回 昭和63年	映画のおじさん 岡本勝美(長年のボランティア活動、地域福祉に貢献)
第23回 昭和64年	少年補導委託 秋田葉津枝(夫を助け 1200名の非行少女を善導)
第24回 平成 2年	在宅重症心身障害児訪問 関 敏子(保健婦として標記事業の パイオニアとして貢献、同時に後輩の指導にもあたり模範的存在)
第25回 平成 3年	身障者自立運動 渡辺啓二他2(自ら障害を持ちながらヒューマンケア センターを設立障害者を含む弱者の自立に多大に貢献)
第26回 平成 4年	精神障害者社会復帰施設 やどかりの里
第27回 平成 5年	精神障害者社会復帰「JHI 板橋」板橋区心の健康と福祉を守る会
第28回 平成 6年	(キワニス社会公益・国際貢献賞)マザーランドアカデミー (命の大切さを身をもって子どもに伝える) (減反田を使って米を作り飢餓のアフリカに送り続けている)
第29回 平成 7年	社会福祉関係者兵庫県南部地震救援合同対策本部 (阪神・淡路大震災社会福祉復興本部・ボランティア活動)
第30回 平成 8年	関東地区病院ボランティアの会所属病院ボランティア・グループ代表 荒野綾子
第31回 平成 9年	自立の家をつくる会 代表 小佐野 彰(障害者の自立)



第 32 回 平成 10 年	クッキングハウス 代表 松浦幸子 (ボランティア活動 知的障害者のレストラン経営)
第 33 回 平成 11 年	明るい老後を考える会 代表 竹内とき江 (ボランティア活動 高齢者 に対する給食サービス)
第 34 回 平成 12 年	東京医科歯科大学犯罪被害者相談室 代表 山上 皓 (犯罪被害者支援)
第 35 回 平成 13 年	東京 Y W C A ケアサポート 代表 林崎光子 (介護)
第 36 回 平成 14 年	キッズエナジー 代表 大川原千代子 (難病児童支援)
第 37 回 平成 15 年	地域 ST 連絡会・失語症会話パートナー養成部会 代表 田村洋子 (失語症会話パートナーの養成)
第 38 回 平成 16 年	発見工房クリエイト 理事長 橋本静代 (青少年に科学の面白さを体験させる施設の設立、運営)
第 39 回 平成 17 年	世代交流、夢のかけ橋 代表 丸山陽子 (世代間交流の活動を通じ、青少年の更正、立ち直りに尽力)
第 40 回 平成 18 年	NPO 法人東京養育家庭の会 理事長 青葉紘宇 (親のいない子などを自分の家庭で育てる活動)
第 41 回 平成 19 年	NPO 法人女性のスペース「結」 代表 中村敏子 (中野区における DV と児童虐待防止の活動)
第 42 回 平成 20 年	NPO 法人わんぱくクラブ育成会 理事長 里中哲夫 (知的障害児のケア)
第 43 回 平成 21 年	えじそんくらぶ 理事長 高山恵子 (発達障害もしくは行動障害 (ADHD) を持つ人たちとその家族、 教師、専門家への支援と連携)
第 44 回 平成 22 年	ボランティアグループさつき 代表 森川雅志 (親と縁の薄い養護施設の子どもの達への支援活動)
第 45 回 平成 23 年	NPO 法人社会的養護の当事者参加推進団体 日向ぼっこ (児童養護施設、里親家庭などで生活していた人達の居場所相談事業等)
第 46 回 平成 24 年	NPO 法人勉強レストランそうなんだ！！ (知的障害児に関する学習支援) NPO 法人江戸しぐさ (子どもがよき社会人になるための江戸しぐさの普及) 文化・芸術いきいきネットワーク (高齢者向けの文化芸術活動の場の提供)

第 47 回 平成 25 年	<p>NPO 法人ばお（障害を持つ子ども達に対する放課後のデイサービス等）</p> <p>東村山音楽愛好家協会</p> <p>（東日本大震災等で親を亡くした子ども達に対する支援のための募金コンサート等開催）</p> <p>NPO 法人みんなのセンターおむすび</p> <p>（人生半ばで脳血管系の病気や事故で障害を持つに至った人の支援のデイサービス事業）</p>
第 48 回 平成 26 年	<p>東京里山開拓団</p> <p>（荒れた里山を開拓し、児童養護施設の子ども達を連れて行き、自然とふれあいさせ、遊具づくりや落ち葉集め、畑作業などを体験させる活動）</p> <p>HINO 飛ぶ教室</p> <p>（虐待、健康疾病、いじめ、不登校のリスクを抱えている子ども達への居場所提供や支援と、生保受給家庭や低所得のひとり親家庭の子どものための無料の学習支援）</p> <p>NPO 法人楽の会リーラ</p> <p>（引きこもりで悩み苦しんでいる青年とその家族のための電話相談、居場所の開設、出前相談、親のカウンセリング、学習会、就労支援など）</p>

広報委員会

増田 好平

記録によると、広報委員会は、東京キワニスクラブ設立と同時に設置されたようです。初代の委員長は、山下静一という方で、設立の年、すなわち昭和 39 年 1 月から 12 月まで務められました。爾後、現広報委員長の私(増田好平)まで、34 人の方々が、広報委員長を務めてこられました。50 年にわたる広報委員会の歩みをここでご披露することは、ほぼ不可能に近いことですので、最近の 10 年の広報委員会の活動に焦点をあてて、簡単に

まとめてみたいと思います。

まず、10 年前ですが、この当時は、平成 15 年 10 月から平成 18 年 9 月まで北里光司郎広報委員長の時代でした。

この時期には、まず、東京キワニスクラブの「ホームページ」が立ち上がりました。

また、会員同士の 1 対 1 のインタビューを行い、それを「ホームページ」に「今月の人」という形で掲載するという企画が行われました。平成 17 年 1 月から平成 18 年 6 月まで、

36回のインタビューが行われ、最終的に「会員が語ったキワニスライフ」というタイトルで小冊子にまとめられました。

平成 17年 8月、BS 朝日で「キワニスドールを知っていますか」という 1時間番組が放映され、また、キワニスドールの普及活動に役立つよう、この番組を基に 20分間のダイジェスト版を制作しました。この 1時間番組の放映は、入会前の青木秀臣会員のご尽力により実現しました。また、スポンサーには、中田一男元会長・ガバナーのご努力により、「テルモ」が名乗りをあげてくれました。

平成 17年 3月に、読売新聞に「キワニスドール」の記事が掲載され、ドールづくりの希望を募ったところ、全国から、約 700名の方々が応じられました。

北里さんの次の広報委員長は、青野厚子さんでした。青野広報委員長の時に、現在の活動レポートが、当時は「News Release」という名称でしたが、始まりました。青野さんによると、東京キワニスクラブが行っている様々な活動について、会員の皆様に知っていただくことが必要と思い、「News Release」を始めたそうです。

古屋広報委員長の時代(平成 21年 10月から平成 23年 9月まで)に、平成 18年 4月からキワニスドールに関する記事を中心に発行されていた「東京キワニスクラブ・ドール・ニューズレター」を「News Release」と統合し、名称を変更し、「活動レポート Vol.7」(平成 22年 1月)として発行し、以後、現在まで、4ヶ月毎に年 3回発行の現在の形になりました。

活動レポートについては、Vol.13(平成 24年 2月)から直近 4ヶ月の活動結果と 4ヶ月先までの活動予定を、また、Vol.16(平成 25年 2月)から会員数と直近 4ヶ月の新入会員のお名前を掲載しています。

古屋広報委員長の時代には、中川惇事務局

長のご提案を受けて、ホームページの大幅な刷新を行いました。また、東京キワニスクラブの PR のための案内パンフレットを作成したのも古屋委員長の時代でした。さらに、「キワニスドール」の作り方について、会員にわかりやすく理解してもらおうと、約 15分の DVD が作成されました。



キワニスドールの DVD 製作風景
(2010年)

最後に、東京キワニスクラブ 50周年記念事業の 1つとして、平成 25年 3月から、50周年史の編纂を行っています。平成 26年 11月の発刊を目指した 1年半以上の長丁場ですが、東京キワニスクラブの会員の皆様の積極的な協力を得て、取り組んで来ました。

文化委員会

西村 清邦

文化委員会は1965年(昭和40年)に始まりました。当初、目的は日本の伝統工芸の伝承にあたり、特に功績のあった工芸家や職人で比較的世間に知られず酬いられることも少なく苦労を重ねている人々を広く探し求め、その中から毎年1件を選んで表彰し、その労をねぎらうと共にその存在を広く紹介し、日本の優れた伝統工芸の保持発展に貢献する事で、キワニス文化賞が設けられました。第1回から第3回まで東京クラブ独自の事業として、第4回からは他クラブとの合同事業となり、さらに日本地区設立後は日本地区の主要事業に発展、名称を「日本キワニス文化賞」として、第15回以降は地区総会開催地クラブが選考を担当し現在に至っています。第24回(昭和63年)に織りの結城紬、第37回(平成13年)浮世絵の木版彫刻を東京クラブで選びました。東京クラブの文化委員会は、日本の文化に親しく接する、又紹介する事が目的になりました。

人間は文化がなければ耐えられないもので、世界でも例えばボスニア、ヘルツェゴビナでは戦闘の間を縫って音楽会が開かれ、民族を越えて心の安らぎを得ていたそうです。

会員の希望により、文楽を楽しむ会、文楽鑑賞教室、歌舞伎鑑賞教室(国立劇場)、新春歌舞伎(歌舞伎座)、第九を聴く会(東京交響楽団、サントリーホール)、落語鑑賞会(国立演芸場)、美術を楽しむ会(東京アートフェア)、美術を鑑賞する会(静嘉堂文庫美術館、戸栗美術館、山種美術館等)、音楽を楽しむ会(スピカ、エリミネイト・プロジェクト支援コンサート)、オペラを楽しむ会(新国立劇場)が現在続けられています。

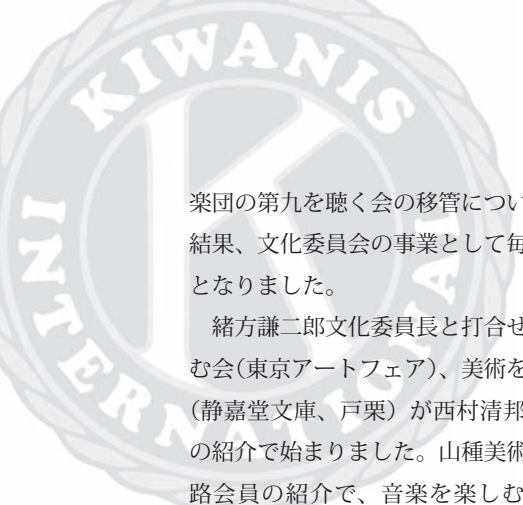
文楽を楽しむ会は、平成16年、大堀太千

男会長のと、芝原正昭元会員から例会講師として「恋する文楽」の作者広谷鏡子氏(NHK)を招いたらどうかという提案があり、菅野明事業企画委員長、文楽に造詣が深い鶴田日夫会員、文化委員長故中村好郎氏の4人で広谷氏を訪問したところ、文楽は話を聞くより観る事ですと、豊竹英大夫を紹介され、菅野氏のチャンネルで文楽を楽しむ会が同年5月14日に開催されました。その後、横山太藏文化委員長に引き継がれ現在にいたっています。英大夫の手配で、人形、三味線、浄瑠璃の解説を聞き文楽を鑑賞し又舞台装置、小道具を見学しました。



第1回文楽を楽しむ会
(2004年5月14日)

平成19年11月文化委員会において、文化活動の拡充を図るため、国立劇場の他の公演について鑑賞する機会を設けることが検討されました。菱村幸彦文化委員長が、国立劇場を所管する独立行政法人日本芸術文化振興の崎谷康文理事を訪れ、キワニスの設立趣旨や活動状況を説明して、料金割引等を受けることとなり、歌舞伎鑑賞教室を年1回、落語鑑賞会を年数回実施することになりました。また、同じ平成19年11月の文化委員会において、従来レクリエーション委員会で実施していた新春大歌舞伎(平成26年歌舞伎座新開場柿落とし公演も観劇しました。)、また、当時の横川端会長のご紹介で始まった東京交響



楽団の第九を聴く会の移管について検討した結果、文化委員会の事業として毎年行うこととなりました。

緒方謙二郎文化委員長と打合せ美術を楽しむ会(東京アートフェア)、美術を鑑賞する会(静嘉堂文庫、戸栗)が西村清邦文化委員長の紹介で始まりました。山種美術館は柵澤青路会員の紹介で、音楽を楽しむ会(スピカ、エリミネイト・プロジェクト支援コンサート)

は西村文化委員長の紹介です。

オペラを楽しむ会は新国立劇場の担当者の提案により2年前から始まりました。

文化委員会の歴代委員長及び委員の方々のご協力により、多種多様の文化活動が行われています。日本や世界文化を紹介することで世に貢献し、また会員に心の安らぎを与えていると思います。これからも益々充実した委員会になる事を祈念します。

レクリエーション委員会

石井 亜佳理

事務局の資料をみると初代のレクリエーション委員長はクラブ発足2年後の1966年に就任していますが記念誌「30年の歩み」の「キワニスごよみ」に関連行事が登場するのは1968年からでゴルフ大会、囲碁大会、東京湾釣大会などが記載されています。その後、囲碁は5年、釣は10年程度恒例の行事として行われていたようです。ボーリングも1968年、1973年、1974年と記録されており世相を偲ばせます。1973年からは「熱海海上花火を楽しむ会」が恒例行事となった記載がありますが1986年の記載が最後で88年、89年は「隅田川の花火とフランス料理を楽しむ夕べ」が登場しています。また73年から20年程は旅行会の開催が目立ちます。同年の奥只見ダム見学、74年から始まって80年を除き82年まで毎年実施されている春または秋の京都旅行、その間75年は沖縄ツアー、82年は大和路を訪ねる旅も実施され、その後も84年の萩・津和野、86年の桂離宮、90年の柏崎原発電見学と佐渡、同年中の四国松山、93年の北海道と続いています。1983年からはグルメ色の強い行事も加わります。同年の「ショーとディナーを楽しむ夕べ」、84

年は小川軒、85年はアピシウスとフレンチの名店が続き、87年は「中国宮廷料理を楽しむ夕べ」、88年は江戸懐石の白紙庵、その後も91年には「うまいもの会」と名をかえ93年まで6回記録されています。この間92年にはこれとは趣の異なる同好会キワニスワインサロンが隔月第3木曜日開催でスタートしています。現在の「ワインを楽しむ会」とも関連するので後述します。ゴルフ会は68年から88年までは毎年、特に85年までの間75、76、82年を除き毎年夏の軽井沢での開催記録があることが目立ちます。その後記録に残っていない時期もあり、現在のように春、秋2回で定着したのは1996年からのようです。春は東京近郊の名門クラブ、秋は箱根湖畔で開催しています。施設見学会の系譜も先に触れた奥只見ダムが73年にありますが常態化するのは83年NHK、84年警視庁、東芝新社屋、85年NHKハイビジョンあたりからで以後はほぼ毎年、時には旅行会も兼ね開催されており、ここ10年間で宿泊を伴ったものは05年の愛・地球博旅行会、08年の尾瀬ハイキング、13年の祇園祭見学会、14年の伊勢神宮参拝です。日帰りで行った06

年5月の日光2社1寺特別参拝は徳川会員に格別のご配慮を頂き定員40名に対しキャンセル待ちが10数名で11月に再度実施しています。過去10年では他に警視庁・日本道路交通情報センター、NHK、サッポロビール千葉工場、防衛庁、ユニセフハウス、全日空機体工場、皇居、気象庁、イージス艦、陸自富士総合火力演習会(2回)、カガミクリスタル、海自観艦式、自衛隊マーチングフェスティバル、NHK放送技術研究所、東芝科学館、東電横浜火力発電所、筑波宇宙センター、東京ディズニーランドホテル内覧会、自衛隊航空観閲式、日本航空整備工場、資生堂鎌倉工場、東京スカイツリー、迎賓館、盲導犬センター富士ハーネス等々です。忘年会も古くからの行事です。1976年の椿山荘が、最初の記録です。81年から95年までは「婦志多」、その後96年から04年までは銀行倶楽部で開催された記録が残っています。また1982年に始まった「新春歌舞伎観劇会」は2009年の会から文化委員会の関連行事となり現在も盛況継続中です。同様に1987年から始まった「第九を聴く会」も09年の会から文化委員会の関連行事となって継続しています。以上が「30年のあゆみ」で起源を確認できるレクリエーション行事です。比較的新しい(と言っても10年以上前に始まっているものもあります。)行事はどうでしょうか。

宝塚観劇会は2003年4月からスタートしましたが現在のようにほぼ毎月ご案内するようになったのは翌04年からです。チケット枚数は近年熱心なファンが減り、現在10枚ですが当初は25枚で、それでもキャンセル待ちが出るという状況だったようです。同じ03年にはサマーパーティの起源と思われる暑気払いビアパーティが8月に開催されています。記録では7丁目ライオンとなっており、5丁目で開催したのは翌年からです。06

年の東京湾クルージング、13年の横浜クラブの家族納涼例会への参加(横浜湾花火大会)などの代替行事も含め現在まで続いております。囲碁大会は1968年から5年間記載されていますがその後2006年3月に囲碁愛好会が発足しました。現在、新有楽町ビル10階の電気倶楽部で原則毎月第4火曜日に実施されており会員の藤澤一就八段の指導もあります。「日本酒を楽しむ会」は2008年2月に始まりました。これについては小野幹事が別稿で記載されます。2010年になると年3回(東京での場所)の大相撲観戦会も始まりましたが現在4~5人用で椅子、テーブルのあるボックス席も確保するようになり盛況となっています。また、以上のようにレクリエーション委員会の関連行事はかなり盛り沢山ですが定例化しているゴルフ、囲碁(年末の忘年会を含む)、日本酒を楽しむ会、大相撲は幹事さんが面倒をみてくれますし、宝塚は事務局で手配してくれます。従って施設見学会ないし旅行会とサマーパーティ、ワインを楽しむ会の運営がレクリエーション委員会での主要議題となります。これらの行事は矢張り東京キワニスクラブならではの特色あるものにし参加人数の増加を目指したいですし、特に新入会員の方が各人の趣味、興味にあわせて楽しく打ち解けて参加できるような行事を心掛けていきたいと思っております。今後とも会員の皆様の御助力に期待する次第であります。



春季ゴルフ大会我孫子 GC
(2006年4月11日)

青少年教育委員会

磯田 壯一郎

東京キワニスクラブでは、その社会貢献活動の一環として、社会に奉仕する団体や個人に対する助成を行っています。特に青少年の社会貢献活動については、これを積極的に推進する観点から、社会奉仕活動を行い、又は、青少年の健全な育成もしくは国際的な活動に努める学生主体のボランティア団体に対して、特に優秀な団体を毎年選定して表彰する制度を設けて、その活動の発展を支援する取組を行っています。これが東京キワニスクラブ青少年教育賞です。

この賞は、1985年(昭和60年)に設けられ、対象団体の選定や表彰式の実行、結果の広報等の実務は東京キワニスクラブ青少年教育委員会が担当して実施しております。この表彰制度の設立以来、今日までに41の団体と5人の個人が本制度による表彰を受けております。各団体および個人の名称と表彰対象となった事業については別表のとおりとなっております。

表彰制度設立以来30年を経て、他の表彰制度との重複を避けるために表彰時期や表彰式の会場などは随時見直されてきましたが、社会奉仕活動、又は、青少年の健全な育成もしくは国際的な活動に努める学生主体のボランティア団体という基本に変わりはありません。今年(2014年)については、次の応募資格を持つ団体の中から選考が行われることとなっております。

◎応募資格(以下3つの応募資格を満たしているボランティア活動団体)

1. 学生が主体的に活動している
2. 原則として設立から5年以上である
3. 関東周辺を拠点に活動している

応募してきた団体の応募書類は、キワニスクラブ青少年教育委員会に於いて慎重に審議が行われ最終的に以下のように最優秀賞と優秀賞が選定されます。

・最優秀賞 1団体 賞状又は楯
副賞 30万円

・優秀賞 1~2団体 賞状又は楯
副賞 10万円

表彰式は、最近では、例会とは別に部外の会場を借りて開催されることになっており、毎回多数の関係者が集まって、盛大に挙行されています。

過去の受賞団体は、別表のとおりで、今日までに41の団体と個人5人の方が表彰を受けています。

第30回の青少年教育賞については、平成26年8月30日に表彰式が行われ、最優秀賞に劇団虹が、優秀賞に立正大学児童文化研究部及び神奈川県警察大学生少年サポーターがそれぞれ選ばれました。前二者は、地域の子どもたちの情操教育への貢献について評価されたものであり、後の一者は犯罪にかかわった少年たちの更生への支援活動を評価されたものです。

以上の結果、30年間での受賞団体は、44団体となりました。

青少年教育賞歴代受賞者

回	団体又は個人名	受賞理由
1	東京青少年補導員連絡協議会	少年非行の防止に献身
2	修養団 日本青年奉仕協会 全日本鼓笛バンド連盟	青少年の団体活動を振興し、あるいは青少年の社会参加と連帯のためのボランティア活動を推進
3	ハーモニーセンター 青少年交友協会 育てる会	ポニー乗馬教育で青少年を育成 青少年を自然に親しませ相互交流を図る 社会教育活動の指導者を育成
4	(社福) 日本国際社会事業団 伊東よね (個人)	国際養子縁組等で混血児等の福祉の向上に寄与 里親事業で子どもたちの福祉の向上に寄与
5	埼玉県里親会 横堀ホーム代表横堀哲夫 (個人)	里親事業で子どもたちの福祉の向上に寄与 養護施設で里親の役割も兼ねて養護事業を実施
6	ロイ・アッセンハイマー (個人)	薬物依存症の青少年の社会復帰
7	全国 VYS 連絡協議会会長三好清隆 (個人)	障害児と健常児のふれあい活動を推進
8	ボランティアグループ留学生相談室	留学生の相談窓口の開設運営
9	羽根木プレイパークの会	子どもが元気よく遊べる遊び場の確保
10	精神発達障害指導教育協会	障害者が一般社会に定着できるよう指導、訓練
11	芝の会	ベトナム難民の子女の教育への協力
12	代田おもちゃライブラリー 二子おもちゃ図書館ぼっぼ	おもちゃを通じた障害者と健常者のふれあい活動
13	理数専門点訳会シグマ	理数専門書の点訳
14	バクの会	登校拒否児童等の立ち直りの支援
15	こども王国首脳会議	子どもによる首脳会議の開催
16	CEP・子どもひろば	子どもの自己防衛のための実践教育
17	源吾朗 (個人) Junko アソシエーション	ボランティアでの大道芸活動 ベトナムの児童に対する奨学金支援
18	あゆみの会ファミリーキャンプ	自閉症児童に対しキャンプ活動で社会復帰支援
19	淑徳短期大学非行問題研究会	学習指導による母子家庭の子ども非行防止
20	国際基督教大学点訳サークル	サークル活動を契機に盲学生の受験が可能に



21	明治学院大学ボランティアグループ「おもちゃびん」	入院中の子どもと遊んで勇気づける
22	立教大学「GIRLSFRIENDLYSOCIETY」 田園調布学園中等部高等部（特別賞）	各種社会福祉施設の訪問活動 学園でのボランティア活動の指導
23	国分寺子どもクラブ	国分寺の子どもたちとの交流活動
24	大正大学障害児問題研究会	練馬地区の障害児童との交流活動
25	早稲田大学グローブプロジェクト	フットサル大会で資金集めをして地雷等を除去
26	CCS 世界の子どもと手をつなぐ学生の会（最優秀賞） CFF ジャパン（優秀賞） 都立野津田高等学校手話部（優秀賞）	外国にルーツを持つ児童の学習援助等 フィリピンとマレーシアで「子供の家」を建設、運営 手話ダンスによる障害者との交流
27	Live on（最優秀賞） 東京少年友の会ボランティア（優秀賞） Social Workeerz（優秀賞）	自死遺児に対する支援活動 非行少年の立ち直りの支援 福祉施設等を訪問しダンスで障害者を励ます活動
28	かくぼら（最優秀賞） ゆるかも（優秀賞） 信州ライボ隊（優秀賞）	恵まれない家庭の子供のための無料学習塾活動 カンボジアにおける児童買春問題の解消活動 非行青少年の更生への協力
29	身延山高校手話コミュニケーション部（最優秀賞） 群馬県ガールスカウト連盟（優秀賞） 明星大学ボランティア隊 MCAT（優秀賞）	手話通訳活動 学生・生徒の地道で多様な社会奉仕活動 自主的地域防犯活動

ボランティア活動委員会

高坂 和夫

1. キワニスドール

ボランティア活動委員会におきましては、キワニスドールにかかわる活動が大きなウエイトを占めております。キワニスドールは1988年にオーストラリアで生まれ、その後国際キワニスのネットワークを通じて欧州を始め全世界に広がりました。東京キワニスクラブでは2001年からこのキワニスドールの製作・医療機関等への寄贈に取り組んでおります。これまでに全国ベースでは、約

60,000個、東京キワニスクラブ単独では約20,000個のキワニスドールを製作、寄贈してまいりました。東京キワニスクラブといたしましては毎年2000個の製作、寄贈を目標にしております。また、当クラブは2006年7月14日にキワニスドール(Kiwanis Doll)を商標登録いたしました。

当初キワニスドールは会員やその家族で製作しておりましたが、その後会員の家族や知

人によるボランティアグループが生まれました。さらに大学、高等学校、中学校、看護専門学校など多くの学校でサークル活動や授業の一環としてキワニスドールの製作に参加していただいております。その都度会員が学校を訪問して教室で学生、生徒の皆さんと一緒にキワニスドールの製作をしております。また最近、CSR活動の一環としてキワニスドールの製作を行う企業が増加しており、この場合も会員が各社を訪問して社員の皆さんと一緒に汗を流しております。現在外部でキワニスドールの製作をする会は、一般ボランティア、各種の学校、企業の3グループで開催されておりその数は30を超えております。

東京キワニスクラブではこれまでに累計約400の医療機関等に約20,000個のキワニスドールを寄贈いたしました。何度も再送のご要望をいただく機関がありますが、なかには機関の担当者が変わると連絡が途切れる場合もあり今後各医療機関等と緊密な連携体制をはかる必要があると考えております。

東京キワニスクラブではキワニスドールの普及活動の一環としてキワニスドール・シンポジウムを毎年開催しております。2009年4月に第1回を開催して始まり、2014年5月には第6回を開催いたしました。このシンポジウムでは、医療機関の現場でのキワニスドール活用の生の声を聞けること、一般ボランティア・各種の学校・企業などキワニスドールの製作に参加している方々の意見発表などが行なわれることから関係する方々のキワニスドールへの理解の深まりに寄与しております。またこれまでにテレビ、ラジオ、新聞、機関紙、医療専門誌などによりキワニスドールの報道をいただいておりますが、2014年1月には共同通信の配信により日本経済新聞

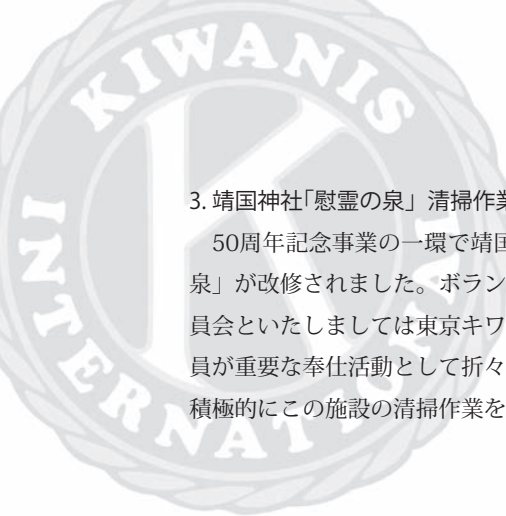
を始め多くの新聞においてキワニスドールの現況についての報道をしていただきました。

キワニスドールに関してこれまでにパソナグループからシンポジウムやキワニスドールを作る会の会場提供・運営協力、社員のかたがたによるキワニスドールの製作など幅広いご支援ご協力をいただいております。このようなパソナグループと東京キワニスクラブの連携をさらに強化し、キワニスドールの製作体制の充実と一層の普及、拡大に資することを目的として2014年5月にパソナサテライトクラブを設立いたしました。東京キワニスクラブにおけるサテライトクラブとしては、福井県人サテライトクラブにつぎ2番目となります。パソナサテライトクラブの運営によりキワニスドールの更なる発展につなげていきたいと考えております。

2. 児童虐待防止活動への協力

毎年11月は児童虐待防止推進月間です。このために毎年10月最終の日曜日に子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレーが開催されております。東京キワニスクラブはこのイベントに協賛しており、第1回から参加しております。当クラブへは東京タワーから泉岳寺までのたすきリレーへの参加と東京タワー下での児童虐待防止推進のためのチラシやオレンジリボン配りなどが割り当てられております。リレーには東京キワニスクラブ会員やユースフォーラム会員が参加しております。

東京キワニスクラブといたしましては今後も児童虐待防止運動の推進に取り組んでいきたいと考えており、そのための意思表示として会員にオレンジリボンバッジの購入と着用を要請しております。



3. 靖国神社「慰霊の泉」清掃作業

50周年記念事業の一環で靖国神社「慰霊の泉」が改修されました。ボランティア活動委員会といたしましては東京キワニスクラブ会員が重要な奉仕活動として折々に自主的かつ積極的にこの施設の清掃作業を行っていただ

くことを奨励しております。

この活動への参加をPRするためにボランティア活動委員会として、年に1~2回合同清掃会を開催しております。

クラブ新設委員会

尾崎 聖治

東京キワニスクラブ創設50周年を迎えるあたり、クラブ新設委員会の活動状況についてご報告申し上げます。

キワニスクラブが持続的に発展するためにはクラブ新設(メンバー増強)活動が極めて重要であるのは論を待ちませんが、その認識を共有しながら委員会メンバー一同活動に当たっているところでございます。

只、無手勝流に活動いたしましても中々成果に繋がりませんので、近年、以下の項目を重点テーマに掲げながら取り組んでいます。

1. 県庁所在地でキワニスクラブの未設置都市へのアプローチ
2. 県庁所在以外で可能性のありそうな都市へのアプローチ
3. 新設される(された)クラブへの支援
4. 地方都市におけるサテライトクラブの新設
5. 企業内サテライトクラブの新設
6. 女性会員の増強

1-6につきまして簡単に補足説明させていただきます。

1.の観点から、宇都宮、水戸、甲府、前橋、長野、福井の各都市をターゲットとしアプローチしてまいりました。その中で、現在は宇都宮、甲府、前橋への活動を中心に進めてまいりたいと考えています。福井につま

ましては、4.にて触れさせていただきます。

2.に関しましては、高崎、松本、川崎、小田原をリストアップいたしましたが、当面は、1.の各都市への活動を優先することを確認いたしております。

3.に関し、山形につきましては、クラブ新設に向け活動を継続したいと思います。又、千代田は2010年にキワニスクラブが新設されましたので引き続き支援してまいります。

4.に関しましては、大きな成果が出ております。松見会員初め、関係各位の絶大なるご尽力のお蔭をもちまして、2013年12月に「福井サテライトクラブ」設立されました。

概要は以下の通りです。

- ◇名称 「東京キワニスクラブ福井県人サテライトクラブ」
- ◇設立 2013年12月2日
- ◇メンバー 東京在住福井県出身者7名
福井県に縁の深い東京キワニスクラブ会員5名
- ◇役員 藤井和雄会長、
竹嶋一久事務局長
- ◇目的 ①キワニスクラブの理解を深め、福井県にキ



福井県人サテライトクラブの懇親会
(2014年6月30日)

ワニスクラブを新設することを目標に準備を進める

- ②東京クラブのキワニスドール作成などの奉仕活動に参加する
- ③ゲスト参加が認められる東京クラブの活動にゲストとして参加する

◇活動

2013年12月9日に発足式開催(藤原会長、緒方前会長、吉田副会長ご出席)以降、定期的に活発な活動をしています

上記の写真は会合風景ですのでご参照ください

5. つきましても、大きな進展がございました。高坂副会長の献身的なお骨折りによりまして、パソナサテライトクラブが立ち上がりました。

以下は概要です。

- ◇名称 「東京キワニスクラブパソナサテライトクラブ」
- ◇設立 2014年5月30日
- ◇メンバー パソナグループ社員5名
東京キワニスクラブ会員5名(兼任)
- ◇役員 山本哲史会長(パソナ社)、
大東健治事務局長

◇目的

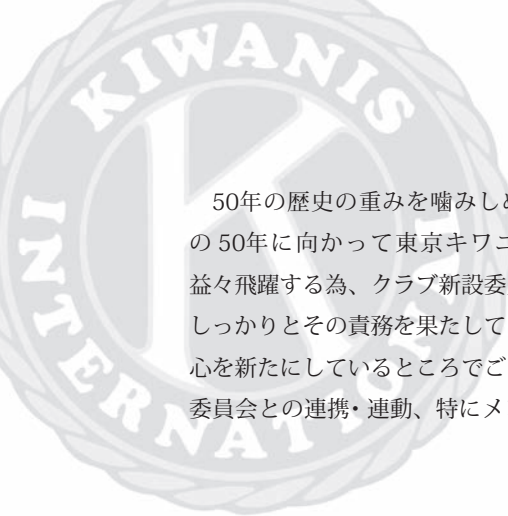
東京キワニスクラブとパソナグループの連携を強化によるキワニスドールの制作体制強化と一層の普及・拡大

◇活動

- ①東京キワニスクラブが開催するキワニスドールシンポジウムおよび一般ボランティアを対象とするキワニスドール作りの会に対しパソナサテライトクラブが会場提供、設営、運営等の支援を行う
- ②パソナサテライトクラブはパソナグループ社員によるキワニスドール作りを東京キワニスクラブの支援を得て開催する
- ③パソナサテライトクラブは東京キワニスクラブが必要とするキワニスドール作りのための材料につきパソナグループ関係会社に作成を依頼するなどの支援を行う
- ④パソナサテライトクラブは東京キワニスクラブとともにキワニスドール関連のイベント等へ参画するなどキワニスドールの普及・拡大に資する活動に取り組む
- ⑤パソナサテライトクラブは定期的に例会を開催する

6. つきましては、本年2月、吉國メンバーシップ委員長と女性会員有志が中心となり、“女性会員の増強”をテーマとしたタスクホースが立ち上がりました。クラブ新設委員会からは、石川副委員長が参加しています。女性ならではの視点と発想を大切に、有意義で魅力的なプランが数多く提案・実行され、大いなる成果に繋がりますよう期待いたしております。

以上、簡単にクラブ新設委員会とそれを取り巻く活動について振り返ってまいりましたが、何分委員長の力量不足の為、最近の活動は他力本願の感を拭えません。



50年の歴史の重みを噛みしめながら、次の50年に向かって東京キワニスクラブが益々飛躍する為、クラブ新設委員会としてもしっかりとその責務を果たしてまいらねばと心を新たにしているところでございます。他委員会との連携・連動、特にメンバーシップ

委員会、ボランティア活動委員会とのコラボレーションが極めて重要であるのは言うまでもございませんが、幅広く会員皆様のご理解とご協力、ご指導を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げる次第です。

Kファミリー委員会

中村 禎良

1 Kファミリー委員会設立の経緯

他の国におけるキワニス活動では、アメリカのサークルKの発達に見るように、学生など若い人たちのキワニスへの組織化が行われている。一方、日本においては、社会的、文化的、宗教的土壌が異なるため、このような世代をまたがる重層的なキワニスファミリーの形成は行われておらず、それへの対応が一つの課題ともなっていた。

そうした背景のもとで、日本としてもKファミリー育成への取り組みを行うべく、平成13年の日本地区総会において「本年度をKファミリー元年とする」とのスローガンが採択された。東京キワニスクラブでは、これにこたえて、同年、プロジェクトリーダー（担当理事）のもとに関連委員長をメンバーとするKファミリー・プロジェクトチームを発足させた。

プロジェクトチームは、発足後、大学、高校を精力的に訪問し、学生ボランティア活動の実情を把握するとともに、若い人たちとの連携のあり方について多面的な検討を行った。その結果、学生との協力関係を作り上げるためには、キワニスドール作りという具体的な媒体を介して行うことが最も適切との認識となり、学校での「ドールを作る会」の企画、

開催に重点を置いた活動を行うこととなった。

このような形の日本版Kファミリー活動は、アメリカのサークルK活動がキワニスのサテライトとしてのジュニアクラブの設置を目的にしているのとは性格が異なるものの、日本の実情を考えれば、きわめて現実的なものであった。

プロジェクトチームは、ボランティア活動委員会の協力を得て6年間にわたり若い人たちを対象とする「ドールを作る会」を数多く開催し、これによって着実にキワニスの輪を広げることができた。その成果を踏まえて、平成19年10月1日、恒常的な組織としてKファミリー委員会が設立され、プロジェクトチームは発展的に委員会組織に衣替えすることとなった。

2 Kファミリー委員会の活動

新設されたKファミリー委員会は、キワニスの趣旨を広め、学生との横のつながりを立ち上げるとの観点から、学校への訪問を重ね、キワニスドールの作製を軸に学校との協力関係の強化を進めてきた。さらに、それまで主として大学を対象にしてきた「ドールを作る会」を学生ボランティア団体や中学、高

校に範囲をひろげたことにより、若い世代との接点はさらに広がりを持つようになった。

平成 19 年 12 月には、社会奉仕活動を教育方針に掲げ、その一環としてドールの作製を採用した田園調布学園と協力に関する覚書を締結し、以来、東京キワニスクラブは、同校による定期的な「ドールを作る会」の開催、文化祭での展示、キワニスの行事への参加などで多大な協力を得ることになった。

平成 20 年 8 月、学校、学生団体のキワニス活動への参加を促進するためにキワニス奉

仕賞の制定を行った。キワニス奉仕賞は社会公益賞や青少年教育賞などとは異なり、「キワニスの奉仕活動に協力し参加する中学・高校・大学・専門学校等の団体に表彰状および副賞を贈呈する」もので、キワニスクラブへの貢献に対する感謝の気持が含まれている。第 1 回(平成 21 年)の奉仕賞は明治学院大学のボランティア団体 JUNKO Association へ授与され、以後今日まで、ドールの作製と普及に多大の貢献があった下記団体に贈呈されている。

キワニス奉仕賞受賞団体

第 1 回	平成 21 年	JUNKO Association (明治学院大学ボランティア団体)
第 2 回	平成 24 年	田園調布学園中等部・高等部、都立広尾看護専門学校
第 3 回	平成 25 年	東京家政学院中学校・高等学校、都立板橋看護専門学校
第 4 回	平成 26 年	大妻中野中学校・高等学校、都立荏原看護専門学校

3 キワニス・ユースフォーラムの創設

平成 24 年 10 月、従来のドール作製を軸として学生団体との協力関係を築く活動から一歩進めて、キワニス・ユースフォーラムが創設された。

フォーラムの目的は、(1) 東京キワニスクラブが青少年のボランティア活動を支援するために、(2) フォーラム会員相互の交流、協力ができる場を提供し、(3) あわせてフォーラム会員とキワニスとの協力関係を深めようというものである。

会員は、当面、東京キワニスクラブの青少年教育賞、社会公益賞、奉仕賞の受賞団体でキワニスの理念に賛同するところから選ぶこととし、平成 26 年 9 月末現在、10 団体が

フォーラム会員となっている。フォーラムの具体的な活動は(1) フォーラム会員のキワニスの催しへの参加、(2) 会員の催しへのキワニス会員の参加、(3) フォーラム会員相互の交流のための交流会の開催などであり、これまでの実績は、例会での活動報告、ドールシンポジウム、社会公益賞および青少年教育賞授賞式、ドール作る会、オレンジリボンたすきリレーへのフォーラム会員の参加があり若い人たちのキワニスへの理解が深められた。

また、平成 25 年 7 月を第 1 回として交流会が開催され、会員相互、並びにキワニス会員とフォーラム会員の意見交換が行われている。平成 26 年 7 月に日本で開催された第 99 回国際キワニ二年次総会では、フォーラム会員



多数の参加があり会場にユースフォーラムのブースを開設し、内外のキワニヤンヘユースフォーラムを紹介することができた。

ユースフォーラムは立ち上げ後まだ日が浅く、その内容が確立したとは言い難い。また、加盟団体の多様な活動内容、社会人から中高生までの年齢層の広がり、遠隔地会員も多いなど、一体運営の難しさもあるが、日本版K

ファミリー活動として長期的な視野で充実を図っていく計画である。そのための基盤整備の一環として、平成26年3月にユースフォーラムのフェイスブックを開設した。会員同士および会員とキワニスのコミュニケーションの一助となり、より活発な相互協力が行われることが期待される。

ユースフォーラム会員

平成 24 年加盟		活動の内容 (活動の主体)
JUNKO Association		ベトナム、ミャンマーの子どもへの教育支援 (大学生)
ガクボラ		無料の高校受験指導、養護施設での学習支援 (大学生)
信州ライボ隊		少年の非行防止、健全育成活動 (大学生)
Live On		自死で親を亡くした遺児の支援 (社会人)
ゆるかも		児童買春問題解決のための啓発活動と資金支援 (大学生)
SOCIAL WORKEERZ		音楽、ダンスによる障がい者支援 (社会人)
平成 25 年加盟		活動の内容 (活動の主体)
身延山高等学校手話コミュニケーション部		手話による聴覚障がい者への支援 (高校生)
明星大学防犯ボランティア隊 MCAT		地域防犯活動 (大学生)
ガールスカウト群馬県連盟		フィリピン日系児童、アフリカの子どもへの資金支援 (小学生～高校生)
田園調布学園家庭部		障がい者支援、ドール作製などの社会貢献活動 (中学生・高校生)

その他の活動

囲碁愛好会

佐藤 隆國

東京キワニスクラブに囲碁を楽しむ集まりを作りたいという声は、かなり前から上がっていた。趣味の会としては古くから小唄の会があり、多くの会員が嗜んでいた。

それまでレクリエーション委員会で計画していた定例行事では、春秋のゴルフ大会、浅草のホテルで開催していたワインの会や、正月の歌舞伎観劇、年末の第九を聴く会、宝塚歌劇観劇会、旅行会などあったが、何故か趣味の中で最も多い囲碁の集まりはなかった。場所や師範や運営に手間がかかるというのがその理由だったと思う。

具体的に囲碁の会を立ち上げたいと考えたのは、2004年大堀太千男会長、佐藤隆國事務局長のとき、名簿に趣味を囲碁と書いている人が、会員の中で何人いるだろうかと計算したときからだった。その時会員200人中80人の会員が趣味を囲碁と登録していた。しかし会場や、師範をどうするかなど、やはりそれから先には進まなかった。

2004年5月に当時日本棋院常務理事・八段の藤澤一就さん(藤澤秀行名誉棋聖は実父)が入会されて、囲碁の会を立ち上げたいという機運が一気に高まった。

2006年3月に会員の荒木なぎさ、大堀太千男、小坂 元、木村太郎、佐藤隆國各氏の5名が発起人となり「東京キワニスクラブ囲碁愛好会」は発足した。会場は八重洲口のいづみ囲碁ジャパン特別室、師範を藤澤八段にお願いして指導碁もやっていただくことになり、定例会を原則毎月1回第3金曜日の例会終了後としてはじまった。

当初の登録者は26人で、11人から18人

が参集した。中には囲碁を始めたいと考える初心者も集まった。2時過ぎから途中駅弁を食べながら7時過ぎまで打っていた。

藤澤師範から1年たったので大会をしようかという勧めもあり、2007年6月2日(土)に第1回の大会を日本棋院八重洲囲碁センターで開催した。それから毎年12月に忘年会を兼ねて大会を実施している。

2013年は第7回大会となった。大会には家族も出場してよいとの規定があるので、藤澤八段の長男藤澤理秀君(小1・3段)も出場し残念ながら優勝できなかったが、和気藹々の大会になった。大会は3回戦を行い時計使用の真剣試合である。また優勝戦を藤澤八段に大盤で棋譜解説していただくのも恒例になった。

忘年囲碁大会の会場は、当初の日本棋院八重洲囲碁センター、翌年から八重洲のいづみ囲碁ジャパンで実施していたが、第4回大会から有楽町の電気倶楽部に場所を変えて継続している。2010年から例会場も電気倶楽部に移し、例会日も第4火曜日に実施している。藤澤師範は子ども教室を主宰しておられるので、3月、7月、8月の指導碁はお休みで、会員同士の自主例会としている。

忘年囲碁大会が終了後は電気倶楽部の食堂を貸し切って、囲碁をやらない人も集まり東京キワニスクラブの忘年会を実施している。こちらでも毎回50人程度集まり、宝塚歌劇団OGの檀ひとみさんも何度か出演してもらって花を添えている。電気倶楽部の食堂が、東京キワニスクラブのために特別豪華な料理を出してくれるので、参加者には大好評である。

平成 20年 2月 14日 なぎさ会は誕生しました。

きっかけは、平成 19年 10月 23日、サッポロライオンで新旧役員懇親会が行われた時、なんとなく日本酒で盛り上がるグループができ、酒が進み「日本酒が好きな会員で定期的に飲み会をやろう!」ということになりました。

早速その時のメンバー、秋山誠一さん、伊藤康成さん、小山田小八郎さん、小野洋一郎さん、佐藤隆國さんと私荒木なぎさが集まり、まず会の名前は“なんとキワニスのさけは美味い会”の頭文字をとって、**なぎさ会**としました。

会の目的は、日本の文化として粋に育ってきた日本酒を愉快地に健康的に飲み会員相互の親睦を深めることです。

そのためルールを決めました。一人 3合を目安とすること マイペースで楽しみながら飲むために手酌とすること 体質的に飲めない人もいるので、参加希望者は事前登録制にすることなどを決めました。

発足時には 43名の会員が登録され、現在は 87名となっています。

会合は毎月第二木曜日(1月 8月は休み) 18時から 新橋の倶楽部エル 7階を借り切って各地の銘酒を味わうことにしました。

第 1回は平成 20年 2月 14日でまず酒蔵見学 23区内に唯一残り 130年余の歴史がある北区の小山酒造へ行き、丸真正宗のできるまでの工程を勉強したあと、新橋で 26名が参加して、新潟県の 3種類の地酒を堪能しました。

次いで秋田県、石川県と都道府県を順に楽しむこととし、会員の皆さんから出身地や勤

務地などで推薦していただき、酒蔵がない宮崎県、鹿児島県、沖縄県を除き全国を一巡しました。

この間、4月には“さくら”、6月には“雨”、7月には“星”などをテーマとして、その名前がついた日本酒を探して季節感を楽しんでいます。

平成 23年 3月 11日の東日本大震災で被害を受けた酒蔵を応援しようということになり、5月から 5回連続で青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県の日本酒を 3種類ずつ飲みながら“頑張れ! 東日本”と早い復興を祈りました。

各県の酒造組合に酒蔵の被害状況を聞き、被害の大きかった酒蔵に直接電話で注文すると大変感激してくれて、少しは被災地のお役に立てたかなと満足感に浸りました。

平成 25年 6月からは、全国を一巡したので女性杜氏のお酒を飲もうというリクエストに応えています。女性杜氏が少なく蔵元探しが大変です。

平成 26年 9月現在で 24蔵探しましたが、まだしばらくは続けられそうです。

杜氏は酒造りの最高責任者で、きつい労働のため男の仕事として女人禁制でしたが、10数年前から杜氏の高齢化と蔵元の後継者づくりのため、女性杜氏が増えてきています。

女性杜氏のお酒は、「ゆり」、「るみ子の酒」、「京の春」、「笑(えみ)」などとソフトなイメージの名前が多く、味も心なしかまるやかでやさしく上品な感じがします。

発足してから約 1年後の平成 21年 4月から横浜クラブと埼玉クラブの有志に参加していただき、さらに 23年 9月から名古屋クラブ、25年 9月から神戸クラブの有志が参加

され、日本酒を通じて東京から輪が広がり賑やかに楽しく交流を深めています。

この会は、昼間の例会、火曜会、その他の各種イベントとは違ってアルコールが入り、話が弾むと「私も同郷だ!」とか「私は以前〇〇市で仕事をしていました」といったいろいろな出会いがあります。思いがけない縁が次々と広がりますに「キワニスサロン」といった雰囲気です。

平成 25年 2月には 50回の節目を迎え、記念イベントとして 31名が参加して利き酒大会を開催しました。A テーブル B テーブルにラベルが見えないようにした 4種類のお酒をそれぞれ順不同に並べ、同じお酒を利き当てるといふものです。

全問正解は何と初参加の鈴木祐二さんと「利き酒博士」に、次点の漆間巖さん、由井美恵子さん(横浜クラブ)は「利き酒修士」に認定されました。

平成 26年 2月には 60回記念利き酒大会を 21名が参加して開催しました。

2回目ともなると参加者は利き酒の要領にも慣れて、「利き酒博士」には、木村太郎さん、土蔵珠美さん(ゲスト)、「利き酒修士」には、釜谷正宏さん、重成侃さん、鈴木祐二さん、堀井紀壬子さん、吉田浩二さん、宮越極さん(この時はゲスト、現会員)、荒木なぎさと前回に比べ飛躍的に実力が向上しました。

平成 26年 6月の第 64回の会では、横浜クラブの小川恵三さんのゲストとして参加された杵屋勝彦師から、「縁かいな」、「奴さん」など端唄、長唄の美声を 40分ほど聞かせていただき、お座敷の世界に浸りました。最後に参加者全員に端唄、「梅は咲いたか」を歌唱指導していただき大いに盛り上がりました。

平成 26年 9月の第 66回の会に、福島県会津若松市の名倉山酒造の蔵元、第四代松本健

男社長をお招きしました。平成 26年全国新酒鑑評会で金賞を受賞した「名倉山大吟醸鑑評会出品酒」を持参され、普段飲むことができない垂涎の日本酒を 33名の参加者は心ゆくまで味わいました。口にふくんだ時に香りと旨味がふわっと広がり、のど越しの良いお酒でした。また、日本酒を美味しく楽しく上手に飲むための五ヶ条をユーモア交えて話していただき、新しい知識を得るとともに反省することがたくさんありました。

毎回 20人前後の会員が集まりますが、出席率 80% 以上は秋山誠一さんと居酒屋「なぎさ会」の常連さんになっています。

なぎさ会は日本酒をこよなく愛する人の会です。日本酒は長い歴史の中で、しなやかな感性と優れた技術で磨き上げられてきました。「百葉の長」とも言われ、心身を癒し、縁をつなぎ、和みに酔う日本酒。

なぎさ会を通じてみなさんのこれからの人生がますます楽しく豊かになるよう願っています。



なぎさ会
(2014年 7月 10日)

さて、「ワインを楽しむ会」について稿を起こしましょう。「40周年記念誌」をみるとキワニスワインサロン(休会中)とあり、「年に6回、世界各国のワインの産地・特徴を学びながら、テイストを楽しむワインサロンを開催していました。」とあります。毎回浅草ビューホテルで開催され1992年から2001年まで継続していたようです。ワインスクールのようなものをイメージするのですがどうだったのでしょうか。現在継続中の「ワインを楽しむ会」は2009年9月に第1回が開催されています。当時のレクリエーション委員長だった堀井紀壬子次期ガバナーにお尋ねしたところ、既に「日本酒を楽しむ会」が発足しており愛飲家の中には日本酒党でなくワイン党もいるだろうからということで始まったとのことです。また、当時会長だった川崎弘元ガバナーのお知り合いで社団法人日本ソムリエ協会名誉会長の熱田貴さんに例会で講演して頂いたことも影響したかもしれないとのことです。この会はその名のとおり楽しむ会でワインを鑑賞の対象と捉えるより、食中酒として食事と如何に合せ美味しく飲むか、また会員相互での談話が弾むようにするかに主眼があるように思います。定例会化している訳ではなく年間4回位のペースで第3または第4木曜日に会費6000円で開催しています。小生が最初に参加したのは2012年2月の第10回でアペリティフにヴィンテージシャンパーニュのボランジェグランダネを使っており、会費から考えて全く想定していなかったので驚愕しました。第11回は山口会員のご自宅のマンションのパーティールームを提供して頂き、この時もメドックススーパーセカンドのシャトーレオヴィルラスカーズが出てきて

びっくりしました。小生がレクリエーション委員長を仰せつかったのは2013年10月からで、第13回以降となりますが前任の方々のレベルに達しているか甚だ危惧する次第です。会場確保では会員の皆様からの提案に助けて頂いておりますが、小生自身が使えそうな店と交渉することもあります。その際のエピソードを一つ紹介しましょう。11月の第3木曜日といえばワイン業界ではボジョレーヌーボーの解禁日として有名ですが、日程上の都合から第17回を実施する日が従来の木曜日にこだわる限り、まさにこの11月第3木曜日21日になってしまい、そんな日にテーブル席貸切でやりたいと言ったら、常識外れと思われるか、プレミアム価格を要求されるかと内心考えていたのですが、あにはからんや、「いつもの価格でいいですよ。」とあっさり言われました。その店舗の特殊事情かもしれませんが「うちの店のお客様はたいてい0時まで他のワインを飲みながら待機し、それからボジョレーヌーボーを飲み始めますので。」とのこと。20日は駄目だが21日なら問題ないとのこと。拍子抜けするとともに安堵いたしました。今後、もう少々バラエティ豊かなスタイルを盛り込んで、常時20人前後の方々に参加して頂ければと思慮しております。

火曜会

広畑 史朗

東京キワニスクラブの会員が、銀座七丁目サッポロライオン二階特別室に三々五々集まってくるのは、毎週火曜日の昼食時。ライオンメニューから銘々が好みの料理を選んでランチをとりながら談論風発、自由闊達な懇談のひとつとき、それが「火曜会」です。

この火曜会の由来をたどってみますと、そもそもは仕事の都合などで金曜日の例会(当時は旧経団連会館 9階クリスタル・ルームで毎週開催)に出席困難な会員のために、例会とは別の相互懇親の機会として上田英雄会長のときに新たに設けられたもので、昭和57年8月3日(火)が第一回でした。全員アンケートや役員会・総務委員会(当時)合同会議での検討などを経て、新年度からの実施に至ったそうです。火曜会の発足とその後の運営には当時の上田克郎・前事務局長はじめ多くの方々が尽力されました。なお、その頃のキワニス年度は8月1日から翌年の7月末日までとされていました。

当初の会場は、銀座六丁目小松ストア地下一階のカジュアル・レストラン「リオンホール」。毎回20名前後の参加者を予定していたものの、個室は使用せず衝立で仕切った一角

を使用していました。そのため出席しようとする者は前日の昼までに事務局に申し込む、という予約制をとっていました。会費は定食実費の1650円、飲み物は各自負担だった由。

翌58年11月22日から現在の七丁目ライオン店に会場を移しましたが、こちらでは個室を使えるようになったため、事前予約による人数確定も不要、気が向いたときにぶらりと出席できる現在の流儀になりました。当時サッポロビール役員だった故・平野勝会員の斡旋によるものでした。

例会とはまた違う気楽な雰囲気での自由な会合と位置づけてきたので、開催回数の通算番号も付けられていませんが、1982年の発足以来今日まで連綿33年、年間四十数回として通算千数百回の積み重ねに至りました。昼食懇談後の13時から引き続いて理事会や委員会が催されることもしばしばですが、これからも会員相互の気の置けない懇親歓談の場として、火曜会を末永く続けていきたいものです。



私がエリミネイト・プロジェクトの日本地区コーディネーターになることを要請されたのは2011年3月、日本が、1000年に一度と言われる東日本大震災と津波に襲われ、正に世界からの支援を受けてこの大災害からどのようにして立ちあがるかに国全体が必死になっていた時期でした。そのような状態の中で、2011年5月初旬にマカオでエリミネイト・プロジェクトのキック・オフのオリエンテーションが行われることになり、そこで、川崎ガバナーが、世界から集まった会員に対して最初に宣言したことは、「日本は、2か月前の大震災と津波により、日本全体が被災地の復旧・復興に全力で当たっている状態であり、エリミネイト・プロジェクトに取り組む状態ではない。当面の間休止して、時期が来たら、必ず取り組む積りでいる。ご了解を得たい」という宣言でした。この宣言で会場が静まり返ったのを記憶しています。

実際にエリミネイト・プロジェクトについてのキャンペーンについて正式に説明を行ったのは、9月の千葉での日本地区大会に於いてでした。それから徐々に準備を始め、各クラブのコーディネーターを対象にWeb

ELIMINATE maternal/neonatal tetanus



Conference 等によりキャンペーンを始めたのは2012年に入ってからでした。日本は世界から1年足らず遅れてのスタートになってしまいました。しかし、それからの活動は実に見事な立ち上がりだったと思っています。

特に、東京クラブは活動を始めると共にまず会員1人当りの募金を5年間で\$750約束するというモデル・クラブと\$100,000の募金額を目指すという100Kクラブのプレッジを、先頭を切って行い、これが日本地区全体の勢いを作りました。また、ウォルター・ゼラー賞などにも率先して募金していただきました。また、募金活動として、ファミリーデーで多額の募金を達成するなどの成果を得ました。

その結果、2014年9月現在で、東京クラブは100Kクラブの目標を既に達成し、モデル・クラブでも目標額88%を達成しました。

	日本地区	東京クラブ
A 基本必要額 (Need)	\$783,394	\$104,280
B 修正目標額 (Goal)	\$1,046,650	\$165,000
C 現在実績	\$1,135,216	\$174,607
	(対 A145%, 対 B108%)	(対 A 167%, 対 B81%)
ゼラー	107 口	40 口
エリミネイト指定ヒクソン	120 口	23 口
メジャー・ギフト (\$25,000 以上)	6 人	3 人

日本地区全体としても、会員一人当たり募金額 \$670 を達成し、世界全体でトップの位置にあります。スタート時点での休止宣言を考えると正に驚異的な成果を上げることが出来、皆様のご努力に感謝しています。

エリミネイト・プロジェクトは、いよいよ最終年度に入りました。2015年6月末のインディアナポリスでの第100回国際年次

総会でその成果を祝って、盛大な表彰と式典が予定されています。日本地区としては、これまで世界のトップを走って来た実績を活かして、有終の美を飾れるよう頑張りたいと思っています。私たちにとって、後々まで語れる歴史を作りましょう。

2014年9月30日現在の実績は表のとおりです。

「さくら会」

木村 博子様(木村太郎元会長令夫人)

2003-4年の日本地区ガバナーを主人が仰せつかり、エレクト、パーストの期間を含む3年間に私も4~5回海外の会議に同行致しました。

それまで私はキワニスというものを殆ど理解しておりませんでした。各国、各地域のパートナーの方々との交流を通じ、各々が子ども達に対する素晴らしい活動、例えば、施設の子ども達をピクニックに連れていく等々を皆すすんで楽しそうにしていらっしゃる様子を見聞して新鮮な驚きと感動を覚えました。

帰国後、私達にも何か出来るはずということで、当時クラブが力を入れ始めていた「キワニスドル」作りのお手伝いをしようと思いい立ち、5~6人のパートナーの方々にお声掛けしたところ快く賛同して下さいました。

毎月1回キワニス事務所に集まりドル作りのお手伝いをすることは私共にとりましても大きな喜びでありましたし、それに伴うおしゃべりやらランチの会食も楽しい時間でした。

このことを前国際キワニス会長のブライアン・キューナット、ミキご夫妻にお話ししましたところ大変喜んで下さり、日本の代表的

な花の名前を付けましょうということで「さくら会」と命名して下さいました。

もっと多くの方々にお声掛けした心算でしたが、私の力不足で余り広まらず、最近はお仲間の高齢化も進んで「さくら会」は自然消滅しつつあるのが現状です。

私はガバナーのパートナーをやらせて頂いたお蔭で海外のボランティアに対する考え方を学ぶ機会に恵まれ、とても楽しく貴重な体験をさせて頂き感謝しております。

また、副産物として主人とともに活動することは、会話の乏しい老夫婦にとり共通の話題と活力を与えて頂き有難く思っております。

これから若いパートナーの方々のお力添えを頂きドル作りその他子ども達に向けての取り組みが「さくら会」として復活することを心から願っております。



1 新たな法人制度と当初の対応

営利企業以外の法人については、明治29年に制定された民法が公益目的に限って主務官庁の許可を得れば設立できると定め、東京キワニスクラブ(以下「クラブ」という。)も昭和42年に当時の厚生大臣の許可を得て法人となった。

民法による公益法人制度は110年を経た平成18年に大改正され、法人法、公益認定制度を定めた認定法、既存法人の新制度への移行等を定めた整備法(いずれも略称)が公布され、平成20年12月1日に施行された。これには種々の理由があるが、寄付優遇税制(寄付金の所得税控除)の変更が身近である。

新制度では、定款の公証人による認証を受けなければ登記のみで法人を新設できるが、寄付優遇税制の適用がある公益法人となるためには内閣府又は各都道府県の認定が必要である。既存の公益法人は、平成25年11月末までに内閣府等に申請して認定法による新たな公益法人の認定を受けるか、認可により一般法人となるか選択できる。期限までにどちらも申請しなければ解散となる。

クラブは、平成19年頃から役員の間で移行の研究が始まり、公益法人を目指すという意見が強かったが、それには認定法所定の公益事業を行い不特定かつ多数の者の利益増進に寄与し、毎年の決算で総支出額の2分の1以上が公益事業への支出でなければならない。2分の1以上の条件はクラブには厳しいものであった。

2 公益財団法人キワニス日本財団 KJF の設立

クラブの有志は数年前から国際キワニス財団の例に倣い、わが国でも財団を設立し寄付優遇税制の適用を受けるべく研究していたが、旧民法の下では巨額の基本財産が必要で見送っていた。しかし、新法では基本財産制度はなく純資産300万円以上で設立できる。そこで、有志7人と国際キワニス日本地区が発起人となって資金を拠出し平成21年に一般財団法人を設立、翌22年に公益認定を得てKJFが誕生した。

3 一般社団法人への移行

寄付優遇税制についてはKJF設立により解決したので、役員会は平成22年9月の定時総会に翌年度中の一般社団法人移行を事業計画に盛り込み、承認された。

移行には新法に沿って定款を改正し、移行時点で保有している余剰金(移行時点で解散したとしたら国庫に納めるべき金額)相当額を認定法所定の公益事業、これまで行っていた公益性の高い事業(継続事業)、又は公益法人への寄付の何れかに使用するという公益目的の支出計画を作成しなければならない。定款は、役員会で内閣府が公表しているモデル定款を参考に案を作成し平成23年9月の定期総会で議決した。公益目的支出計画は、継続事業とKJFへの寄付で構成し、同時に議決された。これらに予想外の時間がかかり当初の計画より1年遅れて平成24年2月に移行申請、同年9月27日に内閣総理大臣の認可が下りて10月1日に登記、移行を完了した。

IDD

大堀 太千男

精神障害などさまざまな障害をもたらすヨード欠乏症(IDD=Iodine Deficiency Disorders)は日本にはなじみのない病気ですが、10数年前には世界でこの病気に苦しむ人々は15億人以上と言われておりました。

人の一生に必要なヨードは茶さじ一杯分と言われていますが、毎日の摂取が必要です。主に海水に含まれ日本のように海草を食べる人々はこの病気には罹りません。海の水が蒸発し、それが雨や雪になって地表に降ります。しかし、大雨や洪水によって洗い流され、この病気は特に山岳地帯や河川の洪水の多い地域に多くみられます。ヨード欠乏症の母親から生まれる子どもは障害を持つ子が多く、精薄の主な原因といわれています。

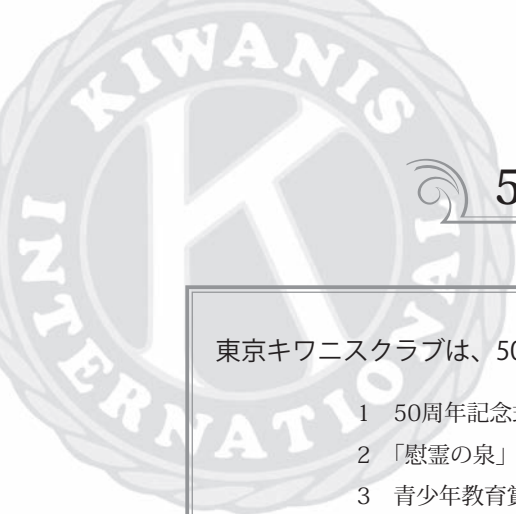
1990年、Young Children Priority One を重点施策とした国際キワニスは1994年ニューオーリンズの国際年次総会でこのヨード欠乏症撲滅活動を採択し、ユニセフが実行部隊、キワニスが資金援助部隊という役割分担でヨード欠乏症に悩む地域に食塩にヨードを添加するプラントを建設するプロジェクト始めました。

全世界のキワニヤンがこれに協力し、総額888万ドルの募金を達成し、日本地区は約1172千ドルを集めました。国際キワニスは、2005年9月この活動の終了を発表しヨード欠乏症はほとんど撲滅することが出来たという大変な成果を挙げることになりました。ロータリークラブより10年遅く、ライオンズクラブより2年早く1915年に設立され、世界三大奉仕団体の一つといいながらいまひとつパッとしなかったキワニスの盛衰をかけたこのプロジェクトの成功は、キワニスの歴史におおきな転換期を迎えたと言えます。



私は1998年10月から2003年9月まで、日本地区のIDD対策委員長を仰せつかっておりました。日本地区の各クラブでは街頭で募金活動をするなど大変努力をしていただきお陰様で目標額(100万ドル)を上回る募金でこの活動に日本地区として大きな貢献ができたことをあらためて御礼申し上げます。日本になじみのない病気であるだけに募金活動には大きな苦勞が伴い、なぜそんな遠い国のためにやらなくてはならないのかという質問も受けました。でも苦しんでいる子どもたちが我々の近いところにいるのと、遠いところのいるのにそんなに本質的に違いはないと思いました。遠い国の子どもたちでも苦しんでいる子どもがいればそれを救おうとすることが国際組織の一員としての義務と考えたからです。

反省点も多々あります。その一つは、この活動がわが国におけるキワニスの知名度を上げることにほとんど役に立たなかったことです。日本になじみのない病気であったことや、実行部隊がキワニスでなかったことも影響しているかもしれません。ヨード欠乏症に悩む子どもたちを救うことができたという満足感はあるものの、我が国における恵まれない子どもたちを救う奉仕団体としてもっと実績を積むことを痛感した次第です。



50周年記念事業

- 東京キワニスクラブは、50周年を記念して、以下の7つの記念事業を行いました
- 1 50周年記念式典・祝賀会
 - 2 「慰霊の泉」改修工事
 - 3 青少年教育賞受賞団体交流会
 - 4 キワニス・ユースフォーラムの活動の充実
 - 5 会員増強キャンペーン
 - 6 国際キワニス・ASPAC 合同年次総会 東京・千葉大会
 - 7 50周年史の刊行(本書)

50周年記念式典・祝賀会

狩野 省市

50周年記念事業として、4月11日(金)午後5時40分から、50周年記念式典・祝賀会が丸の内の銀行倶楽部で開催されました。

今年は、50周年の節目の年でもあり、グンター・ガッサー国際キワニス会長ご夫妻はじめ、マレーシア、台湾、フィリピン、国内18クラブのキワニアン、「慰霊の泉」建立のご縁で、靖国神社宮司もご参加いただき、総勢178名の方々のご出席のもと、盛大な祝宴となりました。今回は、海外からのご来賓も多く出席頂いたことから、吉國会員夫人が通訳を引き受けて下さいました。

会に先立って、午後5時30分からのバザーは、会員から提出頂いた多くの品々が、お値打価格ということもあって、開始前から希望者の列が出来るほどの盛況ぶりです。あっという間に完売しました。

藤原会長から力強い開会宣言がなされた後、グンター・ガッサー国際キワニス会長、小川日本地区ガバナー、宮池名古屋クラブ副会長、小池KJF理事長からご祝辞をいただ

きました。続いて、ソプラノ歌手の中丸三千繪さんによるリサイタルが開催されました。有名なオペラ・アリアから懐かしい日本の歌も織り込まれた独唱に、場内割れんばかりの拍手喝采で幕を閉じました。中丸さんには、藤原会長夫人から、お礼に大きなバラの花束が贈呈されました。

来賓の方々を交え、「よいしょ、よいしょ、よいしょ」の掛け声とともに鏡開きが行われたあと、小島名誉会員の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

食事を楽しみながら暫し歓談の後、メジャー・ゼラー・ヒクソンフェローの表彰があり、最後はお楽しみの福引大会。人気の家電製品、ホテル宿泊券、ギフトカードの商品が提供され、今回は、中丸三千繪さんが福引抽選役を買って出て下さったこともあり、いつも以上に大きな歓声が上がりました。

和気あいあいの中に予定の時刻を迎え、棚澤副会長から中締め挨拶があり、お開きとなりました。来賓および会員の皆様には、お

土産に50周年記念の栞とピンバッジをお持ち帰り頂きました。

当日のご寄付、福引券、バザーの売り上げは、773,300円となり、「破傷風から途上国の母子を守ろう」を合言葉にしたエリミネイ

ト・プロジェクトに全額寄付させて頂きました。

また、50周年記念事業のために、別途30万円のご寄付を頂きましたことをご報告いたします。

「慰霊の泉」改修工事

古屋 俊彦

1「慰霊の泉」設立の経緯と概要

(1) 設立経緯

「慰霊の泉」は東京キワニスクラブが1967年4月18日、クラブ創立2周年目に明治100年を記念して将来永く残る有意義な事業として興したいとして、当時1600万円の寄付を募って建設し、靖国神社に献納したものです。

戦後20年が経過し、ややもすれば一般国民から顧みられることの少な靖国神社に心のこもった記念施設を造って護国の英霊を慰めようという機運が会員の中に高まっていました。

ちょうどその時期に故大西滝治郎中将の未亡人淑江さんが同様な願いを持ち続けておられことを知り、戦死者の多くは死に臨んで「お母さん水を！」と叫んで息を引き取ったのに靖国神社には「水」がない、「清らかな水を戦没者に」という願いを実現したものであり、「清らかな水を捧げる母の抽象的なモニュメントです。

建設資金は主として会員ならびに会員所属の企業・団体からの寄付金です。

この寄付は資金が集まりやすいようにと大蔵省から寄付金の指定通知をもらう必要があり、そのためには事前に社団法人としての設立許可を厚生省から受理することが前提でした。極めて短期間で双方を取得し、以後わず

か2ヶ月たらずの間に多額の資金を確保できた背景には当時のメンバーのご努力と関係箇所への多大な働きかけにより実現できたものです。

(2) 施設の概要

靖国神社境内正面参道右側中央部に位置し、全体の面積は約280平米(約85坪)で彫刻は間口6m・奥行7m・高さ3m(鉄筋ホワイトセメント仕上げ)、彫刻の下のプールは間口2m・奥行8m・深さ35cm(16平米)、滝面は高さ1m・幅2mです。モチーフは「清らかな水」と「母」を抽象的な像として表現しています。設計は彫刻家の井上武吉氏、施工は北野建設株式会社が担当しました。

また、後方に激戦地の戦石が展示されていますが、これは建設した当時の防衛庁、運輸省、外務省、在日米軍関係機関のご協力によりブーゲンビル島、グアム島、フィリピン各地、硫黄島、沖縄各地などから収集されたものです。

(3) 献納記念昇殿参拝について

「慰霊の泉」完成後、靖国神社に献納したわけですがこれを記念して毎年桜の開花時期(4月始め頃)に会員が参集殿に集合し、昇殿参拝しています。50周年の今回は記念事業として改修工事を行いましたのでその竣工祭に合わせて6月10日に行いました。



2 会員有志による清掃奉仕について

「慰霊の泉」建設後しばらくして会員 3 名が中心となり施設の周辺を含めて清掃が続けられていました。1990 年国際キワニスの 75 周年あたり改修工事を行うとともにその後は会員有志の奉仕活動の一つとして火曜日と木曜日の朝に輪番で清掃奉仕活動を続けていましたが、2009 年以降は会員誕生月と都合の良いときに有志が清掃を行っています。

また、ボランティア委員会でも年 1、2 回「清掃の日」を定め主に新入会員に呼びかけオリエンテーションを兼ねて実施しています。

3 東京キワニスクラブ設立 50 周年事業としての改修工事

50 周年記念主要事業の一つである靖国神社「慰霊の泉」改修工事についてかねてから準備を進めてきましたが、4 月 25 日(金)に起工・安全祈願のための清祓式が行われ(藤原武平太会長、緒方謙二郎前会長ほか関係会員、北野建関係者参列)、同日から工事が着工されました。

10 年前の当クラブ設立 40 周年にも会員から寄付を募り改修工事を行っています。

今回の改修工事の主な内容は以下のとおりです。

- ①全体の塗装工事、モニュメント本体は雨などで汚れない塗装(光触媒塗装)とする

- ②石工事(池廻り緑石立ち上がり撤去・新規取り付け、黒御影石の加工設置など)

- ③「慰霊の泉」銘版の取替え(修復困難)

- ④案内板の移設工事等(英語表記を追加)

- ⑤モニュメント戦石・立ち上がり戦石後方の雨水対策(砂利、防草シートなど)

- ⑥ポンプ更新(排水ポンプ 2 台、循環水ポンプ 1 台)

- ⑦植栽関係工事

- ⑧排水溝の調査等

工事費は約 388 万円でした。

なお、靖国神社側から 100 万円の協賛金をいただきました。

6 月 10 日(火) 10 時から完成に合わせて竣工祭が執り行なわれましたが、毎年 4 月初め頃に行っておりました「慰霊の泉」献納記念参拝について今回はこの竣工祭にあわせて行うこととし、まず、9 時に靖国神社参集殿に集合、本殿での献納記念参拝終了後に「慰霊の泉」に移動して竣工祭を行う運びとしたものです。

献納記念参拝に先立ち靖国神社徳川康久宮司から藤原武平太会長に改修工事への協賛金をいただくこととなりその贈呈式が行われました。

竣工祭は約 40 名の会員が参列し、厳かに行われ、終了後、藤原武平太会長から北野貴裕北野建設会長兼社長に感謝状の贈呈式が行われました。

青少年教育賞受賞団体交流会

磯田 壯一郎

東京キワニスクラブ設立 50 周年事業の一環として、平成 26 年 8 月 30 日(土)に過去 30 回の青少年教育賞を受賞した団体の交流会が開催されました。

青少年教育賞は、昭和 60 年に青少年のボ

ランティア活動を支援するために設けられた表彰制度で、以来 30 年の間に 41 の団体と 5 人の個人が表彰の栄誉にあずかっています。

その受賞対象は、青少年が中心となって行

われているボランティア活動で、国の内外を問いません。平成26年の青少年教育賞の表彰式は8月30日(土)に青山のドイツ文化会館 OAG ハウスの大ホールで開催されました。今年是最優秀賞に劇団虹が、優秀賞には立正大学児童文化研究部と神奈川県警察大学生少年サポーターの2団体が選ばれました。

この表彰式にあわせて過去の各団体について現況を確認し、今日までの経験を相互に紹介しあって、各団体の一層の発展を図るべく過去の受賞団体と今年度の受賞団体及びキワニス会員との交流会の開催が企画されました。

過去に受賞した41の団体に連絡を試みたところ、残念ながら4団体は解散または活動を停止しており、個人も連絡がつかないことから、残る37の団体に参加を打診しました。その結果、当日は右記の13団体から35人が交流会に参加してくれました。

各団体の参加者は、最初にそれぞれの団体の活動についての簡単な紹介をおこなった後に記念撮影を行いました。

その後参加者は交流会を行って互いに意見

や情報の交換を行いました。上は80台のお年寄りから下は中学生に至る大変幅広い年齢構成でしたが、一時間半にわたって相互に活発な意見交換を行い、また、相互の経験や知識の交換に努めて、今後の一層の活躍を誓い合っていました。

回数	団体名
1	東京青少年補導員連絡協議会
2	NPO 法人 全日本鼓笛バンド・フォームバトン連盟
3	公益財団法人ハーモニイセンター 公益財団法人育てる会
10	公益社団法人発達協会
17	NPO 法人 JUNKO Association
22	田園調布学園中等部高等部 (特別賞)
24	大正大学障害児問題研究会 ちゃぼとひよこ
27	東京少年友の会ボランティア
28	NPO 法人キッズドア (がくぼら) NPO 法人 かものはしプロジェクト学生部ゆるかも
29	身延山高校手話コミュニケーション部 一般社団法人ガールスカウト群馬県連盟

キワニス・ユースフォーラムの活動の充実

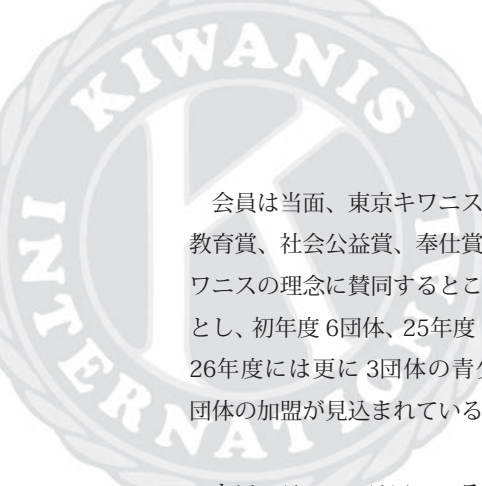
杉田 健

平成26年は東京キワニスクラブにとって特別な年になった。一つは日本で最初に創設された東京キワニスクラブの50周年に当たること、もう一つは日本で初めて国際キワニスクラブ年次総会およびASPAC年次総会が同時開催されたことである。そして東京キワニスクラブ50周年の記念事業としていくつかのプロジェクトが企画されたが、その一つが、青少年のボランティア活動支援を目指すキワニス・ユースフォーラムの活動の充実で

ある。

キワニス・ユースフォーラムは平成24年10月以下の目的をもって創設された。

- (1) 東京キワニスクラブは青少年のボランティア活動を支援する。
- (2) キワニス・ユースフォーラム会員相互の交流、協力ができる場を提供する。
- (3) キワニス・ユースフォーラム会員とキワニスクラブとの協働の機会を創出する。



会員は当面、東京キワニスクラブの青少年教育賞、社会公益賞、奉仕賞の受賞団体でキワニスの理念に賛同するところから選ぶこととし、初年度6団体、25年度4団体が加盟し、26年度には更に3団体の青少年教育賞受賞団体の加盟が見込まれている。

キワニス・ユースフォーラム創設に至る背景については、運営の窓口であるK-ファミリー委員会の記事に詳細が紹介されているので御参照頂きたい。

<< 活動の経緯 >>

キワニス・ユースフォーラム創設から2年間の活動の経緯は以下の通りである。

【 第一回交流会 】

場所：法曹会館にて立食パーティ形式

テーマ：キワニス・ユースフォーラム立ち上げに際しての最初の懇親会

参加者：加盟団体学生とキワニスクラブ会員
寄せられた意見：・多方面に亘る経験ある社会人先輩たちと接することができて

有意義だった。

・大先輩ばかりですごく緊張してしまった。

【 第二回交流会 】

場所：ドイツ文化会館 第29回東京キワニスクラブ青少年教育賞授賞式会場

テーマ：授賞式後の交流会で、新設のユースフォーラムについて発表。

参加者：設立当初の加盟団体、25年度青少年教育賞受賞団体、キワニスクラブ会員

寄せられた意見：・受賞団体の活動紹介や、討論会形式のシンポジウムを通して、他の青少年ボランティア団体の活動に感銘すると同時に、共通の問題点を抱えていることを知り、

是非今後交流を深めてみたい。

【 第三回交流会 】

場所：銀座ライオン特別室 昼食会を兼ねて

テーマ：会員同士の面識を深める。今後のユースフォーラムの運営方法について等。

参加者：24年度/25年度加盟の中から5団体、キワニスクラブ会員数名

寄せられた意見：・ユースフォーラムの理念に大賛成。

・他の団体と交流したいが、拠点が離れているので集まれる機会が限られる。

・交通費等の経費が負担になる。

・交流や意見交換の場としてSNS（FaceBook等）を開設してはどうか

【 第四回交流会 】

場所：神田サニー貸会議室

テーマ：年次総会の説明とユースフォーラム紹介ブース設営の参加・協力要請。

参加者：会員7団体、キワニスクラブ会員数名
寄せられた意見：・是非展示に協力したい。

・期末試験と重なるため当日会場への参加は難しいだろう。

【 国際キワニス年次総会会場でのユースフォーラム紹介ブースの設営】

場所：幕張メッセ

テーマ：国際大会の場で自分達の活動を紹介し、国内外からの来場者と交流する。

参加者：年次総会にゲスト登録したユースフォーラム加盟団体メンバー26名

【 第五回交流会 】（年次総会開催2日目）

場所：ホテル・スプリングス幕張

テーマ：国際大会参加の感想・意見交換。会員およびキワニアンとの懇親。

参加者：年次総会に参加したユースフォーラム会員26名、キワニスクラブ会員数名

寄せられた意見：このような国際大会に参加する機会は通常無いので、大変良い経験となった。

・最初躊躇していたが、慣れてくると海外からの参加者にも活動紹介ができたこと、且つ慣れない英語でも説明できた事は素晴らしい体験であり自信にも繋がった。

・学生達の工夫に感心した。特に身延山高校手話部員が日本語手話と英語手話を対比させて紹介したことや、東北大震災からの復興を願って作曲された「世界に一つの花」を手話を交えて紹介したことは素晴らしい。

<< 活動成果と今後について思うこと >>

1. 年次総会参加の意義

青少年達にとって、キワニス年次総会のような大規模な国際大会のプログラムや雰囲気を目の当たりにし、そこに参加できた事は素晴らしい経験になった。それ以上に、「社会奉仕活動を目指すキワニアン」というベースにある国内外各地からの世代の異なる参加者多数と接し、活動紹介に熱心に耳を傾けてもらえたこと、慣れない外国語でのコミュニケーションもやれば通じる、という体験から大きな喜びと新たな自信を見出したという。このことは私自身が参加者達と交わした会話や、大会後に受信したお礼メール等から想像以上の反響として伝わってきており、携わった者としても大きな喜びになった。

年次総会参加はキワニスクラブと会員との初めての協働事例となり、今後の活動発展への大きな第一歩になったと思われる。若い会員にとって普段では体験する機会の少ないこのようなイベントへの参加呼びかけは、ユースフォーラム活動参加へのモチベーション高揚に繋がり、今後も機会あるごとに紹介し参加を呼び掛けたい。

2. 会員同士の交流促進について

フォーラムは設立からまだ2年弱故、会員同士の交流・面識は深まっているとは言い難い。経過時間の短さ以外に交流が進みにくい要因として次の点が挙げられる。

- (1) 加盟団体の所在地が離れているため会合頻度を高められない
- (2) 活動の内容 / 規模 / 組織の性格が異なる
- (3) 学生主体であるためリーダー格のメンバーが卒業等により毎年世代交代があり、新メンバーにユースフォーラムの存在や理解の継承が十分になされない
- (4) 未だ会員同士の協働経験や共通話題が少ないこと、お互いの面識が薄いこと等から、折角開設されたSNS(FaceBook)だが積極的利用に繋がっていない

3. 更なる発展のために

現在の会員団体はユースフォーラムの基本理念に総論賛成で加盟した。しかし、今後ユースフォーラムは会員にどのようなサービスを提供できるのだろうか。現在加盟している団体は組織として完結しており、多くの会員には親団体が有り、活動や運営方針も親団体の意向や方向性にかなり左右されている。キワニス各賞の受賞という共通体験だけでは、会員同士の連帯感創出に十分と言えず、情報交換や協働のきっかけを積極的に見つけようとする行動に発展していないのが現状である。前述の交流が促進されにくい要因は今後も同様に残ると思われる。また、具体的メリットや高い関心に繋がる要素が見えてこない、デジタル時代の若者達は、ユースフォーラムの主要連絡手段であるメールに対しての返信にまで無関心になる傾向が有る。キワニス側としてできることには制約もあるが、今後の会員数の増加も視野に入れて、運営母体とし



てユースフォーラム活動の具体的な指針を考えなければ、名簿上だけの会員を抱える事になる可能性がある。ユースフォーラム設立の目的にある「青少年のボランティア活動

を支援する」を実践する為には、「会員の資格」「支援の質と継続性」という観点から具体的に各論の検討が求められる。

会員増強キャンペーン

吉國 眞一

キワニスクラブの活動にとって、会員を確保し、増強することは大きな課題です。1964年の設立時、91名でスタートした東京クラブの会員数は、1992年に300名の大台に達した後、減少に転じ、21世紀に入って、一時は200名スレスレにまで落ち込みました。その後、歴代の会長、メンバーシップ委員長により、新入会員の増強が精力的に進められましたが、一方で会員の高齢化から、死亡や体調不良による退会が相次ぎ、会員数は220名前後で横ばい状態が続いていたのが実情でした。

そこで、クラブ設立50周年を迎えた今年度には、国際キワニスの会員増強戦略に平仄を合わせる形で、藤原会長のイニシアティブの下に「50周年記念会員増強キャンペーン」を展開しています。新入会員を紹介した会員に与えられる特典(例会出席カウント、例会費免除)を拡大するなどして、新入会員の増強に努めました。この結果、1人で8人の新入会員を紹介した会員をはじめとして、多くの会員から新入会員の紹介に協力していただきました。

一方、後述するような構造的な問題から正規会員の勧誘が困難化していることを勘案し、クラブ新設委員会との連携の下で、サテライトクラブの新設による会員増強という新しい試みを成功させました。こうしたキャンペーンの結果、会員数は、240名まで回復してい

ます。

キワニスは、世界的にはロータリー、ライオンズと並ぶ奉仕団体として知られていますが、日本における活動状況では、他の2団体に大きく水を開けられているのが実情です。世界全体の会員数では、ロータリー、ライオンズが120~130万に対してキワニスは、23万人、6分の1位です。キワニス子どもたちの支援というテーマに特化していることを考えれば十分な規模と言ってよいでしょう。ところが、日本地区のクラブ数、会員数では、ロータリーが2300クラブ、9万人弱、ライオンズが3200クラブ、10万人であり、キワニスの規模(30クラブ、1700名)はとて3大奉仕団体といえるレベルではありません。

メンバーシップ委員会の項でも述べたように、バブル崩壊後、企業の余裕資金が減少し、法人会員のなかたちでの勧誘は困難になってきました。企業としても、CSR活動の一環として、ロータリー、ライオンズへの支援は続けても、キワニスのような知名度の低い団体への出費には及び腰になっています。職場や学校の先輩からの「申し送り事項」のようにして、新入会員の勧誘が可能だった「古き良き時代」は最早戻って来ません。

しかし、こうした厳しい環境は、裏返して言えば、「子どもたちのための活動」という目的に共鳴する、個人の集合体という、キワ

ニスの原点に立ち返る良い機会を与えてくれたとも考えられます。実際、会員増強キャンペーンと並行して進んだ企業サテライトの設立は、キワニスドールの作成という、クラブの中心的な活動を通じて実現したものでした。また、最近入会された会員の中には、会員の推薦でなく、ロータリーの活動に飽き足らないものを感じていたなかでキワニスのホームページをみてその精神に共鳴して入会を希望されたという大変意識の高い方もおられました。

企業のおカネが当てにならなくなったことと並んで、会員増強を困難にしている要因は、日本社会における「働き方」の問題です。男性が会社に滅私奉公し、女性が家事と育児に追われる高度成長モデルが未だに支配的な状況では、キワニスの母国アメリカのように、自発的に NPO 活動に参加するようなインセンティブは中々生れてきません。いきおい女性会員、若手会員の勧誘が困難になり、高齢

化と女性会員比率の低さが目立つようになりました。大企業の役職員会員が多い東京クラブは、こうした問題が最も先鋭的に表れていると言えます。

一方、安倍内閣が目指す「第3の矢」のなかでは、女性の活用、ワーク・シェアリングの推進といった、「働き方の見直し」が大きなテーマとなっています。こうした動きと協調してボランティア活動への関心を高めていくことも、会員増強活動に繋がるものと考えられます。そうした試みの一環として、9月27日には、子どものための活動に従事するボランティアの女性リーダーを講師とするシンポジウムを開催しました。

規模はともかく、その理念と情熱において、日本においてもキワニスクラブをロータリー、ライオンズと並ぶ奉仕団体にして行きたいと願いつつ、会員増強活動を続けていきたいと思っております。

国際キワニス・ASPAC 合同年次総会 東京・千葉大会

吉田 浩二

平成 26年 7月 17日から 19日までの3日間千葉市幕張メッセにて第 99回国際キワニス・ASPAC 合同年次総会が開催されました。日本で開催される初めての国際年次総会であり、世界の 50 を超える地区から約 3,000人にも上る多数のキワニアンが集い、秋篠宮同妃両殿下のご臨席を賜わるという栄誉に浴しました。東京クラブは、準備開始の当初から支援委員会を組織し多くの会員がホスト・コミティの活動を支え、合同年次総会の成功に向けて大きな役割を果たすことになりました。その合同年次総会の概略について次のと

おりご報告します。

■ 7月 17日 (木)

8:20-8:30 日本体育大学チアリーダー部 (Vortex) による元気な演技で幕開け。

8:30-11:00 合同開会式 (国際展示ホール 7) 北里ホスト委員会委員長の歓迎の挨拶で始まる。ガッサー会長と小田 ASPAC 議長による開会宣言、エリミネイト活動において小川ガバナーが Governor of the Year 受賞、幕張総合高校シンフォニック・オーケストラ部が「オペラ座の怪人」を演奏し



て前半が終了。引き続き、秋篠宮同妃両殿下がご入場され開会式後半スタート、ガッサー会長の歓迎の辞、幕張総合高校合唱部による「君が代」斉唱、秋篠宮殿下のお言葉、森田健作千葉知事並びに熊谷俊人千葉市長のご祝辞、グンター会長挨拶、吉川久子氏フルート演奏(江戸子守歌、Memory)、幕張総合高校合唱部合唱(It's a small world、Let it go)、幕張総合高校シンフォニック・オーケストラ演奏(ラデツキー行進曲)と式が進行し、秋篠宮同妃両殿下が全員の拍手に送られご退場されて、開会式が終了。(秋篠宮殿下のお言葉の要旨:キワニス子ども達に活動の優先度をつけていることは重要なこと。エリミネイト活動の成果を高く評価し、更なる展開に期待する。ガッサー会長の子ども達の未来に向けて橋を架けるといふモットーのもと世界のキワニアンが力を合わせて奉仕活動を行うことは大変意義深い。)

11:30-13:00 エリミネイト・プロジェクト 昼食会 (アパ・ホテル ボールルーム) ジョン・バトン次期会長による基調講演。日本地区が、会員一人当たりの募金額が世界第一位であることで、小川ガバナーと北里エリミネイト・コーディネーターが表彰された。

13:30-16:30 ASPAC 代議員総会 規約改正が議論され3つの規定が追加された。また、次年度の役員選挙で議長、次期議長、副議長など役員が選出された。更に、2014-2017 アジア太平洋地域国際理事選挙において日本地区の北里光司郎氏を国際理事に選出。2015年の大会がフィリピン、2016年の大会が台湾で開催されることが決まった。

16:45-17:45 ASPAC 合同役員会 新旧役員による引継ぎの役員会を開催。

17:00-19:00 KIF 受賞者祝賀会 日本地区からコネリー賞の巖俊氏、エリミネイトのメジャードナー 4氏が表彰された。

18:30-21:30 ジャパンナイト(ASPAC と KIEF の為に)

日本地区主催による夕食会が開催された。ASPAC と KIEF のみならず世界のキワニアン 750名の参加を得た。前半は海上自衛隊東京音楽隊によるプラスバンドの演奏と三宅由佳莉三等海曹によるソプラノのコンサート、後半は立食のパーティで小川ガバナーの歓迎の挨拶と乾杯で始まり、東京クラブの仲村渠千鶴子、ブレンダン・オサリバン両氏の巧みなバイリンガル司会で進行され、子ども達のヒップホップダンス、船橋湊町ばか面踊り、佐倉太鼓衆の和太鼓を楽しんだ。ばか面踊りには、多数のキワニアンが参加、大いに盛り上がった。

■ 7月 18日(金)

7:00-8:00 エリミネイト・ウォーク

早朝から約 300名が参加。幕張メッセ国際会議場から幕張海浜公園の中を巡る約 1.6kmをエリミネイト・プロジェクトの成功を訴えるバナーを先頭に皆元気よく歩き、すれ違う人たちにアピールした。実施に当たっては、会員、事務局員そして身延山高校のボランティアの協力を得た。NHK や千葉テレビなどの取材も受け、ニュース番組で放送された。

13:40-14:00 広島ジュニアマリンバアンサンブル

ASPAC 広島大会で好評だった子ども達のマリンバアンサンブルに再度登場してもらい、元気の良いパフォーマンスで参加者を魅了した。

14:00-18:30 国際代議員総会

始めに KIF の財務や活動の状況について

KIF 会長から報告があった。英雄的行動に授与されるコネリー・メダルが、少年の人命救助を称えて中国の留学生厳俊氏に贈られた。

理事会が提案した5つの規約改正が決議された。引き続き行われた役員選挙で次年度の役員体制が決まった。会長にジョン・R・バットン氏、次期会長にスーザン・A・ペトリソン氏、副会長にジェーン・M・エリクソン氏を選出。そのあと5人の国際理事が選出されたが内一人は ASPAC 年次総会で選出された日本地区の北里光司郎前ガバナーである。

17:30-18:30 山下泰裕八段の講話とちびっこ柔道の演技

子ども達の柔道の実技に続いて山下八段の講話があった。柔道は、子ども達の心身の発達に大きな役割を果たしうる、またグローバルな友好にも貢献して来たとのことであった。

19:00-22:00 国際友好晩餐会（アパホテルボールルーム）

カラオケとダンスを主体とした本部主催の夕食会で600名を超える参加者があった。各国、各地域からのキワニアン有志によるカラオケが次々と披露され、盛り上がった。日本地区からもカラオケ自慢の会員が積極的にステージに上がり日頃の腕前を披露した。また、中央のダンスフロアにおいて友好親善のダンスの輪を広げ、フェロウシップの絆を深める会員も多かった。

■ 7月19日(土)

9:00-11:00 合同閉会式 新旧役員の紹介から始まった。2013-2014年度優秀地区の表彰があり、日本地区も表彰された。国際サークルK会長および国際キー・クラブ会長等の挨拶があった。エリミネイトで、

10万ドルの寄付を達成した100Kクラブとして東京クラブが表彰された。続いてワールド・サービス・メダルが、貧困国への民間主導の食糧援助に取り組むテーブル・フォー・ツー代表の小暮真久氏に授与された。ASPAC50周年を記念したビデオが、小田議長と藤原会長の紹介で、披露された。幕張総合高校ダンス部の若さ溢れるモダンダンスが披露された。そのあとダンサーの一人から英語で感動的な感謝の辞が述べられた。

最後に次期会長のジョン・バットン氏から、エリミネイトやフォーミュラ(成長戦略)に率先して取り組むという趣旨の力強い就任演説がなされ、3日間の大会に幕が閉じられた。

13:30-14:30 ホスト・コミティー感謝の会
ガッサー会長、会長夫人、ソーダストロム専務理事が出席して感謝の会が開かれた。「素晴らしい年次総会であった。その成功はホスト・コミティーの皆さんが周到に準備してくれたお蔭」と感謝の言葉が相次いだ。

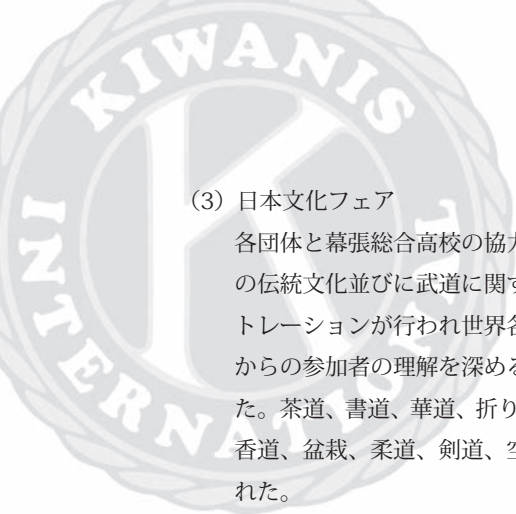
その他会期中を通して開催されたイベント

(1) 情報センター・プログラム

本大会では、従来のワークショップ形式でなく、成長戦略、エリミネイト・プロジェクト、100周年事業の3つのテーマについてセンター方式で情報の共有、意見の交換が図られた。

(2) ASPAC 地区フェア

ASPAC 地域の地区と日本地区の7ディビジョンと2ユース・グループが参加して、それぞれ特徴ある地域奉仕活動の展示、発表が行われ、参加者との交流が深まった。



(3) 日本文化フェア

各団体と幕張総合高校の協力を得て日本の伝統文化並びに武道に関するデモンストラーションが行われ世界各国、各地域からの参加者の理解を深めることが出来た。茶道、書道、華道、折り紙、着付け、香道、盆栽、柔道、剣道、空手が披露された。

(4) スパウズ・プロジェクト

ガッサー会長夫人の提案した「未来に架ける橋」をテーマにした子ども達の絵の展示即売も注目を集め、約14万円の売り上げがエリミネイトに寄付される。

コミの報道は、広くかつ深いものがあった。放送では、NHK、千葉テレビ、TBS、新聞では、読売、日経、産経、東京、千葉日報、電気新聞、そして共同通信の配信もあり、埼玉新聞ほか地方紙に掲載、また、ジャパン・タイムスも報道。

本年次総会の特記事項

(1) 秋篠宮同妃両殿下のご臨席とお言葉をいただいたこと

国際キワニス年次総会で史上初めて王室、皇室からご臨席とお言葉をいただいた。

(2) 若人の活躍が顕著な大会であったこと

地元の幕張総合高校は、開会式、閉会式、日本文化フェアなどにおいて、学校を上げて様々な協力をいただき、大会を大いに盛り上げてくれた。身延山高校もブースでの発表、ボランティア、神田外語大学の語学ボランティアなど、若人の力に支えられたと言っても良い。

(3) 日本地区が一丸となった取り組んだこと。

全国のクラブから多数の参加者を得ることができた。またホスト・コミティーを多数のクラブで支え、周到な準備を行うことが出来た。サブ・コミティーの準備と活躍も素晴らしく参加者の感動を呼んだ。

(4) マスコミが多数報道してくれたこと。

広報関係者の尽力の結果、本大会のマス

会員に対するアンケート

50周年史の編纂のための企画の一つとして、「会員に対するアンケート」を実施致しました。質問は、以下の4問です。

会員68名から、回答をいただきました。会員一人一人の個性あふれる回答を以下に掲載させていただきます。

アンケート質問内容

- Q1 東京キワニスクラブへの入会の経緯等についてお聞かせ下さい。
- Q2 東京キワニスクラブについて、印象に残っていることをお聞かせ下さい。
- Q3 これからの東京キワニスクラブへ期待することをお聞かせ下さい。
- Q4 その他、50周年を迎えた東京キワニスクラブについてお聞かせ願えることがあればお願いします。

永井 弓彦

A1 昭和54年3月東京クラブ入会(昭和48年初頭から札幌クラブの設立に従事し、同年6月30日に発足札幌クラブの転籍会員としても認められる)。
平成25年、リージョン・オブ・オーナー(40年)受賞。

<経歴 平成4年～5年(2年)レクリエーション、平成7年ボランティア、平成15年社会公益、平成16年ロバート・P・コネリー賞各委員長歴任>

A2 異業種分野の幅広い知識と見識を持つ会員との交流によって、自己の人格形成向上に役立ったこと。

ヤング・チルドレン・プライオリティーワンを念頭に、社会奉仕活動に参加アシストし、クオリティーライフを楽しめたこと。
家族ぐるみのお付合に発展すること。

A3 キワニスクラブの各種大会、3月ASPAC大会、6月米国での世界大会、9月日本地区定時総会に参加し、世界の会員との交流をはかってゆくこと。

A4 今日まで会員でこられたことは、元気に、明るく、楽しく、仲良く、会員の方々とのお付合によって支えられてきました。これからも続きますようよろしく願い申し上げます。

小島 章伸

A1 1982年(昭和57年)日本短波放送社長に就任した際、前任者の安藤蕃さんに強く勧められて入会しました。安藤さんは東京キワニスクラブ創設時のチャーターメンバー。もう一人の推せん者は私が欧州駐在時代いらいご縁が深かった竹内道雄さん(元大蔵次官)です。

“世界の子どもたちのために” (Young Children Priority One) をめざす奉仕活動の目的に心ひかれたことや、新聞記者時代を終えて社会へのお返し、世のため人のためにという気持ちもありました。

A2 入会したとき、長年取材先としてお付き合いいただいた各界の錚々たる方々がたくさんおられてびっくりしました。ロータリーやライオンズの後を追っての創立ということで、メンバー厳選、エクセレントクラブ指向が強かったことが印象に残っています。メンバーシップ委員会はチャーターメンバー中心の特別な存在でした。ただ、楽しい集まりをめざすということから家族会や忘年会は盛大、且華やかに行われていました。寄付活動も積極的でヨード欠乏症撲滅のためのIDD 寄付など一生懸命やっていたから世界から高い評価を受けていました。

A3 いま東京キワニスクラブは親睦活動、諸々の寄付を通じた社会貢献、汗をかく社会奉仕活動…などバランスのとれた形で活性化しています。キワニスドルの定着は象徴的です。

これからはさらに一步進めて東京キワニスクラブ発のボランティア活動が世界をリードするようなクラブになってほしいものです。その結果として世界での存在感の高まりを期待しています。たゆみない会員増強と時代を引き継いでいく世代交代が必要です。KI 会長候補が次々と出てくるような時代もくるでしょう。

A4 創立 50 周年、東京キワニスクラブは時代の変化に見事に適応し進化してきました。最近の「活動レポート」などからも積極的に社会貢献活動に取り組まれる会員皆さんの熱い思いが伝わってきます。今後ともキワニアンとして「老、壮、青」心の一つに“楽しく、感動を共有し合える”東京キ

ワニスクラブであってほしいと思います。次なる 50 年、100 周年に向かってのさらなる発展をお祈りいたします。

横川 瑞

A1 入会したのは 1984 年わが郷土信州諏訪出身の先輩で元ヤシカカメラの創業社長故牛山善政さんに誘われて入りました。

フードサービスが成長のさ中でした。当時社会貢献のため東京交響楽団への財政支援をしていましたがさらにもっと広くボランティア活動をと口説かれました。

A2 日本地区大会へ出席です。どこのクラブで開催されても主催クラブのきめこまかいもてなしに感動します。

A3 若い会員、女性会員が増えて新しい発想や感覚でクラブを運営して欲しいと思います。

A4 組織というものは年とともに硬直化します。それを防ぐことが未来を約束すると思います。

小笠原 建夫

A1 興銀 OB で、当時大協和石油化学に居られた池辺幹治さんから勧誘されました。学校の先輩であり、又、娘の結婚の仲立ちをして頂いたこともあり、一も二もなく入会をお願いしました。当時会員資格の基準として、上場企業の常務以上とされていた様ですが、私の場合、前任の銀行のポストを勘案して良しとされた様です。

木戸孝彦さんがメンバーシップ委員長をして居られ、40年振りの再会奇遇をよろこび合ったものです。と申しますのも、終戦時、私は中学3年生で、勤労働員で大船にあった海軍工場の分工場に駆り出されていましたが、木戸さんは東大の学生で同じ工場に居られ、終戦の詔勅を拝承した後、我々中学生を集めてドラム缶の上から檄をとばされたことを印象深く記憶していたからです。

A2 各地で開催される日本地区総会に何度か参加させて頂きましたが、その都度、ご当地のクラブメンバーの方々の並々ならぬご努力に感心し、且つ、暖かい心遣いに感動を覚えたものです。又、参会されている各地クラブメンバー並びにそのご家族の方々とも直ぐに旧知の如く親しく交流出来るのも、同じキワニスメンバーだということからでしょうか。

毎度、心温まる気持で再会を希って別れを惜しんだことが思い起こされます。

A3 上記とも関連して明年千葉で開催される世界大会では世界中の方々に同様の気持ちをもって帰途について頂けるよう協力しなければならないと思います。

A4 今迄の活動以上に何をという思い付きもありませんが、60周年、70周年そして100周年を目指して、地道に活動を継続して行くことが大切かと存じます。

大堀 太千男

A1 先輩からの勧め。

A2 ①入会当時に比べるとずいぶんとクラブ活動が活性化してきたこと。

②世界のキワニヤンが参加したIDD（ヨード

欠乏症）撲滅運動に我が国ではなじみのないものであったが日本地区のキワニヤンも大きな貢献ができたこと。

A3 より活性化し、日本地区のリーダークラブとして発展し、そして、我が国においてより知名度を高めてほしいと思います。

A4 新入会員の確保も重要ですが、折角入会した会員の退会を防ぐ方法をいろんな角度から検討し、みんなが会員であることをより誇りに思えるクラブに発展することを期待します。

菊岡 平八郎

A1 平成元年に横浜キワニスクラブから移籍入会しました。～昭和60年に千葉キワニスクラブ入会以来千葉・横浜・東京の3クラブに在籍、通算キワニアン歴28年～

A2 ①事務局長を仰せついていた時、キワニスクラブ創立以来故鹿内信隆チャーターメンバーの御高配でサンケイビルに家賃ゼロで置いて貰っていた事務局が、同ビルの建て替えに伴って退去を余儀なくされた際、産経新聞社と折衝して立ち退き料として"100万円"を頂戴した現在のビルに移転でき、クラブ財政にも貢献出来たこと。

②入会以来毎年必ず皆勤賞を頂いていること。これからも健康に留意して寿命があれば30年皆勤を目指します。

A3 時代の変化にマッチした社会奉仕活動の伸長と、その効果的なPRにより、ロータリークラブ等に負けない認知度を向上させ、新入会員を増強して組織強化すること。

吉江 誠

A1 今から25年ほど前になりますが、太陽神戸銀行(当時)の大阪支店長時代に、取引先のT常務という大阪キワニスの会員がおられて、キワニスというクラブがある、ロータリーなどと違って出席もうるさくない、ただ財政的に豊かではないので大阪キワニスの会合にお前さんの銀行の厚生寮を使わせてほしいと依頼されたことがあり、加えて、私が監事を務めていました或る医療財団の役員をされておられた当クラブのチャータメンバー安部先生から東京へ戻ったら東京キワニスへ入りなさいと薦められたのがきっかけです。

A2 2007~2008年の会長時代の毎日が強い印象を残していることは勿論です。その他色々ありますが、一つはキワニスドールでしょうか。どちらかと申せば社交団体の性格が強かった東京キワニスクラブに、キワニスクラブの基本的モットーである社会奉仕団体としての性格を強める大きな原動力になったのが、キワニスドールでした。青少年教育賞の受賞団体にもキワニスドールの制作に参加してもらおうと、2001年17回青少年教育受賞団体の明治学院大学のJUNKOアソシエーションに呼びかけ、同学の教室で、キワニアンも一緒になって学生たちと手縫いでドール作りをしたことが印象に残っています。一体作るのに2時間かかり学生たちの授業時間に食い込んでしまいました。

もう一つは、2001年に東京で行われた日本地区総会での失敗談です。当時の関口ガバナーがKファミリーを日本でも立ち上げようという強いご意向を持っておられ、その立ち上げの担当を命ぜられました。そこでK

ファミリーPTを組成し、その時の総会に、当時のサークルKインター会長のジェレミー・スローン女史を米国から招いて講演をしてもらい、あわせて日本でボランティアをしている各地の学生さんの参加を得てサンドイッチをつまみながらのユースボランティア国際交流という集まりを企画したのですが、趣旨が十分に総会出席中のキワニアンに浸透していなかったために、会場に各地区のキワニアンがどっと入ってしまい食事は不足する、学生たちの座る場所もなくなるという混乱をきたしてしまい冷や汗をかいたことです。その際実感したことは、Kファミリーの何たるかが、十分に日本地区キワニアンに広められていなかったという事です。

A3 私も会員歴20年を超え高齢化し活発な参加が難しくなってきました。最近入会された方には、キワニスの基本理念をよく理解してくださる方が多く心強く思っています。こうした方々のお力により、私自身も前述のようにかつて関与し、ご期待に添えずに終わってしまった、日本版Kファミリーを何とか立ち上げ、キワニス運動の底辺を広げて頂ければと願っています。

A4 東京キワニスクラブの性格もこの50年で随分と変わってきました。当初の経緯はどうあれ、国際キワニスのモットーとする姿に近づいてきたように思います。しかしキワニスはアメリカ生まれのアメリカ育ちで、社会構造も、宗教的背景も異なるアメリカのキワニスクラブのコピー版になることはできません。ダイヴァーシティの精神はここにも生きるわけで、試行錯誤をしながらもこれぞ「東京キワニスクラブ」という個性のあるクラブに育って行ってほしいものです。

菅野 明

A1 最初の職場で退職の時期が近付いたころ(1990年秋)、すでに退職してキワニス会員になっていた先輩から、「キワニスという社会奉仕団体があるが、入会しないか。今の勤め先と肩書きであればよるこんで会員にしてもらえと思う。退職してしまえばただの馬の骨になってしまうのだから、入会申し込みは今のうちがいい。他の団体と違って出席率もやかましく言われないので、お前に向いている。」と勧められた。

A2 入会当初毎週金曜日が職場の定例会合と重なっていたこともあり、例会にはほとんど出席できなかったが、たまに出席すると、古参の会員がかわるがわる話しかけてくれて、出席が少ないことで気おくれするようなことがなく、新人や若者が歓迎され、大事にされているということを感じ、こういう態度は自分が古参になったときに見習わなければならないと思った。

また、例会記録、会計など事務局の仕事がしっかりしているとの印象を受けた。

A3 会員の協力を得られる範囲で、少しずつ着実に前に進むこと。大きさと資力において他のクラブを圧倒しているので、傲慢にならないように。

佐藤 満秋

A1 東京キワニスクラブへ入会したのは、1991年で当時ジェットロの理事をしていた時に、チャーターメンバーである赤澤さんから、「お前も通産省を卒業し、一

般社会人になったのだから少しは社会奉仕活動をするように」という要請があって入会した。

A2 東京キワニスクラブで印象に残っていることと言えば、入会してすぐに国際経験があるのだから国際委員長をやれと言われて数年委員長をやり、副会長、会長になった。

その間、当時ガバナーであった木戸さんが英語が堪能であったこともあって、大阪ASPAC大会で議長をやった時に、日本人として初めてKIFの理事としての要請を当時のKIのパドリオー会長から受け就任された。しかし、2年目に癌になり、木戸さんから私に後を引き受けてくれと要請(むしろ命令)があった。私としても、木戸さんからの命令であればお断りすることも出来ず、最後の1年間をお引受することになった。

1年経ったところで、KIのブラウン会長からあと3年間の理事を引き受けてくれとの依頼があり、(KIFの理事はKIFの会長の指令によってなる)結局、4年間をKIFの理事として務めることになった。

A3 これからの東京キワニスクラブへの期待は、私が会長をしていた時代の会員数が250を上回っていたことを考えれば、今の会員数をもっと増やして欲しいことと、出来ればサテライトクラブでもいいから東京地域内に新しいクラブを作って行くことだ。いろいろな意味でサテライトクラブをつくる要素は東京地域内には存在するのではなかろうか。

A4 50周年記念と国際年次総会、ASPAC大会が一緒に日本に来たということは、キワニスの歴史でも前代未聞のハプニングである。藤原会長にとっては、大変な重責としんどいことだと思うが、東京クラブ会員が一体となって成功させることが、日本の底

力を世界に認識させる良い機会ではないだろうか。そのために、会員一同で頑張ろうではないですか。

廣瀬 駒雄

A1 現オリックス(株) 宮内会長が、当時キャニオンだった時、牛尾次郎氏から強烈にロータリーへの勧誘がなされた事がありその時の赤澤会長からダミーを求められ、私とそのダミーとして赤澤会長の面接の後、入会を認められた。

A2 入会した平成3年頃の忘年会が浅草の婦志多という料亭だった。

東京クラブのファミリーデーに”ペギー葉山”が出演していた。

事務局長の時にチャーターメンバーの方々を集めた会を設営した。

日本人として初めての国際理事に佐藤さんが就任した事は感謝した。

キワニス日本財団が公益財団法人として認可された事。

A3 ロータリークラブ、ライオンズクラブとは異なった独特なカラーで更なる知名度のアップが図れたら会員としての誇れるものが拡充すると思える

A4 メディアに取り上げてもらう為に、ワールドコンベンション幕張大会を上手に活用したらと思う。

緒方 謙二郎

A1 平成3年に、東京キワニスクラブ会長だった通産省の大先輩の赤沢璋一

さんから「君も退官して時間が出来ただろう。キワニスクラブに入れ。」と言われ、よく分からぬまま入りました。

A2 埼玉クラブの新設にあたり、クラブ新設委員として、母校の浦和高校の友人・先輩を何人か推薦したところ、そのうちの一人である坂本和穂氏が後に会長を3期務めるなど大活躍をいただいていること。

A3 キワニスドールに続く、特色があって具体的で目に見える新しい活動を考え、出来るだけ多くの会員の参加を得て実行すること。

A4 次の50年に向けて、更に若手や女性会員の入会を促進するとともに、国際的な連携の強化を図る必要があると考えます。

中田 一男

A1 昭和57年7月に、大蔵省中国財務局長に任命され、広島に赴任したとき、前任者を引き継いで、広島キワニスクラブに入会し、2年間、キワニス活動に参加した。昭和59年7月に東京に帰任してからは、現役を退いたら、東京キワニスクラブに入会しよう決心し、退官後、直ちに、入会した。

A2 入会した頃のキワニスクラブでは、まだ、昔のステイタスクラブとしての名残りが残っていて、活気に乏しく、会員数も減少傾向にあり、先き行きの見通しは暗かった。

しかし、平成15年頃から、40周年に向けての取り組みがはじまると共に、会員増強への努力が見られるようになり、会員数減少に歯止めがかかり、会員の平均年齢も若返って活

性化したことがなつかしく想い出される。

A3 若い人達を対象にサテライトクラブをつくって、社会奉仕活動を活性化することができれば、素晴らしいことだと思っています。

A4 ロータリークラブやライオンズクラブに比べて、キワニスクラブの認知度は高くありません。50周年記念に、キワニスクラブに知名度をいやでも高めることができるようなイベントはないものかと、思案しているところです。

取り敢えずは、東京・千葉大会を大いに盛り上げようではありませんか。

木村 太郎

A1 テニス友達で弁護士の故本間崇会員からのお誘いもあり、また函館、静岡の旧任地でロータリークラブの会員であった経験からこの種の奉仕クラブの活動に関心を持っていたので平成5年2月に入会させて頂くことにしました。

A2 入会後程なくリクリエーション委員長、事業企画委員長、副会長などの役職を経て平成14年に東京クラブの会長を拝命することとなりました。所謂バブル崩壊後の社会情勢の変化もあって当時の東京クラブは会員数の減少傾向に歯止めが架からず、例会の出席人員も再々40名を割込み、クラブ財政も赤字続きでした。こうした窮状を打開すべく会員に対するアンケートの結果を踏まえ、例会の開催を隔週とし、本来の奉仕クラブの在り方に立ち帰って会員の入会資格を見直したほか事務局長の絶大な協力のもと事務局の改革にも取り組みました。

A3 今後東京クラブが子どもに対する奉仕という本来の方向に沿って、会員の増強を図り益々活動を活発化させることを期待します。

A4 キワニスクラブが子どもに対する奉仕を目標に活動するからには、優れて女性の役割に期待するところが大きいので、女性会員数の増加と役割の強化はもとより、会員の奥様方の協力も欠かせません。この点10年前に会員の奥様方により「さくら会」が結成され定期的に集まって人形つくりを行うなどの活動がなされてきましたが、最近では会員の固定化と高齢化で尻すぼみの状況にあります。是非新しい奥様方に後継者となって頂きたいものと思います。

米澤 潤一

A1 昭和63年、横浜税関長在任中、当時神奈川県警本部長だった菊岡平八郎会員のご紹介で横浜キワニスクラブに入会した。転勤により一旦同クラブを退会したが、大蔵省退官後の平成6年2月、再び同会員のご紹介により、今度は東京クラブに入会し、今日に至っている。

A2 例会講師を7回(うち1回は横浜遠征)務めたことと、東京キワニスクラブからの派遣という形で、横川瑞会員と共に、平成13年度拓殖大学公開講座で「お金の話 あれこれ」という題目で講義したこと。直接の目的はクラブ財政への貢献であったが、同年度の同講座の講師アルベルト・フジモリ元ペルー共和国大統領や元日本兵小野田寛郎氏と並んで講義概要が収録され出版されたのが良い記念になっている。

A3 東京キワニスクラブは、これだけの社会的活動実績を重ね、メンバーの粒も揃っているながら、ロータリーやライオンズに比べ知名度がいまひとつなのは残念である。知名度向上のための鍵はふたつある。ひとつはマスコミ対策である。「キワニス、アーあればサンケイね」という先入観を払拭し、幅広くマスコミに喰いこめるよう、ここでもう一段の工夫と努力が必要で、未開拓の有力メディア出身者の入会が重要である。もう一つはメンバーの知名度の活用である。拓殖大学の時の様に財政的効果を狙うのではなく、PR効果を主眼としてボランティアベースで、会員による、キワニスメンバーと銘打っての、色々な機会での講演などを検討してはいかがか。必要ならご協力にやぶさかではない。

A4 上記3と同旨。これまで過去の因縁で破れなかったタブーがあるなら、それを50周年を機会に打破するというのも良からう。

小坂 元

A1 平成4年に広島キワニスクラブに入会。平成9年東京に転勤に伴い転籍し今に至っています。

A2 ジャヤカルタでのアスパック、ニューオリンズでの世界大会での催し、出席した皆さんとの懇親。

A3 出来るだけ全員が参加一出席すること以外も含め一できる機会を高める(特に奉仕する団体の会員であることの意識を絶えず持つ工夫、例えば会長が例会で黄金律、キワニスの重点課題を一言開会時にしゃべる等)新入会員にできるだけ早く委員会の委員長、副委員長になってもらうことも活性

化に役立つと思います。

A4 あまり気張らず粛々とした区切りの行事を願っています。

西村 清邦

A1 菊岡さんに誘われて、良く理解せずに入会しました。

A2 社会人として人間として立派で又若く感じる方が多い。

A3 学童保育等の、応援ができれば良いとおもいます。

A4 キワニスドールの記事が2件(東京、日経)出ましたが、もつと宣伝しても良いと思います。

佐藤 隆國

A1 東京よみうりCCのメンバーだった頃、住まいも近かった木村太郎さんを車で送迎する度に、熱心に勧誘されました。東芝の岩田式夫元会長が東京キワニスクラブの会長、地区ガバナーを歴任されていたことを知っていましたので、身分違いを理由にお断りしていましたが、2年目に遂に陥落いたしました。すばらしい仲間恵まれ、いまでは入会してよかったと木村さんに感謝しています。

A2 木村太郎会長の下で事務局長を仰せつかり、事務局改革と財政再建、そしてクラブ活性化に取り組んだことです。エレベーターを降りるとゴミ箱をひっくり返したような事務所、LANもなく資料も個人資料の感じでしたので、LAN導入で情報を

共有化し、誰でも事務局員ができるように、そして委員会が事務局でできるようにしたくて、3年間朝から晩まで毎日常勤しました。例会出席者も34人とだんだん少なくなり、経団連から部屋を変更してくださいと言われてたこともありました。そこで活性化委員会(委員長大堀太千男さん)を立ち上げ、会員のアンケートを実施し、その分析結果に基づいて、会員増強、赤字解消、例会・委員会の活性化等改善計画を毎週委員会で議論し、役員会、臨時総会にかけて実施に移しました。委員はもちろん当時の会員みなさんの熱いご支援で、短期間で現在の形がほぼできたかなと思っています。しかし油断するとすぐ元の姿になりかねません。事務局は整理整頓が基本だと思います。

A3 会員が多様化し、クラブの雰囲気は昔と比べて確実に変化してきていると思います。時代とともに変化することはよいと思いますが、良いところは残していくことも重要だと思います。一部の幹部や事務局だけが知っていることがないように、情報の共有化は最も大切だと思います。そのベースにあるのが会員同士の懇親であり、そして奉仕活動だと思います。

最近特に、ボランティア委員会、青少年委員会やKファミリー委員会が、若い力を導入する努力をされていて頼もしく感じています。どんどん発展してほしいと思います。

A4 ボランティア団体に徹していくのか、ステータスを維持するのか、そのバランスをどうするのか、ぼちぼち本格的な議論をする時期かもしれません。

クラブの性格を変えることは、会費の値下げにつながり、事務局経費の大幅なカットが必要となり、ボランティアによる事務局経営をしなければならなくなるでしょう。

廣瀬 権

- A1** 警察の先輩に勧められて
- A2** 健康管理など身近な問題に関する講演、バザーに出された東北被災地の高校の缶詰、文楽の熱演
- A3** 講話の一層の充実: 環境、食の安全、デモグラフィックスの変化等平素忘れがちな問題に焦点を当てて。
会員の金銭負担の軽減に努力していただきたい。
- A4** キワニス知名度の一層の向上。

山岸 信久

- A1** 会社の上司から勧められた。
- A2** ①「子ども最優先」をモットーに実施してきたキワニスドールの制作・配布に加えてシンポジウムの開催等、活動が発展し続けて、社会貢献に実績を残していること。
②社会公益・青少年教育顕彰事業を通してボランティア活動を行っている人々に勇気を与えていること。
③各委員会の活発な活動と、会員相互のコミュニケーションの良さ。

重成 侃

A1 職場の先輩に誘われて入会しました。当時、仕事も幾分楽になり、何らかの社会貢献活動もしたいと思っていたところだったので、喜んでお受けしたのを覚えています。

A2 (1) 入会時に比べ、例会以外の会合(なぎさ会等々)が増え、会員のコミュニケーションがより深まってきた印象があります。

(2) 平成14 - 16年当時、事務局長、地区事務総長の仕事をさせて頂き、就業規則の導入等による事務局体制の改革、名古屋でのASPAC大会の準備、地区規約改正等の貴重な経験をさせて頂いたことが、印象に残っており、感謝しています。

A3 社会奉仕団体としての活動が、会員の全員参加によって、より活発になるよう期待しています。

A4 50年の歴史を経て、東京キワニスクラブは変貌し、望ましい方向に発展を遂げてきたと思います。今後も惰性に陥ることなく、常に活動を見直し、社会への貢献度においてより大きな存在感のある団体に発展させていければ、と願っています。

藤原 武平太

A1 平成10年秋、シャープ(株)の本社(大阪)から東京支社長に配置換えになった時、通産省(当時)の先輩である佐藤満秋さんから入会を誘われました。シャープ時代を含め、6年ばかり東京を留守にして

いたこと、活動内容がほかの経済団体とは一味違っていたこと等を考えて、入会しました。佐藤さんからは他の経済団体も紹介されましたが、キワニス一本に絞って、大阪の本社幹部を説得しました。

A2 あれからもう15年になります。
(1) 2014年9月期の会長に就任したことが第一です。会長になるとは思っていませんでした。まして在任中に、50周年を迎えた事業を実施すること、国際キワニス(ASPACを含む)の年次総会を2014年7月に幕張で開催することは、全く想定外でした。いずれにしても、そういう巡り合わせと思い、全力を挙げて成功裏に終わるよう努力するつもりです。

会員諸兄が満腔のサポートをしてくれており、深謝します。

(2) キワニスドールが東京キワニスの活動の核になっていることがよくわかりました。作る人が外延的に急速に広がっていること、病院で的確に活用されていること、そのために会員が献身的な努力を続けていることに、感銘を受けました。

(3) いろいろの文化・レクリエーション活動を通じて、新しい友人ができました。70歳になっても新しい友人が得られるのは、キワニスの特色です。

A3 (1) 今わがクラブの平均年齢は、68.2歳です。若手にもっと魅力的な会にしなければなりません。

(2) 女性会員が少ない。10人、女性会員比率9%です。西宮(女性会員比率66%)、大分(42%)、埼玉(39%)、横浜(34%)の各クラブに教えを乞う必要があります。

9(1) 次の50年を俯瞰したビジョンを打ち立てねばなりません。グローバルな場においてもっとわがクラブの存在感を高めることが1つの道筋でしょう。その意味で、国際キワ

ニス総会は絶好の機会です。全員参加で、楽しい会にしたいものです。KIの理事を確保することも必須です。

(2) KI、日本地区の「成長戦略」に呼応して会員を増やさねばなりません。2013年11月1日の会員数223人は、最盛時(1992年)の72%にすぎません。皆さまの英知により2013年12月にサテライトクラブができ、5人の新会員が誕生しました。第2弾を早期に打つことが肝要です。レギュラー会員の入会も滑り出しは悪くありませんが、目標は50人です。会員諸兄のご奮闘を祈ります。

木全 ミツ

A1 キャリア生活にピリオッドを打ち、これから社会貢献活動に没頭しようと決意をし、その一つとして、国際奉仕団体に所属するのもいいかな・と考えていた折、「本来は、男性の団体であるけれども、世界三大奉仕団体は、今存続の危機に瀕している(即ち、会員が激減し始めている)そこで、東京キワニスクラブは、女性会員を勧誘しようということになったので、是非」というお誘いを受けた。

「キワニスクラブ」は、世界三大の奉仕団体であること、いつまで経っても古い男社会から脱出出来ない日本の社会、男社会に風穴をあけるチャンスであるとの思いで入会を決意。

「本来の入会資格は、“代表権を持っていること”“秘書がいること”“運転手つきの車を持っていること”であること、更に、委員会の委員長になるには、10年の皆勤賞をとった会員のみ資格が与えられること」とう説明を受けながら・・・。

A2 ①「女の人は意見を言う」(入会金10万円、年会費12万円を支払って、入会したら本気で会の活動に参加し、意見を述べるのは女の常識であると思っていたので・・・)と驚かれ、

②2年目に「ボランティア活動委員長になってほしい」と求められた。「これは、早速、大きな風穴があくぞ」と新しい生活の中で多忙を極めていたけれども、快諾をした。

③ボランティア活動委員長として、活動を進めていくに当たり、少し、調べてみると、東京キワニスクラブは、「国際キワニスの方針である、“世界からヨード欠乏症で亡くなる子どもをゼロにしよう運動”」に、世界でも有数の献金高を誇るクラブであるけれども、会員が自ら汗をかくという運動は皆無であった。

④世界中のキワニスクラブの「会員が自ら汗をかく運動」を調査し、オーストラリア、デンマークなど少ない国でしか取り組まれていない活動であったけれども「キワニスドールを作るプロジェクト」を導入したいと考え、国際キワニス本部とも連絡をとり、「キワニスドール作成の基本原則～綿は規定のものを使うこと、キワニスのマークを縫い込むことなど～」を学び、「全ての会員の皆様に、1年間に最低1人、キワニスドールを作っていたきたい、ご家族の手伝いを受けてもいいので」とお願いし活動がスタートした。

次の火曜会で「私は1人でつくりましたよ」「どうして」「軍隊で運針の練習をさせられていたが、全く活用するチャンスが無かったけど、キワニスドールで、やっと、役に立った」(大正、昭和一桁生まれの会員)「日本では75歳も過ぎると夫婦の間には、全く会話がなくなるもんだ、しかし、このキワニスドールの資材を持ち帰ると家内が、娘が、嫁たちが、あーでもない、こーでもないそれはそ

れは賑やかにになり、家庭の雰囲気が変わってしまった。わしは、材料を運び、出来上がったドールを運ぶだけだがな、ハッピー！」(85歳を過ぎた会員)と、キワニスドールの話題でもちきりであった。また、会員の妻たちがさくら会を結成、「キワニスドールを作る会」を発足させたのもうれしい動きであった。

⑤医療機関で使っていただきたいと訪問、説明をして回った当初は、「何かものを売りつけに来た」「ただの裏には何かがある」「お気持ちはありがたいが・・・」と門前払いの日々であった。

⑥しかし、「日赤病院では、東大付属病院では、30人、50人のキワニスドールが既に活用されています」という説明をした途端に、「それでは、私どもの病院でも・・・」と殆んど病院が、キワニスドールの活用を歓迎するように変わって行った。判断基準は隣の家、同業者の行動…の典型でした。そして、キワニスドールを作る活動は、小児科学会に馳せ参じ「ブース」を設けて普及活動につとめながら、全国に広がって行った。

⑦入会后3年目に「副会長になってほしい」と求められ、その後、5年間、副会長をお引き受けした。「大きな風穴」を感じた。誰も委員長になるには皆勤が・・・などと会話をする人はいなくなった。また、嬉しいことに女性会員も年々増えていった。

⑧4年目に「国際キワニス日本地区の初代YCPO委員長に・・・」「そして、日本地区の活動は何をしなければならぬかを考えてほしい」と会長から要請され、1年間YCPO委員とともに“日本の子どもにとって何が深刻な問題か”をテーマに調査、研究、関係機関の訪問などを行い、はじめて、国際キワニス日本地区の活動“児童虐待防止活動”がスタートすることになった。まず、東京キワニスクラブからスタートし、その体験を活かし、

その後、全国のキワニスクラブへの参加呼びかけに各地の例会で話をし、奔走した。各地の例会で「参加者の名前ではなく企業名が席に書いてあること」「私達は、そのような活動をするという前提で、キワニスクラブに入っているわけではない」など、カルチャーショックの連続であったことは、今でも鮮明に記憶に残っている。

A3 ① WHOの発表によると世界は例外なく高齢化が進んでいるが、日本は一番「高齢者に笑顔がない」、「幸せ感がないと応える」社会だということである。その理由は、定年前の人生体験があまりに単調すぎる(男性は、自分の会社という狭い世界で、女性の多くは専業主婦という非常に狭い社会で過ごしてきた)ために、退職後の人々の間で会話が続かない、関心事が異なる、個人の意見を持たない等の為、会話が続かない。

東京キワニスクラブ、特に「火曜会」等を見ていると素晴らしい雰囲気(実に楽しい時間を共有し合っている)おそらく、火曜会だけではなく、キワニスクラブの活動に参加することを楽しみにしている会員は多いのではないか。高齢者が増大していく日本の社会にあって、高齢者の笑いが響き渡るこの楽しさを上手にPRし、日本の高齢化社会を明るくしていくことに貢献できるのではないか。自ずから会員増にもつながっていくと思われる。

A4 東京キワニスクラブ会員の人生にとって、忘れることのできない思い出となるイベント。

東京キワニスクラブ50周年をきっかけに、一大飛躍につながるイベントが企画、実施できるといいですね。

北里 光司郎

A1 以前マドリッドで駐在生活を共にしていた塚田誠剛会員からのお誘いで入会しました。その前に私が務めていた富士通で副会長の赤澤璋一氏、顧問弁護士の木戸孝彦氏のお二人が東京キワニスクラブのチャーターメンバーで、特に赤澤さんからは、キワニスで話されたことや活動内容をいつも聞かされていて、以前からキワニスには関心を持っていました。そこへ塚田さんからの強いお薦めがあり、それに押されて入会したものです。

A2 2005年8月、広報委員長を務めていた時、BS朝日テレビで「キワニスドールを知っていますか」というドキュメンタリー番組を作成し放映したことです。キワニスには多額の製作費や放映費を負担するお金はありませんので、映像事業の会社の代表として活躍されていた青木秀臣さんに企画の相談をしてご協力を得、また当時ガバナーの中田一男さんからテルモにお話しいただき、製作費と全国放映の費用のスポンサーとなっただけでいただくことが可能になりました。また、伊藤康成会員始め多くの方に小児科病院のご紹介をいただき、病床のお子さんの撮影が可能となりました。このように皆様に汗をかいただいた結果、キワニスとしての金銭的な負担なく、2005年8月27日全国放映が出来ました。放映された1時間番組は20分のダイジェスト版にまとめられて、今でも活用されています。また、この番組作成が縁となって、青木秀臣会員が入会を決められたことも嬉しい出来事でした。

A3 東京キワニスクラブは、歴史と伝統もあり、素晴らしい会員も擁し、社

会に大変有益な活動も行っていきます。現在もっと必要と思われるものは何かと言えば、それは社会的な認知度だと思います。50周年記念をきっかけとして、思い切って認知度が上がるような方策を考案し実施し、キワニスの日本での地位向上を図ることを今後の期待したいと思います。

A4 2013年キワニス・ヨーロッパが50周年を迎え、2014年に東京キワニス、マニラ・キワニスを始めASPACのキワニスが50周年を迎え、2015年は国際キワニスが100周年を迎えます。100年の歴史を持つ世界のキワニスに対して、50年の歴史のASPACキワニスが今後の世界のキワニスを支える成長のエンジンになり、世界における東京キワニスクラブもこれからますます重要なものになるでしょう。そのような思いを、東京キワニスクラブの50周年記念行事、東京・千葉での国際年次総会に於いて共有できれば良いと思っています。

豊田 武久

A1 元の職場の上司に紹介されて入会しました。当時は、転職で余暇時間が増えたため、その消化策の1つという程度の意識でした。

A2 社会的ステータスの極めて高い方々の集団で、自分がこのクラブの会員でいいのかというのが正直な印象で、これは今でも同様です。

また、他の奉仕団体(ロータリー、ライオンズ)と比べて、官界出身者のウェイトが高いのも特徴と思います。

A3 やはり、知名度を上げ、クラブ数、会員数を増やすことが大事と思いま

すが、仲々正攻法ではクラブ新設は難しいので、今回の福井サテライトクラブのように新しい角度からのアプローチは有益だと思います。

A4 会員数を増やすことは勿論大切ですが、特定の出身団体の会員数が突出して増えることには問題もある(例えば仲良しクラブが出来て、その人達で固まってしまう等)ように思います。

また、クラブの活動はあくまで例会出席が基本なので、例えば火曜会だけは出席するが、例会には一切出ないというようなことは問題。同様に、社交にだけ専念して、クラブの役職を一切引き受けないというようなこともよろしくないと思います。

青野 厚子

A1 仕事関係の方から、会員の佐藤隆岡氏を紹介されて、その方と一緒に入会しました。残念ながらその方はすぐに退会されました。

A2 いろいろな方のお話が聞くことができ、勉強になります。また、歌舞伎や宝塚などの手配も有難いです。ASPACや世界大会を兼ねて、会員の方々と旅行できるのも嬉しいです。

A3 募金だけでなく、行動的な複数のボランティア活動がしたいですが、実際には仕事があって参加できないジレンマがあります。

A4 現在の良いところを残しながら、ボランティア活動が盛んになることを願っています。

栗山 勁

A1 会社の先輩からの勧誘で断れませんでした。

A2 ①委員の皆さんの熱心さ。
②年令の割には、皆さん元気です。
③キワニス会員は長生きできるようです。

A3 現状のままで良いでしょう。

山口 知子

A1 テニスクラブでおなじみであった木村太郎氏がキワニスの会長職であったころ、これから女性会員を増やしたいので、是非入会をと何度も勧められ、その熱意にほだされて、当時、大学勤務では金曜日の例会に出席できないので、夫の主催する病院への転出に合わせて、入会を決意いたしました。もともと育った環境がミッションスクールで、人生奉仕の精神で貫いて選んだ職業から、医師としてすでに十分社会奉仕はしているという自覚はありましたが、狭い医学界にどっぷりつかっていたために、少し社会への関心を持つきっかけになったと、それ以来、なぜか毎年精勤を続けて、もはや約10年になります。

A2 ASPACに何度か参加したこととか、年次総会には近県を除きほとんど参加しており、今回初めてバンクーバーの年次総会に出席したことが印象的です。

A3 もう少しメンバーの男女比のバランスのとれた会であってほしいと思います。それには女性会長の視点が大きい役

立つと思われまので、3年に1回でも女性のリーダーをだしたいと思います。少なくとも、現職中の会員は会長職は到底勤まらないので、年齢に関係なく適正と熱意のあるゆとりある女性リーダーの方を必ず、立てることを実行してください。平均年齢が高い会なのでどんな高齢でも健康と資質のある女性は必ずや、このクラブの発展に貢献できると思います。

A4 ロータリクラブやライオンズクラブにはない不思議な構成メンバーによる長所と欠点はあると思いますが、それなりに、独自性はたもたれていて、面白い奉仕団体だと思っています。この年会費と例会費では到底主婦や定年族にはお勧めできないので、少なくとも、例会費は半額にできると思います。男性の感覚では思い切った改革はできないと思います。

伊藤 康成

A1 ①中田副会長(当時)の3回にわたる勧誘があったこと。

②慰霊の泉の奉納及びその清掃を続けていることから、清掃なら参加できると思ったこと。以上の2点です。

A2 ①入会后1年未満のときに川崎事業企画委員長(当時)から直接電話でファミリーデーの実行委員を依頼されたこと。

②永くレクリエーション委員長をされ今も主要メンバーである小野会員を初め多くの会員が献身的にクラブの運営をされていること。ドールシンボジウムや青少年教育賞贈呈式などが続いていることも同様です。

A3 東京クラブからアジア初の国際会長がでること。人材は豊富ですからあとは環境整備でしょう。

A4 昭和42年のクラブ法人化の趣意書では青少年の教育を重視していて、昭和40年代は講演等をしていたそうです。具体的な方法について考えがあるわけではありませんが、この方面にも力を入れることを期待します。まずはKファミリー委員会の努力が実るよう応援することでしょうか。

星 利樹

A1 現役当時、別の奉仕団体に入会しておりましたがもっと地についた奉仕活動がもとめられているのではないかと考えておりました。その後、小野さんからキワニスクラブがあって活動内容が違うようどうかと話がありました。

奉仕活動が“世界の子どものために”と的を絞ったものでこれだと共感して入会しました。

A2 入会した時は、キワニスドールが導入されていましたが細々と活動している状況でした。このドールこそもっともっと普及させ特に病気の子どもに癒しを与える必要があると痛感しました。それから小児学会等でキワニスドール展示コーナーを設けドールの実物を見本として配りPRしましたが、“これを待っていたのです”の声を聞くことができ本当にうれしく思ったことです。

A3 “世界の子どものために”これは本当に素晴らしいと思います。派手ではなく地道にこの活動を続けていって欲しい。

A4 時代の変化が激しいですが、奉仕活動のハートは変わらないと思います。

もっと幅広い世代と交流しバランスのとれたものになって欲しいと思います。

小野 洋一郎

A1 これまで行ってきた老人施設訪問などのボランティア活動の幅を広げたいと思っていた時に、東京宝塚劇場で川崎弘会員に偶然出会いました。

(この日は東京キワニスクラブの宝塚観劇会でした)

休憩時間に「クラブに入れば毎回良い席で観劇できるよ」と言われ、その場で入会を決めました。

A2 1 徳川将軍 15人の霊廟を参拝できたこと

徳川恒孝会員の特別のご配慮で、平成 18年 5月と 11月 日光東照宮と二荒山神社の正式参拝 輪王寺、大猷院の特別参拝をさせていただきました。

特に大猷院の奥の院(家光公の墓所)は、非公開で平成 12年に家光公 350年遠忌のときに半年間公開しただけなので、貴重な体験をすることができました。(将軍 2名)

また、平成 23年 6月には芝増上寺(将軍 6名)と上野寛永寺(将軍 7名)を特別参拝させていただきました。

2 自衛隊の式典等に参加できたこと

伊藤康成会員の特別のご配慮で、平成 16年 10月防衛省、平成 18年 4月イージス艦 8月陸上自衛隊富士総合火力演習 11月自衛隊音楽祭(マーティングフェスティバル)平成 20年 10月自衛隊航空観閲式に参加するこ

とができ、これまでにない貴重な経験をすることができました

3 祇園祭例会に参加できたこと

京都キワニスクラブあげでの“おもてなし”の歓待で、山鉾巡行を説明つきで間近に観覧でき、平成 19年以降毎年参加しています。

これが私の京都検定受検のきっかけになりました。

A3 “子どもたちのために”をもっと充実していただきたい。

キワニスドールはすっかり定着しましたが、もう一步踏み込んで今社会問題になっている痛ましい児童虐待に対して何か活動ができないか、検討して欲しいと思います。

(私は屋外で親に叱られ泣き叫んでいたり、親にぶたれたり無理やり引っ張っていかれたりする幼児がいると勇気を持って親に話しかけ注意しています。躰と言う親もいますが、虐待へと進む前にその芽を潰すことができないかと思うからです・・・一声運動)

会員の子ども、孫たちの参加を考えたイベントの企画

春休み、夏休みを利用した平成 18年 7月の東京湾クルージング(参加者 70名のうち会員 32名家族 28名小学生以下 10名)

平成 25年 4月の盲導犬の里富士ハーネス(参加者 18名のうち会員 8名家族友人 4名小学生以下 6名)などのような会員の子どもたちが参加しやすい企画を増やしていただきたいと思います。

有岡 恭助

A1 平成 7年に東京勤務に移ったとき、東京キワニスに入会、そのご四年ほ

ど大阪勤務となったときは大阪キワニスに移り、平成16年退任とともに東京キワニスに復帰しました。

A2 平成7年東京キワニスに転籍したときは、有力な先輩諸氏も多く、毎週例会があり、仲々出席できないので、大変な会だと思いました。他面、ロータリー等他のクラブと違い、官庁OBも多いので民間の交流がスムーズで、私には親しみ易く、また、大阪にも東京におられた方が何人かおられ、歓迎して貰えました。

A3 キワニスの基本原則はあるのですが、一般社団法人になったことでもあり、社会奉仕よりも、会員相互間の親睦団体としての面をもっと強くしてもよいのではないのでしょうか。卓話の内容も、会員の関心深い政治、国際、文化など一般時事問題を中心にしてはどうでしょうか。

堀井 紀壬子

A1 大学の先輩でお世話になっている木全ミツ様からのご紹介。2004年、入会金3万円キャンペーンのときで、今ならお得と誘われました。

A2 新入会員オリエンテーションの時、他の新入会員が男性ばかりで、大学一年のクラスの初日に、やはり女子ひとりだったことを思い出してしまいました。

しかし、大学の同級生と違って、皆様紳士で、気持ちの優しい方ばかりで、委員会でも楽しく活動させていただいております。

ボランティア活動委員として、キワニスドールを小児科学会などでご紹介することや、キワニスドールシンポジウムをスタートするなど、皆様のご協力を得て新しい試みを致しま

した。初めての学界の時に、金沢までたくさんの方々がいらしてくださり、多くのドクターや、看護師さんにドールをお知らせできたこと、素晴らしい思い出です。

A3 「子どもたちのための活動」をドール以外にも広げていってほしいと思います。

今の日本で子どもたちが直面しているさまざまな課題に、東京キワニスクラブがどう関わられるのか、みんなでアイデアを出し合うことを期待しています。

もちろん現在の和気あいあいとして雰囲気は大切に守りつつ。

A4 東京キワニスクラブには、「思い」と「能力」のあるメンバーがそろっています。皆さんの「思い」を形にして、より多様なメンバーを迎えることで、次の50年の持続的発展を願っております。

亀田 丈司

A1 若手の会員募集中とのお話して、中田一男様のご紹介で入会させていただきました。

A2 子ども(娘、息子)がまだ、小さかった頃、家族で、ファミリーデーに参加させて頂いたこと。楽しいゴルフ会にこと。

A3 業務多忙の為、なかなか参加出来ませんが、素晴らしい方々と、もっと交流をさせて頂きたいと存じます。期待より自身の問題です。

A4 50年の歴史を作って来られた先輩方々への感謝です。

秋山 誠一

A1 第2のサラリーマン人生に別れを告げて、その後どのような形で世の中にお礼奉公をしようかと迷っていた頃、元の勤務先の先輩に入会を勧められたことが契機です。

A2 <1> 入会後早い時期に青少年教育委員長を命ぜられ、青少年教育賞の選定に当たり、各種障害児童乃至成人支援ボランティア団体の活動の現場を訪れる機会がありました。普通の大学生たちがいろんなハンディキャップのある子ども達の健全な成長のために精一杯頑張っている姿を目の当たりにして、初めての経験であったこともあり強い印象を受け深く感動しました。この時は、卵を孵すのも育てるのも上手な日本の小さな鳥「ちゃぼ」に因んで命名された大正大学の障害児問題研究会「ちゃぼとひよこ」が受賞し、東京クラブのHP ページ「活動報告」欄にその会をめぐるやや詳しい印象記が載せられております。

<2> 「なぎさ会」発起人の一人としてその隆盛を願ってきましたが、昨年第一回最優秀皆勤賞(39回参加)を賜り、光栄な印象として今後とも残ることでしょう。

A3 新入会員が例会等に参加しやすい雰囲気を作っておくことは入会者の早期退会を防ぎ会員純増に資する見地からも常に心掛ける必要があります。各期の理事諸氏にはこの点で一層の工夫を期待いたします。

A4 今後クラブの更なる成長、拡大を希求するならば、本部のインフラ充実(事務室、会議室、人材等)を思い切って進める必要があると思われます。

古屋 俊彦

A1 2004年、米国ワシントンDCへの赴任から帰り、東電ピーアールの社長就任後まもなくして、会社の先輩であり、東京電力の他の子会社(テプコユ)社長の小野洋一郎会員から熱心に勧誘されました。入会の10数年前に3年ほどロータリークラブに入っていた関係からロータリークラブへの再入会について他の大先輩からも熱心に勧誘されていた最中でした。

ロータリークラブについては毎回出席することが難しかった経験から再入会を躊躇してしるところへ小野先輩の熱心さに加えて、出席率は①あまり気にしないクラブであること、②レクリエーション等の諸行事・イベントで楽しめる・・・という言葉で当クラブに入会することしました。

推薦はやはりお世話になっていた川崎弘会員(当時東京電力副社長)と小野会員の推薦で入会させていただきました。

A2 二つ挙げさせていただきます。
(1) 入会直後に大変楽しいイベントや行事が多く、これは楽しめるクラブであるとの印象が大きかった。観劇(歌舞伎、宝塚等)、コンサート(第九等)、懇親会(なぎさ会、ワインなど)すべてに出席できないほど多種多様かつ盛りだくさんで他のクラブ(ロータリークラブ、ライオンズなど)に比べて群を抜いていることです。

(2) 入会して間もないころ広報委員会の活動の一環として新入会員の先輩の会員へのインタビューがあり、原稿をホームページに掲載していた時期がありました。

大先輩の木村太郎会員(当クラブ会長と地区ガバナーを経験)のインタビューを担当し当

クラブの歴史、これまでのクラブの課題や変遷について拝聴できたことは大変参考になり、また、木村会員の「キワニスは生きがい。」との結びの一言は極めて印象深く感じました。

A3 奉仕活動、社会貢献活動は基本的なことであるが、やはり会員が当クラブの活動を楽しめること、楽しみながら親睦を深められることがクラブ運営と発展に最も重要であり、それが会員のビジネス、社会活動に有益であると考えます。あまオブリゲーションが過ぎないよう節度をもった楽しいクラブとして発展して行くことを期待したい。

A4 50周年記念事業(5事業)と国際大会(東京・千葉大会)を成功裏に推進することが今後の発展の礎になると考えるので今年度は会員全員が力を合わせ、かつ楽しみながら邁進することが要請される。

吉田 浩二

A1 2005年5月、ニューヨークから帰国し日本損害保険協会に出向のため顧問として待機していましたが、その頃三井住友海上の顧問に就任されていた中田一男氏の強いお勧めで入会いたしました。当時はキワニスとは初めて聞く名称の団体であり、何をする団体なのか一切知識はありませんでした。しかし、素晴らしい経歴を持った方々からなる団体で今だけ入会金3万円との甘い言葉に誘われて、異業種交流会の一つと理解して入会を決意した次第です。

A2 キワニスドールを筆頭に子どもたちへの奉仕活動も盛んで、これらを支える委員会も形式的なものでなく、しっかりと活動しており、大変頼もしく感じました。

また委員会での議論もオープンで少数意見も尊重されるなど民主的な運営がなされていることが印象的でした。しかし、土台の部分ではいわゆる経歴の長いメンバーの皆様の保守的なまたは回顧的な思いに配慮される部分も残っており、若い人たちや女性の皆さんに敷居が高いとの印象を与えるケースがあるのが残念でした。もちろん年とともに変わって来ていますが、そのスピードはけっして速いとは言えません。

A3 楽しく、面白く、為になるクラブでないと長続きはしません。また色々な層をメンバーとして取り込んでいかないと世の中の動きと国際本部の方針の変更についていけないと思います。これから、キワニス活動のさらなる発展と参加者の拡大を目指すためにクラブサテライト方式を大いに利用していく必要があります。大切なコア組織の維持をはかり、社会の多様化に適切に対応するために便利な方法であり、サテライトの組織と活動が拡大充実すれば、正規クラブの新設にもつながります。成長なき組織に発展なしであり、世界の子どもたちが我々の手が差し伸べられるのを心待ちにしている現状で民間のNPO団体の役割は今後ますます重要になってくるところであり、我々もしっかり成長し、より多くの子どもたちのニーズに応えていかねばならないと思います。東京クラブはこの模範になっていくことが期待されています。

A4 国際キワニスが2015年に100周年を迎えますが、東京クラブはやっとその半分の歴史を重ねただけです。東京クラブが100周年を迎えるときにどんなクラブになっているのが良いかを夢に描きながら、これからの50年の活動を計画し取り組んでいく必要があります。また、必要とあれば国際キワニスの活動を東京クラブがリードして

いくことがあっても良いのではないかと思います。東京オリンピックの招致で必要以上に有名になった「おもてなし」は常に他人を思う心から自然と出てくる日本人が他人と接する所作であり、まさにキワニスの目的の2つ目のゴールデンルールに則り日常生活を送ることの具現化であると思います。こうした日本の良さを国際キワニス活動をブラッシュアップしていく可能性は大きいと思います。

塚越 孝三

A1 仕事上の友人、栗山 勲さんに誘っていただいたのが直接のきっかけです。

ちょうど現役引退が近付いていた時期で、何か少しでも社会のお役に立つことがしたいと考えたことと、職場以外の人との新しい出会いがあるのではと思って入会を希望しました。

A2 3年前に事業企画委員長をしたことです。新年互礼会、ファミリーデー、例会等の企画運営を担当する委員長の仕事はなかなか大変そうで、当初は不安でしたか、皆様のご協力のおかげで何とか勤め上げることができました。この仕事をしたおかげで、多くのキワニアンの方と親しくなれましたし、またキワニスの活動により深くかかわるようになったと思います。

A3 現在の和気あいあいとした雰囲気が維持されることを期待します。そのためにも趣味のサークル活動などをもっと広げても良いのでは(たとえばハイキングなど)。また、子どもたちのために、キワニスドールに加えて、もう少し多様な活動ができればよいと思います。

村上 徳光

A1 平成19年、菊岡平八郎会員の御推薦により入会させていただきました。

A2 一度講演させていただいたことと、家内と一緒に参加した徳川様の御案内による増上寺と寛永寺の見学が、特に印象に残っています。

A3 これからも、世の中の弱者のための活動を続けていくことを期待します。

また、会員の教養を深めるための種々の活動を期待します。

中門 弘

A1 菊岡会員から熱心なすすめを受けたこと。

かつて大阪で勤務していた平成3年、4年に大阪クラブに属していた時期があったが名目だけで活動は全く行っていなかったことも入会の動機のひとつ。

A2 自分自身これまで積極的な活動をしてこなかったので、残念ながら印象に残ることがない。

A3 ライオンズクラブやロータリークラブに比べて知名度が低いので、社会奉仕活動をより活発化して社会的評価が高まることを期待したい。

A4 これまで在籍された先輩会員の諸活動と努力に敬意を表すると共に、それを継続、発展させていくことができればと思う。

中川 惇

A1 会社先輩(佐藤隆國氏)のクラブ紹介がきっかけで会社人間からの脱皮のチャンスと思った事と「社会への些少でも貢献できれば」、また、今迄の経験を生かしてキワニスクラブの場に「何か還元できないか」と入会を

A2 人生あるいは組織人としての先輩が真摯に「ボランティア活動」に向き合っていて活動している。特にキワニスドール活動は、外部からも評価されているし、活動している会員も尊敬の念で見られており、類似団体・クラブとの差別化になっている。

A3 ・より多才なメンバー(女性、若年世代)の加入により、多様な価値観が創出されること
・会員の知見経験を生かし、「教育」「人づくり」というコンセプトで子どもに「何を残せるか」を考えてみるのもひとつの方向性だと思う。

林 明夫

A1 公益社団法人経済同友会の友人から熱心なご説明とご紹介を頂いたため。

A2 キワニスドールはじめ様々な社会貢献活動に極めて熱心に励んでいること。

A3 この素晴らしい活動を永続していただきたい。

A4 創設50周年、おめでとうございます。

広畑 史朗

A1 警察を退職して間もなくのOB会合で、菊岡平八郎先輩(会員)から入会を強く勧誘されたもの。当初はあまり気が進まず、受身の姿勢での入会でした。

A2 入会当初は敷居が高い思いがして、なかなか馴染めなかったが、オリエンテーションへの出席を機に皆さんと打ち解けるようになった。親しく話せるようになってみると、各界の経験者が綺羅星のごとく揃っており、これまでの自分の世界がいかに狭かったかが思い知らされ、急に世間が広くなったように感じた。

A3 様々な分野での活動が活発化しているのはご同慶の至りで、私も積極的に参加していくつもりだが、半面、おおらかな社交・友誼団体としての性格も失わないでもらいたい。

A4 新参会員としては、昔の歴史・歩みについて知るところ少なく、古参会員の方に解説してもらって定期的な機会が欲しい。

森本 淳之

A1 当時の会社先輩と業界先輩のお二方よりご推薦を頂き、併せて自らも社会貢献に対し関心を有していたので平成20年2月に入会させて頂きました。

A2 会員メンバーに官庁関係の方が圧倒的に多いこと、民間企業出身のメンバーが少ない上、つながりが必ずしも強くないと感じたこと。このことは一方で自分のキ

ワニス活動自体が不活発であることと関係している」と反省しております。

A3 益々元気な高齢者の多くなる社会に於て、税収が減り、種々の行政的サービスに手が廻らなくなると思われるので、とりわけ児童に視点を置いたボランティア活動が一層重要になると思われます。この意味でもキワニスの活動が大いに期待されていると思います。

A4 50年前の日本がちょうど高度経済成長の始期に位置したとすれば、現在はまさに少子高齢、低成長時代の始期にあると云えます。これから求められるものは物質的なものではなく精神的なものであり、まさに“心の時代”に入るのはではないか？その意味でもこれからは“少欲知足”の精神が大切ではないかと痛感しております。

吉國 眞一

A1 勤務していた会社(みずほ証券)の先輩(日下部会員)から勧誘されました。また、会員の中に以前の職場(日本銀行)の先輩も多くおられたことも、入会を考えるに際してポイントとなりました。

A2 入会してしばらくは、例会への出席等も余り熱心ではなく、皆勤賞とは無縁な会員でした。しかし、青少年教育委員長になり、教育賞の選定の過程で多くのボランティア団体の若者に接することで、「子どもたちのために」というキワニスの活動の真髄に触れることができました。特に青少年教育賞の受賞団体を中心に、キワニス・ユース・フォーラムを立ち上げたことは大変うれしい思い出になりました。

A3 50周年の世界大会を契機に、米国はじめ海外のクラブとの連携をより強めたらどうでしょうか。とりわけ、LCCの普及でアジアへの旅費が一段と安上がりになっていることを考えると、活動熱心な台湾をはじめ、アジアのクラブを訪問する機会が持てたらと思います。

A4 メンバーシップ委員長としては、やはり女性と若手の会員の不足を何とかしたいと考えています。また、ロータリーなどと異なり、会社でなく個人負担が中心の当クラブの場合、会費の負担は無視できないところです。キワニスの精神を逸脱しない範囲でサテライト・クラブの設立や、会費それ自体の引き下げの余地等がないかどうか検討したいと思っています。

中村 禎良

A1 キワニスクラブにつきましては以前から知っておりました。友人会員の勧めがあったことと時間的な余裕ができたことから入会いたしました。

A2 ボランティア活動(ドールづくり)やユースフォーラム運営に参加しており、若い人たちとの触れ合い、交流は大変貴重な体験です。また、各種の文化活動への参加も楽しみです。

A3 (1) どのクラブも同様の傾向にあるようですが、会員数の減少は悩ましいところかと思えます。会員増強キャンペーンも大事なことは思いますが、本質的にはクラブの魅力をどう高めていくかということではないかと思えます。その辺の議論をもう一度深めていく必要があるように感じます。

(2) また、キワニスは基本的にはボランティ

アによる運営ですので、あまり事業を拡大すると散漫になる可能性があります。重複事業（たとえば各種の表彰制度）の整理なども検討に値するのではないのでしょうか。

藤井 和雄

A1

(1) 既に会員である東芝の先輩から勧誘を受けた。

(2) 東芝の支社(関西・東北)勤務時に支社長が当該地区のキワニスクラブに入会しており、身近な団体であると意識していた。

(3) ロータリー、ライオンズより馴染みやすい感じがしたこと。

A2

(1) 会員が中央官公庁上級官吏、民間一部上場企業役員のOBが多く加入されていること(特に警察官僚・日銀理事クラス、防衛省・経産省)。

(2) 現役時の役職を意識しないで交流を深めることができたこと。

A3

(1) 現役の方を含めて50代後半の会員層の増員。

(2) 社会奉仕の専門知識を有する方々を核とする運営体制の構築

(3) 特定機能・特定役職に対する報酬制度、機動費用の設定

A4

(1) 50年の事業基盤を再評価して、強い事業を明確にし、投資をすること。

(2) 一地区としての東京キワニスクラブと日本地区における存在・機能について、特に後者について重点注力することが期待されると思う。

高坂 和夫

A1

先輩からお誘いいただき入会いたしました。楽しい経験でき感謝しております。

A2

キワニスドール・シンポジウムの開催の際、多くの会員、ボランティアの方々と同じ目的意識をもち成功できたことが強く印象に残っております。

A3

地道な活動を着実に続けることが大切と考えます。

A4

これまでの先輩の皆様のご尽力に敬意を表するとともに、今後も一日一日の積み重ねが必要だと思います。

松見 芳男

A1

同郷の中川会員と藤井会員に勧められて、入会を決めました。

A2

1) 様々な分野で日本のために活躍と貢献をされた方々が、子どものための活動を中心に、奉仕活動にあたっておられる姿が印象に残っています。

2) キワニス・ドールシンポジウムや青少年教育賞表彰式などで、東京キワニスクラブ会員が、様々な世代の人達と対話し、交流している光景が印象に残っています。

A3

1) 大先輩の方々を核にしつつ、より多くの女性、若手、外国人等を会員として迎え、多様性を導入し、一層ダイナミックな奉仕活動を展開すると共に、国内のみならずアジアにおいてもリーダーシップを発揮することを期待します。

2) キワニス・ドールやエリミネイト事業に

次ぐ、第3、第4の子どものための事業を早期に構想し、立ち上げることを期待します。

3) 東京キワニスクラブの奉仕活動につき、社会に向けて発信することも、社会貢献の一環であり、50周年を契機に、発信を強化することを期待します。

4) 会員の経歴を、意外とお互いに知らず、惜しいと思います。自慢話でも良いので、例会などで順番に、会員が自分を語る機会を設ければ、お互いに得るところが大きいのと思います。

林 昭彦

A1

高校時代の同級性の日下部健会員からの勧誘。

A2

子どもたちへの奉仕活動を目的とするお堅い団体との先入観がありましたが、親しみやすい雰囲気、行事に創意工夫にあふれるものが少なくないのに感心しました。

A3

若い会員を中心に世界のキワニアンへ新しいアイデアを発信できるようになってほしい。

A4

日本で初めての国際大会が開催されることになったのを機にクラブの活動の国際的なつながりと国内の輪の広げ方つながり方を再検討してみる必要があるのではないか。

石原 正之

A1

元職場の仲間に誘われたこと。以前、名古屋クラブに所属(2年間)

していたこと。

A2

会長以下、多くの仲間とマンクーパー大会に出席し、外国のキワニアンに2014年の東京・千葉大会の勧誘を行ったこと。

A3

ユース・フォーラム等若い世代の活動家を支援しつつ、キワニスの理念を拡めること。

A4

2014年の東京キワニス50周年記念を兼ねた東京・千葉大会を次の成長のための礎と位置付け、東京クラブ全員で参加出来たら素晴らしいと思います。

増田 好平

A1

平成21年退官後、役所の先輩である伊藤康成会員から、退官祝に昼食をご馳走になった際、東京キワニスクラブのパンフレットを示され、入会を勧められました。正直、キワニスのことは何も知りませんでしたが、おいしい昼食のせいもあり、入会することに致しました。

A2

日本の社会の中で、活躍している、若しくは、活躍してこられた方々が、キワニスドールなどの社会貢献活動に熱心に取り組まれている姿を拝見すると頭の下がる思いがします。自分も出来る限り、このような活動に参加できればと思っています。

A3

東京キワニスクラブのステイタスクラブとしての正確と社会貢献活動を行う団体という性格をどう調和させていくかが、100周年に向けてのこれからの50年の一番大きな課題ではないかと思っています。

狩野 省市

A1 日本銀行から預金保険機構に出向した際、上司としてお仕えした警察庁OBの廣瀬権会員からお声をかけて頂き、入会しました。もう一人の推薦者は、日銀入行時の人事課長で、横浜支店長経験の大先輩でもある菅野明さんです。日銀出身の先輩会員が大勢おられる中で、警察の方から声をかけられて入会したのは、珍しいのではないかと思います。

A2 平成22年5月に入会して、早3年半経ちますが、行事にあまり出席できない日々が続いています。そうした中で、クラブ新設委員長を仰せつかり、情宣活動のために地方へ出かけた折、キワニスクラブの認知度の低さを痛感しました。ロータリークラブやライオンズクラブも会員減少で悩んでいるようですが、キワニスクラブは、外に向けての広報活動も重要だと感じた次第です。

A3 女性や若い方々に入会して頂き、諸活動に幅出しとダイナミズムが加わると一段と面白くなるのではないかと思います。

A4 50周年行事を通じて、自分自身がキワニスクラブのビジョンやミッション、歴史等を学ぶ機会にしたいと思っています。

林 達夫

A1 荒井好民さん(青年会議所時代からの古き先輩)、棚澤青路さん、林明夫さん、廣瀬駒雄さん、古橋和好さん(経済

A2 同友会のお仲間)のご推薦をいただきました。

A3 朗らかなムードが何よりです。

A4 豊かな人生は出会いから大事にしていきます。
いつも笑顔を忘れないこと。

杉田 健

A1 新宿キワニスクラブが設立された年に誘われて入会しましたが、会員数減少に伴い新宿キワニスクラブの存続が難しくなったので、東京キワニスクラブに移籍させて頂きました。

A2 会員数が多い事(良い点)。
多岐にわたる分野からの会員が在籍されている事(良い点)。
平均年齢が高いので、モットーとする子どもや青少年達との接点の作り方がややこちな気がします。

A3 モットーにする次世代の日本を担う子どもや青少年育成への取り組みを、具体的に拡大することに一層の協力体制を確立して頂きたく思います。

A4 これを機会にキワニスクラブ自体の知名度をもっと上げる戦略について検討する機会に繋がると良いのではないのでしょうか。

伊藤 一実

A1 愛知県勤務当時、名古屋キワニスクラブに入っていましたが、東京へ異動後退会していたところ、藤原武平太氏から

勧誘されて改めて東京キワニスクラブへ入会しました。

A2 青少年教育賞の審査を通じて、ボランティアに情熱を注ぐ多くの若者達
の存在を知り、大いに感動したところです。
また例会や各種活動を通じて異業種の方々と
知り合いとなり、親しくお付き合いをすること
ができることは素晴らしいことと思いま
す。コンサート、日本酒を飲む会、ワインを
楽しむ会など趣味の会もいろいろあり、楽し
ませていただいています。

A3 会員数(特に若い人、女性)を増やし、
より多くの人達に活動に参加しても
らうことが大切と思います。その方向へ向け
て自らも努力をいたしたい。

A4 マスコミとの繋がりを深め、機会あ
るごとにメディアに登場するよう努
力すべきと思います。

磯田 壯一郎

A1 現在の藤原会長と当時会員であった
国土交通省の後輩の大庭さんから誘
われて入会しました。

A2 社会の中核で活躍している方々の多
いことを感じました。

A3 これからも社会への貢献と会員間の
親交に努めてほしいと考えておりま
す。

A4 限られた予算の中から社会に貢献し
ていく以上常に事業を見直してより
効率的な貢献方を模索していく必要がある
と考えます。

坂本 正彦

A1 会員の藤原武平太氏(東京丸八会で
一緒)から勧められ主旨に賛同して
入会しました。

A2 出席される方は「会」を愛している
なあーと感じている。

A3 海外のクラブとの交流。

A4 国内の他キワニスとの統一した国家
的事業の推進。

淡輪 敬三

A1 前ガバナーの北里さんから、入会を
勧められました。

以前から、北里さんを尊敬していたので、彼
からの勧めには基本的に OK する方針でし
た。

このため、入会前にはキワニスについて、全
く知識はありませんでした。

A2 会員の皆様の温かい笑顔です。
入会直後から、温かく迎えていただ
き、色々な方から話しかけていただきました。
そのオープンな雰囲気を楽しんで感じたこと
が特に印象に残っています。

活動としては、迎賓館を見学したことが印象
的でした。丁度結婚記念日だったので、私の
家内も参加を許していただき、見学後にミク
ニでランチを取ってお祝いました。

A3 できればより会員の多様性、特に若
手や女性会員を増やし、さらに海外
のクラブと連携してグローバルな活動を盛ん
にしていくことを期待しています。

A4 良い節目だと思しますので、今後の50年を想像して、東京キワニスクラブとしてのミッション、ヴィジョン、ヴァリューを広く会員を巻き込んで、話し合うことも良いかもしれません。

石井 亜佳理

A1 平成23年7月頃、緒方前会長にお誘いいただきHPも拝見して会の趣旨に賛同し入会を希望しました。

A2 例会時の青少年福祉センターの荒船理事の講演

東京キワニスクラブ入会后最初に聴いた講演でクラブを通じて自分のできることで社会に対し何らかの恩返しをしようという強い動機付けとなりました。

靖国神社に初めて昇殿参拝したこと。

盲導犬訓練センターを訪問した際に参加されたお子様方の楽しそうな様子。

祇園祭の見物。小野様の詳しい解説を聞きながらの見物で大変楽しかったです。

A3 クラブがどういう方向に発展していけば良いかということは、まだよくわかりませんが会員が増えますます多士済々の方々のクラブとなり経験談等をお聞きしたいと思っています。

A4 現在進行中のエリミネイトの次はどんなプログラムに関わっていくか興味があります。

入会后2年3ヶ月程度の会員歴なので私個人としては特にありませんが、これだけの年数を続けて来られた諸先輩方の活動には自然と頭が下がる思いです。私もできる範囲で地道に続けていき60周年、70周年を迎えたいと思います。

大東 健治

A1 テニスの仲間から声をかけて頂いた。

A2 入会した日の例会で皆勤表彰式があり、大変年配の方々が元気で出席しておられるお姿が非常に印象的だった。

A3 地道な社会貢献を継続して行うこと。

A4 50年の活動の歴史を冊子としてまとめ、後世に残してほしい。

佐々木 信行

A1 日銀時代の先輩、同僚諸氏から勧められ、現役リタイアメントを待って入会しました。

A2 入会前に卓話の機会をいただいたことと、2014年国際総会のタスクフォース委員(空港受付サブコミテイ)になったことで比較的早い時期に多くの会員を知りえました。なんと言っても会員相互の交流が活動の原点ですから、有難い経験でした。

A3 文化活動にはかなり積極的に参加してきましたが、今後はキワニス本来のミッションである奉仕活動にも前向きに関わらねばと自戒しています。

A4 これを機会に会員相互のコミュニケーションがさらに深まればと願っています。

たとえば、(1) 会員卓話の頻度を高める(一回2名で各20分、現状でも実質的に60分使えるので、行事連絡などは5-10分にすれば可能か)

(2) 例会の席はやや固定的とみられるので、全員が番号札どおりに座る(メインテーブル以外)など工夫の余地があるように思われます。

尾崎 聖治

A1 サッポロビール(株) OB 山岸信久氏の紹介。

A2 夏のパーティー、年末パーティーの際、ご家族、ご夫妻同伴でいらっしゃるメンバーも多く、とてもアットホームな雰囲気を感じました。

A3 キワニスの目的にありますように、以下項目を実践することによってメンバーと会が相互に高め合い、共に発展することを期待いたします。

・人生の物質的な価値より、むしろ人道的、精神的価値を重く見ること

・キワニスクラブを通じて、恒久的な友情を形成し、愛他的奉仕を実行し、より良き社会を建設するための実際的手段を提供すること

・公正、正義、愛国心、善意などを増進させることができる健全な世論と、高い理想主義を創造し、維持するように協力すること

A4 幅広い年齢層の会員を擁しているは当クラブの魅力の一つだと思います。

ただ、平均年齢は70歳に近く、次の50年に向けた更なる発展を見据えたとき、やはり若い年代を勧誘することが肝要かと思えます。

鳥居 正男

A1 北里ガバナーにご紹介を受け、キワニスの活発な社会貢献活動に賛同し入会させていただきました。

A2 会員の諸先輩の皆様がとても気さくで温かい雰囲気なのでランチなどの活動にとっても参加しやすいことです。

A3 会員の若返りが出来て現役の方がたとの接点が持てるようになるとよりよいと思います。

A4 これから益々社会貢献が大切になってきますので、外に向かってキワニスの活動をもっと発信し存在感が高まるように努力したいと思います。

鈴木 祐二

A1 退任して多少時間に余裕が出来たタイミングでの藤原さんからの誘い。

A2 新入会員を極めて自然に(年令も関係無く)スッと受入れて下さった空気が。

A3 自ら体を動かす形での社会貢献(ボランティア)のコーディネート。

中村 薫

A1 子どものことに関心があったことと知人が入っていたこと。

A2 at home な雰囲気があった。

A3 サラリーマンの身からすると、催しものは、夕方の方が日中より出席しやすい。

釜谷 正宏

A1 佐藤隆國様よりの紹介がありまして入会させて頂きました。

A2 ロータリー、ライオンズクラブとは違うメンバーの方々がいらっしゃる。

皆様、生まれも育ちも上流な感じがします。ビジネスの話が飛びかわない事が良い。

A3 ロータリー、ライオンズクラブ並に知名度が上がる事。

若いメンバーが増える事。

A4 すいません。今は、思い浮かびません。

川村 忠夫

A1 会員である義弟の勧誘を受け、当クラブの定款、細則等が私の人生訓と合致したため入会させて頂きました。

A2 全く異なった分野で活躍されていたであろう各会員が、互いに和気藹々と親しく会話、交流を楽しまれている姿、各委員会の活発な活動状況、例会への出席率の高さ、などにはまず驚かされました。

(まだ仕事量の多い現役である私は、参加できる十分な時間が取れないことが悩みです。)

A3 いま少し時間を頂いた後に考えます。

宮越 極

A1 警察庁 1年先輩の広畑事務局長のお誘いで、なぎさ会に参加したりしてキワニスクラブの活動とそのメンバーに興味が出てきたため。

A2 入ったばかりで、まだ特段のものはありませんが、あえて申し上げれば、素晴らしい方々がメンバーになっていることです。

A3 子どもの未来のための活動をより一層国際的に展開することです。

A4 メールで個別の催しについての紹介、勧誘をもっとしていただけるとありがたいです。

資料

歴代会長



鹿内 信隆
昭和39年1月～昭和40年12月



原 文兵衛
昭和40年1月～12月



北裏 喜一郎
昭和42年1月～12月



篠島 秀雄
昭和43年1月～12月



上村 健太郎
昭和44年1月～9月



田坂 輝敬
昭和44年10月～昭和45年9月



水島 広雄
昭和45年10月～昭和46年9月



中山 恒明
昭和46年10月～昭和47年9月



平野 赳
昭和47年10月～昭和48年9月



岩田 式夫
昭和48年10月～昭和49年9月



杉浦 敏介
昭和49年10月～昭和50年9月



大堀 弘
昭和50年10月～昭和51年9月



藤田 一暁
昭和51年10月～昭和52年9月



熊野 修一
昭和52年10月～昭和53年9月



鈴木 俊一
昭和53年10月～昭和54年4月



泉 美之松
昭和54年5月～昭和55年9月



安藤 蕃
昭和55年10月～昭和56年9月



上田 英雄
昭和56年10月～昭和57年9月



片桐 良雄
昭和57年10月～昭和58年9月



上田 隆介
昭和58年10月～昭和59年9月



永井 邦夫
昭和59年10月～昭和60年9月



安部 英
昭和60年10月～昭和61年9月



木戸 孝彦
昭和61年10月～昭和62年9月



池辺 乾治
昭和62年10月～昭和63年9月

歴代会長



重崎 伸矩
昭和63年10月～平成元年9月



安藤 良夫
平成元年10月～平成2年9月



赤澤 璋一
平成2年10月～平成4年9月



小菅 宇三治
平成4年10月～平成6年9月



高橋 弘篤
平成6年10月～平成8年9月



関口 欽也
平成8年10月～平成9年9月



横川 端
平成9年10月～平成10年9月



永田 琢美
平成10年10月～平成11年9月



佐藤 満秋
平成11年10月～平成12年9月



安原 正
平成12年10月～平成13年9月



小島 章伸
平成13年10月～平成14年9月



木村 太郎
平成14年10月～平成15年9月



大堀 太千男
平成15年10月～平成16年9月



中田 一男
平成16年10月～平成17年9月



菅野 明
平成17年10月～平成18年9月



荒井 好民
平成18年10月～平成19年9月



吉江 誠
平成19年10月～平成20年9月



川崎 弘
平成20年10月～平成21年9月



北里 光司郎
平成21年10月～平成22年9月



伊藤 康成
平成22年10月～平成23年9月



堀井 紀壬子
平成23年10月～24年9月



緒方 謙二郎
平成24年10月～平成25年11月



藤原 武平太
平成25年12月～



歴代役員

	昭和39年1月 ～12月	昭和40年1月 ～12月	昭和41年1月 ～12月	昭和42年1月 ～12月	昭和43年1月 ～12月	昭和44年1月 ～9月	昭和44年10月 ～45年9月
会長	鹿内信隆	鹿内信隆	原 文兵衛	北裏喜一郎	篠島秀雄	上村健太郎	田坂輝敬
前会長							
副会長	藤川一秋	藤川一秋	五島 昇	五島 昇	高木 昇	田坂輝敬	水島広雄
副会長	五島 昇	五島 昇	北裏喜一郎	高木 昇	田坂輝敬	水島広雄	中山恒明
副会長	原 文兵衛	原 文兵衛	高木 昇	篠島秀雄	上村健太郎	中山恒明	平野 起
副会長							
副会長							
会計監事	平木信二	平木信二	小幡康吉	水島広雄	水島広雄	平野 起	飛島 斉
監事							
監事							
事務局長	小幡康吉	小幡康吉/吉村一雄	牧田喜義	牧田喜義	牧田喜義	坪内嘉雄	山田 勲
前事務局長							
総務		鹿内信隆	原文兵衛	北裏吉一郎	篠島秀雄	上村健太郎	田坂輝敬
財務	五島 昇	上村健太郎	加藤武彦	飛島 斉	泉美之松	永井邦夫	上田克郎
メンバーシップ	小坂徳三郎	高橋幹夫	金丸三郎	水野惣平	赤澤璋一	藤本威宏	川瀬健治
事業企画	北裏喜一郎	佐竹 浩	三輪良雄	鳥居達也	茅野 健	片山 豊	黒住忠行
国際	石川六郎	片桐良雄	渡辺弥栄司	岩田幸彰	滑川康夫	浅野開作	岡村朝夫
社会公益	井深 大	山下静一	吉村 明	天城 勲	山本正淑	西村敬介	河井信太郎
広報	山下静一	春日由三	青木平治	友田 信	枝松茂之	寺西五郎	山口比呂志
文化		福田恒存	安藤 蕃	有田一寿	北野次登	重崎伸矩	小幡久男
レクリエーション			上村健太郎	山田 勲	南出他十郎	南出他十郎	中村広忠
青少年教育							
ボランティア活動							
クラブ新設							
Kファミリー							
エイズ							

	昭和45年10月 ～46年9月	昭和46年10月 ～47年9月	昭和47年10月 ～48年9月	昭和48年10月 ～49年9月	昭和49年10月 ～50年9月	昭和50年10月 ～51年9月	昭和51年10月 ～52年9月
会長	水島広雄	中山恒明	平野 起	岩田式夫	杉浦敏介	田坂輝敬	藤田一暎
前会長							
副会長	中山恒明	平野 起	有田一寿	有田一寿	佐竹 浩	水島広雄	熊野修一
副会長	平野 起	有田一寿	藤田一暎	藤田一暎	藤田一暎	中山恒明	赤澤璋一
副会長	有田一寿	藤田一暎	佐竹 浩	佐竹 浩		平野 起	
副会長	藤田一暎	佐竹 浩	岩田式夫	杉浦敏介			
副会長							
副会長							
会計監事	佐竹 浩	岩田式夫	三輪良雄	三輪良雄	上田克郎	飛島 斉	愛知良一
監事							
監事							
事務局長	藤山正男	藤山正男	藤山正男	藤山正男	藤山正男	山田 勲	吉見泰二
前事務局長							
総務	水島広雄	中山恒明	平野 起	岩田式夫	杉浦敏介	田坂輝敬	藤田一暎
財務	村上公孝	吉見泰二	雉本俊平	愛知良一	谷 信一	上田克郎	長戸寛美
メンバーシップ	木戸孝彦	吉岡英一	片桐良雄	安部 英	山下静一	川瀬健治	芝田徹男
事業企画	村上七郎	麻生勝実	三上太一	戸田守二	向山定孝	黒住忠行	山本清二郎
国際	鳥羽田照	原田 明	松宮康夫	六笠六郎	山下幸夫	岡村朝夫	高木 勇
社会公益	南部哲也	鶴沢 晋	大塚正夫	水町 潔	渋沢正一	河井信太郎	山本正淑
広報	田丸秀治	山田正男	五十嵐昭夫	金富与志二	奥村寿三郎	山口比呂志	山本千吉郎
文化	門脇吉一	大堀 弘	鈴木貞男	由利良夫	瀧川馨一	小幡久男	住吉弘人
レクリエーション	松平乘光	尾上浩彦	永谷嘉男	加藤長司	植村家隆	中村広忠	太田義一
青少年教育							
ボランティア活動							
クラブ新設							
Kファミリー							
エイズ							

歴代役員

	昭和52年10月 ～53年9月	昭和53年10月 ～54年9月	昭和54年10月 ～55年9月	昭和55年10月 ～56年9月	昭和56年10月 ～57年9月	昭和57年10月 ～58年9月	昭和58年10月 ～59年9月
会長	熊野修一	鈴木俊一・泉美之松	泉 美之松	安藤 蕃	上田英雄	片桐良雄	上田隆介
前会長				泉 美之松	安藤 蕃	上田英雄	片桐良雄
副会長	赤澤璋一	赤澤璋一	赤澤璋一	赤澤璋一	赤澤璋一	赤澤璋一	永井邦夫
副会長	鈴木俊一	泉 美之松	池浦喜三郎	片桐良雄	片桐良雄	上田隆介	安部 英
副会長	泉 美之松	池浦喜三郎	片桐良雄	上田隆介	上田隆介	中村広忠	國島文彦
副会長	池浦喜三郎	片桐良雄	安藤 蕃	中村広忠	中村広忠	河井信太郎	木戸孝彦
副会長	青木半治	飛島 斉	上田隆介	上田英雄	河井信太郎		
副会長			中村広忠	河井信太郎			
会計監事	愛知良一	池辺乾治	池辺乾治	池辺乾治	高木 勇	竹内道雄	竹内道雄
監事							
監事							
事務局長	吉見泰二	吉見泰二	吉見泰二	上田克郎	瀧川馨一	奥村寿三郎	奥村寿三郎
前事務局長						瀧川馨一	瀧川馨一
総務	熊野修一	鈴木俊一	泉 美之松	安藤 蕃	上田英雄	片桐良雄	上田隆介
財務	阿部喜夫	酒井謙太郎	大和田棟一	小坂隆造	東条達弥	馬渡俊光	青木宏悦
メディア・ショップ	坪内嘉雄	岩田幸彰	青山 俊	松平乗光	永井邦夫	安部 英	重崎伸矩
事業企画	野中 庸	茅野 健	麻生勝実	森田啓司	徳永洋一	田端吉生	黒住忠行
国際	広島 通	平岡広助	岡村朝夫	荒井好民	鳥羽田熙	宮内義彦	勝部俊男
社会公益	大月 高	天野武一	吉岡英一	三橋信一	須藤博忠	関野直輔	渡辺牧太郎
広報	長谷川正名	奥村寿三郎	松浦隼雄	小林忠雄	藤川一秋	山本千吉郎	正力 亨
文化	増田元一	下山佳雄	生田豊朗	長谷川滋彦	森田正典	竹本良一	三橋信一
レクリエーション	尾上浩彦	尾上浩彦	重崎伸矩	奈良哲夫	小菅宇三治	井上善夫	牛山善政
青少年教育	河井信太郎	河井信太郎	河井信太郎	阿部純也	国宗正義	土金健三	茅野 健
ボランティア活動							
クラブ新設							
K7ファミリー							
エイズ							

	昭和59年10月 ～60年9月	昭和60年10月 ～61年9月	昭和61年10月 ～62年9月	昭和62年10月 ～63年9月	昭和63年10月 ～平成元年9月	平成元年10月 ～2年9月	平成2年10月 ～3年9月
会長	永井邦夫	安部 英	木戸孝彦	池辺乾治	重崎伸矩	安藤良夫	赤澤璋一
前会長	上田隆介	永井邦夫	安部 英	木戸孝彦	池辺乾治	重崎伸矩	安藤良夫
副会長	安部 英	國島文彦	池辺乾治	重崎伸矩	安藤良夫	赤澤璋一	長岡 實
副会長	國島文彦	木戸孝彦	重崎伸矩	安藤良夫	長岡 實	長岡 實	澤 雄次
副会長	木戸孝彦	池辺乾治	高木 勇	長岡 實	岩田幸彰	澤 雄次	小菅宇三治
副会長		高木 勇	藤川一秋	岩田幸彰	愛知良一	小菅宇三治	関口欽也
副会長							
副会長							
会計監事	吉村 明	関野直輔	関野直輔	平山 健	平山 健	大和田棟一	大和田棟一
監事							
監事							
事務局長	山下幸雄	山下幸雄	山下幸雄	山下幸雄	山下幸雄	永谷宗次	永谷宗次
前事務局長	奥村寿三郎	奥村寿三郎	奥村寿三郎	奥村寿三郎	奥村寿三郎	山下幸雄	山下幸雄
総務	永井邦夫	安部 英	木戸孝彦	池辺乾治	重崎伸矩	安藤良夫	
財務	田中 敬	永山吉則	山口衛一	鈴木義夫	矢部茂夫	増沢高雄	小笠原建夫
メディア・ショップ	平山 健	奈良哲夫	徳永洋一	野中 庸	木戸孝彦	和田 洋	高橋弘篤
事業企画	川田嘉一郎	村山利雄	山本清二郎	竹山賢治	森田啓司	田端吉生	野村一彦
国際	小島章伸	堺 司	小松万豊	子安英次	澤 雄次	岩崎英雄	堺 司
社会公益	森田正典	高橋弘篤	辻 辰三郎	戸田信也	天野武一	橋本信夫	三条 明
広報	山口比呂志	小石原昭	関口欽也	関口欽也	関口欽也	関口欽也	小島章伸
文化	岩田清登	下山佳雄	星塾一彦	尾関雅則	小山森也	長谷川滋彦	鶴田日夫
レクリエーション	山本千吉郎	平野 勝	矢橋幸一	横川 端	横川 端	箭内祥周	牛山善政
青少年教育	山崎誠三	酒井吉郎	佃 義範	山中 茂	室城庸之	青山偉和雄	長谷川正名
ボランティア活動							
クラブ新設							
K7ファミリー							
エイズ							



歴代役員

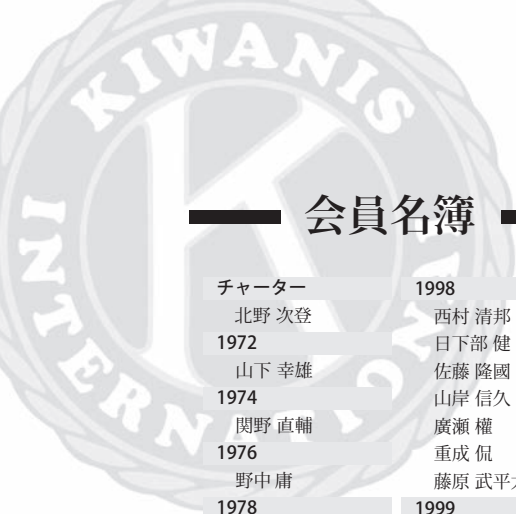
	平成3年10月 ～4年9月	平成4年10月 ～5年9月	平成5年10月 ～6年9月	平成6年10月 ～7年9月	平成7年10月 ～8年9月	平成8年10月 ～9年9月	平成9年10月 ～10年9月
会長	赤澤璋一	小菅宇三治	小菅宇三治	高橋弘篤	高橋弘篤	関口欽也	横川 端
前会長	安藤良夫	赤澤璋一	赤澤璋一	小菅宇三治	小菅宇三治	高橋弘篤	関口欽也
副会長	澤 雄次	山口衛一	山口衛一	岩崎英雄	岩崎英雄	横川 端	安原 正
副会長	小菅宇三治	平山 健	平山 健	寄木正敏	寄木正敏	永田琢美	永田琢美
副会長	長岡 實	高橋弘篤	高橋弘篤	鎌倉 節	関口欽也	佐藤満秋	木村太郎
副会長	関口欽也	関口欽也	関口欽也	関口欽也		安原 正	吉江 誠
副会長							
副会長							
会計監事	大和田棟一	吉岡孝行	吉岡孝行	増沢高雄	増沢高雄	小笠原建夫	北原眞澄
監事							
監事							
事務局長	橋本信夫	橋本信夫	山下幸雄	山下幸雄	菊岡平八郎	菊岡平八郎	柳 晃
前事務局長	永谷宗次	永谷宗次	橋本信夫	橋本信夫	山下幸雄	山下幸雄	菊岡平八郎
総務							
財務	小笠原建夫	寄木正敏	寄木正敏	永田琢美	永田琢美	吉岡文之助	吉岡文之助
メンバーシップ	高橋弘篤	岩田幸彰	岩田幸彰	高木 勇	高木 勇	小島章伸	中山迪夫
事業企画	野村一彦	尾関雅則	尾関雅則	中山迪夫	中山迪夫	長富祐一郎	廣瀬駒雄
国際	堺 司	佐藤満秋	佐藤満秋	佐藤満秋	佐藤満秋	吉江 誠	秋澤公二
社会公益	三条 明	菊岡平八郎	菊岡平八郎	安原 正	安原 正	柳 晃	小笠原博幸
広報	小島章伸	小島章伸	小島章伸	小島章伸	小島章伸	箭内祥周	小林捨次郎
文化	鶴田日夫	箭内祥周	箭内祥周	中田一男	中田一男	中田一男	徳田 耕
レクリエーション	牛山善政	永井弓彦	永井弓彦	矢橋幸一	矢橋幸一	木村太郎	瀬戸恒義
青少年教育	長谷川正名	関野直輔	関野直輔	塚崎誠一	塚崎誠一	塚崎誠一	相馬克美
ボランティア活動	安部 英	安藤良夫	安藤良夫	赤澤璋一	赤澤璋一	永井弓彦	芝原正昭
クラブ新設							
Kファミリー							
エイズ			安部 英	安部 英	安部 英		

	平成10年10月 ～11年9月	平成11年10月 ～12年9月	平成12年10月 ～13年9月	平成13年10月 ～14年9月	平成14年10月 ～15年9月	平成15年10月 ～16年9月	平成16年10月 ～17年9月
会長	永田琢美	佐藤満秋	安原 正	小島章伸	木村太郎	大堀太千男	中田一男
前会長	横川 端	永田琢美	佐藤満秋	安原 正	小島章伸	木村太郎	大堀太千男
副会長	木村太郎	小島章伸	小島章伸	木村太郎	大堀太千男	中田一男	菅野 明
副会長	吉江 誠	大堀太千男	大堀太千男	大堀太千男	中田一男	廣瀬駒雄	木全ミツ
副会長	菊岡平八郎	柳 晃	木村太郎	中田一男	廣瀬駒雄	木全ミツ	吉江 誠
副会長	佐藤満秋	塚崎誠一	中田一男	廣瀬駒雄	木全ミツ	吉江 誠	荒井好民
副会長							
副会長							
会計監事	北原眞澄	山本逸郎	山本逸郎	野未明世	菅野 明	緒方謙二郎	廣瀬駒雄
監事							
監事							
事務局長	芝原正昭	廣瀬駒雄	吉岡文之助	重成 侃	佐藤隆國	佐藤隆國	木村輝久
前事務局長	柳 晃	芝原正昭	廣瀬駒雄	吉岡文之助	重成 侃		佐藤隆國
総務							
財務	山本逸郎	大浦克彦	大浦克彦	相馬克美	相馬克美	木村輝久	公文 宏
メンバーシップ	塚崎誠一	安原 正	和田 洋	瀬戸恒義	木村輝久	横山太藏	横山太藏
事業企画	廣瀬駒雄	木村太郎	塚崎誠一	川真田幸男	横山太藏	菅野 明	川崎 弘
国際	藤原宣夫	股野景親	股野景親	米澤潤一	荒井好民	荒井好民	遠藤哲也
社会公益	清川佑二	山田英雄	木村輝久	木村輝久	永井弓彦	川崎 弘	小坂 元
広報	小林捨次郎	中田一男	横山太藏	小笠原建夫	塚田誠剛	北里光司郎	北里光司郎
文化	秋澤公二	北原眞澄	北原眞澄	志賀こず江	野未明世	中村好郎	中村好郎
レクリエーション	塚田誠剛	岩本龍人	岩本龍人	佐藤隆國	中村好郎	岩本龍人	岩本龍人
青少年教育	仁平罔雄	吉江 誠	吉江 誠	横山太藏	荒木なぎさ	公文 宏	日下部 健
ボランティア活動	大堀太千男	和田 洋	柳 晃	木全ミツ	小笠原建夫	荒木なぎさ	荒木なぎさ
クラブ新設	須藤博忠	須藤博忠	須藤博忠	柳 晃	瀬戸恒義	重成 侃	重成 侃
Kファミリー				吉江 誠	吉江 誠	吉江 誠	吉江 誠
エイズ							

歴代役員

	平成17年10月 ～18年9月	平成18年10月 ～19年9月	平成19年10月 ～20年9月	平成20年10月 ～21年9月	平成21年10月 ～22年9月
会長	菅野 明	荒井好民	吉江 誠	川崎 弘	北里光司郎
前会長	中田一男	菅野 明	荒井好民	吉江 誠	川崎 弘
副会長	荒井好民	吉江 誠	川崎 弘	北里光司郎	伊藤康成
副会長	木全ミツ	川崎 弘	北里光司郎	公文 宏	重成 侃
副会長	吉江 誠	木全ミツ	公文 宏	重成 侃	横山太蔵
副会長	川崎 弘	佐藤隆國	栗山 勁	伊藤康成	堀井紀壬子
副会長					
副会長					
会計監事	廣瀬駒雄	稲田 徹	木村輝久	栗山 勁	野未明世
監事	稲田 徹	公文 宏	仁平岡雄	仁平岡雄	井上幸彦
監事				西本綱三	西本綱三
事務局長	栗山 勁	栗山 勁	飛谷安宣	小野洋一郎	中川 惇
前事務局長	木村輝久	木村輝久	栗山 勁		
総務					
財務	公文 宏	野未明世	野未明世	野未明世	酒井富雄
メンバーシップ	鶴田日夫	鶴田日夫	廣瀬駒雄	日下部健	日下部健
事業企画	伊藤康成	廣瀬駒雄	伊藤康成	中川 惇	吉田浩二
国際	遠藤哲也	北里光司郎	稲田 徹	稲田 徹	藤原武平太
社会公益	小坂 元	小山田小八郎	小山田小八郎	山口知子	山口知子
広報	北里光司郎	青野厚子	葉山 孝	福武正彦	古屋俊彦
文化	横山太蔵	横山太蔵	菱村幸彦	菱村幸彦	緒方謙二郎
レクリエーション	小野洋一郎	小野洋一郎	小野洋一郎	堀井紀壬子	迫 秀一郎
青少年教育	小宅庸夫	小宅庸夫	秋山誠一	吉田浩二	熊平美香
ボランティア活動	堀井紀壬子	堀井紀壬子	堀井紀壬子	星 利樹	松本一紀
クラブ新設	佐藤隆國	佐藤隆國	豊田武久	豊田武久	塚越孝三
K7ファミリー	荒木なぎさ	荒木なぎさ	小宅庸夫	小宅庸夫	守屋充男
エイズ					

	平成22年10月 ～23年9月	平成23年10月 ～24年9月	平成24年10月 ～25年11月	平成25年12月 ～
会長	伊藤康成	堀井紀壬子	緒方謙二郎	藤原武平太
前会長	北里光司郎	伊藤康成	堀井紀壬子	緒方謙二郎
副会長	堀井紀壬子	緒方謙二郎	藤原武平太	吉田浩二
副会長	緒方謙二郎	秋山誠一	豊田武久	棚澤青路
副会長	中川 惇	藤原武平太	棚澤青路	塚越孝三
副会長	日下部健	青野厚子	松見芳男	高坂和夫
副会長				
副会長				
会計監事	野未明世	野未明世	野未明世	野未明世
監事	井上幸彦	中門弘	大澤佳雄	大澤佳雄
監事	大澤佳雄	大澤佳雄	近石康宏	伊藤一實
事務局長	吉田浩二	藤井和雄	古屋俊彦	広畑史朗
前事務局長		吉田浩二	藤井和雄	古屋俊彦
総務				
財務	酒井富雄	酒井富雄	平川 茂	鏡川陽介
メンバーシップ	藤原武平太	塚越孝三	広畑史朗	吉國眞一
事業企画	塚越孝三	近石康宏	吉國眞一	狩野省市
国際	広畑史朗	松見芳男	淡輪敬三	林 昭彦
社会公益	大庭靖雄	荒木なぎさ	中門 弘	中門 弘
広報	古屋俊彦	増田好平	増田好平	増田好平
文化	西村清邦	西村清邦	西村清邦	廣瀬 權
レクリエーション	棚澤青路	棚澤青路	石井亜佳理	石井亜佳理
青少年教育	松見芳男	吉國眞一	杉田 健	磯田壯一郎
ボランティア活動	松本一紀	高坂和夫	高坂和夫	大東健治
クラブ新設	藤井和雄	石原正之	狩野省市	尾崎聖治
K7ファミリー	青野厚子	中村禎良	中村禎良	杉田 健
エイズ				



会員名簿

入会順 (2014.9.30 現在 240 名)

チャーター

北野 次登

1972

山下 幸雄

1974

関野 直輔

1976

野中庸

1978

荒井 好民

1979

永井 弓彦

1980

矢橋 幸一

1982

小島 章伸

1984

横川 端

須藤 幹雄

1985

鶴田 日夫

吉岡 孝行

1987

青山 偉和雄

1988

川畑 正大

安田 和義

小笠原 建夫

大堀 太千男

1989

菊岡 平八郎

岩本 龍人

1990

吉江 誠

1991

鹿内 宏明

川崎 弘

菅野 明

佐藤 満秋

廣瀬 駒雄

1992

緒方 謙二郎

藤原 宣夫

中田 一男

相馬 克美

1993

木村 太郎

1994

米澤 潤一

仁平 罔雄

1996

野末 明世

半田 嘉弘

1997

井上 幸彦

小坂 元

1998

西村 清邦

日下部 健

佐藤 隆國

山岸 信久

廣瀬 權

重成 侃

藤原 武平太

1999

武居 澄男

有地 京子

横山 太藏

志賀 こず江

2000

荒木 なぎさ

木全 ミツ

北里 光司郎

2001

公文 宏

豊田 武久

遠藤 豊孝

杉本 佳久

2002

野田 健

2003

福武 正廣

青野 厚子

栗山 勤

河内 悠紀

2004

山口 知子

三野 耕司

伊藤 康成

佐藤 敬三

平川 茂

迫 秀一郎

小野 洋一郎

加鹿 秀人

中井 省

藤澤 一就

星 利樹

飛谷 安宣

稲田 徹

有岡 恭助

藤島 安之

関 收

堀井 紀壬子

松本 一紀

木下 功子

亀田 丈司

小宅 庸夫

秋山 誠一

大久保 和孝

古屋 俊彦

2005

西本 綱三

清川 昭

酒井 富雄

菱村 幸彦

徳川 恒孝

吉田 浩二

大澤 佳雄

棚澤 青路

青木 秀臣

塚越 孝三

小田 忠雄

熊平 美香

2006

奥村 萬壽雄

小田村 初男

廣岡 幹雄

許斐 勝夫

新穂 公崇

賤津 耕造

小林 一夫

2007

村上 徳光

中門 弘

園田 天光光

上野 浩靖

タン・デービッド

中川 惇

塩谷 憲司

白 雪花

林 明夫

漆間 巖

2008

広畑 史朗

森本 淳之

佐藤 涼一

近石 康宏

古橋 和好

池ノ谷 一彦

日比谷 武

矢代 隆義

吉國 眞一

佐伯 嘉彦

2009

島本 健司

中村 禎良

藤井 和雄

縄田 修

高坂 和夫

浜辺 修一

木村 丈剛

松見 芳男

川上 洋

渡邊 信夫

林 昭彦

渡辺 通春

増田 好平

石原 正之

河上 邦雄

2010

木下 満

金井 義邦

富島 正

福田 潤

梶田 邦孝

井上 美昭

銭谷 美幸

与謝野 肇

狩野 省市

米村 敏朗

竹嶋 久一

林 達夫

大野 敬士

杉田 健

佐藤 敏久

伊藤 一實

磯田 壯一郎

2011

岩橋 修

地引 良幸

綿貫 茂

松吉 茂生

巽 高英

能村 義廣

伏見 勝

坂本 正彦

上西 郁夫

佐藤 望

淡輪 敬三

上條 茉莉子

渡辺 正男

石井 亜佳理

藤井 義彦

樋口 貞治

山口 憲明

大東 健治

庄野 敏臣

2012

佐々木 信行

安永 隆則

岡村 治男

森 重樹

石川 雅夫

尾崎 聖治

室伏 良香

福井 真紀子

エゲン・スティア

片山 仁志

西山 雄一郎

平山 達大

小池 明

大森 圭介

佐藤 隆

鳥居 正男

川村 融

杉本 豊

高瀬 経秀

阿部 友昭

横田 捷宏

2013

鈴木 祐二

未綱 隆

藤井 進

木藤 繁夫

鉦川 陽介

鈴木 健司

植松 信一

増矢 孝

工藤 富之

中村 薫

釜谷 正宏

川村 忠夫

寺崎 志野

増川 道夫

横尾 敬介

細田 久雄

仲村 渠千鶴子

瀬尾 純一郎

2014

未澤 和政

大嶋 英一

浅野 広視

大野 重國

宮越 極

田中 克洋

奥野 善彦

B.オサリヴァン

西畑 一哉

川田 仁子

木村 正治

田中 悦子

金井 重彦

坪谷ニューエル郁子

都甲 洋史

佐藤 昌俊

福井県人サテライト

前野 博紀

古野 徳之

犬塚 隆志

西尾 修一

山岸 博之

尾鼻 元次

上田 輝彦

パソナサテライト

山本 哲史

岩佐 実

中城 奏

堺 寿俊

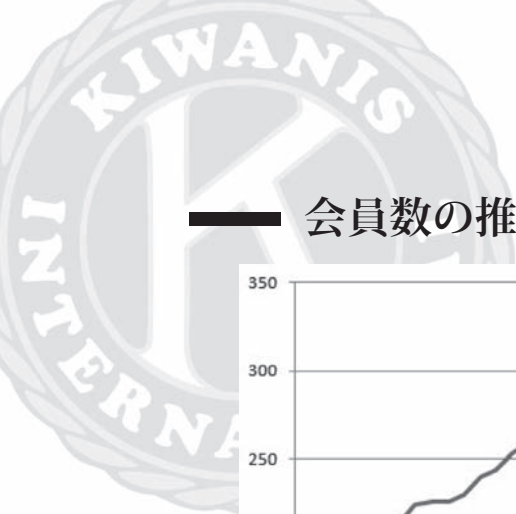
元島 千恵子

皆勤タブ保持者一覧

(2014.9.30 現在)

43年皆勤(1名)	山下 幸雄			
37年皆勤(1名)	野中 庸			
34年皆勤(1名)	関野 直輔			
32年皆勤(1名)	小島 章伸			
28年皆勤(1名)	永井 弓彦			
26年皆勤(2名)	菊岡 平八郎	安田 和義		
24年皆勤(1名)	横川 端			
22年皆勤(3名)	佐藤 満秋	中田 一男	矢橋 幸一	
21年皆勤(1名)	木村 太郎			
19年皆勤(5名)	大堀 太千男	杉田 健	須藤 幹雄	相馬 克美
	廣瀬 駒雄			
18年皆勤(1名)	吉江 誠			
17年皆勤(3名)	岩本 龍人	小笠原 建夫	鶴田 日夫	
16年皆勤(2名)	迫 秀一郎	米澤 潤一		
15年皆勤(3名)	佐藤 隆國	野末 明世	横山 太藏	
14年皆勤(2名)	木全 ミツ			
	重成 侃			
12年皆勤(3名)	小坂 元	野田 健	藤原 宣夫	
11年皆勤(6名)	川崎 弘	菅野 明	北里 光司郎	公文 宏
	栗山 勁	仁平 罔雄		
10年皆勤(8名)	秋山 誠一	伊藤 康成	小宅 庸夫	古屋 俊彦
	星 利樹	堀井 紀壬子	松本 一紀	山口 知子
09年皆勤(3名)	小野 洋一郎	山岸 信久	吉田 浩二	
08年皆勤(3名)	塚越 孝三	西村 清邦	廣岡 幹雄	
07年皆勤(3名)	青野 厚子	荒井 好民	豊田 武久	
06年皆勤(9名)	青木 秀臣	荒木 なぎさ	有岡 恭助	稲田 徹
	漆間 巖	緒方 謙二郎	日下部 健	中川 惇
	広畑 史朗			
05年皆勤(11名)	高坂 和夫	棚澤 青路	近石 康宏	中村 禎良
	西本 綱三	林 昭彦	廣瀬 權	福武 正廣
	藤原武平太	増田 好平	松見 芳男	
04年皆勤(5名)	石原 正之	伊藤 一実	竹嶋 一久	飛谷 安宣
	藤井 和雄			
03年皆勤(11名)	石井 亜佳理	磯田 壯一郎	大東 健治	河内 悠紀
	清川 昭	庄野 敏臣	中門 弘	樋口 貞治
	菱村 幸彦	森本 淳之	吉國 眞一	
02年皆勤(9名)	尾崎 聖治	片山 仁志	金井 義邦	狩野 省市
	酒井 富雄	佐々木 信行	島本 健司	鈴木 祐二
	淡輪 敬三			
01年皆勤(14名)	阿部 友昭	井上 幸彦	大澤 佳雄	北野 次登
	工藤 富之	佐伯 嘉彦	坂本 正彦	鈴木 健司
	寺崎 志野	仲村 渠千鶴子	細田 久雄	三野 耕司
	安永 隆則	横田 捷宏		

(以上 113名)



会員数の推移



1964	91
1965	188
1966	193
1967	201
1968	208
1969	206
1970	214
1971	224
1972	226
1973	226
1974	230
1975	240
1976	244
1977	253
1978	259
1979	258
1980	263
1981	260
1982	273
1983	274
1984	272
1985	279
1986	271
1987	279
1988	265
1989	275

1990	279
1991	298
1992	311
1993	296
1994	300
1995	285
1996	273
1997	271
1998	271
1999	256
2000	261
2001	252
2002	255
2003	211
2004	215
2005	206
2006	217
2007	217
2008	220
2009	211
2010	224
2011	219
2012	226
2013	219
2014	240

(平成 26 年 9 月 30 日現在)

国際年次総会

アジア太平洋会議・地域年次総会
(ASPAC)

1964	第49回	ロサンゼルス		
1965	第50回	ニューヨーク		
1966	第51回	ポートランド		
1967	第52回	ヒューストン		
1968	第53回	トロント		
1969	第54回	マイアミ		
1970	第55回	デトロイト		
1971	第56回	サンフランシスコ		
1972	第57回	アトランティックシティ		
1973	第58回	モントリオール		
1974	第59回	デンバー		
1975	第60回	アトランタ	第1回	香港
1976	第61回	サンディエゴ	第2回	シンガポール
1977	第62回	ダラス	第3回	マニラ
1978	第63回	マイアミビーチ	第4回	グアム
1979	第64回	トロント	第5回	台中
1980	第65回	アナハイム	第6回	バンコク
1981	第66回	ニューオーリンズ	第7回	東京
1982	第67回	ミネアポリス	第8回	クアラルンプール
1983	第68回	ウイーン	第9回	セブ
1984	第69回	フェニックス	第10回	ソウル
1985	第70回	トロント	第11回	シドニー
1986	第71回	ヒューストン	第12回	台北
1987	第72回	ワシントン DC	第13回	マニラ
1988	第73回	シアトル		マニラ(中止 非公式役員会を香港で開催)
1989	第74回	オーランド	第14回	グアム
1990	第75回	セントルイス	第15回	ウエリントン
1991	第76回	アナハイム	第16回	クアラルンプール
1992	第77回	インディアナポリス	第17回	タイペイ
1993	第78回	ニース	第18回	ソウル
1994	第79回	ニューオーリンズ	第19回	メルボルン
1995	第80回	ラスベガス	第20回	大阪
1996	第81回	ソルトレイクシティ	第21回	マニラ
1997	第82回	ナッシュビル	第22回	ヌメア
1998	第83回	モントリオール	第23回	マレーシア
1999	第84回	デンバー、コロラド	第24回	タイペイ
2000	第85回	マイアミビーチ	第25回	ダバオ
2001	第86回	台北、台湾	第26回	バリ
2002	第87回	ニューオーリンズ	第27回	タヒチ
2003	第88回	インディアナポリス	第28回	クアラルンプール
2004	第89回	セントルイス	第29回	名古屋
2005	第90回	ホノルル	第30回	メルボルン
2006	第91回	モントリオール	第31回	高雄
2007	第92回	サンアントニオ	第32回	マニラ
2008	第93回	オーランド	第33回	ジャカルタ
2009	第94回	ナッシュビル	第34回	セブ
2010	第95回	ラスベガス	第35回	台北
2011	第96回	ジュネーブ	第36回	マラッカ
2012	第97回	ニューオーリンズ	第37回	コロンボ
2013	第98回	バンクーバー	第38回	広島
2014	第99回	東京・千葉	第39回	東京・千葉

国際キワニス(KI)に関する豆知識

1 その歴史と組織

- <歴史> 最初のキワニスクラブは1915年米国デトロイトで誕生。シカゴにおけるロータリークラブ設立の10年後、ライオンズクラブ設立の2年前。
- 命名は近隣原住民の言葉で We trade (交易する) / meet (集る) / build (建設する) 等の意味合いを持つ “Nun-Kee-Wan-is” に由来。
- 設立当初はビジネス交流が主目的であったが、1919年頃から社会貢献活動にも注力。
- 国際化の始まりは1962年にメキシコのティファナで米国、カナダ以外のクラブが誕生したこと。翌年にはウィーンにヨーロッパ初のクラブ、続いて翌々年にアジア初のクラブが東京に誕生。
- 女性会員の加入は1987年に承認され、2012年の大会でその25周年記念式典を挙行。
- <組織> 米国インディアナポリスのKI本部 (職員120名) の下、5つの地域があり、其々に地区がある。各地区は更にいくつかのディビジョンに分かれ、その下にクラブがある。アジア・太平洋地域 (ASPAC) に所属する日本地区は現在8ディビジョン、30のクラブで構成。
- 国際役員会は会長、次期会長、副会長、前会長に加え15名の理事、専務理事よりなり、By-laws, Policy, Procedure に基づき年次総会で選出。
- インディアナ州の免税慈善事業団体として国際キワニス財団 (KIF) が1939年に設立され、KIの活動を財政面から支援。
- なお、青少年等のリーダー育成のための Service Leadership Program の下に、Key

Club (高校生26万人)、Circle K (大学生1.3万人) のほか Builders Club (中学生)、K-Kids (小学生)、Action Club (障害者) など全体で37万人のファミリークラブがある。

2. その目的とモットー

- キワニスの目的 (Objects) は1924年の年次総会で決定され、国際規約第2条に規定されている下記6項目。一般に良く用いられる「理念」(Principles) という用語でない点は、ロータリーの綱領 (Objects) とかライオンズの目的 (Purposes) とほぼ同一軸。
- 6つの目的の英語原文、直訳、並びに2012年の地区役員会で採択されたそれらの平易な標語表現を順に列挙すると以下のとおり。
 - ① To give primacy to the human and spiritual, rather than to the material values of life.
人生の物質的な価値より、むしろ人道的、精神的価値を重く見ること
【ものより心を重んじよう】
 - ② To encourage the daily living of the Golden Rule in all human relationships.
全ての人間関係において、黄金律に従う日常生活を奨励すること
【自分がされて嬉しいことを、他人にもしよう】
 - ③ To promote the adoption and the application of higher social, business, and professional standards.
社会生活、実業界、専門職域に、より高度な水準を採択し、適用するよう推進すること
【仕事の質を高めよう】

- ④ To develop, by precept and example, a more intelligent, aggressive, and serviceable citizenship.

規範及び模範によって、より一層知的、進取的、奉仕的な市民性を開発すること

【きまりを守り、社会に尽くそう】

- ⑤ To provide, through Kiwanis clubs, a practical means to form enduring friendships, to render altruistic service, and to build better communities.

キワニスクラブを通じて、恒久的な友情を形成し、愛他的奉仕を実行し、より良き社会を建設するための実際的な手段を提供すること

【友情をつちかい、力を合わせて、活動を進めよう】

- ⑥ To cooperate in creating and maintaining that sound public opinion and high idealism which make possible the increase of righteousness, justice, patriotism, and goodwill.

公正、正義、愛国心、及び善意を増進させることが出来る健全な世論と、高い理想主義を創造し、維持するように協力すること

【国を愛し、善を高め、夢をはぐくもう】

- 第2項中の Golden Rule とはマタイによる福音書第7章11節にある“・・do to others what you would have them do to you・・” (自分の為にして欲しいことは他人に対しても実行すべし) を意味し、キリスト教関係者以外にも広く理解されている模様。
- 上記目的の改正は代議員総会における3分の2以上の賛成票で可能。12年にオレゴン州の1クラブから第7番目の目的追加案が提起されたが採択されず。
- 一方、KIのモットー(規約25条1)は1920年のポートランド総会で採択さ

れた“We Build”が長年用いられていたが、2005年のホノルル総会で“Serving the Children of the World”に切り換えられ、爾後奉仕プログラム“Young Children: Priority One”と相俟ってキワニスの社会貢献活動に対する世間の認識高揚にも大きく寄与。


- なお、2013年の年次総会で“We Help Build Better Communities”というモットーへの変更が米国のあるクラブから提案されたが否決。

3 クラブ及び会員関係国際規約改正と新クラブ規約の作成

- 2012年にクラブ等に関し概要次の様な大きな改正が行われた。①会員の年齢規定を18歳以上から地域の法律で定義される成人に変更。②会員の資格の有無決定に関する権利義務をクラブに移管。③例会の開催義務回数を月2回以上から1回以上に変更。④新しい会員クラスを作る権限をクラブに付与。⑤クラブ新設の際の最低会員数を従来の25名(アジアでは20名)を一律15名に変更。
- 上記改正を受けてクラブの標準規約も改正されたので、2014年9月30日までに各クラブは新規約を作成する要あり。その際の留意点としては、設立地の法律等への遵守義務を謳うこと、規約で定める項目を整理しクラブ会費や役員選挙方法などの多くをポリシー(policy)で定めること等。

4 KIとKIFの表彰制度

- KIの表彰は毎年国際会長の定める評価基準に基づき、優秀な地区・ディビジョン・クラブ・個人会員に対し世界大会の場等で授与。

- 
- 一方、KIFの表彰には、資金提供目的のもの、資金調達支援目的のものがあり、前者には「世界奉仕メダル」(Kiwanis World Service Medal) や「国際キワニス財団英雄賞」(Robert・P・Connelly Medal of Heroism) がある。後者には寄付金額等に応じ多種の表彰がある中でKI初代会長を記念して1983年に創設されたジョージ・F・ヒクソン・フェローシップ(千ドル以上の寄付者にメダル等を贈呈)が代表的で受賞者も多し。
 - なお、【破傷風撲滅キャンペーン】
<Eliminate 運動> 関係の表彰には個人向けのWalter Zeller Fellowship, クラブ向けの100K Club等種々あり。

た場所を基に役員会(Executive Board)が決定する。

- 代議員総会では、職位指定の拡大代議員に加えて、世界大会の場合は各クラブより2名ずつ選ばれる代議員(総定足数500人)の投票、またASPAC大会の場合は各地区に基本定数5名+クラブ数が25を超える地区へ25を超える15クラブ数毎に1名が追加割当される代議員による投票で其々議決がなされる。

(本稿は昨年の例会における日本地区の吉田浩二事務総長及び秋山誠一マスターインストラクターのスピーチを秋山誠一マスターインストラクターが短く纏めたものである)。

5 世界大会とASPAC大会の開催地、投票権等

- 両大会とも原則として場所を毎年変えて開催されてきており、今年の東京/千葉における初の合同大会で世界大会は99回目(来年のインディアナポリス大会で100回目)、ASPAC大会は39回目(来年の40回目の大会は、フィリピンのクラークフィールドで開催)。
- いずれも中心行事である代議員総会に於ける規約改正と役員選挙に加え、研修会、各種会議、親睦パーティー、エクスカージョン等多彩なプログラムが用意される。
- 開催地の決定の仕方に両者間の違いがある点は留意の要。即ち、
 - ①世界大会<規約第15章>・・・総会の日時及び場所の決定は国際理事会(Board of Trustees)が原則として開催の3年以上前に行う。(因みに、開催経費は原則本部負担)。
 - ②ASPAC大会<規約第6章>・・・開催地は年次総会で出席代議員の過半数の得票を得

こよみ

例会

	1963/12/25	東京キワニスクラブ設立趣意書、発簡		
	1964/01/24	東京キワニスクラブ発会式		
1	1964/01/31	開放経済下における景気動向について	紅林茂夫	会員
2	1964/02/07	最近の交通事情について	高橋幹夫	会員
3	1964/02/14	宇宙科学と観測ロケット映画上映	高木昇	会員
4	1964/02/21	宇宙科学と観測ロケット映画上映(続)	高木昇	会員
5	1964/02/28	中年以降の心臓病について	上田英雄	会員
	1964/03/06	東京キワニスクラブチャーターパーティー(加盟祝賀会)		
6	1964/03/13	国連貿易開発会議について	赤沢璋一	会員
7	1964/03/27	ニューヨーク世界博覧会について	金富与志二	会員
8	1964/04/03	欧米旅行雑談	福田恆存	会員
9	1964/04/10	諸外国との国際契約について	木戸孝彦	会員
10	1964/04/17	最近の犯罪情勢について	本多不道	会員
11	1964/04/24	韓国の情勢について	上村健太郎	会員
12	1964/05/08	中ソ分裂と日本に対するその影響	梶川俊吉	会員
13	1964/05/15	アメリカ旅行から帰って	鹿内信隆	会員
14	1964/05/22	動脈硬化の成因とその予防	安部英	会員
15	1964/05/29	最近の資本市場について	北裏喜一郎	会員
16	1964/06/05	食品の流通について	平野尙	会員
17	1964/06/12	総裁問題をめぐって	佐藤栄作	国務大臣
18	1964/06/19	食品の流通について(続)	平野尙	会員
19	1964/06/26	東京都の将来の都市計画について	山田正男	会員
20	1964/07/03	私の政治生活と信条	藤山愛一郎	自民党総務会長
21	1964/07/10	ILO問題について	飼手真吾	日本労働協合理事
22	1964/07/17	アメリカ漫談	永野重雄	富士製鉄社長
23	1964/07/24	ガンの話	中山恒明	会員
24	1964/07/31	脳の話	時実利彦	東大脳生理学研究所所長
25	1964/08/07	最近感じたこと	徳川夢声	
26	1964/08/14	オリンピックあれこれ	北沢清	国立競技場常任理事
27	1964/08/21	特派員の見た日本外交と内外の影響	サミエル・ジェームスン	会員
		ゴールドウオーターの指名と内外の影響	吉村一雄	会員
28	1964/08/28	雑誌記者	田川博一	会員
29	1964/09/04	日本の防衛について	佐伯喜一	防衛研究所所長
30	1964/09/11	ニューギニア高地人について	加藤泰安	不二音響テレビジョン社長
31	1964/09/18	ヤキモノについて	河村熹太郎	陶芸家
32	1964/09/25	禅漫談	立花大亀	徳善寺住職
33	1964/10/02	新年度役員および各委員会委員長並びに副委員長改選の件		
34	1964/10/09	This is Mexico(映画上映)	フランシスコ・コントレラス	メキシコシティクラブ会長
35	1964/10/16	IMF総裁の裏話あれこれ	片桐良雄	会員
36	1964/10/23	政変をめぐるソ連の動向	山田久就	前駐ソ大使
37	1964/10/30	フルシチョフ退陣と中共核実験実施後の国際情勢	土井明夫	大陸問題研究所所長
38	1964/11/06	最近の政治動向	矢部貞治	前拓大総長
39	1964/11/13	養蜂の苦心	松田正義	養蜂家
40	1964/11/20	監察医の見た人生の裏街道	越永重四郎	東京都監察医務院医務課長
41	1964/11/27	金融証券市場の現状と見通し	吉野俊彦	日銀調査局次長
42	1964/12/04	東欧視察旅行から帰って	小坂徳三郎	会員
43	1964/12/11	転換期にのぞむ経済政策	紅林茂夫	会員
44	1964/12/18	映画よもやま話	山本嘉次郎	映画監督
45	1964/12/25	東欧旅行こぼれ話	山下静一	会員
46	1965/01/08	アメリカ演奏旅行から帰って	服部正	作曲家
47	1965/01/22	南ベトナムのゆくえ	垣内政彦	共同通信外国信部長
48	1965/01/29	勝負の根性	坂田栄男	囲碁名人本因坊
49	1965/02/05	板門店見たまま	笹原金次郎	会員
50	1965/02/12	南米の生活	宮坂国人	南米銀行副頭取
51	1965/02/19	新幹線あれこれ	加藤一郎	国鉄新幹線支社長
52	1965/02/26	東京の水	鈴木俊一	会員
53	1965/03/05	無題	大宅壮一	評論家
54	1965/03/12	無題	井深大	会員
55	1965/03/19	大脳生理学の人材調査への応用	武田豊	会員
	1965/03/26	一周年記念家族パーティー(第1回春季レディスデー)		
57	1965/04/02	1日1万歩の効用	大矢藏	日本万歩クラブ理事長
58	1965/04/09	国連総会について	福島愼太郎	ジャパンタイムズ社長
59	1965/04/16	フィジー島雑談	赤沢璋一	会員
60	1965/04/23	(無題)	ウォルター・W.ロストウ博士	U.S.国務省政策企画委員会委員長
61	1965/04/30	国際大学の理念と現実	鶴飼信成	国際キリスト京大学々長
62	1965/05/07	米国国債収支と日本経済	ロバート・ベリカン	駐日米国財務官
63	1965/05/14	日本の宇宙開発	高木昇	会員
64	1965/05/21	「カナダ・ロッキーの山」(カラースライド)	ウイラート・L・ミュエル	ネイバーホルクラブ会員
65	1965/05/28	最近の韓国	北裏喜一郎	会員
66	1965/06/04	無意識層の開発と経営者の問題	山口彰	産業心理センター所長

67	1965/06/11	洋酒の話(カラスライド上映)	佐治敬三	会員
68	1965/06/18	新内閣と今後の景気動向	紅林茂夫	会員
69	1965/06/25	ラスヴェガス雜観	中山恒明	会員
70	1965/07/02	織らない織物の店	坂部三次郎	会員
71	1965/07/09	肝臓の話	上田英雄	会員
72	1965/07/16	アジアの教育問題	天城敷	会員
73	1965/07/23	第50回キワニス年次総会に出席して	鹿内信隆	会員
74	1965/07/30	話し手のいない時の話	吉村一雄	会員
75	1965/08/06	ヴェトナムを見て	原田明	会員
76	1965/08/13	最近の鉄鋼情勢	高谷覚蔵	政治評論家
77	1965/08/20	眼の国際比較	田坂輝敬	会員
78	1965/08/27	残しておきたい日本の職人技術	渡辺弥栄司	会員
79	1965/09/03	クリスタル硝子について	齊藤隆介	
80	1965/09/10	当面の放送諸問題	鈴木哲夫	会員
81	1965/09/17	あなたはどの人種に属するか(日本人4人種論)	安藤蕃	会員
82	1965/09/24	技術革新と人生	鳥居達也	会員
83	1965/10/01	東京キワニスクラブ年次総会	内田宏	会員
84	1965/10/08	巨人軍の現状	正力亨	会員
85	1965/10/15	血液型のお話	安部英	会員
86	1965/10/22	自律訓練と潜在意識	奥田秀夫	産業心理センター
87	1965/10/29	電気通信について	浅野賢澄	郵政省経理局長
88	1965/11/05	史蹟をめぐるテムズ河(映画上映)	ジェフリー・ハミルトン	英国旅行協会駐日代表
89	1965/11/12	キワニス家族パーティ(東京プリンスホテル)(第2回秋季レディスデー)		
		第1回キワニス文化賞贈呈式(東京プリンスホテル)		
90	1965/11/19	激動する東南アジアと日本に対するその影響	梶川俊吉	会員
91	1965/11/26	住金問題と通産省の立場	赤沢瑠一	会員
92	1965/12/03	真向法(健康と美容のひけつ)	長井洞	真向法
93	1965/12/10	オリンピックと自衛隊(映画上映)	三輪良雄	会員
94	1965/12/17	日本人のくらし	中西一郎	会員
95	1965/12/24	東京ユニバーシアードについて	北沢清	ユニバーシアード東京大会事務局長
96	1966/01/07	音楽著作権について	春日由三	会員
97	1966/01/14	1966年の国際展望	曾野明	外務省情報文化局長
98	1966/01/21	今年の政治動向	新井明	日本経済新聞社政治部長
99	1966/01/28	アメリカの一つの社会	吉村一雄	会員
100	1966/02/04	映画「自衛隊」	三輪良雄	会員
101	1966/02/11	心身障害児の現状と問題点	天城敷	会員
102	1966/02/18	国土縦貫道路について(映画上映)	上村健太郎	会員
103	1966/02/25	日本万国博覧会の構想	新井真一	万国博協会事務総長
104	1966/03/04	日本経済の見通し	湊守篤	日興証券社長
105	1966/03/11	「愛しちゃったのよ」はなぜはやる	浜口庫之助	作曲家
106	1966/03/18	精神薄弱児の教育	三木安正	東京大学教授
	1966/03/24	第1回社会公益賞表彰式		
		第3回春季レディスデー		
107	1966/03/25	靖国神社	坂本定夫	靖国神社禰直
108	1966/04/01	「山本五十六」雑談(明治百年記念講演第1回)	阿川弘之	作家
109	1966/04/08	東京語のうつりかわり(明治百年記念講演第2回)	池田弥三郎	慶応義塾大学教授
110	1966/04/15	日本の防衛—自衛隊を裸にする—	三輪良雄	会員
111	1966/04/22	東南アジア諸国を廻って	小坂徳三郎	会員
112	1966/05/06	三代疑獄史(明治百年記念講演第3回)	河井信太郎	会員
113	1966/05/13	景気回復の現状と見通し	紅林茂夫	会員
114	1966/05/20	国粋主義者の系図(明治百年記念講演第4回)	児玉誉士夫	
115	1966/05/27	海運トップバッター論	土屋研一	会員
116	1966/06/03	中共の核武装と日本	若泉敬	前防衛研究所員・軍事評論家
117	1966/06/10	新撰組の経済的背景—明治維新前夜—(明治百年記念講演第5回)	司馬遼太郎	作家
118	1966/06/17	最近の国際情勢について	新関欽哉	外務省情報文化局長
119	1966/06/24	演劇改良運動に活躍した人達(明治百年記念講演第6回)	戸板康二	演劇評論家
120	1966/07/01	三悪追放(明治百年記念講演第7回)	菅原通済	
121	1966/07/08	人間の改造	茅野健	会員
122	1966/07/15	最近の労働問題あれこれ	五十嵐昭夫	会員
123	1966/07/22	2・26事件の回想(明治百年記念講演第8回)	和田日出吉	
124	1966/07/29	第51回キワニス・インターナショナル年次総会報告第50回ILO総会報告	原文兵衛	会員
125	1966/08/05	三代財界人気質(明治百年記念講演第9回)	吉村一雄	会員
126	1966/08/12	中国のスポーツの現状—最近の北京の表情—	三鬼陽之助	
127	1966/08/19	創価学会・公明党のめざすもの	青木半治	会員
128	1966/08/26	日清日露戦争—明治の軍人と昭和の軍人—(明治百年記念講演第10回)	辻武寿	公明党委員長
129	1966/09/02	キワニスのめざすもの	高木惣吉	軍事評論家
			グレン・リード	国際キワニス会長

130	1966/09/09	東条英機とその時代 (明治百年記念講演第11回)	矢次一夫	国策研究会常任理事
131	1966/09/16	中共との貿易問題あれこれ	渡辺弥栄司	会員
132	1966/09/30	日本共産党秘史 (明治百年記念講演第12回)	神山茂夫	元日本共産党中央委員
133	1966/10/07	東京キワニスクラブ年次総会 三代を生きるわが母おはなはんの生涯 (明治百年記念講演第13回)	林謙一	随筆家・おはなはんの長男
135	1966/10/21	教育(大学)三代	永井道雄	東京工業大学教授
136	1966/10/28	紅衛兵の性格と日共の動向	梶川俊吉	会員
	1966/11/04	現代の世相 ー第2ラウンドを迎えた流通革命ー	小泉一兵衛	赤札堂社長
137	1966/11/10	第4回秋季レディスデー(ダニー飯田とバラダイスキング) 第2回キワニス文化賞贈呈式		
138	1966/11/11	三代株屋気質 (明治百年記念講演第15回)	遠山元一	
139	1966/11/18	中共ー北米ー西欧をめぐって	藤原弘達	政治評論家
140	1966/11/25	三代宰相論 (明治百年記念講演第16回)	御手洗辰雄	政治評論家
141	1966/12/02	誇り高き官僚 (明治百年記念講演第17回)	後藤文夫	元内務大臣
142	1966/12/09	大蔵大臣列伝 (明治百年記念講演第18回)	小汀利得	政治経済評論家
1966/12/12 明治百年記念施設「清い水と母」起工				
143	1966/12/16	激化する交通戦争	国島文彦	警視庁交通部長
144	1966/12/23	罹り易い重役の病氣	安部英	会員
145	1967/01/06	1967年政界展望	一柳東一郎	朝日新聞政治部長
146	1967/01/13	三代男の花道 (明治百年記念講演第19回)	小島直記	伝記作家
147	1967/01/20	三代竹の園生 (明治百年記念講演第20回)	入江相政	侍従
148	1967/01/27	三代サラリーマン気質 (明治百年記念講演第21回)	坂本藤良	経営学者
149	1967/02/03	1967年国際情勢展望	北原秀雄	外務省欧亜局長
150	1967/02/10	日本官僚論 (明治百年記念講演第22回)	細川隆元	評論家
151	1967/02/17	1967年日本経済展望	紅林茂夫	会員
152	1967/02/24	続重役の罹り易い病氣	安部英	会員
1967/02/27 社団法人として認可される				
153	1967/03/03	三代謀略秘話 (明治百年記念講演第23回)	岩畔豪雄	元陸軍少将
154	1967/03/10	誇り高き資本家たち (明治百年記念講演第24回)	野田一夫	立教大学教授
155	1967/03/17	特ダネこぼれ話	細川隆一郎	毎日新聞政治部長
	1967/03/23	第2回社会公益賞表彰式 第5回春季レディスデー (東京ぼん太)		
156	1967/03/24	重症心身障害児の現状と対策	草野熊吉	秋津療育園長・ 第2回キワニス社会公益賞受賞者
157	1967/03/31	第二次廃藩置県 (明治百年記念講演第25回)	水野重雄	富士製鉄社長
158	1967/04/07	仏教徒としての私の課題	今井大彭	喜福寺住職
159	1967/04/14	世相漫談	邱永漢	作家・経済評論家
1967/04/18 明治百年記念施設「慰霊の泉」奉告祭、除幕・献納式				
160	1967/04/21	三代作家気質 (明治百年記念講演第26回)	今東光	作家・大僧正
161	1967/04/28	満州大陸にかけた夢 (明治百年記念講演第27回)	星野直樹	元湖州電報総務局長官、東洋国際ホテル社
162	1967/05/12	私の親た外国の男性と日本の男性	石井好子	石井音楽事務所々長
163	1967/05/19	ソ連雄感	鹿内信隆	会員
		ベトナム最前線レポート	牛山善政	会員
164	1967/05/26	資本自由化の問題	山本重信	会員
165	1967/06/02	勝負の世界	坂田栄男	本因坊囲碁九段
166	1967/06/09	イデオロギーの終焉	山手国弘	イオ生活プロデューサーグループ
167	1967/06/16	日本の石油業	上田克郎	会員
168	1967/06/23	催眠の経営への応用	山口彰	心理学者
169	1967/06/30	情報革命講座第1講 電子計算機革命について	茅野健	会員
170	1967/07/07	八月十五日ー終戦秘話ー (明治百年記念講演第28回)	木戸幸一	元内大臣
171	1967/07/14	物価対策の問題点	丸山英人	経企庁物価政策課長
172	1967/07/21	戦後20年 (明治百年記念講演第29回)	大宅壮一	評論家
173	1967/07/28	アメリカ中西部	山下静一	会員
174	1967/08/04	情報革命講座第2講 機械と人と組織	阿部実	会員
175	1967/08/11	健康講座第1講 いつまでも若々しく	安部英	会員
176	1967/08/18	下期の景気動向の問題点	紅林茂夫	会員
177	1967/08/25	ビールの話	佐治敬三	会員
178	1967/09/01	未来学講座第1講 首都圏の未来像	山田正男	会員
179	1967/09/08	明治200年 (明治百年記念講演 最終回)	松左安左エ門	
180	1967/09/22	健康講座第2講 心筋梗塞	上田英雄	会員
181	1967/09/29	未来学講座第2講 未来学序説	高木昇	会員
182	1967/10/06	情報革命講座第3講 経営における情報革命	茅野健	会員
183	1967/10/13	1967年度年次総会		
184	1967/10/20	健康講座第3講 私の引受けられる癌と引受けられない癌	中山恒明	会員
185	1967/10/27	人生観講座第1講 我が人生観 第6回秋季レディスデー (トリオスカイラインズ) 第3回キワニス文化賞贈呈式	石田礼助	国鉄総裁
186	1967/11/10	これからの銀行	澄田智	会員
187	1967/11/17	キワニスの活動	ジェームス・モラー	国際キワニス会長
188	1967/11/24	健康講座第4講 酒・煙草・夜更し賛成論	高橋忠雄	慈恵医大教授
189	1967/12/01	大衆の味	永谷嘉男	会員
190	1967/12/08	健康講座第5講 禿頭と白髪予防	安田利顕	関東通信病院皮膚科部長

191	1967/12/15	情報革命講座第4講 日本の電子計算機の現状	斉藤有	日本電子工業振興協会専務理事
192	1967/12/22	人生観講座第2講 我が人生観	石橋正二郎	ブリジストンタイヤ会長
193	1968/01/05	新年互礼会		
194	1968/01/12	1968年国際情勢展望	新聞欽哉	外務省情報文化局長
195	1968/01/19	1968年日本経済展望	紅林茂夫	会員
196	1968/01/26	1968年政界展望	細川隆一郎	毎日新聞政治部長
197	1968/02/02	わが国の微生物産業とその研究について	有馬啓	会員
198	1968/02/09	未来学講座第3講 日本の経済は米国に追いつくか	大来佐武郎	日本経済研究センター理事長
199	1968/02/16	寄席今昔	林家正蔵	落語家
200	1968/02/23	鍼灸指圧の限界効用	大島良雄	東大医学部教授
201	1968/03/01	公害対策の問題点	原文兵衛	会員
202	1968/03/08	東南アジア諸国を廻って	小坂徳三郎	会員
203	1968/03/15	人生観講座第3講 縁切寺今昔	井上禪定	東慶寺住職
204	1968/03/22	毎日の健康	竹腰美代子	体操研究家
	1968/03/27	第7回レディスデー (ジュディオング、ワイルド・ワンズ)		
205	1968/03/29	新聞で騒がれた最近の民事裁判 —交通事故慰謝料や日照権など—	鶴沢晋	会員
206	1968/04/05	経営者の知っておきたい税金あれこれ	泉美之松	会員
207	1968/04/12	第3回キワニス社会公益賞表彰式		
208	1968/04/19	情報革命講座第5講 情報革命を迎えて —通信革命を中心に—	高橋達男	電々公社経営調査室長
209	1968/04/26	情報革命講座第6講 情報革命を迎えて —通信革命を中心に—	高橋達男	電々公社経営調査室長
210	1968/05/10	健康講座第7講 コーカサスに長寿の秘密を探る	小倉清太郎	医師
211	1968/05/17	言いたい放題—防衛問題や警備問題やら—	三輪良雄	会員
212	1968/05/24	未来学講座第4講 未来の都市	渡辺陽	東大生産技術研究所教授
213	1968/05/31	ジョンソン声明以後の国際経済展望	紅林茂夫	会員
214	1968/06/07	未来学講座第5講 将来の人口問題	館松	厚生省人口問題研究所長
215	1968/06/14	最近の科学調査について	古畑種基	科学警察研究所長
216	1968/06/21	健康講座第8講 性の若返り	落合京一郎	東京医科歯科大学教授
217	1968/06/28	武士道とアマチュア・スポーツ	アヴェリー・ブランデー	IOC会長
218	1968/07/05	何が起るかわからない	赤沢瑠一	会員
219	1968/07/12	女性をしあわせにする男性の魅力	白井美喜	スターメーカーズスクール校長
220	1968/07/19	フランスの学生問題とゼネスト 沖縄問題のさわり	吉村一雄 鹿内信隆	会員 会員
221	1968/07/26	健康講座第9講 真向法釈意	長井洞	
222	1968/08/02	がまの聖談始末記	南喜一	国際バルブ会長
223	1968/08/09	華族—その維新前と維新後	徳川義親	
224	1968/08/16	我が歩み来し道	今村均	元陸軍大将
225	1968/08/23	情報革命講座第7講 ゼロックス・レヴォリューション	岡村朝夫	会員
226	1968/08/30	病めるアメリカ	会田雄次	京大人文科学研究所教授
227	1968/09/06	未来学講座第8講 食糧管理問題を含む今後の農政について	東畑四郎	日銀政策委員
228	1968/09/13	東西雄感 笑いと惚れの間学	今日出海	文化庁長官
229	1968/09/20	トラ・トラ・トラ(作戦)	黒沢明	映画監督
230	1968/09/27	200億ドル輸出の開発時代	原田明	会員
231	1968/10/04	テレビ番組悲話	村上七郎	会員
232	1968/10/11	1968年度東京キワニスクラブ年次総会		
233	1968/10/18	主計局長悲しからずや	鳩山威一郎	会員
234	1968/10/25	東欧自由化の嵐	山田久就	元ソ連大使
235	1968/11/01	学生問題と1970 第8回レディスデー (佐直良美)	川島広守	警察庁警備局長
236	1968/11/08	合気道演武	塩田剛三	養神館々長
237	1968/11/15	キワニスについて	ハロルド・ハインパウ	国際キワニス会長
238	1968/11/22	メキシコ・オリンピック	青木半治	会員
239	1968/11/29	アメリカ大統領選挙と日本	平野宗義	NHK解説委員長
240	1968/12/06	情報革命講座第8講 電子計算機の現状と将来	和田弘	成蹊大学教授
241	1968/12/13	動揺する国際通貨問題	武山泰雄	日本経済新聞社
242	1968/12/20	68年を解雇する	三鬼陽之助	財界研究所長
243	1969/01/10	新年互礼会		
244	1969/01/17	外科百年—おもしろい話	中山恒男	東大医大教授 会員
245	1969/01/24	春闘の展望	五十嵐昭夫	日経連事務局長 会員
246	1969/01/30	1969年経済展望	紅林茂夫	富士銀行監査役 会員
247	1969/02/07	雑感	福田恆存	現代演劇協合理事長 会員
248	1969/02/14	高層建築と生産性	武蔵清	鹿島建設副社長
249	1969/02/21	人生観講座第5講 私の生き方	那須皓	南米開発㈱社長
250	1969/02/28	日米議員懇談会に出席して	永末英一	衆議院議員
251	1969/03/07	キワニスに於ける私の体験	フレッド・ワインブレナー	国際キワニス
252	1969/03/14	人生観講座第6講 男と女 第9回レディスデー	秋山安三郎	演劇評論家
253	1969/03/28	最近の治安情勢	新井裕	警察庁長官
254	1969/04/04	流通革命	堤清二	西武百貨店社長
255	1969/04/11	美術漫談	高階秀爾	美術評論家
256	1969/04/18	第4回キワニス社会公益賞贈呈式		
257	1969/04/25	新全国総合開発計画について	下河辺淳	経企庁総合開発局
258	1969/05/02	50にして立つ	安部英	東大講師 会員
259	1969/05/09	職場と音楽	野呂信次郎	音楽評論家

260	1969/05/16	最近想うこと	小坂徳三郎	信越化学社長 会員
261	1969/05/23	北京の表情	渡辺弥栄司	アジア経済研究所監事 会員
262	1969/05/30	中国の見方	城野宏	産業経済社社長
263	1969/06/06	広告産業について	田丸秀治	電通常務 会員
264	1969/06/13	東京キワニスクラブ年次総会		
265	1969/06/20	日本人の民族性について	上村健太郎	日本科学技術振興財団副会長 (会長)
266	1969/06/27	これからの都市交通	角本良平	国鉄監査委員会委員
267	1969/07/04	歌謡曲談義	有田一寿	日本クラウン社長 会員
268	1969/07/11	珍妙な会社	片山豊	マルマン社長 会員
269	1969/07/18	最近の国会から	常磐恭一	読売新聞政治部記者
270	1969/07/25	話の歳時記	牧野周一	漫談家
271	1969/08/01	首都の治安	警視總監	会員
272	1969/08/08	アポロ計画以後の宇宙開発	高木昇	東大名誉教授 会員
273	1969/08/15	映画「タズマン氷河伏走」とお話	三浦雄一郎	プロスキーヤー
274	1969/08/22	映画「進む公害防止事業」	原文兵衛	公害防止事業団理事長 会員
275	1969/08/29	官民合同の地域開発について	小堀清	総合開発機構常務取締役
276	1969/09/05	映画「若いカー-東南アジア編」とお話	寒河江善秋	文部省社会教育審議会専門委員
277	1969/09/12	最近の海外情勢について	大来佐武郎	日本経済研究センター理事長 会員
278	1969/09/19	世代の断絶	鳥居達也	東急エージェンシー専務取締役 会員
279	1969/09/26	私の花	安達暉子	生け花家
280	1969/10/03	映画「万国博ニュース」	鈴木俊一	万博協会事務総長 会員
281	1969/10/17	最近のヨーロッパの労働情勢	五十嵐昭夫	日経連事務局長 会員
282	1969/10/24	昭和44年度事業報告会		
283	1969/10/31	七色の声	中村メイ子	女優
284	1969/11/07	農作物語	土方定一	鎌倉近代美術館々長
285	1969/11/14	発展途上国に対する経済援助はいかにあるべきか —国連FAO会議に出席して—	平野超	日魯漁業副社長 会員
286	1969/11/21	人と動物	林寿郎	元上野動物園々長
287	1969/11/27	第10回レディスデー		
288	1969/12/05	映画「アラビアの炎」とお話	早田和正	アラビア石油企画室長
289	1969/12/12	70年を守るガードマン	三輪良雄	総合警備保障常務 会員
290	1969/12/19	かっぱ天国	清水崑	漫画家
291	1970/01/09	新年互礼会		
292	1970/01/16	歴史と小説	村上元三	作家
293	1970/01/23	1970年前半の経営者の覚悟	紅林茂夫	富士銀行監査役 会員
294	1970/01/30	国際化時代の文学	藤島泰輔	作家
295	1970/02/06	人手不足雑感	山下静一	経済同友会専務理事 会員
296	1970/02/13	70年問題の思想的背景	武藤光朗	評論家
297	1970/02/20	技術進歩と経済の発展について	向坊隆	東大教授
298	1970/02/27	現代をどうとらえるか	竹村健一	評論家
299	1970/03/06	塗り物の話	岡田譲	文化財監査官
300	1970/03/13	瘦身術・ミスコンテスト・ルーレット	和田静郎	和田研究所々長
301	1970/03/20	指紋と人生	花村順	指紋研究家
302	1970/03/27	花流豊郷—物価・地価・住宅	中西一郎	中西政経研究所長 会員
303	1970/04/03	新しい教育	矢口新	(財)能力開発工学センター所長
304	1970/04/09	第11回レディスデー		
305	1970/04/17	本年の春闘の動向と問題点	五十嵐昭夫	日経連事務局長 会員
306	1970/04/24	日中間の展望	石川忠雄	慶大政治学教授
307	1970/05/08	自然科学から見た生命	三輪知雄	教育大教授
308	1970/05/15	教科書裁判について	宇野精一	東大教授
309	1970/05/22	東大寺大仏の鑄造について	前田泰次	東京芸大教授
310	1970/05/29	アヘンの使い道	福田恆存	現代演劇協合理事長 会員
311	1970/06/05	医者を見た外国の事情	中山恒明	東京女子医大教授 会員
312	1970/06/12	昭和45年度東京キワニスクラブ年次総会		
313	1970/06/19	日中間の素描	渡辺弥栄司	アジア経済研究所監事 会員
314	1970/06/26	重症児と共に歩みて 第5回キワニス社会公益賞贈呈式	中沢千代子	島田療育園総婦長
315	1970/07/03	伝統と合理主義	坂本太郎	国学院大学教授(日本史)
316	1970/07/10	公害問題を考える	原文兵衛	公害防止事業団理事長 会員
317	1970/07/17	ビデオカセットテープ「これがビデオだ」上映		
318	1970/07/24	最近の大学 —「改革」と「入試」をめぐって—	安藤良雄	東大教授 会員
319	1970/07/31	住宅問題を考える	沢田光英	建設省住宅局調査官 会員
320	1970/08/07	国際映画の変遷	川喜多かしこ	東和映画副社長
321	1970/08/14	映画「日本の国立公園—北海道の自然」上映		
322	1970/08/21	恋・涙	藤田まさこ	作詞家
323	1970/08/28	国境を越えた音楽	浅香淳	音楽之友出版部長
324	1970/09/04	最近の政局から 自動車は永遠の乗り物か 交通遺児育英会についてお願い	田辺昌雄	NHK政治部主幹
325	1970/09/11	自動車は永遠の乗り物か 交通遺児育英会についてお願い	岡並木	朝日新聞編集委員
326	1970/09/18	「キワニス」について	玉井義臣	交通遺児育英会事務局長
327	1970/09/25	農業にかかわる諸問題	Kenneth P. Greenaway	Kiwanis International European Administrator
328	1970/10/02	映画「奥の細道」上映	堀正侃	残留農薬研究所理事長
329	1970/10/09	徳川時代のMS	富子勝久	御本木真珠常務 神戸製鋼所専務
330	1970/10/16	中国、ソ連旅行雑感	岩武照彦	(神戸キワニスクラブ会長)

331	1970/10/23	いびきの話	池松武之亮	池松病院々長
332	1970/10/30	ソ連の素描ーソ連の市民級の生活の実態ー	川島四郎	食料産業研究所々長
333	1970/11/06	第12回レディスデー		
334	1970/11/13	最近の中東情勢	清水真一	NHK国際局報道部副部長
335	1970/11/20	映画「血友病と闘う」とお話	安部英	東大講師 会員
336	1970/11/27	栄養が支配するあなたの生活	東畑朝子	料理研究家
337	1970/12/04	1970年を振り返って	緒方彰	NHK解説委員長
338	1970/12/11	第3回全日本キワニスクラブ合同大会		
339	1970/12/18	新・良妻賢母論	楠本憲吉	評論家
340	1971/01/08	新年互礼会		
341	1971/01/22	物の名称について	寺西五郎	共同通信社常務理事 会員
342	1971/01/29	最近の主婦氣質	俵朋子	評論家
343	1971/02/05	若返りのツボ教えます	浪越徳治郎	日本指圧学校々長
344	1971/02/12	1971年経済動向	紅林茂夫	富士銀行監査役 会員
345	1971/02/19	プラスとマイナス	真鍋博	イラストレーター
346	1971/02/26	カラービデオ「未来シリーズーあすの東京ー」上映		
347	1971/03/05	現代の革命について	猪木正道	防衛大学校々長
348	1971/03/12	情報革命講座第9講 情報革命と人間	白根礼吉	電々公社データ通信本部普及開発部長
349	1971/03/19	東南アジアにおけるキワニスの活動について	ジャック・P・デルフ	国際キワニス会長代理
350	1971/03/26	第13回レディスデー		
351	1971/04/02	今年の春闘について	五十嵐昭夫	日経連事務局長 会員
352	1971/04/09	開運する方法	藤田小女姫	予言師
353	1971/04/16	地震の話ーロスアンゼルス地震を視察してー	河角広	東大名誉教授
354	1971/04/23	10年毎に見たアメリカ	菊地清明	外務省経済協力局参事官
355	1971/04/30	映画「さよなら」上映(フジタ工業提供)		
356	1971/05/07	レクリエーション雑感	尾上浩彦	東海汽船副社長 会員
357	1971/05/14	健康講座第11講 糖尿病とはどんな病気か	阿部正和	東京慈恵医大教授
358	1971/05/21	最近の海洋開発	中川雅央	中川防蝕工業社長
359	1971/05/28	侵入ドロボウのあの手の手と戸締りのこつ	池本長一郎	全国警備保障取締役
360	1971/06/04	姓・名のよもやま話	佐久間英	人名研究者・医学博士
361	1971/06/11	東京キワニスクラブ昭和46年度年次総会		
362	1971/06/18	シンク・タンクについて	上村健太郎	科学技術振興財団副会長 会員
363	1971/06/25	四次防について	穴戸基男	防衛庁官房長 会員
364	1971/07/02	沖繩調印式は終わったが・・・	今井久夫	サンケイ新聞論説委員
365	1971/07/09	無党派世代のわかものたちー前現場からコミュニン志向までー	小石原昭	知性アイデアセンター所長
366	1971/07/16	家庭教育の道しるべ	相羽雅文	東郷製作所専務 (名古屋会員)
367	1971/07/23	ルアンダ人とヨーロッパ人ー他の民族を理解する難しさ	服部正也	日本銀行外事審議役 (元ルアンダ国立銀行総裁)
368	1971/07/30	航空機事故に挑戦するーCPAL機から、「ぼんだい」号まで	守屋富次郎	東大名誉教授
369	1971/08/06	会員交歓会		
370	1971/08/13	詩と演劇	中城まさお	《詩と演劇の会》代表
371	1971/08/20	日中間関係の展望	渡辺弥栄司	アジア経済研究所監事 会員
372	1971/08/27	東京の発展と地下鉄	石原米彦	帝都高速度交通営団副総裁
373	1971/09/03	(靖国神社特別例会 「慰霊の泉」参観) 靖国神社と無名戦士の墓	坂本定夫	総務部長
374	1971/09/10	雑談ー日本の重工業	赤沢璋一	前・通産省重工業局長 会員
375	1971/09/17	企業における役割行動	山本虔	青森大学教授
376	1971/10/01	歴史と石の島 マルタ島を訪問して	吉村明	ダイキン工業常務 会員
377	1971/10/08	激動の世界を廻って	平沢和重	政治外交評論家
378	1971/10/15	カメルーン紀行	吉村一雄	日経連国連代表事務所長 会員
379	1971/10/22	私の円問題観	澄田智	前大蔵省事務次官 会員
380	1971/10/29	第6回キワニス社会公益賞表彰式		
381	1971/11/05	成田空港の建設とこれをめぐる諸問題	今井栄文	新東京国際空港公団総裁
382	1971/11/12	第14回秋季レディスデー		
383	1971/11/19	第4回全日本キワニスクラブ合同大会		
384	1971/11/26	フシバからのぞいたアメリカ感	菅原通清	(財)三恵道放協会有長
385	1971/12/03	打撃論	山内一弘	巨人軍打撃コーチ
386	1971/12/10	受賞者プロフィールスライド「琴」上映	宮田勝男	第7回キワニス文化賞受賞者
387	1971/12/17	舞台雑感	森雅之	役者
388	1972/01/07	新年互礼会		
389	1972/01/14	新春放談	片山竜二	パーソナリティ
390	1972/01/21	日本の進路	石原慎太郎	参議院議員
391	1972/01/28	成人病シリーズその1 年をとるとは、どんなことか	安部英	帝京大学医学部教授 会員
392	1972/02/04	円再切り上げの可能性と景気動向	紅林茂夫	富士銀行常任監査役 会員
393	1972/02/18	芸術と人生	畑田圭子	卓絵創始者
394	1972/02/25	成人病シリーズその2 健康の源ー口腔の健康こそ長寿の秘訣	加藤能孝	歯科フロンティア医師
395	1972/03/03	成人病シリーズその3 急性心臓衰弱(ぼっくり病その他)	上田英雄	中央鉄道病院顧問 会員
396	1972/03/10	ゲーム島から帰った横井庄一さん	中村一成	厚生省援護局長
397	1972/03/17	ビジネスマンとゴルフ	金田武明	スポーツイラストレイテッド誌アジア代表
398	1972/03/24	第15回春季レディスデー		
399	1972/03/31	ダイナミック・カナダーカナダ展	レイ・H・デジャルダン A・アドヴォカート	カナダ展政府代表 カナダ大使館二等書記官
400	1972/04/07	性格と書	望月美佐	女流作家
401	1972/04/14	今年の春闘の見通しと問題点	五十嵐昭夫	日経連事務局長 会員
402	1972/04/21	脱皮	森政弘	東京工業大学教授

403	1972/04/28	靖国神社特別例会			
404	1972/05/12	昭和47年度東京キワニスクラブ第9回年次総会			
405	1972/05/19	三島由紀夫の死について	伊沢甲子磨	教育評論家	
406	1972/05/26	日本の発想・体質・構造	盛敏度	「留園」社長	
407	1972/06/02	画商裏話—絵は利殖の手段たり得るか	牧田喜義	フジテレビギャラリー社長 会員	
408	1972/06/09	動く禅—太極拳ならびに太極拳演武	楊名時	楊家太極拳範家	
409	1972/06/16	成人病シリーズその3 アルコールと肝臓病	高橋忠雄	慈恵医大教授	
410	1972/06/23	雑感—欧米の小型ミサイルを見て	尾沢朝一郎	防衛庁技術本部技術開発官	
411	1972/06/30	UNCTAD(国連開発貿易会議)総会雑感	菊地清明	外務省経済協力局参事官 会員	
412	1972/07/07	成人病シリーズその4 高血圧と腎臓	大島研三	日本大学医学部内科教授	
413	1972/07/14	第7回キワニス社会公益賞表彰式			
414	1972/07/21	今日のファッションについて	鈴木義雄	鈴屋社長 会員	
415	1972/07/28	科学と宗教の接点	上田順三	医学博士(曹洞宗禅僧)	
416	1972/08/04	ビール四方山ばなし	宮下孟七	サッポロビール販売促進部長	
417	1972/08/11	インパール作戦裏話—電波戦争など	金富与志二	サンケイビル専務 会員	
418	1972/08/18	夕涼み特別例会			
419	1972/08/25	香りと色気	鍋木きみよ	パーフェクト・コンサルタント	
420	1972/09/01	中国の対日接近	柴田穂	サンケイ新聞外信部次長	
421	1972/09/08	88日間世界一周報告	鳥居達也	鳥居事務所 会員	
422	1972/09/22	南米そぞろある記	安部英	帝京大学医学部教授 会員	
423	1972/09/29	ミュンヘンオリンピック裏話 70歳まで若さを保つ体操(体操の実技と共に)	岩田幸彰	東急ホテルチェーン取締役	
424	1972/10/06	新世界層への提案 新旧役員交代式 お城の中のこと	Roger Johnston	セイラム・キャピトル・キワニスクラブ	
425	1972/10/13	第16回秋季レディスデー	松平潔	宮内庁侍従職事務主管・侍従 会員	
426	1972/10/20	国交正常化後における日中交流に思うこと	平野起	日魯漁業社長 会員	
427	1972/10/27	ヒューマンリズム絵画	中村曜子	泰東印刷(株)社長 サロン・ド・クレール 事務局長	
428	1972/11/10	第5回全日本キワニスクラブ合同大会・ 第8回キワニス文化賞贈呈式			
429	1972/11/17	選手気質の昨今	古橋広之進	日本水泳連盟理事・日大理学部助教授	
430	1972/11/24	成人病シリーズその5 年齢と眼	鹿野信一	北里大学客員教授・前東京大学教授	
431	1972/12/01	一姫ってほんとかしら(女性ドライバーのこと)	生内玲子	交通評論家	
432	1972/12/08	1972年を回顧する	石山四郎	㈱ダイヤモンド社社長	
433	1972/12/15	第8回キワニス文化賞紹介・スライド「土佐典具帖紙」上映			
434	1972/12/22	成人病シリーズその6 酸欠時代—ゴキブリ万歳	笹本浩	慶応大学医学部教授	
435	1973/01/12	新年互礼会			
436	1973/01/19	普遍と個性	高橋義孝	名古屋大学教授	
437	1973/01/26	最近の国際情勢	寺西五郎	共同通信社常任監査役 会員	
438	1973/02/02	みにくい日本人	赤沢璋一	富士通(株)顧問 会員	
439	1973/02/09	成人病シリーズその7 ガンの知識	中山恒明	東京女子医大教授	
440	1973/02/16	1973年経済展望	紅林茂夫	富士銀行常任監査役 会員	
441	1973/02/23	紳士と花	マミ川崎	マミ・フラーワーデザインスクール総長	
442	1973/03/02	ハリ麻酔	山村秀夫	東京大学医学部教授(麻酔科)	
443	1973/03/09	カラー映画「時経—松田権六のわざ」上映			
444	1973/03/16	萩と俳句と日本人と	池月孝文	竜眼寺(俗称萩寺)住職	
445	1973/03/23	東南アジアにおけるキワニスクラブの活動について	ジャック・P・デルフ	国際キワニス会長代理	
446	1973/03/30	第17回春季レディスデー			
447	1973/04/06	今年の春闘の展望	五十嵐昭夫	日経連参与 会員	
448	1973/04/13	開発途上国援助の考え方	大来佐武郎	海外経済協力基金総裁 会員	
449	1973/04/20	書と心	村上茂利	村上労働経済研究会理事長・日本書道連盟副理事長 会員	
450	1973/04/27	カリフォルニア州ペーカースフィールド他3クラブとの インタークラブミーティング			
451	1973/05/11	家庭と人間	江木文彦	日本家庭管理科学研究所所長	
452	1973/05/18	最近の映画について	南俊子	映画評論家	
453	1973/05/25	東京キワニスクラブ昭和48年度(第10回)年次総会			
454	1973/06/01	ヨーロッパから帰って	鹿内信隆	フジテレビ社長 会員	
455	1973/06/08	ウォーターゲート事件とホワイトハウス	渡辺恒雄	読売新聞解説部長	
456	1973/06/15	交通革命と都市	佐貫利雄	日本開発銀行調査部次長 工学博士	
457	1973/06/22	記録映画「よみがえる長沙漢墓」上映			
458	1973/06/29	映画「天龍川」とお話	大堀弘	電源開発総裁 会員	
459	1973/07/06	金融よもやま話	青山俊	西部都市開発社長 会員	
460	1973/07/13	成人病シリーズその8 風邪は万病の源	堀口申作	国立聴力言語障害センター所長	
461	1973/07/20	東欧ならびにアメリカを訪ねて	平野起	日魯漁業社長 会員	
462	1973/07/27	暑氣払い放言会			
463	1973/08/03	アラブハイジャックと今日の世界	渡辺修	サンケイ新聞外信部長	
464	1973/08/10	ホテル業四方山話	上田克郎	東急ホテルズインターナショナル社長会員	
465	1973/08/17	中国のスポーツ界見えてある記	青木半治	体協専務理事 会員	
466	1973/08/24	第8回キワニス社会公益賞表彰式			
467	1973/08/31	カラー映画「長寿者と秘境コーカサス」上映	小倉清太郎	ロングライフ中央会理事長医学博士	
468	1973/09/07	歴史のなかの西洋文明	謝世輝	相模工大教授 理学博士	
469	1973/09/14	ゴルフで完全健康が維持できるか	長井洞	真向法	
470	1973/09/21	第18回レディスデー			
471	1973/09/28	成人病シリーズその9 腰の痛み	石田肇	日本医科大学助教授(整形外科)	

472	1973/10/05	魅力ある男	田村玲子	サンケイ新聞記者
473	1973/10/12	映画「世界の都市開発」上映		
474	1973/10/19	余暇社会の構図	松田義幸	余暇開発センター主任研究員
475	1973/10/26	クーデター前夜－サンチャゴ見聞	山下静一	経済同友会専務理事 会員
476	1973/11/02	臨時総会 放言会「言いたい放題」		
477	1973/11/09	第6回全日本キワニスクラブ合同大会 第9回キワニス文化賞贈呈式		
478	1973/11/16	中東の石油問題について	関吉郎	ダイヤモンド・タイム社「プレジデント」編集部
479	1973/11/30	もの見方の転換－海外から見た日本	竹村健一	
480	1973/12/07	テレビ番組を左右するもの	草柳大蔵	評論家 会員
481	1973/12/14	信頼性・安全・製品責任	高木昇	評論家
482	1973/12/21	1973年さよなら例会 カラーライド「釜」上映 (第9回キワニス文化賞紹介)		日大理工学部教授 会員
483	1974/01/11	新年互礼会		
484	1974/01/18	月への使者－アポロ及びルナ月探査計画の成果	永田武	国立極地研究所所長
485	1974/01/25	当面の国際金融	細見卓	大蔵省顧問 会員
486	1974/02/01	田中総理と共に見た激動の東南アジア裏話	阿部穆	サンケイ新聞政治部デスク
487	1974/02/08	地震予知というもの	木村耕三	気象庁観測部長
488	1974/02/15	外国人女性管理職が見た日本のあれこれ	Caroline A. Yang	在日合衆国教育委員会(フルブライト)事務局長
489	1974/02/22	昭和49年の経済見通し	紅林茂夫	富士銀行常任監査役 会員
490	1974/03/01	放言会		
491	1974/03/08	景気は変わるか	宮崎勇	経済企画庁調査局長 会員
492	1974/03/15	国民春闘の行方	五十嵐昭夫	(財)雇用振興協会理事 会員
493	1974/03/22	第19回春季レディスデー		
494	1974/03/29	キワニスを考える	Jack P. Delf	Kiwanis International Trustee
495	1974/04/05	仏陀から創価学会まで	三枝充應	国学院大学教授
496	1974/04/19	鉄の芸術－日本刀	鈴木嘉定	刀剣美術館運営委員長
497	1974/04/26	成人病シリーズその10 成人の泌尿器病	高井修道	横浜市大医学部教授
498	1974/05/10	大統領の代りはあるが、モナリザの代りはない	鹿内信隆	フジテレビ社長 会員
499	1974/05/17	日本の伝統文化のあり方	池坊保子	華道池坊家元夫人
500	1974/05/24	国際コミュニケーションについて	北岡靖男	タイム社アジア総支配人 会員
501	1974/05/31	女の38度線	川原千寿子	サンケイ新聞記者
502	1974/06/07	昭和49年度第11回年次総会		
503	1974/06/14	アフリカの国々	内田宏	外務省特命全権大使
504	1974/06/21	パリジェンヌの見た日本の衣食住	Jane Cobbi	パリ大学研究員
505	1974/06/28	人類が見た新しい宇宙－X線星の話	小田稔	東大宇宙航空研究所教授
506	1974/07/05	密教の持つ未来性	桐山靖雄	大日山金剛華寺管長
507	1974/07/12	火の鳥アイズランドと日本沈没	竹内均	東大理学部教授
508	1974/07/19	参議院選挙後の政局	岡村和夫	NHK解説委員室副主幹
509	1974/07/26	ニッポンの印象	カリフォルニア州 Liberty High School 一行	
510	1974/08/02	新幹線と地域開発	鈴木秀昭	国鉄新幹線総合計画部長 会員
511	1974/08/09	大統領交代とアメリカの試練	山田進一	サンケイ新聞編集委員
512	1974/08/23	心霊現象の科学的研究	後藤以紀	明治大学教授
513	1974/08/30	残暑暑い放言会		
514	1974/09/06	沖繩国際海洋博について	増山孝明	通産省博覧会総括官
515	1974/09/13	血液成分輸血	安部英	帝京大学医学部教授 会員
516	1974/09/20	食糧危機は果して来るか	中野和仁	農林省事務次官
517	1974/09/27	韓国人の本当の肚	上村健太郎	科学技術振興財団副会長 会員
518	1974/10/04	モナリザが残っていた声	鈴木松美	富士ゼロックス技術開発本部シニアサイエンティスト
519	1974/10/11	臨時総会		
520	1974/10/18	京都の離宮 カラー映画「美の系譜」同時上映	石川忠	宮内庁京都事務所所長
521	1974/10/25	第9回キワニス社会公益賞表彰式		
522	1974/11/01	世界の青年の意識	千石保	総理府青少年対策室内閣参事官
523	1974/11/08	第7回全日本キワニスクラブ合同大会・第10回キワニス文化賞贈呈式		
524	1974/11/15	カラー映画「水のある砂漠」(日本産映画大賞受賞作)上映		
525	1974/11/22	原子力船「むつ」の話	生田豊朗	科学技術庁原子力局長 会員
526	1974/11/29	新聞の裏から見た国際情勢	梶谷善久	国際問題評論家
527	1974/12/06	日本人の知恵	樋口清之	国学院大学教授
528	1974/12/13	刑法改正について	鈴木義男	法務省大臣官房審議官
529	1974/12/20	1974年さよなら特別例会・選暦会員を祝う会		
530	1975/01/10	新年互礼会		
531	1975/01/17	キューバ・エルサルバドル雑感	中山恒明	東京女子医大教授 会員
532	1975/01/24	資源を自給自足する提言	藤増次郎	藤増総合化学研究所所長
533	1975/01/31	物故会員慰霊祭		
534	1975/02/07	1980年代は、日本の世紀か	石川博友	週刊「ダイヤモンド」編集長
535	1975/02/14	科学的に見た権昔	菊池龍彦	日本クリエート取締役
536	1975/02/21	50年度経済の問題点	紅林茂夫	富士銀行常任監査役 会員
537	1975/02/28	放言会「私の健康法」		
538	1975/03/07	今年の春闘の展望と問題点	五十嵐昭夫	日本私学振興財団監事 会員
539	1975/03/14	エネルギー問題とサンシャイン計画	池口小太郎	通産省工業技術院研究開発官
540	1975/03/28	サウジ国王暗殺と中東和平の行方	佐藤正昭	サンケイ新聞外信部前中東移動特派員
541	1975/04/04	第20回春季レディスデー		
542	1975/04/11	椿の話	茅野健	オーケン社長 会員
543	1975/04/18	靖国神社「慰霊の泉」献納八周年記念特別例会		

544	1975/04/25	現代詩の鑑賞	辻井喬 (堤清二)	詩人・西武百貨店社長 会員
545	1975/05/02	第12回産業映画コンクール文部大臣賞受賞作上映 「地球と生命—フラスコの中のエコロジー」		
546	1975/05/16	仏像彫刻の鑑賞	高橋秀夫	仏像研究家
547	1975/05/23	文化開発	梅棹忠夫	国立民族学博物館館長
548	1975/05/30	英国女王をお迎えして	内田宏	外務省儀典長 会員
549	1975/06/06	第12回東京キワニスクラブ年次総会		
550	1975/06/13	連続企業爆破犯人逮捕について	土田国保	警視庁総監 会員
551	1975/06/20	言論の自由について—38度線をめぐって	藤島泰輔	作家
552	1975/06/27	ベトナム戦争と日本の新聞	徳岡孝夫	英文毎日編集部記者
553	1975/07/04	幽霊奇譚	茅野健	オーケン社長 会員
554	1975/07/11	不老長生術とは何か—支那の仙人から習った不老長生の秘法	井田雅弘	創寿会会長
555	1975/07/18	日米首脳会談を前にして	平沢和重	外交評論家
556	1975/07/25	カラー映画「Hands—人間国宝」上映		
557	1975/08/01	日米相互理解を推進する力JACEX	サムエル・M・コーヘン	日米教育交換プログラムDirector
558	1975/08/08	暑気払い放言会		
559	1975/08/22	VTR「モナリザの記録」上映	鹿内信隆	彫刻の森美術館館長 会員
560	1975/08/29	健康の話—トリムについて	佐橋滋	余暇開発センター理事長
561	1975/09/05	日本人とルール観	千石保	早稲田大学講師
562	1975/09/12	映画女優になって15年	岩下志麻	女優
563	1975/09/19	自己イメージ心理とバイオフィードバック	A.L. ロビンソン	心理学博士
564	1975/09/26	第21回レディスデー		
565	1975/10/03	インフラ・ストラクチャーについて	河合三良	国際開発センター理事長 会員
566	1975/10/17	臨時総会		
567	1975/10/24	ソ連旅行の思い出	前川文夫	東大名誉教授
568	1975/10/31	ご通訳の見た陛下ご訪米	真崎秀樹	外務省参与
569	1975/11/07	第8回全日本キワニスクラブ合同大会 第11回キワニス文化賞贈呈式		
570	1975/11/14	第11回キワニス文化賞受賞者紹介スライド 「輪島漆器『木工轆轤師』」上映		
571	1975/11/21	無題	竹村健一	評論家 会員
572	1975/12/05	放言会		
573	1975/12/12	76年の企業戦略	石川博友	週刊ダイヤモンド主幹
574	1975/12/19	還暦会を祝う会		
575	1976/01/09	新年互礼会		
1976/01/09 例会場を経団連会館に変更				
576	1976/01/16	第10回キワニス社会公益賞表彰式		
577	1976/01/23	新春外交四方山話	内田宏	外務省儀典長 会員
578	1976/01/30	農産物備蓄問題について	武田誠三	米備蓄会議々長
579	1976/02/06	中年の健康(冬の巻)	安部英	帝京大学教授 会員
580	1976/02/13	マイクロ・コンピューター革命	加茂剛弘	インテル・ジャパン社長 会員
581	1976/02/20	今年度の景気動向と干支について	紅林茂夫	富士銀行監査役 会員
582	1976/02/27	銅・鉛・亜鉛類の備蓄について	尾本信平	日本鉱業協会々長
583	1976/03/05	十年前・本年並に十年後の日本経済	並木信義	日本経済新聞社論説委員
584	1976/03/12	我国に於ける原子力問題の将来	福田信之	筑波大学副学長
585	1976/03/19	『彫刻の森美術館』映画上映		
586	1976/03/26	第22回春季レディスデー		
587	1976/04/02	中年の健康(春の巻)	安部英	帝京大教授 会員
588	1976/04/09	四次元の世界について	美輪明宏	タレント
589	1976/04/16	経営雑感	新井俊三	新井経営カウンセラー事務所々長
590	1976/04/23	米国ベイクーズ・フィールド市より ハイランド高校コーラスを迎えて		
591	1976/04/30	「慰霊の泉」献納九周年記念特別例会		
592	1976/05/07	天安門事件と鄧小平解任	柴田穂	サンケイ新聞社外信部次長
593	1976/05/14	日本共産党の柔軟路線とその本質	鍋岡貞親	評論家
594	1976/05/21	ゴルフの科学	河村竜馬	東大宇宙研教授
595	1976/05/28	俳句と女	藤田湘子	現代俳句協会幹事長
596	1976/06/04	第13回東京キワニスクラブ年次総会		
597	1976/06/11	国際社会と日本の将来—より豊かな人間性を求めて—	中丸薫	国際問題研究家
598	1976/06/18	「食」について	狩野近雄	スポーツニッポン新聞社会長
599	1976/06/25	蜂蜜について	尾上浩彦	東海汽船社長 会員
600	1976/07/02	外国特派員の見た日本の現況	バーナード・クリッシャー	ニュース・ウィーク誌東京支局長
601	1976/07/09	精神発達障害児の教育	三木安正	旭出学園々長
602	1976/07/16	西洋と日本・おぼけの比較—民族の思考の限界について—	山本七平	評論家
603	1976/07/23	国会こぼれ話	谷村裕	東京証券取引所理事長
604	1976/07/30	パチンコ経済学	竹内宏	日本長期信用銀行調査部長
605	1976/08/06	オリンピック雑感	岩田幸彰	国際オリエンテーション・センター専務理事 会員
606	1976/08/16	オズボーン国際キワニス会長夫妻歓迎午さん会		
607	1976/08/20	ロシアとソ連の芸術について	中村曜子	月光荘社長
608	1976/08/27	政界四方山話	江口宏	毎日新聞社編集局次長件政治部長
609	1976/09/03	さまざまな思い出	入江相政	宮内庁侍従長
610	1976/09/10	第23回レディスデー		
611	1976/09/17	野球雑感	別当薫	野球解説者
612	1976/09/24	女性と経済	高原須美子	経済評論家

613	1976/10/01	シリーズ国際社会における日本その1 ～政界は狭くなったのか～	赤沢璋一	富士通副社長 会員
614	1976/10/08	極東裁判裏ばなし	三文字正平	弁護士
615	1976/10/15	放談会		
616	1976/10/22	第11回キワニス社会公益賞贈呈式		
617	1976/10/29	シリーズ国際社会における日本その2 ～社会の高齢化が意味するもの～	上田惇生	経団連開発部
618	1976/11/12	グレーター・アナハイム・クラブご一行歓迎会		
619	1976/11/19	新入会員放談会		
620	1976/11/26	総選挙とその後の政局を展望する	内田健三	共同通信社論説委員長
621	1976/12/03	シリーズ国際社会における日本その3 ～国土開発の方向～	都留重人	一橋大学名誉教授
622	1976/12/10	ユーモアとエスプリ	磯村尚徳	NHK副主幹 会員
623	1976/12/17	あなたの老化度	安部英	帝京大学医学部教授 会員
624	1977/01/07	新年互礼会		
625	1977/01/14	本年度経済の見通し	吉野俊彦	山一証券経済研究所理事長
626	1977/01/21	シリーズ国際社会における日本その4 ～日本の失ったもの～	村松剛	文芸評論家
627	1977/01/28	シリーズ国際社会における日本その5 ～行きつまった西欧文化にヒントを示すものは～	黛敏郎	音楽家
628	1977/02/04	選挙民の意識動向	飯島清	日本政治青年経済研究会理事長
629	1977/02/18	シリーズ国際社会における日本その6 ～北京で感じたこと～	柳谷謙介	外務省情報文化局長
630	1977/02/25	シリーズ国際社会における日本その7 ～米中ソ三極と日本～	細谷千博	一橋大学教授
631	1977/03/04	一流品について	西尾忠久	評論家
632	1977/03/11	ヤルンカン登攀の話と地球縦まわりの夢	西堀栄三郎	理学博士
633	1977/03/18	今後の日米関係	猿谷要	東京女子大教授
634	1977/03/24	第24回春季レディスデー		
635	1977/04/01	日本人は日本を知らない	竹村健一	評論家 会員
636	1977/04/08	小唄の話	春日とよ福美	(財)春日会常任理事
637	1977/04/15	靖国神社「慰霊の泉」献納10周年記念特別例会		
638	1977/04/22	中年の健康シリーズ 肺気腫	安部英	帝京大学医学部教授 会員
639	1977/05/06	走る	宇佐美彰朗	東海大学教授
640	1977/05/13	シリーズ国際社会における日本その8 ～日本に対する幻想と幻滅～	林雄二郎	未来学者
641	1977/05/20	海外帰国子女の教育問題	中屋健一	成蹊学園理事
642	1977/05/27	核戦争～それでもあなたは身を守る～	直木公彦	植村技術研究所所長
643	1977/06/03	シリーズ国際社会における日本その9 ～先進国の中でのアウトサイダー～	E・サイデンステッカー	日本文学者
644	1977/06/10	第14回東京キワニスクラブ年次総会		
645	1977/06/17	演劇うらおもて	戸板康二	演劇評論家
646	1977/06/24	痛風について	御巫清允	自治医科大学教授
647	1977/07/01	シリーズ国際社会における日本その10 ～日本は世界とコミュニケーションできるか～	北岡靖男	国際コミュニケーションズ社長 会員
648	1977/07/08	暑気払いビヤ・パーティー		
649	1977/07/15	シリーズ国際社会における日本その11 ～日本の教育の長所と短所～	平塚益徳	国立教育研究所所長
650	1977/07/22	西洋音楽と日本	属啓成	音楽家
651	1977/07/29	地熱発電の話	古庄源治	地熱技術開発社長
652	1977/08/12	意見広告裁判について	林秀彦	サンケイ新聞論説委員
653	1977/08/19	経済雑感	竹内宏	日本長期信用銀行調査部長
654	1977/08/26	労働問題裏ばなし	五十嵐昭夫	日経連常任理事 会員
655	1977/09/02	成田空港の現状と見通し	町田直	新東京国際空港公団副総裁
656	1977/09/09	医療雑感	中山恒明	中山がん研究所所長 会員
657	1977/09/14	日本地区設立総会		
658	1977/09/30	第25回秋季レディスデー		
659	1977/10/07	現代とはいかなる時代か 雑感	谷川徹三 鹿内信隆	法政大学名誉教授 サンケイ新聞社長 会員
660	1977/10/14	シリーズ国際社会における日本その12 ～ビジネス東と西～	深田祐介	日本航空広報室次長
661	1977/10/21	世相講談	竹村健一	評論家 会員
662	1977/10/28	カーター大統領の人権外交	Geottry Godsell	クリスチャン・サイエンス・モニター外信部
663	1977/11/04	政局と政策と景気の現状分析と見通し	中西重思	世界動態研究所所長
664	1977/11/11	芸術と人生	岡本太郎	画家
665	1977/11/18	LSI-マイクロエレクトロニクスの世界	赤沢璋一	富士通副社長 会員
666	1977/11/25	都々逸談義	中道定雄	NHKインターナショナル専務理事
667	1977/12/02	第12回キワニス社会公益賞贈呈式		
668	1977/12/09	最近の治安問題	浅沼清太郎	警察庁長官 会員
669	1977/12/16	政界の回顧と展望	桑田弘一郎	朝日新聞編集局次長
670	1977/12/23	還暦会員を祝う会		
671	1978/01/06	新年互礼会		
672	1978/01/13	貿易雑感	水上達三	日本貿易会会長
673	1978/01/20	日本経済の未来	堺屋太一	経済評論家
674	1978/01/27	煙草の話	泉美之松	日本専売公社総裁 会員
675	1978/02/03	脳卒中の予防と治療	安部英	帝京大学医学部教授 会員

676	1978/02/10	世相雑話	上村健太郎	立飛企業会長 会員
677	1978/02/17	原子力船「むつ」とその後	安藤良夫	東京大学工学部教授 会員
678	1978/02/24	マスコミの経営動向とこれからの情報産業	大竹猛雄	電通国際情報サービス社長
679	1978/03/03	女と俳句	山田みつえ	俳人
680	1978/03/10	国家システムとしての日本～西ドイツと比較して～	佐瀬昌盛	防衛大学校教授
681	1978/03/17	省エネルギーの話	生田豊朗	日本エネルギー経済研究所所長 会員
682	1978/03/24	地震の話	力武常次	東京工業大学教授
683	1978/03/31	K2登はん記	広島三朗	登山家
684	1978/04/04	第26回春季家族大会(レディスデー)		
685	1978/04/14	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
686	1978/04/21	横綱審議と相撲医学	上田英雄	中央鉄道病院院長 会員
687	1978/04/28	脳出血の話	安部英	帝京大学医学部教授 会員
688	1978/05/12	日・英語の駄洒落	大島好通	専修大学教授
689	1978/05/19	現在の韓国の情勢	権逸	韓国国会議員
690	1978/05/26	構造不況の前途	坂口三郎	未来学者
691	1978/06/02	健康について	木原光知子	東レスポーツセンター取締役
692	1978/06/09	臨時総会		
693	1978/06/16	イタリー雑感	塩野七生	著述家
694	1978/06/23	外交四方山話	斉藤鎮男	フォーリン・プレス・センター理事長
695	1978/06/30	国際社会に於ける日本その13 ～日本的リーダーシップについて～	児島譲	ドキュメンタリー作家
696	1978/07/07	“七夕”ビアパーティ		
697	1978/07/10	モリス・グッドマン国際キワニス会長夫妻歓迎会		
698	1978/07/21	海外レポート ～ベトナム・アラブ～	磯村尚徳	NHK欧州総務局長 会員
699	1978/07/28	このごろの大学 ～教授生活36年の体験に思う～	安藤良雄	東大名誉教授 会員
700	1978/08/11	日米関係と日本の安全保障	久保卓也	国防会議事務局長 会員
701	1978/08/18	グアム島大会に参加して	河井信太郎	弁護士 会員
702	1978/08/25	日中平和友好条約について	柴田穂	サンケイ新聞論説委員
703	1978/09/01	雑感	栗栖弘臣	前幕僚会議議長 会員
704	1978/09/08	美術の鑑賞と収集について	千沢植治	山梨県立美術館館長
705	1978/09/22	第27回秋季家族会(レディスデー)		
706	1978/09/29	老化とビタミンE	長井正信	日清製粉中央研究所主幹
707	1978/10/06	新会長就任に際して	鈴木俊一	公営企業金融公庫総裁 会員
708	1978/10/13	提督における人間像	吉田満	日本銀行監事
709	1978/10/20	定時総会		
710	1978/10/27	国際経済四方山話	青山俊	経済評論家 会員
711	1978/11/10	社会公益賞受賞者・横川積治氏を励ます会並びに 財・小田原少年園再建激励会		
712	1978/11/17	現代の親子関係	高橋種昭	愛育研究所
713	1978/11/24	暴力団の現状と取締りについて	小林朴	警察庁刑事局長
714	1978/12/01	日中条約締結以後の日本外交	三雲四郎	サンケイ新聞論説委員長
715	1978/12/08	大平政權誕生の内幕	渡辺恒雄	読売新聞社政治部長
716	1978/12/15	時差ボケ対策	横堀栄	防衛医科大学教授
717	1978/12/22	還暦会員を祝う会		
718	1979/01/05	新年互礼会		
719	1979/01/12	長寿と健康	中山恒明	中山がん研究所 会員
720	1979/01/19	年頭所感	森永貞一郎	日本銀行総裁
721	1979/01/24	東京キワニスクラブ設立15周年祝賀会		
722	1979/02/02	皆勤会員表彰式		
723	1979/02/09	シートピアの話	松田源彦	海洋科学技術センター技術顧問
724	1979/02/16	日本政治の体質	川上源太郎	政治評論家
725	1979/02/23	現代の青少年問題	加藤地三	読売新聞論説委員
726	1979/03/02	最近の国際経済情勢について	細身卓	日本興業銀行顧問
727	1979/03/09	ロッキード・グラマン事件から見た日米文化の比較	宮本倫好	サンケイ新聞社国際報道室
728	1979/03/16	「暮しの手帖」四方山話	大橋鎮子	暮しの手帖社長
729	1979/03/23	老年と精神	齋藤茂太	精神科斎藤病院院長
730	1979/03/30	相撲の話	春日野清隆	日本相撲協会理事長
731	1979/04/06	中国とアメリカ	渡辺弥栄司	日中経済協会理事長 会員
732	1979/04/13	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
733	1979/04/20	鈴木俊一会長東京都知事当選祝賀パーティー		
734	1979/04/27	一歴史研究者の見た元号制度	岩武照彦	神戸製鋼顧問 会員
735	1979/05/04	これからの住宅	三沢千代治	ミサワホーム社長
736	1979/05/11	日米コミュニケーションの諸問題	山本正	日本国際交流センター理事
737	1979/05/18	日中米三国サーキュレーション	城野宏	城野経済研究所所長
738	1979/05/25	つれづれの味	増田れい子	毎日グラフ編集委員
739	1979/06/01	臨時総会		
740	1979/06/08	禪	古田紹欽	著述家(宗教哲学)
741	1979/06/15	東京サミットについて	石川博友	週刊ダイヤモンド編集長
742	1979/06/22	これからの婦人労働問題	森山真弓	労働省婦人少年局長
743	1979/06/29	有馬啓会員学士院賞受賞祝賀会		
744	1979/07/06	原子力発電所の安全性の考え方	内田秀雄	原子力安全委員会常任委員
745	1979/07/13	暑氣払いビアパーティ		
746	1979/07/20	ソルバーグ会長夫妻歓迎会		
747	1979/07/27	企業における中高年令者の活性化対策	石井和博	中高年令者雇用福祉協会常任理事
748	1979/08/03	サミット警備を終えて	国島文彦	警視総監 会員

749	1979/08/17	モーツァルトの地上における使命	海老沢敏	国立音楽大学学長
750	1979/08/24	人間の本質	桶谷繁雄	東京工業大学名誉教授
751	1979/08/31	心臓の健康法	柳原博	東京エアロビクス・センター館長
752	1979/09/07	(歓迎会)	アラン・ダフィルド	キワニス本部トラスティ
753	1979/09/14	成人の健康法	中山恒明	中山がん研究所 会員
754	1979/09/21	総選挙の展望	阿部穆	サンケイ新聞政治部長
755	1979/09/28	判子の歴史	新聞欽哉	原子力委員会委員
756	1979/10/05	第13回キワニス社会公益賞贈呈式		
757	1979/10/13	第29回秋季レディスデー		
758	1979/10/19	英語能力テストTOEICについて	北岡靖男	国際コミュニケーションズ社長 会員
759	1979/10/26	悪魔のいない国「日本」	茅野健	オーケン社長 会員
760	1979/11/02	定時総会		
761	1979/11/09	80年代の通産政策のビジョン	棚橋祐治	通産省産業機械課長
762	1979/11/16	大きな政府	並木信義	日本経済新聞論説委員
763	1979/11/30	朴大統領事件を語る	鹿内信隆	サンケイ新聞社長 会員
764	1979/12/07	私は地獄を見た 一動乱のカンボジアから生還してー	内藤泰子	元カンボジア外交官夫人
765	1979/12/14	デジタル時代	森田正典	日本電気特別顧問 会員
766	1979/12/21	還暦会員を祝う会		
767	1980/01/11	新年互礼会		
768	1980/01/18	日本の雅楽	押田良久	日本雅楽会会長
769	1980/01/25	アメリカ大統領選挙について	大山晃人	NHK解説委員
770	1980/02/01	現代の帝王学	伊藤肇	経済評論家
771	1980/02/08	オーストリアの中立と社会党	須藤博忠	五洋建設顧問 会員
772	1980/02/15	トーナメントの舞台裏	戸張捷	プロゴルフ・トーナメント・ディレクター
773	1980/02/22	幼児教育について	井深大	ソニー名誉会長
774	1980/02/29	人と国土	下河辺淳	総合研究開発機構理事
775	1980/03/07	皆勤会員表彰式		
776	1980/03/14	最近の国際情勢と日本	法眼晋作	国際協力事業団顧問
777	1980/03/21	春の誕生	安部英	帝京大学医学部教授 会員
778	1980/03/27	第30回春季レディスデー		
779	1980/04/04	秘書の秘話		
780	1980/04/11	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会	加藤秀子	(社)日本秘書協会専務理事
781	1980/04/18	昔の株式・今の株式	谷村裕	東京証券取引所理事長
782	1980/04/25	最近のアフガニスタン情勢	前田利一	アフガニスタン大使
783	1980/05/02	円の行方	武貞岩夫	東京銀行調査部長
784	1980/05/09	宇宙開発の現状と将来	木村繁	朝日新聞前科学部長
785	1980/05/16	混乱するモスクワ五輪	岩田幸彰	JOC常任委員 会員
786	1980/05/23	大相撲四方山話	北出清五郎	NHKチーフアナウンサー
787	1980/05/30	海軍四方山話	豊田穰	作家
788	1980/06/06	臨時総会		
789	1980/06/13	日本人の心と科学	大熊由紀子	朝日新聞科学部次長
790	1980/06/20	都政四方山話	鈴木俊一	東京都知事
791	1980/06/27	体操教室を通じて見た現代子気質	小野清子	文部省中央教育審議会委員
792	1980/07/04	アメリカ大統領選挙について	那須聖	外交評論家
793	1980/07/11	政局展望	阿部穆	サンケイ新聞社政治部長
794	1980/07/18	美術あれこれ	嘉門安雄	ブリジトン美術館館長
795	1980/07/25	暑気払いビヤ・パーティ		
796	1980/08/01	現代を考える	山谷親平	パーソナリティ
797	1980/08/15	急性心臓発作	上田英雄	国鉄中央鉄道病院院長 会員
798	1980/08/22	役人を斬る	太田薫	元総評議長
799	1980/08/29	石油開発の最前線	勝部領樹	NHK記者
800	1980/09/05	韓国情勢	神谷不二	慶應義塾大学教授
801	1980/09/12	プロ野球随感	下田武三	プロ野球コミッショナー
802	1980/09/19	伊藤律婦国問題と日共	山根卓二	サンケイ新聞社取締役正論調査会担当
803	1980/09/26	ボケナイで長生きする法	中山恒明	中山がん研究所所長 会員
804	1980/10/03	新会長に就任して	安藤蕃	日本短波放送社長 会員
805	1980/10/17	定時総会		
806	1980/10/24	国際比較・日本の子供と母親	佐藤欣子	総理府青少年対策本部参事官
807	1980/10/31	ライフサイエンスについて	中村桂子	三菱化成生命科学研究所社会生命科学研究室長
808	1980/11/07	第14回キワニス社会公益賞贈呈式		
809	1980/11/14	イスラエルを顧みて思う	片上一郎	三井銀行顧問
810	1980/11/18	第31回秋季レディスデー		
811	1980/11/28	女性の能力開発	石原一子	㈱高島屋取締役広報室長
812	1980/12/05	金大中事件と金斗換体制	柴田穂	サンケイ新聞社コラムニスト
813	1980/12/12	高齢化社会と女性	高原須美子	経済評論家
814	1980/12/19	還暦会員を祝う会		
815	1981/01/09	新年互礼会		
816	1981/01/16	新年と干支の真義	安岡正篤	全国師友協会会長
817	1981/01/23	年頭所感	前川春雄	日銀総裁
818	1981/01/30	サービス産業の経済学	竹内宏	日本長期信用銀行調査部長
819	1981/02/06	昭和55年度皆勤賞表彰式		
820	1981/02/13	ソフトエネルギーにどの程度期待できるか	安藤良夫	東京大学教授 会員
821	1981/02/20	米新政権とエネルギー政策	橋本利一	日本長期信用銀行顧問
822	1981/02/27	子供の健全育成についてー福祉の観点からのアプローチー	高城義太郎	玉川大学教授
823	1981/03/06	活字とテレビの間	竹村健一	評論家 会員
824	1981/03/13	レーガンのアメリカ	松尾文夫	共同通信社外信部次長

825	1981/03/20	主婦パワーの時代	三枝佐枝子	商品科学研究所所長
826	1981/03/27	レーザー光線とその医学的应用	滝沢利明	国鉄中央鉄道病院脳神経外科医長
827	1981/04/03	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
828	1981/4/5-8	第7回アジア太平洋会議 (ASPAC) 東京大会 第32回春季レディスデー		
829	1981/04/17	日米欧委員会ワシントン総会を終えて	渡辺武	日米欧委員会日本委員会委員長
830	1981/04/24	最近感じること	藤田小乙姫	プロフェテス
831	1981/05/01	相撲漫談	根岸真太郎	国際学友会理事長
832	1981/05/08	喜びも悲しみも人生談義	片山竜二	パーソナリティ 会員
833	1981/05/15	キワニス・インターナショナル日本地区における今後の 青少年教育委員会活動への一考察	相羽雅文	東郷製作所副社長
834	1981/05/22	日米首脳会議雑感	内田健三	共同通信社論説委員長
835	1981/05/29	中国陶磁の話	長谷部楽爾	東洋陶磁学会常任委員
836	1981/06/05	臨時総会		
837	1981/06/12	夏バテ防止法 (中止)	安部英	帝京大学医学部長 会員
838	1981/06/19	勲章の話	川村晴章	総理府総務副長官
839	1981/06/26	音楽の楽しみ - モーツァルトの食卓音楽に寄せて-	長谷川滋彦	中越パルプ工業常務 会員
840	1981/07/03	雑	尾山浩彦	東海汽船社長 会員
841	1981/07/10	デキシー探訪 一第66回ニューオーリンズ・ キワニス年次総会に出席して-	安藤蕃	日本短波放送社長 会員
842	1981/07/17	MANZAIブームへの一考察	小石原昭	知性コミュニケーションズ代表会員
843	1981/07/24	核戦略の論理	栗柄弘臣	静岡新聞論説委員 会員
844	1981/07/31	暑気払いビア・パーティー		
845	1981/08/07	海に潜る話	森田啓司	吾嬭製鋼所監査役 会員
846	1981/08/21	中国科学院の招待講演と座談会など	森田正典	日本電気特別顧問 会員
847	1981/08/28	アメリカ裏表	坂坂元	ハーバード大学講師
848	1981/09/04	オランダ物語	内田宏	特命全権大使 会員
849	1981/09/11	第17回キワニス文化賞フィルム上映		
850	1981/09/18	第15回キワニス社会公益賞贈呈式		
851	1981/09/25	定時総会		
852	1981/10/02	果して行革はできるか	箱崎道朗	サンケイ新聞社編集委員
853	1981/10/09	ヨーロッパから見た日本と西欧の関係	Dr. ビーター・V・フグラ	インターアリアンス銀行頭取
854	1981/10/16	最近の中東情勢	山本七平	評論家
855	1981/10/23	南太平洋の国々	赤沢瑠一	富士通副会長 会員
856	1981/10/30	日本刀の話	鈴木嘉定	日本美術刀剣協会理事
857	1981/11/06	我が太鼓人生	田耕	鬼太鼓座座長
858	1981/11/13	日本のガラス工芸について	岩田糸子	岩田工芸ガラス社長
859	1981/11/18	第33回秋季レディスデー		
860	1981/11/27	臨時総会・昭和56年度皆勤会員表彰式		
861	1981/12/04	三十六計の経営学	山本栄一	読売新聞編集連絡部長
862	1981/12/11	ハラキリ報告	鹿内信隆	フジテレビジョン会長 会員
863	1981/12/18	ひらめきへの挑戦	能登原隆史	永谷園開発企画
864	1982/01/08	新年互礼会		
865	1982/01/22	(無題)	渡辺美智雄	大蔵大臣
866	1982/01/29	ニュース取材の裏表	田丸美寿々	フジTVアナウンサー
867	1982/02/05	ロボットの将来	舟久保照康	東京大学工学部教授
868	1982/02/12	欧米の旅より	安部英	帝京大学医学部長 会員
869	1982/02/19	臨時総会		
870	1982/02/26	勤労青少年の福祉の現状と課題	山口泰夫	労働省婦人少年局少年労働課長
871	1982/03/05	高齢者の痛みと鍼治療	小野昌子	日本大学医学部講師
872	1982/03/12	戦域核について	桃井真	防衛研修所研究部長
873	1982/03/19	経済界の広報活動について	村上好重	日本貿易会広報部長
874	1982/03/26	中国の旅	戸塚文子	トラベルライター
875	1982/04/02	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
876	1982/04/09	キワニスの現状と課題	ロバート・デトロフ	国際キワニス拡張副部長
877	1982/04/16	先人に学ぶ	小島直記	作家
878	1982/04/23	第15回キワニス社会公益賞受賞者林景東氏経営中華料理店「香蘭」 のドキュメントフィルム「ぼくらプロフェッショナル」上映		
879	1982/04/30	宇宙と人間	村山定男	国立科学博物館理化学部長
880	1982/05/07	肝臓病の危険と予防	上田英雄	国鉄中央鉄道病院院長 会員
881	1982/05/14	第34回春季レディスデー		
882	1982/05/21	第2のトキと自然保護	塚本洋三	(財)日本野鳥の会研究部長
883	1982/05/28	臨時総会		
884	1982/06/04	木戸日記	木戸孝彦	弁護士 会員
885	1982/06/11	フォークランド問題について	込山敬一郎	読売新聞論説委員
886	1982/06/18	信長、秀吉、家康の人間管理	佐々克明	作家
887	1982/06/25	金メダルへの道	塚原光男	元オリンピック体操選手
888	1982/07/02	第16回キワニス社会公益賞贈呈式		
889	1982/07/09	民俗学と国際理解	祖父江孝男	国立民族学博物館教授
890	1982/07/16	第67回キワニス・インターナショナル・ ミネアポリス・コンベンションに出席して	中山恒明	(財)中山がん研究所所長 会員
891	1982/07/23	暑気払いビア・パーティー		
892	1982/07/30	財政再建について	松下康雄	大蔵事務次官
893	1982/08/06	プロ野球あれこれ	金田正一	プロ野球解説者

894	1982/08/20	サウディ・アラビアから帰って	中村輝彦	前サウディ・アラビア駐劄特命全權大使
895	1982/08/27	昼間っから録台話	長戸寛美	弁護士 会員
896	1982/09/03	絵の鑑賞と投資	山崎誠三	辰巳倉庫会長 会員
897	1982/09/10	老人と呼吸器疾患	宮本昭正	東京大学医学部教授 会員
898	1982/09/17	定時総会		
899	1982/09/24	実業家の三倍開運法	藤田小乙姫	プロフェス
900	1982/10/01	《記念例会》外から見た最近の日本	磯村尚徳	NHK報道局長 会員
901	1982/10/08	聖母病院の友人たち―夫婦で難病に克つ― 第18回日本キワニス文化賞フィルム上映	藤原作弥	時事通信社経済部記者
902	1982/10/15	昭和57年度皆勤会員表彰式		
903	1982/10/22	やさしい心理学と心臓核医学―新しい心臓病の検査法―	上田英雄	国鉄中央病院院長 会員
904	1982/10/29	浮世絵師写楽	平木証三	リッカー会長 会員
905	1982/11/05	"Share Good Health"について	ジュディ・エッチンガー	プロジェクトコンサーン促進部長
906	1982/11/12	日本音楽家の国際進出	遠山一行	音楽評論家
907	1982/11/19	大山元帥とマッカーサー元帥	児島襄	作家 会員
908	1982/11/26	ラストコンサートを終えて	松田敏江	声楽家
909	1982/12/03	写真のうまい撮られ方、撮り方	牛山善政	エクセレート会長 会員
910	1982/12/10	お雑煮の話	池辺弥	成城短期大学学長
911	1982/12/17	新政権の課題と展望	屋山太郎	時事通信社解説委員
912	1982/12/24	気候問題について	朝倉正	気象庁気候変動対策室長
913	1983/01/07	新年互礼会		
914	1983/01/14	今年の景気を占う	速水優	日商岩井副社長 会員
915	1983/01/21	行政改革について	瀬島龍三	伊藤忠商事相談役
916	1983/01/28	トーナメント舞台裏	戸張捷	トーナメント・ディレクター 日本興業銀行顧問、前アジア開発 銀行総裁 会員
917	1983/02/04	マニラで感じたこと	吉田太郎一	
918	1983/02/18	皇室について	安倍勲	宮内庁式部官長
919	1983/02/25	健康の"話"成人のかくれた強敵・肺炎"	安部英	帝京大学医学部長 会員
920	1983/03/04	スペインあれこれ	小松原庸子	フラメンコ舞踏家
921	1983/03/11	自由経済と企業経営	橋口収	公正取引委員会顧問
922	1983/03/18	山口百恵を売り出すまで	堀威夫	ホリプロダクション社長
923	1983/03/24	第35回レディスデー		
924	1983/03/25	兜町の9年	谷村裕	前東京証券取引所理事長
925	1983/04/01	臨調雑感	赤沢璋一	富士通副会長 会員
926	1983/04/08	靖国神社"慰霊の泉"献納特別例会		
927	1983/04/15	バイオメカトロニクス	石井威望	東京大学工学部産業機械工学科教授
928	1983/04/22	日本舞踏のあり方	藤間高子	日本舞踏家
929	1983/05/06	わが美術界を斬る	牧田喜義	池田20世紀美術館館長 会員
930	1983/05/13	ハプスブルク帝室を彩る女性たち	須藤博忠	五洋建設顧問 会員
931	1983/05/20	戦前の書・戦後の書	青木香流	詩文作家
932	1983/05/27	中国の原子力事情	安藤良夫	東京大学名誉教授 会員
933	1983/06/03	その後のアメリカ情勢について	那須聖	外交評論家
934	1983/06/10	中学生非行の背景とその対策	松尾勇	奥戸中学校校長
935	1983/06/17	瀬戸内海に架ける	高橋弘篤	本州四国連絡橋公団総裁 会員
936	1983/06/24	宇宙を歩く	堀源一郎	東京大学理学部天文学科教授
937	1983/07/01	熟年者の目	長南常男	国鉄中央鉄道病院眼科主任医長
938	1983/07/08	選挙後の政局見通し	阿部穆	サンケイ新聞政治部長
939	1983/07/15	第17回キワニス社会公益賞贈呈式		
940	1983/07/22	ウイスキーの話	戸田信也	日酒販常任監査役 会員
941	1983/07/29	チリ紀行	赤沢璋一	富士通相談役 会員
942	1983/08/05	AIDSとは?	安部英	帝京大学医学部長 会員
943	1983/08/19	海中散歩	森田啓司	吾婦製鋼所監査役 会員
944	1983/08/26	東京キワニスクラブ年次総会		
945	1983/09/02	放言会		
946	1983/09/09	地震予知	大平成人	国立防災科学技術センター前所長
947	1983/09/16	アメリカの対ソ脅威論と軍事技術戦略	木下郁也	軍事技術評論家
948	1983/09/30	景気回復は本物か?	宮崎勇	大和証券経済研究所理事長 会員
949	1983/10/07	国定忠治の虚像と実像	六村弘	東京証券取引所監事
950	1983/10/14	昭和58年度皆勤会員表彰式 第19回日本キワニス文化賞フィルム上映		
951	1983/10/21	天皇家の食卓	小西千鶴	随筆家
952	1983/10/28	シルクロード取材	野口篤太郎	NHK業務局撮影部チーフカメラマン
953	1983/11/04	国際理解と短波放送	小島章伸	日本短波放送社長 会員
954	1983/11/11	超自然現象について	茅野健	オーケン社長 会員
955	1983/11/18	三島由紀夫氏の建白書	山本舜勝	元陸将補
956	1983/11/25	当面の政局と中曽根内閣	木下隆	読売新聞政治部長
957	1983/12/02	三宅島の噴火について	尾上浩彦	東海汽船社長 会員
958	1983/12/09	骨董品裏話	猪瀬和夫	栃木新聞社長
959	1983/12/16	キワニスの活動について	オーブレイ・E・アービー	国際キワニス会長
960	1983/12/23	お正月の風邪	安部英	帝京大学医学部長 会員
961	1984/01/06	新年互礼会		
962	1984/01/13	石坂泰三氏と土光敏夫氏	岩田式夫	東芝会長 会員
963	1984/01/20	物故会員追悼例会(20周年記念事業として)		
964	1984/01/27	レーガン大統領単独会見裏話(20周年記念特別講演) 鹿内信隆		サンケイ新聞社長 会員

965	1984/02/03	オリンピック・イヤー=最近のオリンピックの動き	岩田幸彰	国際子女教育センター理事長 会員
966	1984/02/10	放送新幹線	和久井孝太郎	NHK技術本部副本部長
967	1984/02/17	JETRO or JITRO	赤沢璋一	日本貿易振興会理事長 会員
968	1984/02/24	アラブの心	U.D. カーン、ユスフザイ	アラブ通信特派員
969	1984/03/02	59年度の経済見通し	中川幸次	野村総合研究所社長
970	1984/03/09	現代おもちゃ考	佃義範	ツグダ社長 会員
971	1984/03/16	中国人の見た中国	佐藤慎一郎	元拓殖大学講師
972	1984/03/23	知能の老化といゆる老人ぼけ	上田英雄	成人病学会理事長 会員
973	1984/03/30	雑誌記者の感想	田中健五	文芸春秋第二編集局長 会員
974	1984/04/06	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
975	1984/04/12	創立20周年記念式典 第36回レディスデー		
976	1984/04/20	男女雇用平等法について	喜多村裕	日経連労務管理部長
977	1984/04/27	湾岸だより	河合三良	国際開発センター理事長 会員
978	1984/05/04	アメリカ大統領選挙をめぐる情勢について	那須聖	外交評論家
979	1984/05/11	禪と合気道	清水健二	天道館合気道管長
980	1984/05/18	贗作哀話	牧田喜義	池田20世紀美術館長 会員
981	1984/05/25	「憲法改正」をどう考えるか	林修三	弁護士
982	1984/06/01	ハレー彗星の探査	平尾邦雄	文部省宇宙科学研究所教授
983	1984/06/08	ビールからみた多様化の世相	平野勝	サッポロビール専務 会員
984	1984/06/15	たばこ雑感	長岡夫	日本専売公社総裁 会員
985	1984/06/22	日本人的リーダーシップ	児島襄	作家 会員
986	1984/06/29	静坐のすすめ	柳田誠二郎	日本航空相談役
987	1984/07/06	商法改正後の株主総会雑感	鶴沢晋	弁護士 会員
988	1984/07/13	上方舞の古典と創作	吉村雄輝園	舞踏家 上方舞・吉村流
989	1984/07/20	第18回キワニス社会公益賞贈呈式		
990	1984/07/27	大宅壮一の内幕	大隈秀夫	評論家
991	1984/08/03	暑気払いビアパーティ		
992	1984/08/17	ピカソ館オープン ビデオとお話	鹿内信隆	サンケイ新聞社長 会員
993	1984/08/24	青い大陸—モルジブの海	森田啓司	吾嬭製鋼所監査役 会員
994	1984/08/31	蝶いろいろ	東山紀之	日本銀行顧問
995	1984/09/07	昭和60年度(社)東京キワニスクラブ定時総会		
996	1984/09/14	秋をにらんで	岡沢昭夫	サンケイ新聞編集電波担当取締役
997	1984/09/21	巨悪をにらむ	伊藤栄樹	東京高等検察庁検事長 会員
998	1984/09/28	第20回「日本キワニス文化賞」スライド上映		
999	1984/10/05	昭和59年度皆勤会員表彰式		
1000	1984/10/12	1000回記念特別例会 利子配当の税金		
1001	1984/10/19	125歳を生きる	泉美之松	酒中連会長 (東京クラブ16代会長)
1002	1984/10/26	中近東問題について	渡辺弥栄司	渡辺弥栄司法律特許事務所所長 会員
1003	1984/11/02	水を割る	黒川信夫	内外政策研究所代表
1004	1984/11/09	第9交響曲によせて	永井邦夫	オルガノ社長 会員
1005	1984/11/16	秋の景色の撮り方	長谷川滋彦	中越パルプ工業常務取締役 会員
1006	1984/11/30	アメリカ大統領選挙後の日米関係	前田真三	写真家
1007	1984/12/07	平年の政局を展望する	那須聖	外交評論家
1008	1984/12/14	行政改革と地方自治	木下隆	読売新聞政治部長
1009	1984/12/21	日本語ワードプロセッサ	鈴木俊一	東京都知事
1010	1985/01/11	新年互礼会	森田正典	日本電気特別顧問 会員
1011	1985/01/18	中国雑感		
1012	1985/01/25	動脈硬化になりたくない人のために	色部義明	協和銀行会長
1013	1985/02/01	最近の内外経済金融情勢	安部英	帝京大学医学部長 会員
1014	1985/02/08	フランスから見た日本	前川春雄	日本銀行前総裁
1015	1985/02/15	無題	内田宏	前駐仏大使 会員
1016	1985/02/22	画像処理について	畑田圭子	草絵創始者畑田塾
1017	1985/03/01	近未来の米国と知られざる米国人気質	高木幹雄	東京大学生産技術研究所東京大学教授
1018	1985/03/08	人間改造	田村定彦	USX LTD代表取締役 (ヘイゼルトンキワニスクラブ会員)
1019	1985/03/15	最近の話題	茅野健	オーケン社長 会員
1020	1985/03/22	太極拳と健康	國島文彦	運輸審議会委員 会員
1021	1985/03/29	父性の回復	楊名時	太極拳八段縮友好会会長
1022	1985/04/05	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会	波場武嗣	意識教育研究所所長
1023	1985/04/12	第37回レディスデー		
1024	1985/04/19	世代戦争の行くえ	清原武彦	サンケイ新聞政治部長
1025	1985/04/26	次期ガバナール会議に出席して	藤田一暁	フジタ工業社長 会員
1026	1985/05/10	最近のガソリン輸入の話	生田豊朗	日本エネルギー経済研究所理事長 会員
1027	1985/05/17	スターウォーズ	森永和彦	内外情勢調査会常務理事
1028	1985/05/24	前立腺肥大について	新島端夫	東京大学医学部泌尿器科教授
1029	1985/05/31	最近の青少年意識と教育問題	大沼淳	学校法人文化学園理事長 会員
1030	1985/06/07	イメージ=第5の権力	宮崎緑	NHKニュースキャスター
1031	1985/06/14	日米貿易摩擦問題について	赤沢璋一	日本貿易振興会理事長 会員
1032	1985/06/21	第1回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		

1033	1985/06/28	フィルム上映「歴史とロマンの街ながさき」(電通編集)		
1034	1985/07/05	当節女の浮気事情	山口比呂志	前財界研究所 会員
1035	1985/07/12	変革期を迎えた英語教育	北岡靖男	国際コミュニケーション社長 会員
1036	1985/07/19	第19回キワニス社会公益賞贈呈式		
1037	1985/07/26	オジンのためのシェイプアップ	小野清子	JOC委員 元五輪体操選手
1038	1985/08/02	暑気払いビアパーティ		
1039	1985/08/16	世界の囲碁事情とそこに出てくる各国の性格	小林千寿	女流棋士
1040	1985/08/23	芝居と小道具	白沢純	藤波小道具社長
1041	1985/08/30	政府の経済使節団として来たへ使して	吉村明	ダイキン工業顧問 マルタ名誉領事会員
1042	1985/09/06	(社)東京キワニスクラブ年次総会		
1043	1985/09/13	漢詩の味わい方	渡辺弥栄司	渡辺弥栄司法法律特許事務所所長 会員
1044	1985/09/20	ノーベル賞受賞者の思い出「湯川秀樹、川端康成、朝永振一郎」	内山尚三	建設調査会理事長 会員
1045	1985/09/27	熟年者必聴ゴルフ講座「ハンディを楽しく上げるコツ」	牛山芳優	クレア・バーン販売社長 会員
1046	1985/10/04	政局展望	屋山太郎	時事通信社解説委員兼編集委員
1047	1985/10/11	第21回「日本キワニス文化賞」フィルム、 60年度皆勤会員表彰式		
1048	1985/10/18	生命と倫理に関する問題点	安部英	帝京大学医学部長 会員
1049	1985/10/25	激動下の世界情勢	那須聖	外交評論家
1050	1985/11/01	シリアについて	山下静一	経済同友会終身幹事 会員
1051	1985/11/08	レクリエーションについて	坪内嘉雄	ダイヤモンド社会長 会員
1052	1985/11/15	勝負の世界の成功者	羽佐間正雄	NHKスポーツアナウンサー
1053	1985/11/22	男の本音、女の本音	辻田ちか子	サンケイ新聞編集局記者
1054	1985/11/29	一年一昔一情報産業の環境変化ー	小島章伸	市況情報センター社長 会員
1055	1985/12/06	O Aからニューメディアへ	尾関雅則	日立製作所常務 会員
1056	1985/12/13	アレギーの話	宮本昭正	東京大学医学部教授 会員
1057	1985/12/20	群盲中国を評す	徳永洋一	ダイキン工業専務 会員
1058	1986/01/10	新年互礼会		
1059	1986/01/17	最近の内外金融経済情勢	澄田智	日本銀行総裁
1060	1986/01/24	漫画家の人相学	那須良輔	漫画家
1061	1986/01/31	国鉄問題について	橋元雅司	国鉄副総裁 会員
1062	1986/02/07	シルバー産業を視る ー風俗取材の現場からー	小石原昭	知性コミュニケーションズ代表会員
1063	1986/02/14	過激派の実態について	鎌倉節	警視総監
1064	1986/02/21	バイオテクノロジー ーその現状と未来の展望ー	鮫島広年	協和発酵工業常務取締役
1065	1986/02/28	オルゴールを楽しむ	長岡實	日本たばこ産業社長 会員
1066	1986/03/07	日本の技術と欧米の技術	原礼之助	セイコー電子工業副社長
1067	1986/03/14	「さきがけ」「すいせい」によるハレー彗星の観測	秋葉鏡二郎	宇宙科学研究所教授
1068	1986/03/28	国際機関のつとめを終えて	吉村一雄	テレジャパンインターナショナル 副社長 会員
1069	1986/04/04	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1070	1986/04/09	第38回レディスデー		
1071	1986/04/18	海底の世界	杉田秀夫	(財)海洋架橋調査会常務理事事務局長
1072	1986/04/25	フィリピンアキノ政権のゆくえ	藤村幸義	日本経済新聞国際第一部次長
1073	1986/05/02	ヤルタの奇跡	須藤博忠	中央学院大学教授 会員
1074	1986/05/09	第2回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1075	1986/05/16	サミット後の内外経済展望	太田起	日本銀行理事調査国際通貨担当
1076	1986/05/23	ソ連帝国は崩壊するか	那須聖	外交評論家
1077	1986/05/30	わが愛するキワニアンへ	奈良信	ワイズメンクラブ元副総会長・建築家
1078	1986/06/06	インテリジェントビルについて	鶴田日夫	石本建築事務所常務取締役 会員
1079	1986/06/13	花に生きる	片桐悦子	花道みさざき流創家元
1080	1986/06/20	飢餓を終わらすために	大内博	玉川大学文学部助教授・ハンガープロジェクト日本代表
1081	1986/06/27	衆参同日選挙とその後の政治見通し	清原武彦	サンケイ新聞政治部長
1082	1986/07/04	第71回国際年次総会に出席して	藤田一暁	フジタ工業社長 (日本地区会長)
1083	1986/07/11	チェルノブイリ原子力発電所の事故を探る	安藤良夫	東京大学名誉教授 会員
1084	1986/07/18	政局の動向	小浜維人	日本放送協会取材センター政治記者
1085	1986/07/25	第20回キワニス社会公益賞贈呈式		
1086	1986/08/01	暑気払いビヤパーティ		
1087	1986/08/08	スルーに海に潜る	森田啓司	吾婦製鋼所監査役 会員
1088	1986/08/22	日米100年の旅 ー岩倉視察団の足跡をたずねてー	市岡揚一郎	日本経済新聞社編集局長兼国際総部長
1089	1986/08/29	熟年期における精神病理	安部英	帝京大学医学部長 会員
1090	1986/09/05	昭和62年度(社)東京キワニスクラブ年次総会		
1091	1986/09/12	私の研究生生活の思い出 ー裏話ー	高木昇	東京工科大学学長 会員
1092	1986/09/19	キワニスの求めるもの	G.R. オーバーホルト	KI次期会計監事 日本地区カウンセラー
1093	1986/09/26	日米会議に出席して	小島章伸	市況情報センター社長 会員
1094	1986/10/03	最近の地価動向について ー土地神話は復活するかー	小林忠雄	日本不動産研究所理事長 会員
1095	1096/10/17	昭和61年度皆勤会員表彰式		
1096	1986/10/24	第22回「日本キワニス文化賞」フィルム上映		
1097	1986/10/31	アルハンブラの想い出	安藤蕃	日本短波放送会長 会員
1098	1986/11/07	情報技術と社会	猪瀬博	東京大学工学部長
1099	1986/11/14	新素材としてのセラミックス	斎藤進六	長岡技術科学大学学長
1100	1986/11/21	国際レディスデー		
1101	1986/11/28	成功者の筆相	森岡恒舟	筆相研究家
1102	1986/12/05	超高齢化社会と科学技術	大熊由紀子	朝日新聞論説委員
1103	1986/12/12	発明の十字路	伴五紀	発明家
1104	1986/12/19	素晴らしい天体ショー ー皆既日食とハレー彗星ー	坂部三次郎	ダイニツク社長 会員
1105	1986/12/26	昭和の文学について	堤清二	西武百貨店会長 会員

1105	1987/01/09	新年互礼会		
1106	1987/01/16	宝の山 一国立公文書館	菅野弘夫	国立公文書館館長
1107	1987/01/23	これからどうなるー第3次産業構造調整ー	赤澤璋一	日本貿易振興会理事 会長
1108	1987/01/30	経済と文化	竹内宏	日本長期信用銀行常務取締役
1109	1987/02/06	生物をトコトン解剖したら何が見える？	和田昭允	東京大学理学部教授
1110	1987/02/13	税制改革のエピソード	泉美之松	酒中連会長 会員
1111	1987/02/20	21世紀のレーザー医学 ーレーザーはどこまであなたを幸せにするか？ー	ニムサクン・ナロン	国際レーザー医学研究所所長
1112	1987/02/27	その後のエイズ	安部英	帝京大学医学部長 会員
1113	1987/03/06	日本映画に注がれる世界の眼	清水晶	映画評論家
1114	1987/03/13	ゴルフ界の現状と課題	松浦均	日東工業会長
1115	1987/03/20	七十二候	石川清吉	サン情報システム社長
1116	1987/03/27	がん、エイズと戦うインターフェロン	岸田綱太郎	バスツール研究所理事長
1117	1987/04/03	Time to Care	フランク・J・ディノート	国際キワニス会長
1118	1987/04/10	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1119	1987/04/13	第39回レディスデー ベギー葉山ショウ		
1120	1987/04/24	社会福祉の現状と課題 ー老人福祉を中心にー	佐野利三郎	全国社会福祉協議会常務理事
1121	1987/05/01	日本刀よもやま話	青山偉和雄	青山総業社長 会員
1122	1987/05/08	自動翻訳と人工知能	山本武彦	ブラビスインターナショナル社長 会員
1123	1987/05/15	最近激増の心筋梗塞について	上田英雄	榊原記念病院顧問 会員
1124	1987/05/22	組合わせの時代ー私はブルジュエーサー	関口欽也	日本短波放送社長 会員
1125	1987/05/29	ポストレーガン政権のアメリカ	那須聖	外交評論家
1126	1987/06/05	日米貿易摩擦をめぐる最近の米国事情	田村定彦	国際ビジネスコンサルタント、 ヘイズルトンクラブ会員
1127	1987/06/12	サン・ピエトロで歌って	長谷川冴子	東京少年少女合唱隊指揮者
1128	1987/06/19	第3回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1129	1987/06/26	死に損って	尾上浩彦	東海汽船会長 会員
1130	1987/07/03	ゴルパチョフ改革のウラとオモテ	鈴木水肇	サンケイ新聞社前モスクワ支局長
1131	1987/07/10	罪(つみ)ー夏の駄はなし	長戸寛美	弁護士 会員
1132	1987/07/17	第72回キワニス国際年次総会ワシントン大会に出席して	木戸孝彦	弁護士 クラブ会長
1133	1987/07/24	第21回キワニス社会公益賞贈呈式		
1134	1987/07/31	フィッシュ・ウオッチング	森田啓司	吾嬬製鋼所監査役 会員
1135	1987/08/07	暑気払いビアパーティ		
1136	1987/08/21	敦煌	山口光秀	山口事務所 会員
1137	1987/08/28	新人類の研究	千石保	(財)日本青少年研究所所長
1138	1987/09/04	東京キワニスクラブ定時総会		
1139	1987/09/11	民話の語り	清水マリ	声優
1140	1987/09/18	東京湾横断道路について	岡昭	東京湾横断道路社長 会員
1141	1987/09/25	「音を創る日々」上映 (ピアノ調律師として働く視覚障害者の記録)		
1142	1987/10/02	ホテル経営の裏話	箭内祥周	日本ビューホテル社長 会員
1143	1987/10/09	超電導について	荻原宏康	東芝総合研究所技監
1144	1987/10/16	皆勤会員表彰式		
1145	1987/10/23	泉鏡花の世界	長岡實	日本たばこ産業社長 会員
1146	1987/10/30	宇宙科学の四半世紀	小田稔	宇宙航空研究所所長
1147	1987/11/06	企業財テク再考	小林正和	株式評論家
1148	1987/11/13	日米関係現状と将来	得平文雄	AIU保険社長
1149	1987/11/20	電気通信自由化後の雑感	小山森也	電気通信政策総合研究所理事長 会員
1150	1987/11/27	竹下政権の前途	清原武彦	サンケイ新聞社編集局長
1151	1987/12/04	ベンチャーキャピタルの現状について	大石脩	東京ベンチャーキャピタル会長 会員
1152	1987/12/11	ゴルパチョフ政権の新軍事方針	宮内邦子	防衛研究所防衛第二研究室長
1153	1987/12/18	最近の印刷産業について	北島義俊	大日本印刷社長 会員
1154	1988/01/08	新年互礼会		
1155	1988/01/22	時代は艶へ ー1988年の生活予報ー	東海林隆	博報堂常務取締役生活総合研究所長
1156	1988/01/29	密輸と貿易摩擦	吉田道弘	東京税関長
1157	1988/02/05	ヒトラーと税金	児島襄	作家 会員
1158	1988/02/12	大統領選挙後の韓国	山崎勝彦	日本経済新聞社編集局総務元ソウル特派員
1159	1988/02/19	リゾート開発規格の必須条件 ーポールグリモを視てー	小石原昭	知性コミュニケーションズ代表 会員
1160	1988/02/26	世界第2の経済大国の自覚はあるか	千野宣時	大和証券会長 会員
1161	1988/03/04	アメリカズ・カップへの初挑戦	大儀見薫	西武百貨店取締役
1162	1988/03/11	次期ガバナー会議に出席して	上田英雄	心臓財団名誉会長 キワニス日本地区次期会長
1163	1988/03/18	思うままに	島津久子	全国更正保護婦人連盟会長
1164	1988/03/25	文化財保護の話	柳橋眞	文化庁文化財保護部伝統文化課主任文化財調査官
1165	1988/04/01	日本語だから速く入力できる	森田正典	日本電気特別顧問 会員
1166	1988/04/08	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1167	1988/04/15	第40回レディスデー		
1168	1988/04/22	ビジュアルコミュニケーション ー魅力を引き出す色の不思議ー	内野栄子	イメージカラーコンサルタント
1169	1988/05/06	本四連絡橋完成フィルム「橋は生きている」上映		
1170	1988/05/13	雑感	森弘	宝永通商社長 会員
1171	1988/05/20	Capital Ideas	ケイス・マックグループ	パチ・カルト経済開発協会
1172	1988/05/27	薬品公害	向山定孝	三井薬業研究所常任委員 会員
1173	1988/06/03	ソフト化の諸現象をどう読むか	日下公人	ソフト化経済センター専務理事
1174	1988/06/10	ファミリーレストランの裏話	横川端	すかいらーく会長 会員
1175	1988/06/17	第4回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1176	1988/06/24	お酒の税金どうなる？	泉美之松	酒中連会長 会員

1177	1988/07/01	コンピュータ革命Ⅱ	加茂剛弘	インテルジャパン会長 会員
1178	1988/07/08	(社)東京キワニスクラブ臨時総会		
1179	1988/07/15	日本外交雑感 一國連の窓から一	菊地清明	前国連大使 会員
1180	1988/07/22	第73回国際キワニス年次総会シアトル大会に出席して	安藤蕃	日本短波放送会長 キワニス日本地区会長
1181	1988/07/29	第22回キワニス社会公益賞贈呈式		
1182	1988/08/05	暑気払いビアパーティ		
1183	1988/08/19	ニューージーランド・オーストラリアの海	森田啓司	会員
1184	1988/08/26	ソウルオリンピックと治安	山田英雄	前警察庁長官 会員
1185	1988/09/02	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1186	1988/09/09	米大統領選を占う	石川荘太郎	産経新聞外信部長
1187	1988/09/16	BBS活動について	古川健次郎	日本BBS連盟会長 新宿クラブ会長
1188	1988/09/30	第12回キワニスインターナショナル日本地区総会東京大会		
1189	1988/10/07	昭和62年度皆勤会員表彰式		
1190	1988/10/14	日本語の語源	荒井好民	システムインターナショナル会長 会員
1191	1988/10/21	イラン・イラク停戦後の油価ならびに湾岸情勢について	岩崎英雄	合同石油開発副社長 会員
1192	1988/10/28	眼の成人病	丸尾敏夫	帝京大学教授
1193	1988/11/04	カラーコーディネーション	内野榮子	イメージカラーコンサルタント
1194	1988/11/11	キワニス国際評議会に出席して	上田英雄	心臓財団名誉会長 キワニス日本地区会長
1195	1988/11/18	これからの株式会社	浦上邦雄	日本テクニカルアナリスト協会前会長
1196	1988/11/25	野外彫刻の光と影	鹿内信隆	彫刻の森美術館館長 会員
1197	1988/12/02	ジャズ史観的みる昭和一ケタ時代	安藤蕃	日本短波放送会長 会員
1198	1988/12/09	ニューメディアが死語となる日	川畑正大	ニューメディア開発協会理事 会員
1199	1988/12/16	冬の呼吸器疾患	宮本昭正	東京大学教授 会員
1200	1989/01/06	新年互礼会		
1201	1989/01/13	ブッシュはアメリカに変革をもたらすか	田村定彦	国際ビジネスコンサルタント (米国ヘイズルトンクラブ会員)
1202	1989/01/20	89年の世界	磯村尚徳	日本放送協会特別主幹
1203	1989/01/27	国際経済と日本	黒沢洋	日本興業銀行副頭取 会員
1204	1989/02/03	列車ダイヤについて	山田秀三	日本鉄道技術協会理事
1205	1989/02/10	クラシック音楽のある生活	石黒捷一	CBSソニーミュージックプロモーター
1206	1989/02/17	日本海海戦について	児島襄	作家 会員
1207	1989/03/03	怒れサラリーマン! 首都高速キャンペーン	高嶋秀武	ニッポン放送編成局制作部
1208	1989/03/10	日本と中国は仲良くなるか	中江要介	前中国大使 原子力委員会委員
1209	1989/03/17	航空機物語 一序	山口衛一	日本航空機開発協会副理事長 会員
1210	1989/03/24	提携出版にみる日仏出版事情	嶋中行雄	中央公論社国際担当取締役
1211	1989/03/31	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1212	1989/04/07	新博覧会事情	堀江清孝	東急エージェンシー取締役
1213	1989/04/13	第41回レディスデー ゲストアーティスト マリーン		
1214	1989/04/21	国際キワニス次期会長会議に出席して	片桐良雄	伊藤忠商事顧問 キワニス日本地区次期会長
1215	1989/04/28	首都高速道路公団の課題と展望	松原青美	首都高速道路公団理事
1216	1989/05/12	消費税施行1ヶ月	浜本英輔	大蔵省審議官
1217	1989/05/19	番組うらばな史	伊藤安雄	NHK番組技術センター長
1218	1989/05/26	超電導がレールウェイを変える ーリアモーターカーの開発ー	尾関雅則	鉄道総合技術研究所理事長 会員
1219	1989/06/02	孔子の経営学	孔健	孔子家75代ジャーナリスト
1220	1989/06/09	小唄漫談	平山健	石原産業顧問 会員
1221	1989/06/16	第5回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1222	1989/06/23	朗読 一杯のかけそば	東海林典子	アナウンサー
1223	1989/06/30	近年のわが国海外直接投資について	塚崎誠一	日本輸出入銀行理事 会員
1224	1989/07/07	宇宙から今日は!	中山迪夫	宇宙通信常務 会員
1225	1989/07/14	第74回国際キワニス年次総会オーストラリア大会に出席して	重崎伸矩	シバソク会長 会員
1226	1989/07/21	第23回キワニス社会公益賞贈呈式		
1227	1989/07/28	動乱後の中国見たまま	三條明	中央カオリン会長 会員
1228	1989/08/04	暑気払いビアパーティ		
1229	1989/08/18	小笠原の海に潜る	森田啓司	会員
1230	1989/08/25	一紙と創意のコミュニケーション 一枚の紙の中の美しい花	佐藤芳夫	グラフィックデザイナー
1231	1989/09/01	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1232	1989/09/08	健康ハート(心臓)十か条ビデオ上映	上田英雄	心臓財団名誉会長 会員
1233	1989/09/22	情報化時代における経営戦略	千田倅生	第二電電専務取締役
1234	1989/09/29	古代のタイムカプセル藤ノ木古墳の主(あるじ)を考える	大塚初重	明治大学文学部長
1235	1989/10/06	シルバー産業の現状	三木得五郎	ハーフセンチュリーモア社長
1236	1989/10/13	プロ野球経営一年生の話	宮内義彦	オリックス社長 会員
1237	1989/10/20	皆勤会員表彰式 第25回日本キワニス文化賞ビデオ上映		
1238	1989/10/27	在ニューヨーク評論家がみた国際情勢	那須聖	外交評論家
1239	1989/11/10	グローバルなエネルギー 環境公害と対策(みにくいあひるの子)	安藤良夫	東京大学名誉教授 会員
1240	1989/11/17	生命保険犯罪とシャーロックホームズ	月足一清	朝日生命保険常任監査役
1241	1989/11/24	東西関係の変化と日ソ関係の将来	佐藤誠三郎	東京大学教授
1242	1989/12/01	極限に生きる	小野田寛郎	
1243	1989/12/08	Aging is beautiful! 長生きすることは素敵なことだ!	渡辺弥栄司	渡辺弥栄司法律特許事務所所長 会員
1244	1989/12/15	アレルギー疾患はなぜ増えているか	宮本昭正	東京大学教授 会員
1245	1990/01/05	新年互礼会		
1246	1990/01/12	国際金融情勢の展望	行天豊雄	大蔵省顧問
1247	1990/01/19	生活大予言	富狭泰	㈱電通マーケティング局生活文化部長
1248	1990/01/26	少年ジャンプの読者像と編集方針	後藤広喜	㈱集英社少年ジャンプ編集長

1249	1990/02/02	朝顔	栄久庵憲司	インダストリアルデザイナー
1250	1990/02/09	エグゼクティブの健康と食事	荒巻麻子	ホテルオークラ<ヘルスクラブ>管理栄養士
1251	1990/02/16	新しい日本と日本(マスコミの新しい役割)	竹村健一	評論家 会員
1252	1990/02/23	日本のふたつのアキレス腱	赤澤璋一	JETRO顧問 会員
1253	1990/03/02	キリスト教はなぜ日本で拡まらないか —欧米諸国と、友人になれるか—	木村尚三郎	東京大学教授
1254	1990/03/09	世界文化賞ビデオ上映	鹿内信隆	彫刻の森美術館館長 会員
1255	1990/03/16	女の理論	大宅映子	日本インフォメーションシステムズ代表 取締役
1256	1990/03/23	(社)東京キワニスクラブ平成2年度臨時総会		国際テクニカルアナリスト連盟 副会長 会員
1257	1990/03/30	転機をむかえた東京市場	浦上邦雄	
1258	1990/04/06	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1259	1990/04/13	技術文明の転換期	石井威望	東京大学教授
1260	1990/04/15	第42回レディスデー 東京少年少女音楽隊		
1261	1990/04/27	旅行業の光と影 2000年心の旅を求めて	岩本龍人	JTB首都圏営業本部人事部長 会員
1262	1990/05/11	指紋の見直し 腸学の現状とその展望	花村順	「禍と人生」全国友の会主宰
1263	1990/05/18	出版のおもしろさ	田中健五	文芸春秋 会員
1264	1990/05/25	映画界よもやま話	奥山融	松竹副社長 会員
1265	1990/06/01	国民の「富」を300兆円もふっ飛ばしてしまった犯人は誰だ! 意義ある人生の一つの生き方	杉村富生	株式新聞編集局証券部長 (財)日本シルバーボランティアズ 専務理事
1266	1990/06/08	—第三世界に奉仕し自らも活性化—	岡田啓一	
1267	1990/06/15	砂漠が動くとき	並河萬里	ユネスコ シルクロード総合学術 調査隊首席写真家
1268	1990/06/22	国際金融の今後の展望	ロバート・ヘラー博士	連邦準備制度理事会(FRB)前理事
1269	1990/06/29	悲劇のポーランド民族	須藤博忠	中央学院大学教授 会員
1270	1990/07/06	常温核融合とその周辺	高橋洋一	東京大学工学部原子力工学科教授
1271	1990/07/13	第6回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1272	1990/07/20	第75回国際キワニス年次総会に出席して	安藤良夫 片桐良雄	東京クラブ会長 キワニス日本地区会長
1273	1990/07/27	第24回キワニス社会公益賞贈呈式		
1274	1990/08/03	暑気払いビアパーティ ヴァンティアンクルーズ		
1275	1990/08/17	ボナベに潜る	森田啓司	会員
1276	1990/08/24	ハードウォッチングと技術革新	山下静一	日本野鳥の会名誉会長 会員
1277	1990/08/31	人類の旗	永谷宗次	永谷園副会長 会員
1278	1990/09/07	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1279	1990/09/14	激動する世界と中東	住田良能	産経新聞外信部長
1280	1990/09/21	新音楽事情	長谷川滋彦	中越バルブ工業常任監査役 会員
1281	1990/09/28	ソ連の民族問題	伊沢久昭	東洋大学経済学部講師
1282	1990/10/05	現代公務員気質	内海倫	人事院法律顧問 会員
1283	1990/10/12	啓勤会員表彰式 第26回「日本キワニス文化賞」受賞者 フィルム上映		
1284	1990/10/19	プロ野球あれこれ	川島広守	セントラル野球連盟会長
1285	1990/10/26	椅子座と床座と住まい方	高橋公子	日本女子大学教授工学博士
1286	1990/11/02	統一ドイツはどこに行く	塚本哲也	防衛大学教授
1287	1990/11/09	百歳への挑戦	矢端正克	中山がん研究所理事 会員
1288	1990/11/16	偏差値なんかふっとばせ —地域で活躍している高校生の実態—	八矢信宏	横浜国立大学生
1289	1990/11/30	イラク紛争と危機管理	佐々淳行	元内閣安全保障室長
1290	1990/12/07	最近の宇宙観	坂部三次郎	ダイニック会長 会員
1291	1990/12/14	鹿内信隆終身名誉地区会長(初代東京クラブ会長)追悼例会		
1292	1990/12/21	未裔から見た木戸孝允	木戸孝彦	木戸池田法律事務所 会員
1293	1991/01/11	新年互礼会		
1294	1991/01/18	急変貌を遂げるアジア諸国経済と公的金融機関の役割	木下俊彦	日本輸出入銀行営業第一部長
1295	1991/01/25	本年の内外経済金融情勢	南原晃	日本銀行理事 大阪支店長
1296	1991/02/01	キワニスの森 植樹記念特別例会		
1297	1991/02/08	アルツハイマー病について	萬年徹	東京大学医学部教授
1298	1991/02/15	サクセスフルエイジング	福原義春	資生堂社長
1299	1991/02/22	湾岸危機の素顔及び石油問題について	岩崎英雄	合同石油開発社長 会員
1300	1991/03/01	知的所有権あれこれ	本間宗	本間法律特許事務所所長 会員
1301	1991/03/08	美浜発電所2号機の自動停止について	安藤良夫	東京大学名誉教授 会員
1302	1991/03/15	ソ連鉄道瞥見	橋元雅司	日本貨物鉄道社長 会員
1303	1991/03/22	地球環境問題について	安原正	環境庁事務次官
1304	1991/03/29	91-93MEP "YOUNG CHILDREN:PRIORITY ONE"	青山キヨミ	東京都衛生局母子衛生課長
1305	1991/04/05	お花見例会 葛西臨海公園 キワニスの森寄贈地		
1306	1991/04/11	第43回レディスデー 神崎 愛		
1307	1991/04/12	海外投資により変貌するアメリカ 日本からの投資を大歓迎するケンタッキー州マジソンビル	スティープ・ヴァッサロ	ケンタッキー州グレーターマジソン ビル経済開発ディレクター
1308	1991/04/19	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1309	1991/04/26	生命(いのち)に学ぶ人と組織の活性化	石川光男	国際基督教大学理学部教授
1310	1991/05/10	土地問題を考える	小林忠雄	日本不動産研究所会長 会員
1311	1991/05/17	東京の道路	大崎本一	東京都建設局長
1312	1991/05/24	気功と健康	劉錦程	中国気功健康協会会長
1313	1991/05/31	こんなに変わった博物館	堀義司	通信総合博物館館長

1314	1991/06/07	囲碁のたのしみ	片桐良雄	日本棋院副理事長 会員
1315	1991/06/14	総監在任を振り返って 無法者との戦い	大堀太千男	前警視總監 全日本交通安全協会副会長 会員
1316	1991/06/21	世界の美術館めぐりと世界と日本の美術事情	長谷川智恵子	日動画廊副社長
1317	1991/06/28	米問題を考える	杉山克巳	全国米穀協会会長
1318	1991/07/05	火山国に生きる 雲仙岳等の噴火 火山活動の診察	諏訪彰	地震火山学者
1319	1991/07/12	延命か安らかな死か	植松正	一橋大学名誉教授
1320	1991/07/19	第25回キワニス社会公益賞贈呈式 第7回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1321	1991/07/26	敗戦前後の満州情勢 満州国の崩壊と関東軍の解体	野村一彦	日本自動車ターミナル社長 会員
1322	1991/08/02	地方からの発想 暑氣払いピヤパーティ	平松守彦	大分県知事
1323	1991/08/09	(ヴァンテアン号による東京湾クルーズ)		
1324	1991/08/23	出入国管理行政の主要な課題について	股野景親	法務省入国管理局長
1325	1991/08/30	政局展望 新政権のゆくえ 「有明海の干潟魚」	内田健三	東海大学教授 NHK解説委員
1326	1991/09/06	平成元年文化映画ベスト10第1位上映		
1327	1991/09/13	オーケストラあれこれ	横川端 磯恒夫 阿部純也	すかいらーく会長 東京交響楽団理事長 会員 東京交響楽団コンサートマスター 富士福祉事業団 会員
1328	1991/09/20	人生の節目		
1329	1991/09/27	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1330	1991/10/04	アラブ世界と日本	ムサ M. オマル	スーダン共和国駐在日本国特命全權大使
1331	1991/10/11	ワインは死の香り	箭内祥周	日本ビューホテル社長 会員
1332	1991/10/18	皆勤会員表彰式		
1333	1991/10/25	食・色・財に徹する宦官	佐藤慎一郎	元拓殖大学講師
1334	1991/11/01	遺伝資源を利用して環境に調和した農業を	鳥山国土	農業生物資源研究所前所長
1335	1991/11/08	「東京都における地震被害の想定に関する調査研究」について	石川雅巳	東京都総務局災害対策部長
1336	1991/11/15	加齢と病氣	安部 英	帝京大学副学長 会員
1337	1991/11/22	国連PKOをめぐる	松下電器産業常勤顧問	会員
1338	1991/11/29	ソ連の崩壊と国際エネルギー情勢	生田豊朗	日本エネルギー経済研究所理事長 会員
1339	1991/12/09	思い出の新兵生活	三輪良雄	弁護士 会員
1340	1991/12/13	バブル崩壊と株式市場の行方	浦上邦雄	キダナー・ビーボディ証券会社主席顧問 会員
1341	1991/12/20	92世界と日本の経済	宮崎勇	大和総研理事長 会員
1342	1992/01/10	新年互礼会		
1343	1992/01/17	日米開戦の思い出	片桐良雄	横浜倉庫相談役 会員
1344	1992/01/24	薔薇は美しいか	古館曹人	俳人協会副会長・理事
1345	1992/01/31	世界の奇術と日本	風呂田政利	国際奇術友好協会会長
1346	1992/02/07	新しい日欧関係	磯村尚徳	前NHK特別主幹 会員
1347	1992/02/14	第27回日本キワニス文化賞「雲州そろばん」ビデオ上映		
1348	1992/02/21	地下鉄のことなど	永光洋一	帝都高速度交通営団総裁
1349	1992/02/28	捕虜になった連合艦隊参謀長	関野直輔	積水化学工業社友 会員
1350	1992/03/06	20兆円パチンコ業界の健全化方策	平沢勝栄	警視庁防犯部長
1351	1992/03/13	父を恋ふる 福祉への参加	関口欽也	日本短波放送社長 会員
1352	1992/03/27	—シニアボランティアの活動をめぐって—	吉沢英子	大正大学教授
1353	1992/04/03	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1354	1992/04/10	第44回ファミリーデー(レディスデーから名称変更)		
1355	1992/04/17	お花見例会 キワニスの森寄贈地		
1356	1992/04/24	社会に技術を向ける時代	森谷正規	技術評論家
1357	1992/05/01	都庁見学会		
1358	1992/05/08	アメリカ そしてアジア	赤澤璋一	国際経済交流財団 会員
1359	1992/05/15	世界文化遺産の旅	永田晨	日経BP社長
1360	1992/05/22	何が政治か	秦野章	前参議院議員
1361	1992/05/29	花は野にあるように	片桐悦子	花道みさぎ流副家元
1362	1992/06/05	これからの中小企業	南学政明	中小企業庁長官 会員
1363	1992/06/12	ホップはビールの魂	湯口廉平	サッポロビール常務取締役 会員
1364	1992/06/19	最近の東アジア情勢	長富祐一郎	QUICK総合研究所理事長
1365	1992/06/26	ロボット展見学会 (TEPIA)		
1366	1992/07/03	我が国のセキュリティタイゼーション 一債権の流動化—	廣瀬駒雄	オリックス常務取締役 会員
1367	1992/07/10	第77回国際キワニス年次総会報告	安部英	帝京大学副学長 91-92キワニス日本地区会長
1368	1992/07/17	米国大統領選の行方	トーマス・カトウ	弁護士 コロラドスプリングス キワニスクラブ会員
1369	1992/07/24	第26回キワニス社会公益賞贈呈式 第8回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1370	1992/07/31	わたしの場合	岩武照彦	元神戸製鋼所 会員
1371	1992/08/07	それぞれの8月15日	数佐三郎 森弘 森田正典	東陽印刷所社長 会員 宝永物産会長 会員 日本タイムシェア顧問 会員
1372	1992/08/21	ヤップの海に潜る	森田啓司	会員
1373	1992/08/28	セクシャル ハラスメントについて	柴田知子	前女性職業財団専務理事
1374	1992/09/04	世界新秩序か新無秩序か	住田良能	産経新聞外信部長・論説委員
1375	1992/09/11	平成新時代の主役	向坂松彦	スポーツキャスター元NHKアナウンサー
1376	1992/09/18	これからの日本人	マリー・ニノ	タレント
1377	1992/09/25	(社)東京キワニスクラブ定時総会		

1378	1992/10/02	星空のロマン 一星のいろいろ その美しさー	坂部三次郎	ダイニツク会長 会員
1379	1992/10/09	PKOと自衛隊	依田智治	野村證券常任顧問、前防衛事務次官 会員
1380	1992/10/16	F1の話	鎌倉 節	日本自動車連盟副会長 会員
1381	1992/10/23	皆勤会員表彰式		
1382	1992/10/30	体験的米国人論	河村幸一郎	評論家 シルバーボランティアズ理事
1383	1992/11/06	キワニス国際評議会に出席して	木戸孝彦	木戸・池田法律事務所 92-93キワニス日本地区会長
1384	1992/11/13	奇術と経営	宮田文一	ツーカーセラー東京常勤監査役
1385	1992/11/20	閣議署名を拒否して辞任した外相 —公文書が語る歴史の秘話—	小玉正任	国立公文書館館長
1386	1992/11/27	その後のリニア実験線	尾関雅則	鉄道総合技術研究所理事長 会員
1387	1992/12/04	人類の課題:「エイズ」	安部 英	帝京大学副学長 前日本地区会長
1388	1992/12/11	ソ連邦の良い時代を顧みて	向山定孝	三井産研研究所常任委員 工学博士 会員
1389	1992/12/18	バブル崩壊と日本経済	大山昊人	東京国際大学教授 元NHK解説委員 会員
1390	1993/01/08	新年互礼会		
1391	1993/01/22	セベリア万国博覧会と日本の参加	竹田一平	日本貿易振興会展示部
1392	1993/01/29	新年雑感	速水優	日商岩井会長 会員
1393	1993/02/05	政治の衰弱と政治改革	赤澤璋一	国際経済交流財団会長 会員
1394	1993/02/12	モンゴル素描	阿部純也	日本モンゴル文化交流協会会長、 富士福祉事業団顧問 会員
1395	1993/02/19	天宮図に見えてくる日本 —古星学入門—	鼓悠	古星学研究者
1396	1993/02/26	鉄道ODA	須藤幹雄	商船三井客船顧問、元海外鉄道 技術協力協会 会員
1397	1993/03/05	国際キワニス・ニュース・コンベンション・プロモーション —アッシジ・フィレンツェ・ベネチエア	岩本龍人	日本交通公社取締役 会員
1398	1993/03/12	クリントン後の米国情勢とニューヨークキワニスの例会 に出席して	佐藤満秋	ヘキストジャパン専務取締役 会員
1399	1993/03/19	旧ソ連の現状と金融支援	伊藤祐徳	日本輸出入銀行理事 会員
1400	1993/03/26	地価バブルを顧みる	小林忠雄	日本不動産研究所会長 会員
1401	1993/04/02	クリントン政権の経済政策	山崎高司	日本総合研究所副理事長 会員
1402	1993/04/05	第45回ファミリーデー		
1403	1993/04/09	お花見例会 葛西臨海公園 キワニスの森寄贈地		
1404	1993/04/16	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1405	1993/04/23	忘れ難い幾つかの思い出	富田朝彦	前宮内庁長官 会員
1406	1993/05/07	男の料理	ガイ・フィリップ	狂言研究者、パーティコンサルタント
1407	1993/05/14	浅間山荘の思い出	野中庸	セントラル警備保障社友 会員
1408	1993/05/21	フロン雑感	徳永洋一	ダイキン工業副社長 (新宿クラブ副会長)
1409	1993/05/28	高速道路の当面する課題	鈴木道雄	日本道路公団総裁 会員
1410	1993/06/04	石油はいつまでもつか	緒方謙二郎	東京銀行顧問、 元エネルギー庁長官 会員
1411	1993/06/11	民族問題に思う	須藤博忠	中央学院大学講師 会員
1412	1993/06/18	第9回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1413	1993/06/25	現下の国際情勢と東京サミット	内田宏	資生堂顧問、元フランス大使 会員
1414	1993/07/02	最近の社会部事情	稲田幸男	産経新聞社会部長
1415	1993/07/09	第78回キワニスインターナショナル年次総会に出席し て フランス・ニュースに於いて	重崎伸矩	シバソク会長 (92-93日本地区次期会長)
1416	1993/07/16	私にとっての現代中国	陽二蓮	東京中国歌舞団歌手
1417	1993/07/23	米国の刑事陪審裁判	長島 敦	アジア刑政財団理事長
1418	1993/07/30	第27回キワニス社会公益賞贈呈式		
1419	1993/08/06	暑気払いビヤパーティ		
1420	1993/08/20	21世紀の世界経済と中国人・中国系人 日本人は取り残 されるか	游仲勲	国際大学大学院 国際関係学研究科教授
1421	1993/08/27	われわれの住んでいる素晴らしい星「地球」	坂部三次郎	ダイニツク会長 会員
1422	1993/09/03	新政権と秋の政局	内田健三	政治評論家
1423	1993/09/10	北方四島を訪ねて	ポール・ファーガソン	ジャーナリスト
1424	1993/09/17	全国総合開発計画のあゆみ	北村廣太郎	地域振興整備公団副総裁 会員
1425	1993/09/24	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1426	1993/10/01	青い目から見た日本経済	リハート・アラン・フェルドマン	ソロモンブラザーズアジア証券(株) 経済調査部ディレクター
1427	1993/10/08	高齢化社会と漢方	松田邦夫	東洋医学会会長
1428	1993/10/15	曾おぼさんの海	武藤直路	日本短波放送エグゼクティブプロ デューサー
1429	1993/10/22	皆勤会員表彰式		
1430	1993/10/29	コード欠乏症について	入江實	東邦大学帷幕部附属病院佐倉病院 院長兼内科教授 会員
1431	1993/11/05	国際キワニス評議会に出席して	重崎伸矩	シバソク会長、93-94日本地区会長
1432	1993/11/12	南太平洋の国々	赤澤璋一	機械産業記念事業財団会長 会員
1433	1993/11/19	エイズ最新情報と企業のエイズ対策	矢端正克	中山がん研究所中山メディカルク ラブ副所長 会員
1434	1993/11/26	日本の集団・縦社会とアメリカの個人主義社会の隔たり は何処まで縮まるか	石井鎌一	トリビュン・ジャパン毎日(株)会長
1435	1993/12/03	ダーク産業としての暴力団	保良光彦	全国暴力追放運動推進センター専務理事
1436	1993/12/10	囃子藝談(大鼓と小鼓)	梅屋右近	囃子梅屋流
1437	1993/12/17	干支セトラー虫の生き方と自然のバランスー	奥本大三郎	埼玉大学教授
1438	1994/01/07	新年互礼会		

1439	1994/01/14	東アジアと日本経済について	南原晃	日本銀行理事
1440	1994/01/21	変わるアメリカ 変わるか日本	グレン・S・フクシマ	日本AT&T総合政策本部長兼市場開発本部長
1441	1994/01/28	94年の生活動向を考える	関沢英彦	博報堂生活総合研究所所長代理
1442	1994/02/04	ムービーキッズ(映画少年)の冒険	河原畑寧	読売新聞編集委員
1443	1994/02/18	今なぜ貯蓄か？ 内側からみたオリンピック	木村太郎	貯蓄広報中央委員会副会長 会員
1444	1994/02/25	主としてオリンピック・マーケティングについて	上田宗良	昭和マリン興業社長
1445	1994/03/04	変革の中の小売業	坂本春生	西友代表取締役専務
1446	1994/03/11	日米摩擦 新しい危機は来るのか？	サミュエル・ジェイムソン	ロス・アンゼルス・タイムズ東京支局長兼アジア経済担当記者
1447	1994/03/18	私の歩んで来た道とゴルフ会員権の展望	佐川八重子	桜ゴルフ代表取締役
1448	1994/03/25	コメと日本人と伊勢神宮	上之郷利昭	ノンフィクション作家 評論家
1449	1994/04/04	東京キワニスクラブ設立30周年記念 第46回ファミリーデー		
1450	1994/04/08	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1451	1994/04/15	米国の最近の対日政策	トーマス・カトウ	コロラドスプリングスクラブ会員 弁護士
1452	1994/04/22	お花見例会 葛西臨海公園 キワニスの森寄贈地		
1453	1994/05/06	ピストルを突きつけられて 私の「危機管理」観	藤原宣夫	藤原事務所代表取締役 会員
1454	1994/05/13	これからの日本 雑考一II	赤澤璋一	機械産業記念事業財団会長 会員
1455	1994/05/20	外国人と歌舞伎	市村萬次郎	二代目
1456	1994/05/27	北朝鮮問題と我が国の安全保障	依田智治	野村證券常任顧問 会員
1457	1994/06/03	マルチメディアについて	中村好郎	日本放送協会副会長 会員
1458	1994/06/10	第19回アジア太平洋会議(ASPAC)メルボルン大会報告	重崎伸矩	シバソク会長 日本地区会長
	1994/06/10	次期ガバナートレーニング会議に出席して	田岡昭二	田岡眼科院長 日本地区次期会長 大阪クラブ会員
1459	1994/06/17	南太平洋	吉岡文之助	ヴァヌアツ共和国名誉領事 会員
1460	1994/06/24	第10回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1461	1994/07/01	東京の電車の話	和久田康雄	(財)運輸経済研究センター理事長
1462	1994/07/08	外交のうらおもて	内田宏	資生堂顧問 元フランス大使 会員
1463	1994/07/15	エネルギーと環境	安藤良夫	東京大学名誉教授 会員
1464	1994/07/22	第79回国際キワニス年次総会 ニューオーリンズ大会に出席して	重崎伸矩	シバソク会長 日本地区会長
1465	1994/07/29	東京キワニスクラブ設立30周年記念 第28回キワニス社会公益・国際貢献賞贈呈式		
1466	1994/08/05	東京のゴミ戦争	杉山龍	元都清掃局長
1467	1994/08/19	ベリリュー島に潜る	森田啓司	会員
1468	1994/08/26	9月4日開港予定の海上空港 関西国際空港について	竹内良夫	竹内事務所社長 関西国際空港初 代社長 会員
1469	1994/09/02	酒の肴になるビールよもやま話	品川壽夫	サッポロビール常務取締役 会員
1470	1994/09/09	最近の官僚制批判について	長岡賢	前東京証券取引所理事長 会員
1471	1994/09/16	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1472	1994/09/30	我国民間航空・国際線の現状と将来について	塚田誠剛	新旅行社社長 会員
1473	1994/10/07	ガラスの話	岩田糸子	岩田工芸硝子社長
1474	1994/10/14	脚光をあびる太陽電池 地球に優しい太陽光発電	高橋清	昭和シェル石油取締役相談役
1475	1994/10/21	ゴリラを求めてウガンダへ	佐藤満秋	ヘキストジャパン専務取締役 会員
1476	1994/10/28	日本マスメディア30年の功罪	磯村尚徳	コネスコ事務総長特別顧問 会員
1477	1994/11/04	啓勤会員表彰式		
1478	1994/11/11	オリンピックは何処へ行く	青木平治	日本陸上競技連盟会長 会員
1479	1994/11/18	地球環境問題への取組	安原正	山種証券会長 元環境事務次官 会員
1480	1994/11/25	国連うらおもて	波多野敬雄	前国連大使、 フォーリン・プレスセンター理事長
1481	1994/12/02	モロッコとサハラ砂漠	箭内祥周	日本ビューホテル 会員
1482	1994/12/09	衛星放送の現状と今後	高橋雄亮	NHK情報ネットワーク社長 会員
1483	1994/12/16	宇宙と素粒子	小柴昌俊	東京大学名誉教授
1484	1995/01/06	新年互礼会		
1485	1995/01/13	日本経済の展望と課題	香西泰	(財)日本経済研究センター理事長
1486	1995/01/20	今なぜ リエンジニアリング	岸永三	㈱人と企業研究所代表
1487	1995/01/27	ロシア、中国、ベトナム	伊藤佑徳	日本輸出入銀行理事 会員
1488	1995/02/03	日本の地震対策あれこれ	市川一朗	国土庁顧問、前事務次官 会員
1489	1995/02/10	俳句あれこれ	吉田鴻司	俳人
1490	1995/02/17	親日国・キルギスタンの国造りに参加して	田中哲二	日本銀行国際局参事、キルギス共 和国大統領・中銀総裁顧問
1491	1995/02/24	中世の城郭	寄木正敏	月島機械㈱代表取締役会長 会員
1492	1995/03/03	カメラ設計よもやま話	米谷美久	オリンパス光学工業㈱常務取締役
1493	1995/03/10	地震とその予知について	茂木清夫	地震予知連絡会会長
1494	1995/03/17	馬の話	杉山克己	(財)日本軽種馬登録協合理事長 会員
1495	1995/03/24	コンビニエンスストアの現状について	後藤茂	㈱ファミリーマート社長 会員
1496	1995/03/31	正伝宮本武蔵	景山二郎	日本剣道連盟会長
1497	1995/04/07	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1498	1995/04/14	お花見例会 葛西臨海公園「キワニスの森」寄贈地		
1499	1995/4/20-22	第20回アジア太平洋会議(ASPAC) 大阪大会(大阪ロイヤルホテル)		
	1995/04/22	第29回キワニス社会公益特別賞贈呈式		
1500	1995/04/28	円とドル	武富将	日本興業銀行取締役調査部長

1501	1995/05/12	阪神・淡路大震災を体験して	三木克彦	(財)大阪湾ベイエリア開発推進機構副会長
1502	1995/05/19	第20回アジア太平洋会議(ASPAC)大阪大会の報告	木戸孝彦	木戸池田原田法律事務所(会員・ASPAC議長)
1503	1995/05/25	アジアと日本	ベマ・ギャルボ	チベット文化研究所所長
1504	1995/06/02	マルチメディア	川畑正大	富士通システム総研取締役・東海大学教授 会員
1505	1995/06/09	オウム真理教事件と報道取材について	村松雅之	産経新聞社社会部長
1506	1995/06/16	恋とシャンソンと人生と	水織ゆみ	シャンソン歌手
1507	1995/06/23	最近の台湾事情	梁木新一	元韓国大使
1508	1995/06/30	「あア驚いた 驚いた」の話	山口比呂志	「味の手帖」代表 会員
1509	1995/07/07	第80回国際キワニス年次総会 ラスベガス大会に出席して	安藤良夫	東京大学名誉教授 (キワニス日本地区会長)
1510	1995/07/14	参院選後の政局	田勢康弘	日本経済新聞編集委員・論説委員
1511	1995/07/21	アメリカズ・カップと黒船ーニッポンの挑戦	大儀見薫	日本セイルトレーニング協会理事
1512	1995/07/28	第11回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1513	1995/08/04	暑気払いビール例会 ショートスピーチ「その時私は」	天野武一 辻辰三郎 小島章伸 牛山善政	
1514	1995/08/18	テーマパークあれこれ		新潟ロシア村会長 会員
1515	1995/08/25	経済大国に明日はないか	吉田春樹	和光経済研究所社長
1516	1995/09/01	都市の国際交流	一瀬智司	国際都市コミュニケーションセンター代表 会員
1517	1995/09/08	幻の被告	木戸孝彦	木戸池田原田法律事務所 会員
1518	1995/09/22	世界のトイレ快道を行く	坂本菜子	コンフォートスタイリング研究所所長
1519	1995/09/29	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1520	1995/10/06	あるホテルが出来るまで	若林信二	東京ヒューマニアエンタプライズ社長 会員
1521	1995/10/13	中国あれこれ	大背戸茂樹	日本輸出入銀行情報システム部部长
1522	1995/10/20	皆勤会員表彰式		
1523	1995/10/24	第47回ファミリデー(於 京王プラザホテル)		
1524	1995/10/27	生きるために大いに遊ぼう	坪内嘉雄	日本レクリエーション協会会長 会員
1525	1995/11/10	中東和平の行方	平山健太郎	NHK解説委員
1526	1995/11/17	激動期のソ連・ロシアに勤務して	枝村純郎	元ロシア大使
1527	1995/11/24	国際キワニス評議会に出席して	井上丈太郎	トーエネック相談役、日本地区会長(名古屋クラブ元会長)
1528	1995/12/01	精神障害者の雇用	北原卓	日本障害者雇用促進協会常務理事 会員
1529	1995/12/08	洋上600キロの漕ぎ帰り	松永市郎	海軍兵学校第68期
1530	1995/12/15	美しく生きよう Aging is beautiful	渡辺弥栄司	ビューティフルエージング協会副会長 会員
1531	1996/01/05	新年互礼会		
1532	1996/01/12	老人一揆のすすめ	赤澤瑠一	機械産業記念事業財団会長 会員
1533	1996/01/19	フローレンス・ナイチンゲール記事を受章して	岩田ウタ	
1534	1996/01/26	明日の社会と経営について	宮内義彦	オリックス社長
1535	1996/02/02	税制あれこれ	米澤潤一	日本銀行理事 会員
1536	1996/02/09	21世紀のエネルギーの話	岩崎八男	新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長
1537	1996/02/16	乗馬スポーツ 東と西	徳田耕	日本乗馬連盟理事、長銀投資顧問(顧問 会員)
1538	1996/02/23	伊達政宗の遣欧使節船「サンファンパウチスタ号」が 東京へやってくる	田中厚彦	国際都市コミュニケーションセンター(ICCF)
1539	1996/03/01	DVDの現状	角家哲雄	㈱東芝SD事業部推進部企画担当部長
1540	1996/03/08	宝塚四方山話	安藤蕃	日本短波放送顧問 会員
1541	1996/03/15	(無題)	和田勝	厚生省大臣官房審議官医療保険・老人保健福祉担当
1542	1996/03/22	中南米経済地域統合と外国投資	小林晋一郎	東京銀行海外部理事
1543	1996/03/29	身近なデータからみた景気	宅森昭吉	さくら証券チーフエコノミスト
1544	1996/04/05	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1545	1996/04/12	お花見例会 (葛西臨海公園 キワニスの森寄贈地)		
	1996/04/18	第1回国際懇話会		
1546	1996/04/19	日本語の語源	荒井好民	システム・インターナショナル会長 会員
1547	1996/04/26	あべこべの国オーストラリア	内古閑俊二	東京ベイヒルトン社長 会員
1548	1996/05/10	夢航海	白石鉦一郎	史上最年少ヨット単独無寄港世界一周達成
1549	1996/05/17	世界の食糧事情	濱武秀	三菱商事食糧本部長
1550	1996/05/24	アメリカ大統領選挙の見通しと意義	那須聖	在米外交評論家
1551	1996/05/31	再び経綸の時代へ	尾崎護	国民金融公庫総裁
1552	1996/06/07	滞日駐在を振り返って	ヘンリック・リップシッツ	ポーランド大使
1553	1996/06/14	親に何が出来るか「親業」	近藤千恵	親業訓練協会理事長
1554	1996/06/21	第12回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1555	1996/06/28	小選挙区制と日本の政治	金指正雄	日本経済新聞論説副主幹
1556	1996/07/05	第81回国際キワニス年次総会 ソルトレイクシティ大会に出席して	井上丈太郎	トーエネック相談役、日本地区会長(名古屋クラブ元会長)

1557	1996/7/12	リヨンサミットを終えて	菊地清明	松下電器産業顧問、元国連大使 会員
1558	1996/07/19	企業広報あれこれ	小島正興	セコム取締役顧問
1559	1996/07/26	第30回キワニス社会公益賞贈呈式		
1560	1996/08/02	暑気払いビール例会(於 サッポロライオン 5階音楽ビヤブラザ)		
1561	1996/08/16	そのとき私は	高橋弘篤 井上善夫 大島秀夫	本州四国近畿道路管理協会名誉会長 会員 ピーエス企画社長 会員 パリバ投資顧問取締役 会員
1562	1996/08/23	キワニスホームホスピタリティに思う		国立病院東京災害医療センター救命救急センター副センター長 松下電器産業顧問、元国連大使 会員
1563	1996/08/30	災害時における医療体制の現状と問題点	原口義座	東証正会員協会顧問 会員 アルペロサクロ(株)社長
1564	1996/09/06	アマゾン熱帯雨林に入って	菊地清明	
1565	1996/09/13	戦後半世紀をふり返って	長岡實	
1566	1996/09/20	ボーダレス時代の資産運用法	榎原節子	
1567	1996/09/27	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1568	1996/10/04	顔が見えない日本の対外援助—NGO国際医療援助の試み—	岩本淳	AMDA名誉顧問、帝国クリニック院長 中央学院大学講師 会員
1569	1996/10/11	ヨーロッパの選挙制度について	須藤博忠	
1570	1996/10/18	皆勤会員表彰式		
1571	1996/10/25	サハリンにおける石油開発	有岡恭助	サハリン石油ガス開発社長 会員
1572	1996/11/01	選挙後の政局	金指正雄	日本経済新聞社論説副主幹 機械産業記念事業財団特別顧問、 キワニス日本地区会長
1573	1996/11/08	アメリカという国 ーガバナンス会議に出席してー	赤澤璋一	オリックス野球クラブ(株)専務取締役 役員、オリックスブルーウエーブ
1574	1996/11/15	F.A巨人を倒して	井籠重慶	(株)ジェー・エヌ・エフ社長 東京少年友の会理事長
1575	1996/11/22	プロボリス健康法	清水弘昭	運輸審議会委員、前阪神高速道路 公団理事長 会員
1576	1996/11/29	高齢社会と少年問題について	野田愛子	いっくら国際文化交流会会長 会員
1577	1996/12/06	阪神・淡路大震災を体験して	大堀太千男	
1578	1996/12/13	地球家族のきずな求めて ー草の根外交最前線ー	長門芳子	
1579	1996/12/20	脳梗塞を経験して	勝正一	
1580	1997/01/10	新年互礼会		
1581	1997/01/17	日本経済の課題	三重野 康	日本銀行名誉顧問
1582	1997/01/24	トップの服装戦略	菅原明美	(株)インプレッション代表取締役
1583	1997/01/31	上手なリースの利用法	中山剛吉	日航リース(株)社長 会員 機械産業記念事業財団特別顧問 (キワニス日本地区会長)
1584	1997/02/07	行政改革序論	赤澤璋一	フランコ舞踊家 (株)ザ・アール社長 会員 日商岩井(株)相談役 会員
1585	1997/02/14	我がフラメンコ人生	小松原庸子	
1586	1997/02/21	マルチメディアと労働	奥谷禮子	
1587	1997/02/28	日本に市民社会は育つか	速水優	
1588	1997/03/07	国際キワニス成果奉仕活動「ロード欠乏症撲滅活動」 WSP/IDDについて		
1589	1997/03/14	世界経済フォーラム・ダボス会議に出席して	志賀真理子	(株)イー・シー・バンク東京社長 会員
1590	1997/03/21	練習帆船日本丸	福井隆雄	住友重機械工業(株)船舶船艇鉄構事 業本部顧問(技術担当) シカゴ大学東洋研究顧問、企業国 際化センター代表 会員
1591	1997/03/28	死海文書とクムラン宗団	秋澤公二	
1592	1997/04/04	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1593	1997/04/11	ドイツの例に見る「直接民主主義制度」	須藤博忠	中央学院大学講師 会員
1594	1997/04/14	第48回ファミリーデー		
1595	1997/04/18	東洋史観から見た日本の行方	鶴田正春	日本アイ・ビー・エム(株)専務取締役 スタッフ担当
1596	1997/04/25	お花見例会 東京都葛西臨海公園「キワニスの森」寄贈地		
1597	1997/05/02	第22回アジア太平洋会議(ASPAC) ヌメア大会報告	重崎伸矩 関口欽也	元日本地区会長・日本地区ヨード委員長 東京クラブ会長
1598	1997/05/09	マスコミ界の大変革と広告界	佐野吉秀	(株)旭通信社常務取締役 会員
1599	1997/05/16	小惑星と隕石	村山定男	天文博物館五島プラネタリウム館長
1600	1997/05/23	IDD(ロード欠乏症)の現状について	バジル S. ヘッツェル博士	国際ロード欠乏症対策委員会委員長
1601	1997/05/30	四泊五日の私の刑務所暮らし ーペルー事件を考えるー	藤原宣夫	藤原事務所代表取締役 会員
1602	1997/06/06	川はきれいになったか ー多摩川にみるー	芳村重徳	財団法人とうきゅう環境浄化財団 常務理事
1603	1997/06/13	先進工業国の改革 ー個人主義と人間主義ー	長富祐一郎	QUICK総合研究所理事長 会員
1604	1997/06/20	EUの現状と、今日の日・EU関係	ヨルン・ケック	駐日欧州委員会代表部代表大使
1605	1997/06/27	お金の話	米澤潤一	日本銀行理事 会員
1606	1997/07/04	第31回キワニス社会公益賞贈呈式		
1607	1997/07/11	21世紀は生き生きシニアの世紀だ	喜多村治雄	財団法人シニアルネサンス財団理事長
1608	1997/07/25	第13回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1609	1997/08/01	少子化 ー日本社会のたそがれ?ー	阿藤誠	国立社会保障・人口問題研究所副所長
1610	1997/08/08	国際キワニス・ナッシュビル総会に出席して	赤澤璋一	国際キワニス日本地区会長
1611	1997/08/22	グローバルに見た日本・日本企業	寺島実郎	三井物産業務部総合情報室長
1612	1997/08/29	今、話題の北朝鮮を訪ねて	佐藤満秋	ヘキストジャパン相談役 会員
1613	1997/09/05	いま、沖繩では	小玉正任	社団法人沖繩協会会長
1614	1997/09/12	フィリピンでのキワニスを訪ねて	秋澤公二	企業国際化センター代表取締役 会員
1615	1997/09/19	ロシアについて	渡邊幸治	日本国際交流センターシニアフェ ロー、元駐ロシア大使
1616	1997/09/26	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1617	1997/10/03	首都機能移転について	荒田建	住宅都市整備公団理事 会員
1618	1997/10/17	ブルサールについて	安藤良夫	東京大学名誉教授 会員

1619	1997/10/24	皆勤会員表彰式			
1620	1997/10/31	ある創業	横川端		すかいらーく取締役グループ統轄機構 代表理事(会長)
1621	1997/11/07	石垣にみる三聖城	寄木正敏		月島機械(株)相談役 会員
1622	1997/11/14	コーポレートガバナンス	宮内義彦		オリックス社長
1623	1997/11/21	英国シティに学ぶ金融ビッグバンと不動産市場	佐藤一雄		不動産シンジケーション協議会専務理事 事 会員
1624	1997/11/28	「放送ビッグバン」デジタル化時代の到来	山岸亨		(株)ジャパン・スポーツチャンネル代表 取締役社長
1625	1997/12/05	コンピュータの西暦2000年問題について	鳥川美光		日本システム・ディベロップメント副 社長 会員
1626	1997/12/12	欧米さすらいの記(雑感)	保田忠志		世界経営協議会専務理事 会員
1627	1997/12/19	世界遺産と法隆寺五重塔	濱島正士		国立歴史民俗博物館教授 工学博士
1628	1998/01/09	新年互礼会			
1629	1998/01/16	新春雑感	長岡實		東証正会員協会顧問 会員
1630	1998/01/23	わが国におけるコーポレート・ガバナンスの現況	奥島孝康		早稲田大学総長
1631	1998/01/30	マルチメディアと放送 —テレビはどこにゆくのか—	長屋龍人		NHK放送文化研究書主幹研究員
1632	1998/02/06	あたなは老後、誰とどこで暮らしますか	佐橋慶女		ジャーナリスト
1633	1998/02/13	父、丹羽文雄、介護の日々	本田桂子		
1634	1998/02/20	相撲あれこれ	永田琢美		興和不動産会長 会員
1635	1998/02/27	日米航空交渉について	中山剛吉		日航リース社長 会員
1636	1998/03/06	名古屋の反撃 —万博からドラゴンズまで	小山勇		中日新聞社代表取締役副社長
1637	1998/03/13	古地図について	藤原英郎		(株)長銀総合研究所研究主幹・ (社)日本古地図学会理事
1638	1998/03/20	王制を考える —サウディアラビアとタイの例について	恩田宗		アセアン・センター事務総長 会員
1639	1998/03/27	戦国武将たちの素顔	高橋直樹		小説家
1640	1998/04/03	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会 第23回アジア太平洋会議(ASPAC)			
1641	1998/04/10	マレーシア大会に出席して	佐藤清秋		日本ガス機器検査協会理事長 会員
1642	1998/04/13	第49回ファミリーデー			
1643	1998/04/17	お花見例会と国立歴史民俗博物館見学会			
1644	1998/04/24	デジタル時代のベンチャー雑感—NASDAQ上場成功の裏話—	川畑正大		東海大学/スタンフォード大学教授 会員
1645	1998/05/08	電子マネーの将来性	寺田晴彦		日本電気(株)顧問
1646	1998/05/15	政党ビッグバンと日本の政治	金指正雄		日本経済新聞論説顧問
1647	1998/05/22	欧州新通貨ユーロの誕生	増永嶺		財団法人国際金融情報センター副理事長
1648	1998/05/29	オウムとの闘いの日々	井上幸彦		東京ガス(株)特別顧問、前警視総監 会員
1649	1998/06/05	サッカーの魅力、魔力 —楽しみ方—	吉沢久恵		サッカー審判員
1650	1998/06/12	公的介護の充実のために —介護保険導入をめぐって—	土屋正忠		武蔵野市長
1651	1998/06/19	ニュー・フロンティアとしての中欧 —ハンガリー在勤の経験から—	田中義具		元駐ハンガリー大使、財団法人ラチオ プレス理事長
1652	1998/06/26	第14回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式			
1653	1998/07/03	ウサギ小屋からみた都市の風景	吉田拓生		財団法人日本開発構想研究所常務理事 兼事務局長 会員
1654	1998/07/10	観光文化立国のすすめ	岩本龍人		財団法人日本交通公社専務理事 会員
1655	1998/07/17	第83回国際キワニス年次総会 モントリオール大会に出席して	金森茂一郎		近畿日本鉄道会長、 キワニス日本地区会長
1656	1998/07/24	円安問題 —アメリカとの協調・アジアへの影響	大場智満		財団法人国際金融情報センター理事長
1657	1998/07/31	第32回キワニス社会公益賞贈呈式			
1658	1998/08/07	安全保障論を考える	小川和久		アナリスト(国際政治・軍事)
1659	1998/08/21	健康食品としての魚の話	小泉千秋		東京水産大学学長
1660	1998/08/28	都市高層住宅時代の鼓動 —マンション市場の構造改革—	廣瀬駒雄		大京副社長 会員
1661	1998/09/04	私の昭和史	笹季興		ザホテルヨコハマ相談役 会員
1662	1998/09/11	今年度アカデミー賞短編映画賞受賞“Visas & Vitae” 上映並びに解説 藤原宣夫会員			
1663	1998/09/18	鉄道事故について	尾関雅則		鉄道総合技術研究所特別顧問 会員
1664	1998/09/25	(社)東京キワニスクラブ定時総会			
1665	1998/10/02	大江 光の世界と癒しの音楽	松田哲男		日本コロンビア専属(株)ディー・シー・エ ス/感性研究所主任研究員
1666	1998/10/09	スチュワードスからみたワインブーム	設楽麻里子		日本航空キャビンコーディネーター
1667	1998/10/16	日本百名山の撮影	路谷龍生		元NHKチーフカメラマン
1668	1998/10/23	ライフワークとしての「地球環境問題」	後藤康男		安田火災海上保険会長
1669	1998/10/30	金について	真木郁夫		住友金属鉱山(株)金属事業本部貴金属部長
1670	1998/11/06	地震と被害の話	浅田敏		東海大学名誉教授、地震予知連前会長
1671	1998/11/13	皆勤会員表彰式			
1672	1998/11/20	パラオ共和国独立記念式典に参加して	芝原正昭		会員
1673	1999/11/27	次期ガバナー会議に出席して	徳永幸雄		広島ガス会長、キワニス日本地区次期 会長(広島クラブ会員)
1674	1998/12/04	スウェーデンと欧州連合(EU) —個性と共同体—	股野景親		前田建設工業特別顧問、元スウェー デン大使 会員
1675	1998/12/11	音楽は好きですか?	大谷康子		東京交響楽団
1676	1998/12/18	地球温暖化と太平洋の島々	中島洋		太平洋学会専務理事
1677	1999/01/08	新年互例会			
1678	1999/01/22	(無題)	石原慎太郎		作家
1679	1999/01/32	ユダヤの話	黒川信夫		内外政策研究所代表
1680	1999/02/05	暮しの手帖の物語	大橋鏡子		暮しの手帖社社長
1681	1999/02/12	小唄を長生きの友に	中田一男		苫小牧東部開発(株)社長 会員

1682	1999/02/19	国際キワニス基金理事会出席と米国経済について	佐藤満秋	98-99国際キワニス基金(KIF)理事
1683	1999/02/26	カンボジア・アンコール遺跡を語る	石澤良昭	上智大学外国語学部長 (株)ウェイ・ステーション代表取締役 会長 会員
1684	1999/03/05	流動化する労働市場の現状	岩尾啓一	(株)ヘルスケアシステムズ代表取締役 会員 大阪国際女子大学人間科学部教授 会員 (財)製品輸入促進協会理事 会長
1685	1999/03/12	今後の医療、福祉供給体制について	竹川節男	
1686	1999/03/19	ある女子大での教員体験	中村一彌	
1687	1999/03/26	最近の輸入動向	八木國雄	
1688	1999/04/02	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1689	1999/04/09	第50回ファミリーデー 於:京王プラザホテル		
1690	1999/04/16	映画スターになり損た話	三輪良雄	弁護士 会員
1691	1999/04/23	コンピューターの逆襲(2000年問題とその他の問題)	藤田純一	(株)アイ・ビー・エス代表取締役社長 会員
1692	1999/04/30	貨幣博物館見学会		
1693	1999/05/07	挨拶とIDDヒクソンフェロー贈呈	テリー・シェーファー	国際キワニス専務理事
1694	1999/05/14	日本とスペインの最初の出会い	林家永吉	元駐スペイン国特命全權大使
1695	1999/05/21	ニューゴスラビア事情	渡辺泉郎	日本鋼管顧問 会員
1696	1999/05/28	二十世紀末の世界情勢	那須聖	在米外交評論家
1697	1999/06/04	わが国 エレクトロニクス企業の課題	藤原武平太	シャープ(株)専務取締役東京支社長 会員
1698	1999/06/11	センチメンタル・ジャーニー	関口欽也	(株)日本短波放送相談役 会員
1699	1999/06/18	もう一つの衛星放送—CSテレビの挑戦	堤啓	(株)衛星チャンネル社長・朝日新聞電子 電波メディア顧問
1700	1999/06/25	第15回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1701	1999/07/02	綺麗は病気	藤田絃一郎	日本医科歯科大学教授
1702	1999/07/09	住宅雑学	小松公隆	大和ハウス工業(株)常務取締役 会員
1703	1999/07/16	デジタルマルチメディアの時代	杉本昌穂	バイオニア(株)副社長 会員
1704	1999/07/23	第33回キワニス社会公益賞贈呈式		
1705	1999/07/30	政界雑感—政治は好きでやる仕事じゃない—	依田智治	参議院議員
1706	1999/08/06	南に向かって歩け	赤澤璋一	機械産業記念事業財団顧問 会員
1707	1999/08/20	変化拒否症候群	大山晃人	東京国際大学教授 会員
1708	1999/08/27	「株価」よもやま話	木村輝久	住友生命顧問・前泉証券社長 会員
1709	1999/09/03	恐ろしき害食(かいしょく)時代	小西千鶴	随筆家
1710	1999/09/10	第23回キワニスインターナショナル日本地区年次総会千葉大会に振替		
1711	1999/09/17	改革の時代とジャーナリズム	小島章伸	(株)QUICK相談役 会員
1712	1999/09/24	東京キワニスクラブ定例総会		
1713	1999/10/01	欧米と日本のレジャー文化比較論 —競馬を題材として—	三井嗣郎	全国山科振興連合常務理事 元日本中央 競馬会常務理事
1714	1999/10/08	改札よもやま話	大浦克彦	日本特殊機器(株)社長 会員
1715	1999/10/15	日本の株、アメリカの株	山中一郎	日本証券投資顧問業協会会長
1716	1999/10/22	「電脳山田村塾」の目指すもの	三井康壽	地域振興整備公団副総裁 会員
1717	1999/10/29	IDDチャリティーコンサート	久元裕子	ピアニスト
1718	1999/11/05	皆勤会員表彰式		
1719	1999/11/12	英語の駄洒落雑考	吉江誠	京阪新興業顧問 会員
1720	1999/11/19	金属のお化粧(ファンデーション)について	難波清海	パーカーエンジニアリング(株)常務取締役 会員
1721	1999/11/26	激動する朝鮮半島情勢	寺田輝介	特命全權大使
1722	1999/12/03	国際協力の現場から	藤田公郎	国際協力事業団総裁
1723	1999/12/10	日本人と日本語は何処からきたか?	荒井好民	(株)システムズ・インターナショナル会長 会員
1724	1999/12/17	パキスタンにおけるアフガニスタン難民とNGO活動	佐藤規子	シオン短期大学非常勤講師
1725	2000/01/07	新年互礼会		
1726	2000/01/14	日本経済の変革とこれからの企業経営	小林陽太郎	経済同友会代表幹事
1727	2000/01/21	株主重視とE・V・A経営	津森信也	丸紅建材リース(株)常勤監査役
1728	2000/01/28	スクール・クライシス「学校崩壊」を読み解く	尾木直樹	教育評論家 臨床教育研究所「虹」
1729	2000/02/04	日本に根ざす外資企業を目指して	佐野力	日本オラル(株)代表取締役社長
1730	2000/02/18	タ・カ・ハ・シの法則?マ・モルのルール!	高橋衛	パレスホテル常務取締役
1731	2000/02/25	電気事業の自由化について	川崎弘	東京電力(株)最高顧問 会員
1732	2000/03/03	女性の目から事件を見れば	志賀こず江	志賀法律事務所弁護士 会員
1733	2000/03/10	オーストリアの政情について	須藤博忠	会員
1734	2000/03/17	ユーロ・トネルの開通式に参列して	米澤潤一	損害保険料率算定会副理事長 会員
1735	2000/03/24	関西地区のビッグ・プロジェクト	倉田隆之	国際協力銀行大阪支店長(大阪クラブ会員)
1736	2000/03/31	第25回アジア太平洋地域(ASPAC)年次総会ダバオ大会報告	佐藤満秋	(財)日本ガス機器検査協会理事長 会員
1737	2000/04/07	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1738	2000/04/11	第51回ファミリーデー 於:京王プラザホテル		
1739	2000/04/21	お花見例会 於:葛西臨海公園 キワニスの森奇贈地		
1740	2000/04/28	日本エンジェルス・フォーラムの活動について	井浦幸雄	日本エンジェルス・フォーラム代表 会員
1741	2000/05/12	中東和平の現状と将来	鏡武	前シリア大使
1742	2000/05/19	韓国よもやま話	石附弘	警察職員生活協同組合専務理事
1743	2000/05/26	老化を防ぐ食事と生活	矢端幸子	皮膚科医師 矢端健康事務所副所長
1744	2000/06/02	演奏とお話:ヴァイオリンと私	天満敦子	ヴァイオリニスト
1745	2000/06/09	プロ野球よもやま話	吉田義男	元阪神タイガース監督
1746	2000/06/19	ワールドニュースと日本の茶の間 —ニュースバリユはどこにあるのか—	後藤健二	写真家
1747	2000/06/23	特許告訴の今昔	花岡巖	兼子岩松法律事務所パートナー 会員
1748	2000/06/30	家族同伴夜間例会		
1749	2000/07/07	第34回キワニス社会公益賞贈呈式		
1750	2000/07/14	21世紀においても存在価値ある企業であるために	木全ミツ	(株)イオンフォレスト取締役相談役
1751	2000/07/21	公務員を委縮させる倫理法	山田英雄	(財)公共政策調査会理事長 会員
1752	2000/07/28	第16回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		

1753	2000/08/04	第85回国際キワニス年次総会マイアミ大会報告	佐藤満秋 関口欽也 岩本龍人 横山太蔵 志村純 赤澤璋一 堀内好訓	国際キワニス基金理事 次期日本地区会長 レクリエーション委員長 (財)海外貿易開発協会理事 会員
1754	2000/08/18	プロゴルフ・トーナメントよもま話		
1755	2000/08/25	固い絆ファン・ゴッホ書簡全集ノート		
1756	2000/09/01	地震は必ずやってくる		世界平和研究所副会長 会員
1757	2000/09/08	住専処理とその後		(株)整理回収機構常勤監査役 会員
1758	2000/09/22	東京キワニスクラブ定時総会		
1759	2000/09/29	クルマ文化の盲点―自動車レースと開発―	難波靖治	日本自動車連盟理事
1760	2000/10/06	自然災害と電気の供給―三宅島噴火と伊豆郡発地震	大西斉 立石恵三 那須聖 丸川和久	東京電力(株)総務部防災グループマネジャー 東京電力(株)総務部防災グループマネジャー 在ニューヨーク外交評論家 国際協力銀行理事
1761	2000/10/13	コンピューターによる国境の崩壊と国家の行方		
1762	2000/10/20	日本の経済、アジアの経済		
1763	2000/10/27	ブラジル発見五百周年記念 日本・ブラジル親善ピアノリサイタル(於 ホテルオークラ)		
1764	2000/11/10	皆勤会員表彰式		
1765	2000/11/17	ガバナーエレクト会議に出席して	佐藤満秋	次期日本地区会長(国際キワニス基金理事)
1766	2000/11/24	カントリー・リスクの見方	伊藤徳徳	三菱商事(株)顧問 会員
1767	2000/12/01	「社会システム研究会など」	川真田幸男	住友電設(株)顧問 会員
1768	2000/12/08	教育にもう1つの大きな流れを	荒木なぎさ	コースボウル・ジャパン専務理事 会員
1769	2000/12/15	キワニス日本基金(KJF)の設置構想	安原正	さくら総合研究所特別顧問(会長)
1770	2001/01/05	新年互礼会		
1771	2001/01/12	21世紀における日本経済の課題	八代尚弘	(社)日本経済研究センター理事長
1772	2001/01/19	地域活性化と情報化 新しい動きとその担い手	富沢木実	社会基盤研究所主任研究員
1773	2001/01/26	個人貯蓄1400兆円のゆくえ 一心強い備えかー	米澤潤一	損害保険料率算定会副理事長 会員
1774	2001/02/02	21世紀の消費者問題と国民生活センター	鎌谷真平	国民生活センター理事長
1775	2001/02/09	ブッシュ政権下の米国	小島章伸	Q U I C K相談役 会員
1776	2001/02/16	スヌービーで修正する対米イメージ	廣瀬升彦	湘南短明大学教授
1777	2001/02/23	日本大使として経験した湾岸戦争	恩田宗	国際機関アセアン・センター事務総長 会員
1778	2001/03/02	「発達障害」というハンデを持つ子達と共に	石井葉	(社)精神発達障害指導協会専務理事
1779	2001/03/09	外から見た日本	小山嘉昭	日本銀行監事、元ルーマニア大使
1780	2001/03/16	第26回アジア太平洋地域(ASPAC)年次総会 バリ大会に出席して 一次は台湾世界総会ー	関口欽也	キワニス日本地区会長
1781	2001/03/23	国際カードビジネス	梅本章夫	アメリカン・エクスプレス・ジャパン会長
1782	2001/03/30	国家危機とリーダーシップ(ドゴールとフランス)	河合英史	丸紅(株)顧問 会員
1783	2001/04/06	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1784	2001/04/13	市場経済の光と陰	内海孚	(財)国際金融情報センター理事長
1785	2001/04/17	第52回ファミリーデー		
1786	2001/04/20	お花見例会		
1787	2001/04/27	ガラスロード	田中憲子	(株)タナチョー代表取締役会長 会員
1788	2001/05/11	跡を絶たない入札談合	柴田章平	公正取引委員会委員 会員
1789	2001/05/18	古くて新しい	野村万之丞	総合芸術家
1790	2001/05/25	国際金融・開発のゲートキーパー:IMFと世界銀行	浅井信爾	一橋大学経済学部教授
1791	2001/06/01	スウェーデンの福祉	藤井威	前スウェーデン大使
1792	2001/06/08	IT社会におけるe-リスクマネジメントについて ーキワニスのHP作成検討ー	藤谷護人	エルティ総合法律事務所所長弁護士 会員
1793	2001/06/15	インタークラブミーティング「クラブ自慢」		
1794	2001/06/22	フェルメールの絵画とその時代のオランダ	塚崎誠一	国民生活センター監事 会員
1795	2001/06/29	第17回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1796	2001/07/06	ユーロランドの経済学	浜矩子	三菱総合研究所主席研究員
1797	2001/07/13	第35回キワニス社会公益賞贈呈式		
1798	2001/07/27	小泉改革とアジアの経済	木下俊彦	早稲田大学商学部兼大学院教授
1799	2001/08/03	日本エマソン「経営哲学」	山中信義	日本エマソン代表取締役
1800	2001/08/17	フルートと私	吉川久子	フルート奏者
1801	2001/08/24	日本の地方自治・試論	大須敏生	(財)金融情報システム理事長
1802	2001/08/31	I T時代のパブリックアート	菊竹清文	情報彫刻家・埼玉クラブ会員
1803	2001/09/07	第25回キワニスインターナショナル日本地区年次総会東京大会 (無題)	ジェラルド・カーティス 一瀬智司	国立政策研究大学院大学教授 国際都市コミュニケーション理事 会員
1804	2001/09/14	支倉使節はキューバとメキシコで何を見たか		
1805	2001/09/21	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1806	2001/09/28	所信表明	小島章伸	(社)東京キワニスクラブ会長
1807	2001/10/05	不動産投資信託(J-REIT)について	廣瀬駒雄	オリックス・アセットマネジメント(株) 取締役社長 会員
1808	2001/10/12	少子化とわが国の将来	川本敏	国民生活センター理事
1809	2001/10/19	日本語ワープロについて	森健一	東芝テック(株)代表取締役社長
1810	2001/10/26	Building Today For Tommow's Dreams	佐藤満秋	日本ガス機器検査協会理事長 (日本地区会長)
1811	2001/11/02	北方領土問題	長谷川和年	伊藤忠商事(株)顧問 会員
1812	2001/11/09	皆勤会員表彰式 プライアン国際キワニス会長夫妻来会		
1813	2001/11/16	雇用政策の基本	鷲尾悦也	前連合会長
1814	2001/11/30	「神々の戦争」	大高美貴	国際ジャーナリスト・元ミス日本
1815	2001/12/07	日本と原子力	遠藤哲也	原子力委員会原子力委員長代理 会員
1816	2001/12/14	中国は脅威かチャンスか	緒方謙二郎	(財)日中経済協会理事長 会員
1817	2001/12/21	政治主導再考	佐々木毅	東京大学総長
1818	2002/01/11	民族問題再考	須藤博忠	会員
1819	2002/01/18	教育にもう1つの流れを	長岡實	資本市場研究会理事長 会員
1820	2002/01/25		荒木なぎさ	コースボウルジャパン専務理事 会員

1821	2002/02/01	IT革命の現状と日本の突破口	公文俊平	国際大学教授グローバルコミュニケーションセンター所長
1822	2002/02/08	現代史をいどるリーダーだちの名言・迷言・そしてユーモア ー同時通訳半世紀の体験を語るー	村松増美	NPOえむ・えむ国際交流協会代表
1823	2002/02/15	青少年に感動の場を	稲垣美穂子	劇団日覚時計代表、NPO法人青少年の心を育てる会副会長
1824	2002/02/22	ヴェールの可能性：現代イランの女性たち	桜井啓子	学習院女子大学助教授
1825	2002/03/01	テロリズムの潮流	山田英雄	財団法人公共政策調査会理事長、元警察庁長官 会員
1826	2002/03/08	マナーと愛	岩下直子	マナーデザイナー、現代礼法研究所
2002/03/14 第27回アジア太平洋地域(ASPAC)年次総会タヒチ大会で佐藤満秋元会長、国際理事に選出される				
1827	2002/03/15	遺言の話	中村勝美	中村勝美法律事務所 弁護士 会員
1828	2002/03/22	人生は廻り舞台	有馬稲子	女優
1829	2002/03/29	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1830	2002/04/05	食料・農業・農村政策の基本スタンス	今村奈良臣	東京大学名誉教授、食料・農業・農村政策審議会会長
1831	2002/04/12	少子高齢化と社会保障改革	八代尚宏	日本経済研究センター理事長
1832	2002/04/19	お花見例会 葛西臨海公園キワニスの森寄贈地		
1833	2002/04/26	Avenue to the Dream	ブライアン・キューナット	国際キワニス会長
2002/05/08 第1回明治学院大学「キワニストールを作る会」				
1834	2002/05/10	チーズと健康 ー平均寿命より健康寿命をー	玉木茂子	フードマーケティング、フランスチーズ鑑評騎士
1835	2002/05/17	現地で見たサッチャー政治	西海巖	会員
1836	2002/05/24	首都機能の移転	公文宏	㈱住友生命総合研究所理事長 会員
1837	2002/05/31	第53回ファミリデー 眞帆志ぶきショー 銀行倶楽部		
1838	2002/06/07	社会心理学から見た雪印のブランドの罪と罰	小樽雅章	向社会性研究所主任研究員 暮らしの手帖常任執筆者
1839	2002/06/14	江戸時代の統治と城の関わり	寄木正敏	月島機械㈱相談役 会員
1840	2002/06/21	奇蹟は偉大の証明	中森晶三	観世流能楽師
1841	2002/06/28	不良債権とRCC(整理回収機構)	重成侃	㈱整理回収機構常勤監査役 会員
1842	2002/07/05	没落からの脱出！ ユティ業界に於るリーダーへの道程	井上陽一	㈱ヒューム代表取締役社長
1843	2002/07/12	ベンチャー・・・日本の社会と価値観の多様性	藤田純一	㈱アイ・ピー・エス代表取締役 会員
1844	2002/07/19	歴史の証人としてのロウ人形	花輪清隆	㈱C.P.A.代表取締役社長 会員
1845	2002/07/26	明治維新の武士道、太平洋帰	吉岡文之助	ヴァヌアツ国名誉領事、佐賀はがくれ大使 会員
1846	2002/08/02	21世紀の東芝	岡村正	㈱東芝取締役社長
1847	2002/08/09	第18回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1848	2002/08/23	IT産業の現状と展望 ーITの民主化とユビキタス社会の到来ー	横井正紀	野村総合研究所上級研究員
1849	2002/08/30	ものづくりに根ざした経営革新	北島義俊	大日本印刷社長 会員
1850	2002/09/06	第36回キワニス社会公益賞贈呈式		
1851	2002/09/13	(無題)	有働由美子	NHKアナウンサー
1852	2002/09/20	完全職場復帰宣言	渡邊紘一	
1853	2002/09/27	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1854	2002/10/04	知の創造をすすめる経営	宮原明	富士ゼロックス相談役 会員
1855	2002/10/11	しなやかな街づくり	城所ひとみ	商店街振興組合エスプラナードアカサカ理事長
1856	2002/10/18	世界サミット(WSSD)報告	鈴木克徳	前環境省地球環境局地球環境保全対策課長
1857	2002/10/25	皆勤会員表彰式		
1858	2002/11/01	Service with humble excellence	小嶋直	日本地区会長(神戸元会長)
1859	2002/11/08	船旅のすすめ ー「飛鳥」ワールドツアーの体験	横川端	すかいらーく取締役最高顧問 会員
1860	2002/11/15	交換留学高校生の今と昔	江夏啓子	YFU日本国際交流財団専務理事
1861	2002/11/22	青少年の理解と援助 ー今、できることー	森井利夫	立教大学名誉教授
1862	2002/11/29	クラブ活性化について	木村太郎	東京クラブ会長、次期日本地区会長
1863	2002/12/06	少年犯罪抑止は治安回復の鍵	荒木二郎	警察庁少年課長
1864	2002/12/20	拉致問題と北朝鮮	国枝英郎	鉄建公団理事・元九州管区警察局長
1865	2003/01/10	新年互礼会		
1866	2003/01/17	続「飛鳥」ワールドクルーズの体験	横川端	すかいらーく取締役最高顧問 会員
1867	2003/01/24	金融危機から学ぶこと	山口公生	損害保険料率算出機構副理事長 会員
1868	2003/01/31	心の健康体操 ーブロックおりがみー	佐藤芳夫	おりがみ専門家
1869	2003/02/07	ビジネスとしてのスポーツの変遷	渡部滋之	J-坂崎マーケティング㈱
1870	2003/02/14	サモアでのシルバーボランティア	藤田公郎	国際協力事業団顧問
1871	2003/02/21	今どんなテレビを買うべきか	中村好郎	NHK会友 会員
1872	2003/02/28	私の考える次の日本	米山匠	マーケット・クリエイション代表取締役社長 会員
1873	2003/03/07	なぜ今司法改革か	原田明夫	検事総長
1874	2003/03/14	求められるグローバルな人材像	楠・フクシマ・咲江	ユン・ナリー・インタナショナル・ジャパン社長
1875	2003/03/28	ASPACコタキナル大会出席報告	木村太郎	(会長)
1876	2003/04/04	靖国神社「慰霊の泉」献納記念特別例会		
1877	2003/04/11	いつまでも成長 人も社会も	渡辺弥栄司	(社)ビューティフルエイジング協会会長 会員
1878	2003/04/18	お花見例会 葛西臨海公園 キワニスの森寄贈地		
1879	2003/04/25	20世紀成長の国際格差とグローバル化	米澤潤一	民間都市開発推進機構副理事長 会員

1880	2003/05/16	イラク戦争・北朝鮮問題と我国の安全保障	大森義夫	日本電気㈱取締役専務、元内閣情報調査室長
1881	2003/05/30	第54回ファミリーデー 於：銀行倶楽部		
1882	2003/06/06	道路公団民営化の方向性	川本裕子	マッキンゼーアンドカンパニーシニアエキスパート
1883	2003/06/20	わが国証券市場の歴史	木村輝久	住友生命保険相互会社顧問 会員
1884	2003/07/04	領事の仕事	三好真理	外務省領事移住部政策課長
1885	2003/07/18	第37回キワニス社会公益賞贈呈式		
1886	2003/08/01	第19回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1887	2003/08/29	道路交通情報のお話 日本ビジネス社会の常識を超えて ー外国人女性アントレプレナーの挑戦ー	野田健 大河原愛子	(財)日本道路交通情報センター理事長 会員 ㈱ジェーシーフーズネット代表取締役会長
1888	2003/09/05	病棟に於ける遊びの重要性	山城雄一郎	順天堂大学医学部教授
1889	2003/09/19	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1890	2003/10/03	日産自動車の経営改革	塙義一	日産自動車㈱相談役名誉会長
1891	2003/10/17	皆勤会員表彰式		
1892	2003/10/31	ルネサンスの二人のヴィーナス	有地京子	ありちギャラリー代表 会員
1893	2003/11/07	非常識政府の民営化が日本を救う	菊池哲郎	毎日新聞社論説委員長
1894	2003/11/21	李香蘭に見る昭和史	藤原作弥	(株)日立総会企画研究所社長
1895	2003/12/05	キワニス奉仕活動を考える	木村太郎	キワニス日本地区会長
1896	2003/12/19	癌について	末舛恵一	済生会中央病院院長
1897	2004/01/16	歴史学と文学	遅塚忠躬	東京国際大学教授
1898	2004/01/30	統一ドイツの憲法問題	須藤博忠	会員
1899	2004/02/06	20年ぶりの銀行券改刷	橋本泰久	日本銀行発券局長
1900	2004/02/20	赤ちゃんのときから暖かい心を	高倉公明	東京女子医科大学学長
1901	2004/03/05	世界の列車あれこれ	三浦幹男	ケイエム・プランニング社長
2004/3/11-13 第29回アジア太平洋地域 (ASPAC) 年次総会名古屋大会				
1902 2004/03/16 40周年記念式典・第55回ファミリーデー(銀行倶楽部)				
1903	2004/03/19	アイルランドの人々ほどのようにお話を語り伝えたか	渡辺洋子	童話研究家
1904	2004/04/02	がんと一緒にゆくりと	絵門ゆう子	エッセイスト
1905	2004/04/16	健康体操 自強術	水上多津子	社団法人自強術普及会正会員教室長 会員
1906	2004/05/07	カムチャッカ紹介	竹内良夫	竹内良夫事務所社長 会員
1907	2004/05/21	日本経済の10余年ぶりの夜明け	小島明	日本経済新聞論説特別顧問
1908	2004/06/04	食と健康	日高秀昌	松谷化学工業㈱顧問 農学博士
1909	2004/06/18	役に立つ昆虫	三橋淳	東京農業大学客員教授
1910	2004/07/02	マイナスこそプラスの種	竹中ナミ	(社福)ブロップ・ステーション理事長
1911	2004/07/16	第38回キワニス社会公益賞贈呈式		
1912	2004/07/30	第20回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1913	2004/08/06	ビールに纏わる最近の話題	山岸信久	会員
1914	2004/08/20	葉の値段とその中身	明葉泰	萬有製薬㈱代表取締役副社長 河内法律事務所弁護士・元大阪高等検察庁検察庁 会員 NPO法人救急医療院ネットワーク理事長、元警察庁長官
1915	2004/09/03	法の務省が実施している国際協力活動について	河内悠紀	
1916	2004/09/17	命の危機管理	国松孝次	
1917	2004/09/17	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1918	2004/10/01	世界の名器ストラデヴァリウスと日本音楽財団の活動	塩見和子	(財)日本音楽財団理事長
1919	2004/10/15	小田忠雄ガバナ公式訪問 皆勤会員表彰式		
1920	2004/10/29	ドレスコードについて	栗山勤	ざくらカード㈱代表取締役会長 会員
1921	2004/11/05	盲導犬に理解を	井上幸彦	日本盲導犬協会理事長 会員
1922	2004/11/19	これからの日本の文化外交	近藤誠一	外務省広報文化交流部長
1923	2004/12/03	日本橋の街づくり	大江功一	三井不動産㈱ビルディング本部日本橋街づくり推進部長
1924	2004/12/17	選歴を2度経験した日本海運	稲田徹	元日本郵船 会員
1925	2005/01/07	新年互礼会(7丁目サッポロライオン 6階 クラックホール)		
1926	2005/01/21	拉致問題にかかわって	中山恭子	前内閣官房参与
1927	2005/02/18	路面電車ルネサンス	宇都宮淳人	日本銀行調査統計局物価統計担当総括企画役
1928	2005/02/18	愛・地球博「創造と挑戦」	坂本春生	(財)2005年日本国際博覧会副会長
1929	2005/03/04	ラトビアの祭り音楽	藤井威	元スウェーデン、ラトビア大使
1930	2005/03/18	日本が抱える小児の社会的問題の一面	山城雄一郎	順天堂大学医学部教授
2005/03/20 読売新聞が「キワニストール」を紹介				
1931	2005/04/01	安売り路線は何故破綻したか	荒井伸也	サミット前社長
1932	2005/04/15	江戸250年の天下泰平を支えた仕組と心	徳川恒孝	徳川記念財団理事長 会員
1933	2005/05/06	恒久平和の構造 ー都市の安全・安心のためにー	一瀬智司	国際都市コミュニケーション研究会代行 会員
1934	2005/05/20	日本郵政公社の経営改革と展望	生田正治	日本郵政公社総裁
1935	2005/05/31	第56回ファミリーデー(銀行倶楽部)		
1936	2005/06/03	三位一体改革と地方自治	石原信雄	(財)地方自治研究機構理事長
1937	2005/06/17	日本社会再生の鍵を握るパブリックリレーションズ	井之上喬	井之上パブリックリレーションズ取締役社長 会員
1938	2005/07/01	投資顧問の世界	中井省	(社)日本証券投資顧問業協会副会長 会員
1939	2005/07/15	日本経済の現状と展望	福井俊彦	日本銀行総裁
1940	2005/07/29	オペラって何?	岡村喬生	オペラ歌手
1941	2005/08/05	第39回キワニス社会公益賞贈呈式		
1942	2005/08/19	第21回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		

1941	2005/08/19	和のCSR(企業の社会的責任)	大久保和孝	新日本監査法人シニアマネージャー 会員
	2005/08/27	BS朝日で「クワニスドールを知っていますか」が放送される		
1942	2005/09/02	クワニス日本地区「幼児最優先(YCPO)」委員会活動報告 及び具体的な活動のご提案	木全ミツ	クワニス日本地区幼児最優先委員長 会員
1943	2005/09/16	(社)東京クワニスクラブ定時総会		
1944	2005/09/30	米国における体験的ボランティア活動	吉田浩二	日本損害保険協会常務理事 会員 (財)日本エネルギー経済研究所エネルギー動向分析室長
1945	2005/10/07	高騰する原油価格の背景と今後の展望	小山堅	
1946	2005/10/21	虐待される子どもたち	坪井節子	NPO法人カリヨン子どもセンター理事 長 坪井法律事務所弁護士
1947	2005/11/04	学校はどう変わるか 一規制緩和と地方分権の中で	菱村幸彦	清真学園理事長・元文部省初等中等教育局長 会員
1948	2005/11/18	(社)東京クワニスクラブ定時総会 カティンの森の夜と霧		会員
1949	2005/12/02	日本の大転換 ー「あたりまえ」への回帰ー	須藤博忠	前国税庁長官
1950	2005/12/16	誇りと感謝(イラク人道復興支援活動について)	大武健一郎	イラク復興業務支援隊第2代隊長
1951	2006/01/06	新年互礼会 (銀座7丁目サッポロライオン 6階 クラシックホール)	田浦正人	
1952	2006/01/20	この国には何でもあるが、希望だけがない …韓国からの一留学生…	木内孝	US-NPO法人Future500会長
1953	2006/02/03	団塊の世代のその後	堺屋太一	
1954	2006/02/24	日常生活の日米相互の驚くべき誤認識	川畑正大	南カリフォルニア大学教授 会員
1955	2006/03/03	ブドウ畑で長靴をはいて	新井順子	ワイン醸造家
1956	2006/03/17	アラブ人と日本人	曾野綾子	作家
1957	2006/03/31	ダイバーシティにあふれた社会に	堀井紀子	NPO法人GEWEL代表理事 会員
1958	2006/04/07	愛・地球博を終えて	坂本春生	前(財)2005年日本国際博覧会副会長
1959	2006/04/21	38年間皆勤と健康、株式市場雑感	清川昭	(株)R&Kコンサルティング代表取締役 会員 内外情勢調査会常任理事・事務局長、政治ジャーナリスト
1960	2006/05/19	どうなるポスト小泉	泉宏	
1961	2006/05/30	第57回ファミリーデー (銀行倶楽部)		
1962	2006/06/02	プロ野球を支えるもの	根来泰周	日本プロフェッショナル野球組織 コミッショナー
1963	2006/06/16	第22回東京クワニスクラブ青少年教育賞・特別賞贈呈式		
1964	2006/06/30	死ぬまでに片付けなければならない大事な仕事 ～世界から送られてきた平和大使人形の館をつくる	園田天光光	
1965	2006/07/07	私の出会った人々	熊本マリ	ピアニスト
1966	2006/07/21	連合艦隊参謀長の遭難	関野直輔	会員
1967	2006/08/04	第40回クワニス社会公益賞贈呈式		
1968	2006/08/18	戦争や内戦の後遺症に悩む国々のために	西元徹也	日本地雷処理を支援する会会長
1969	2006/09/08	新型「鳥」インフルエンザについて	岡田晴恵	国立感染症研究所研究員
1970	2006/09/15	閉幕の世界と子ども達	藤澤一就	(財)日本棋院常務理事 会員
1971	2006/09/29	(社)東京クワニスクラブ定時総会		
1972	2006/10/06	環境問題と風力発電	可児浩一郎	日本風力発電協会顧問
1973	2006/10/20	日本の民間航空は甦るか	坂本昭雄	元日本航空理事、元関東学院大学大学院教授
1974	2006/11/01	環境とエネルギーについて	高坂節三	東京都教育委員会委員、コロンバス・プロバイダーズLLC日本代表
1975	2006/11/17	温故知新～放送の歴史を振り返って、メーカーの現状～	山田幸	バイオニア総合研究所開発本部長
1976	2006/12/01	子供の体と心	養老孟司	
1977	2006/12/15	今年の全英オープンを振り返って	戸張捷	ゴルフ・トーナメント・プロデューサー
1978	2007/01/12	日本の法曹界の今後について	佐々木知子	弁護士、前参議院議員
1979	2007/01/19	新年互礼会 (銀座7丁目サッポロライオン 6階 クラシックホール)		
1980	2007/01/19	皇室の日常生活のアレコレ	久能靖	TVキャスター
1981	2007/02/02	日本がアメリカズカップに勝てないのは	宮田秀明	東京大学大学院教授工学博士
1982	2007/02/16	最初の(1951年)海外旅行の体験談	荒井好民	システムス・インターナショナル会長 会員
1983	2007/03/02	心に届ける広告づくり	本間絹子	電通コピーライター/CMプランナー
1984	2007/03/16	『年寄り元気！』は本当か？	水野勝	有限責任中間法人ディレクトフォース代表理事
1985	2007/03/30	ポニー・ジャックスの50年史	西脇久夫	(株)ニュー西北エンタプライズ代表取締役
1986	2007/04/06	失われた20年(1985-2005年)	香西泰	役員、ポニー・ジャックスのリードテナー
1987	2007/04/20	易经に学ぶ吉と凶の分かれ目	竹村亜希子	日本経済研究センター理事・特別研究顧問
1988	2007/05/18	易经に学ぶ吉と凶の分かれ目	藤島安之	易经研究家
1989	2007/05/30	パナマ駐在大使の経験		双日(株)代表取締役専務執行役員、元パナマ駐在大使 会員
1990	2007/06/01	第58回ファミリーデー (銀行倶楽部)		
1991	2007/06/15	第23回東京クワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
1992	2007/06/15	新東京タワーとまちの活性化	山崎昇	墨田区長
1993	2007/06/29	ファッション、ビジネス、人づくり	尾原啓子	(財)ファッション産業人材育成機構 IFIビジネススクール学長
1994	2007/07/06	これからの「家電」は	中川惇	(株)東芝常任顧問 会員
1995	2007/07/20	最近の内外金融情勢について	福岡年勝	前日本銀行政策委員会審議委員
1996	2007/07/20	第41回クワニス社会公益賞贈呈式		
1997	2007/08/03	仕事から見える最近の日本	許斐勝夫	(株)許斐代表取締役 会員
1998	2007/08/17	朗読劇上演「朗読 ～被虐待児の心の叫び～」	「言の葉」	表現倶楽部
1999	2007/08/17	子供のための音楽療法	岡崎香奈	音楽療法士

1996	2007/08/31	レバノン、中東のスイス	村上徳光	(財)公共政策調査会専務理事、前駐レバノン大使 会員
1997	2007/09/14	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
1998	2007/09/21	船で考えた世界と日本	横川端	㈱すかいらーく最高顧問 会員
1999	2007/10/05	女性の社会進出をみんなで応援しよう!	熊平美香	㈱エイテックマヒラ代表取締役 会員
2000	2007/10/19	東アジア情勢 ー日中関係の現状と展望	渡辺利夫	拓殖大学学長
2001	2007/11/02	大都市災害、特に高層ビル災害を考える	白濱龍興	前自衛隊中央病院長、NPO国際緊急医療・衛生支援機構理事長
2002	2007/11/16	衆参ねじれ国会の破壊力	西田睦美	日本経済新聞社論説委員
2003	2007/11/30	(社)東京キワニスクラブ定時総会 児童虐待防止に関するキワニスクラブ会員への期待 尾瀬から考える明日	椎名篤子	児童虐待防止全国ネットワーク理事
2004	2008/12/07	～尾瀬国立公園における自然保護活動～	竹内純子	東京電力 用地部 尾瀬保護活動担当
2005	2008/12/21	東京駅が変わる	谷哲二郎	東日本旅客鉄道㈱副社長
2006	2008/01/11	新年互礼会		
2007	2008/01/18	サブプライム問題(多極化時代への号砲)	大澤佳雄	㈱許委会長、元みずほ証券社長 会員
2008	2008/02/01	日本の消防は世界一	秋本敏文	日本消防協会理事長・元消防庁長官
2009	2008/02/08	今こそ個人のQ C活動を	与謝野肇	㈱ビジネスパスポート代表取締役社長
2010	2008/02/29	これからの中国とどうつきあっていくのか	横田邦彦	前駐エジプト大使
2011	2008/03/07	ドミノとパンダ	渡辺博史	前財務官
2012	2008/03/28	公的年金制度の改革を巡る議論	寺村信行	前国家公務員共済組合連合会理事長
2013	2008/04/04	似ている、似ていない?日本とイタリア	英正道	日伊協会理事長、元駐伊大使
2014	2008/04/18	論語とそろばん	岡村正	東芝会長、日本商工会議所会頭
2015	2008/05/02	ライフスタイル産業はこんなにおもしろい!!	広野道子	2 1 LADY㈱代表取締役社長 会員
2016	2008/05/16	歴史の虚と実	加藤 廣	作家
2017	2008/05/30	第59回ファミリーデー		
2018	2008/06/06	湯島聖堂について	石川忠久	財団法人斯文会理事長
2019	2008/06/20	科学技術立国の課題 ー産学協働のあり方 ご存知ですか? 昨今の出版事情を	大泊巖 片桐松樹	早稲田大学理工学術院教授 ㈱扶桑社代表取締役社長
2020	2008/07/04	第24回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
2021	2008/07/18	米大統領選 第42回キワニス社会公益賞贈呈式	笹島雅彦	読売新聞社調査研究本部主任研究員
2022	2008/08/01	年金記録問題の原因と背景 ー年金記録問題検証委員会の結果からー	東田親司	大東文化大学法学部政治学科教授・ 年金記録問題検証委員
2023	2008/08/29	怪物・今東光大僧正	島地勝彦	㈱集英社インターナショナル社長
2024	2008/09/12	コネリー賞贈呈式 東京再生ネットワーク	菊竹清訓	建築家・日本建築士会連合会名誉会長
2025	2008/09/19	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
2026	2008/10/03	環境と福祉の融合について	炭谷茂	恩賜財団済生会理事長
2027	2008/10/17	海外派遣者の健康管理ー9. 1 1の経験より	江緒陵良時	財団法人松翁会診療所所長・医学博士
2028	2009/10/31	オリンピック後の中国の展望について	白雪花	東京女学館大学国際教養学部専任講師
2029	2009/11/07	ともに育つー被虐待児を育ててー	山中ゆりか	
2030	2009/11/21	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
2031	2009/12/05	皆勤会員表彰式 自転車は世界を動かす 勝つための戦略	阿部毅一郎 薫田真広	(財)日本自転車普及協会会長 (財)日本ラグビーフットボール協会競 技力向上委員会ATQプロジェクト コー ディングディレクター
2032	2009/12/19			
2033	2009/01/16	磯野家における家族のすばらしさ	加藤みどり	声優
2034	2009/01/30	交渉学について	藤田忠	NPO法人日本交渉学会理事長
2035	2009/02/06	アジア女子大学(バン格拉デッシュ・チッタゴン) ～アジアの先進国日本、日本人としての参画を～	キャシー・松井	ゴールドマン・サックス証券マネージン グ・ディレクター
2036	2009/02/27	第1回キワニス奉仕賞贈呈式 世の中の変化にどう対応するか ーソーシャル・ナビゲーター2009ー	四元正弘	電通総研 消費の未来研究部長
2037	2009/03/06	「名画の秘めごと」のハイライト	有地京子	ありちギャラリー代表 会員
2038	2009/03/27	これからの資本主義のゆくえ	渋澤健	シブサワアンドカンパニー㈱代表取締役 会員
2039	2009/04/03	ロボットは地球を救う	中山眞	安川電機会長
	2009/04/04	第1回キワニスドールシンポジウム		
2040	2009/04/17	日本の治安	矢代隆義	日本道路交通情報センター理事長、 前警視總監 会員
2041	2009/05/15	例会会場を法曹会館に変更 日本の金融資本市場の現状と課題	斉藤惇	東京証券取引所社長
2042	2009/05/29	第60回ファミリーデー(銀行倶楽部)		
2043	2009/06/05	闘う中央銀行	吉國眞一	みずほ証券シニアアドバイザー 会員
2044	2009/06/19	第25回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式 "絆"がキーワード ～神楽坂・賑わい再生のまちづくり～	日置圭子	㈱絆まち代表取締役
2045	2009/07/03	現代文明の病理を越えて	加藤秀樹	「構想日本」代表
2046	2009/07/17	第43回キワニス社会公益賞贈呈式 チェコ建築と日本の関係について	ベトロ・ホリー	駐日チェコ共和国大使館一等書記官、 チェコセンター所長

2047	2009/07/31	日本赤十字社の活動	浦田喜久子	日本赤十字社事務局看護部長
2048	2009/08/07	昨今のロシア事情	都甲岳洋	三井物産戦略研究所特別顧問、元在ロシア大使
2049	2009/08/21	中国の酒とところ	中村祐良	セントラル硝子㈱特別顧問 会員
2050	2009/09/04	ワインと水の関係	熱田貴	(社)日本ソムリエ協会名誉会長
2051	2009/09/18	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
2052	2009/10/02	いくつもの壁にぶつかりながら ～19歳からはじめた、児童買春撲滅への挑戦～	村田早耶香	NPO法人かものはしプロジェクト 共同代表
2053	2009/10/16	日本農業の再生への具体的なRoad Map～Phase I 5万戸の専業農家を年収1000万円に～	山峰国彦	「みずほの村市場」FC店舗経営
2054	2009/10/30	賢慮のリーダーシップ	野中郁次郎	一橋大学名誉教授 ヒーローズエデュテイメント㈱
2055	2009/11/06	次世代のリーダー育成について	秋沢志篤	代表取締役会長
2056	2009/11/20	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
2057	2009/12/04	愛着の絆と乳幼児の脳の発達	ヘネシー澄子	里親支援アン基金プロジェクト理事長
2058	2009/12/18	再び「お金の話」	米澤潤一	(財)金融情報システムセンター理事長 会員
2059	2010/01/15	親友Judge Clark	松見芳男	伊藤忠商事㈱理事 会員
2060	2010/01/29	教育機会格差に取り組む、NPOカタリバの挑戦	今村久美	NPO法人カタリバ代表理事
2061	2010/02/05	大陸棚の限界	漆間巖	大和ハウス工業㈱顧問、前内閣官房副 長官 会員
2062	2010/02/19	立春香「年の内に春は来にけり一歳を去年とや云わん今 年とや云わん」	谷川ちぐさ	香道御家流木の会主宰
2063	2010/02/19	わが国の海洋政策	大庭靖雄	三井住友海上火災保険㈱顧問、前内閣官房 総合海洋政策本部事務局長 会員
2064	2010/03/05	変化する世界情勢における日英関係	ディビッド・ウォレン	駐日英国大使
2065	2010/03/19	(社)東京キワニスクラブ臨時総会		
2066	2010/04/02	がん哲学&がん哲学外来	樋野興夫	順天堂大学教授
2067	2010/04/02	F-X(次期戦闘機)について	増田好平	防衛省顧問、前防衛事務次官 会員
2068	2010/04/16	日本の新しい成長戦略について	近藤洋介	経済産業大臣政務官
2069	2010/04/17	第2回キワニスドールシンポジウム(東芝)		
2070	2010/05/14	政権奪還を目指して	谷垣禎一	自由民主党総裁
2071	2010/05/28	第61回ファミリデー		
2072	2010/06/04	首相交代で政局激動ー 小鳩政権崩壊の舞台裏と参院選情勢分析	泉 宏	東京財団研究員、政治ジャーナリスト、 前時事通信社取締役編集担当 東京財団上席研究員
2073	2010/06/18	日米同盟とアジアの安全保障	渡部恒雄	
2074	2010/07/02	第44回キワニス社会公益賞贈呈式		
2075	2010/07/16	振り込め詐欺について	米村敏朗	前警視總監
2076	2010/07/30	低炭素社会に向けたエネルギー戦略	十市勉	日本エネルギー経済研究所専務理事
2077	2010/08/06	消費者庁・消費者委員会の役割と現状	松本恒雄	一橋大学法科大学院長・内閣府消費者 委員会委員長
2078	2010/08/20	みんなで3つのEを達成しましょう	小池和子	キワニス日本地区ガバナー
2079	2010/08/20	月よりも遠くへ～日米往復52万キロの挑戦	松井久子	映画監督
2080	2010/09/10	郵政改革について	坂篤郎	日本郵政㈱取締役兼代表執行役副社 長、前日本損害保険協会副会長、 元内閣官房副長官補
2081	2010/09/11	第26回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式(東芝)		
2082	2010/09/17	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
2083	2010/10/01	ひとり、ムーモア、快適人生	高嶋秀武	ニッポン放送「高嶋ひでたけのあさラ ジ」パーソナリティ
2084	2010/10/15	今世紀後半に向けた首都圏「空のルネサンス構想」の提唱	渡邊伸雄	プロジェクト・コーディネーター・ フォーラム代表
2085	2010/10/29	セキュリティ事情あれこれ	佐々木信行	元セコム㈱専務取締役
2086	2010/11/05	児童虐待に向き合う	岸 信子	元東京都女性相談センター所長
2087	2010/11/19	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
2088	2010/12/03	キワニス日本地区のYCPO活動	堀井紀壬子	GEWEL代表理事、前日本地YCPO委員長 会員
2089	2010/12/17	人生浪花節	林 達夫	アークデザイン㈱代表取締役 会員
2090	2011/01/07	一代一職	奥山峰石	人間国宝「鍛金」
2091	2011/01/21	新年互礼会 (銀座7丁目サッポロライオン クラシックホール)		
2092	2011/01/21	上海万博について	塚本 弘	上海万博日本政府代表
2093	2011/02/04	日本人の名前	大野敏明	産経新聞編集委員
2094	2011/02/18	多様な顔を持つパチカン	上野景文	前駐パチカン特命全権大使
2095	2011/03/04	ロシアの裏側	小林和男	ジャーナリスト
2096	2011/03/18	環境問題と企業の社会的責任	枝廣淳子	環境ジャーナリスト、アル・ゴア元米副大 統領の著書「不都合な真実」の翻訳者
2097	2011/04/01	規制緩和の一環としての新しい水先制度について	磯田壯一郎	(財)海技振興センター理事長 会員
2098	2011/04/15	グラスレス 3 DTMレザTM商品化までの道のり	福島理恵子	㈱東芝研究開発センターマルチメディア アラボラトリ主任研究員
2099	2011/05/13	勤務場所は元暴力団組事務所	廣瀬権	(財)警察協会専務理事 会員
2100	2011/05/14	第3回キワニスドールシンポジウム(伊藤忠商事本社)		
2101	2011/05/27	第62回ファミリデー(銀行倶楽部)		
2102	2011/06/03	食品の放射能汚染と不安	唐木英明	東京大学名誉教授
2103	2011/06/17	力の父性文明から和の母性文明へ	村田光平	東海学園大学教授、元スイス大使
2104	2011/07/01	第45回絆社会公益賞贈呈式		
2105	2011/07/15	東日本大震災に対する防衛省・自衛隊の活動状況 東欧の音楽と私	河野克俊 山村有佳里	海将・統合幕僚副長 音楽家、フルート及びピッコロ奏者

2099	2011/07/29	五輪野球復活を目指して	鈴木義信	(財)日本野球連盟副会長
2100	2011/08/05	いきいきと輝いて生きる	棚澤青路	㈱エレガンス代表取締役社長 会員
2101	2011/08/19	極限状態で人は何を求めるのか	木山啓子	認定NPO法人JEN理事事務局長
2102	2011/09/02	66年前の9月2日から視るミネルバの泉	谷川和穂	元法務大臣 全国保護司会会長
2103	2011/09/16	(社)東京キワニスクラブ定時総会		
	2011/09/17	第27回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		
2104	2011/09/30	ご存知 3番サード……	伏見勝	一般社団法人遊技産業健全化推進機構専務理事 会員
2105	2011/10/07	世界陸上やワールドカップのように、 障がい者雇用を地球上に招致する	成澤俊輔	㈱ダイバストリート代表取締役兼最高経営責任者
2106	2011/10/21	町工場の世界制覇戦略	岡本 毅	岡本ガラス㈱社長
2107	2011/11/04	日本人の国際性	加藤隆俊	元財務官、元IMF副総裁
2108	2011/11/18	青少年福祉センター-社会的弱者を助けて50年の歩みと現状 (社)東京キワニスクラブ定時総会	荒船旦子	青少年福祉センター常務理事
2109	2011/12/02	東日本大震災を乗り越えて ～学校そしてふるさとの復興を目指す宮古水産高校の取り組み～	金野 仁	岩手県立宮古水産高等学校長
2110	2011/12/16	江戸に学ぶ環境問題 皆勤会員表彰式	徳川恒孝	徳川記念財団理事長 会員
2111	2012/01/06	新年互礼会(銀座7丁目サッポロライオン クラシックホール)		
2112	2012/01/20	クスリのいない健康法	石原結實	イシハラ・クリニック院長
2113	2012/02/03	ガソリン自動車の次に来るもの	原田 淳	トヨタ自動車㈱東京技術部長
2114	2012/02/17	人間とは	滝田栄	俳優・仏師
2115	2012/03/02	昨今の暴力団排除の気運と暴力団排除条例	河野憲壯	日本弁護士連合会民事介入暴力対策委員会副委員長兼事務局長
2116	2012/03/16	心の忘れ物	西館好子	日本子守明協会理事長
2117	2012/03/30	万次郎とエ・ブルリプス・ウナムー-日米草の根交流の原点	北代淳二	日本草の根交流センター評議員
2118	2012/04/06	音楽の効果と活用方法・音楽が起こした奇跡 ～音楽の力で体と脳が変化する～	堀口直子	㈱アリアミュージックオフィス代表取締役
2119	2012/04/20	日本初、年中無休24時間体制の予備校の社会的使命とは、	松田正人	松井予備校理事長
2120	2012/05/18	世界の科学技術の動向	尾身幸次	元財務大臣
2121	2012/05/25	第63回ファミリーデー(銀行倶楽部)		
2122	2012/06/01	命をつなぐドクターヘリネットワーク	國松孝次	認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク理事長
2012/06/06 エリミネイトプロジェクトについて、100kクラブ及びモデルクラブのブレッジを実施				
2123	2012/06/15	TOKYOを油田に！	染谷ゆみ	TOKYO油田代表取締役
	2012/06/16	第4回キワニスドールシンポジウム		
2124	2012/06/22	ロボットと暮らす社会に向けて	玉置章文	トヨタ自動車㈱パトナロボット部部长
2125	2012/07/06	京の都を囲んだ城壁 ー御土居(おどい)ー	本川淳一	本川産業㈱代表取締役社長 (京都クラブ会員)
2126	2012/07/20	第46回キワニス社会公益賞贈呈式/ガバナー公式訪問		
2127	2012/08/03	温故知新の「子育て」処方箋ー江戸の知恵と脳科学に学ぶー	上條茉莉子	特別非営利活動法人かながわ女性会議理事長 会員
2128	2012/08/17	来た、見た、分かった！ホントはとってもフレンドリーな 中国の人たち	下出憲一	元日本銀行検査役
2129	2012/08/31	原子力と日本人の心	宮 健三	日本保全学会会長、東京大学名誉教授、工学博士
2130	2012/09/14	エリミネイト・プロジェクトから学んだこと	北里光司郎	国際キワニス日本地区次期ガバナー 会員
2131	2012/09/21	社団法人東京キワニスクラブ定時総会		
	2012/09/29	第28回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式(伊藤忠商事本社)		
2012/10/01 一般社団法人へ移行				
2132	2012/10/05	がれきに花をさかせましょう	前野博紀	㈱花匠前野代表取締役/華道家
2133	2012/10/19	日経「私の履歴書」から学ぶ	吉田勝昭	元日本ケミファ専務取締役
2134	2012/11/02	経済活性化は女性の活用で解決する！	福井真紀子	㈱ハーモニーレジデンス代表取締役 会員
2135	2012/11/16	混迷する政局動向を今後どう読むか	歳川隆雄	「インサイドライン」編集長
2136	2012/11/30	震災復興はいかに成し得たか 一般社団法人東京キワニスクラブ定時総会	井上亮	日本経済新聞社編集局社会部編集委員
2137	2012/12/07	日本の心再発見	室伏良香	香雲流詩歌朗詠宗家 会員
2138	2012/12/21	うまれる前からの子育て 新年互礼会	池川明	池川クリニック理事長(横浜クラブ会員)
2139	2013/01/11	(銀座7丁目サッポロライオン クラシックホール)		
2140	2013/01/18	最新の白内障手術	清水公也	北里大学教授
2141	2013/02/01	キワニス・ユースフォーラム紹介 信州ライポ隊、 Social Workerz, JUNKO Association)による活動報告		キワニス・ユースフォーラム紹介 信州ライポ隊、Social Workerz, JUNKO Association)による活動報告
2142	2013/02/15	キワニス・ユースフォーラム紹介 ガクボラ、 ゆるかも、Live on)による活動報告		キワニス・ユースフォーラム紹介 ガクボラ、ゆるかも、Live on)による活動報告
2143	2013/03/01	再犯のない社会へ ー再犯防止のための就労支援	木藤繁夫	NPO法人全国就労支援事業者機構副会長 会員
2013/3/7-9 第38回アジア太平洋地域(ASPAC)年次総会広島大会				
2144	2013/03/15	まもなく開業へ、大阪・うめきた「ナレッジキャピタル」	間瀬豊	一般社団法人ナレッジキャピタル理事
2145	2013/03/29	ルクセンブルク大公国及びEU・ユーロ圏の諸情勢について	末綱隆	前在ルクセンブルク日本国大使 会員
2146	2013/04/05	美しい日本語の継承について	愛甲次郎	「文語の苑」代表幹事
2147	2013/04/19	伝える言葉	馬場典子	日本テレビアナウンサー
2148	2013/05/17	松下幸之助が泣いている ーこけたら立なはれー	岩谷英昭	学校法人明治学院常務理事
2149	2013/05/31	第64回ファミリーデー(銀行倶楽部)		

2150	2013/06/07 2013/06/15	既に始まりつつあるiPSテクノロジーの応用 第5回キワニスドールシンポジウム(パソナグループ本部)	村山昇作	iPSアカデミアジャパン代表取締役社長
2151	2013/06/21	日本経済の再生には何が必要か	武田洋子	三菱総合研究所 政策・経済センター チーフエコノミスト
2152	2013/07/05	松永安左エ門の茶	森 孝一	日本陶磁器協会事務局長
2013/07/06 第1回キワニス・ユースフォーラム交流会開催(法曹会館)				
2153	2013/07/19	第47回キワニス社会公益賞贈呈式		元ミャンマー大使 田島高志
2154	2013/08/02	ミャンマーの民主化と今後の課題 江戸城天守を再建する		認定非営利活動法人・江戸城天守を再建 する会理事長
2155	2013/08/30	－日本の未来を担う子ども達に感動と誇りを－	小竹直隆	東洋大学教授、保護司
2156	2013/09/13	保護観察制度の課題	森田明	フルート奏者
2157	2013/09/20	フルートと私	吉川久子	
	2013/09/21	一般社団法人東京キワニスクラブ臨時総会		
2158	2013/10/04	第29回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式		NPO法人シンクキッズ代表理事NTTデー タ経営研究所所長
2159	2013/10/18	虐待から子どもたちを救うために 「観光立県」と地域再生、日本復活	後藤啓二 斎藤精一郎	ボッカサポロフォード&ピバレッジ(株)常 勤監査役 会員
2160	2013/11/01	ビール四方山話 (より美味しく飲むために)	尾崎聖治	(株)日経ラジオ社代表取締役社長 会員
2161	2013/11/15	ラジオにまつわる話	鈴木健司	
2162	2013/11/29	一般社団法人東京キワニスクラブ定時総会		
2013/12/02 東京キワニスクラブ福井県人サテライトクラブ設立				
2163	2013/12/06	尊厳死活動について 皆勤会員表彰式	岩尾總一郎	日本尊厳死協会理事長
2164	2013/12/20	日本経済の行方	藤巻健史	参議院議員(日本維新の会)
2165	2014/01/10	新年互礼会(銀座7丁目サッポロライオン クラシックホール)		サイマルインターナショナル 同時通 訳
2166	2014/01/17	伝える力	長井鞠子	伊勢観光御師 会員
2167	2014/01/31	伊勢神宮と私	佐々木信行	国立公文書館館長
2168	2014/02/07	国立公文書館の現状と課題一時を貫く国民の記録を守る－	加藤丈夫	書家・刻字作家(広島クラブ会員)
2169	2014/02/21	ひとつの道	安達春汀	国立天文台准教授
2170	2014/03/07	宇宙を探る新しい眼	青木和光	ユネスコ平和芸術家・音楽家
2171	2014/03/28	ユネスコ平和芸術家としての活動	城之内ミサ	東レACS(株)相談役 会員
2172	2014/04/04	リケジョが社長になるには?	寺崎志野	
2173 2014/04/11 設立50周年記念式典・祝賀会(銀行倶楽部)(50周年記念事業)				
2014/04/25 慰霊の泉改修工事清祓い式(50周年記念事業)				
2174	2014/05/16 2014/05/24	東京藝術大学と文化財保存 第6回キワニスドールシンポジウム(パソナグループ本部)	飯内佐斗司	彫刻家・東京藝術大学大学院教授
2175	2014/05/30	深く生きる「親子レスパイト」が目指すもの	富和清隆	奈良小児在宅医療支援ネットワーク会 長、東大寺福祉療育病院院長
2176	2014/05/30 2014/06/06	東京キワニスクラブパソナサテライトクラブ設立 陪審員と裁判員どう違う?	仲村渠千鶴子	阿部・井窪・片山法律事務所 弁護士 会員
2014/06/10 慰霊の泉改修工事竣工祭(50周年記念事業)				
2177	2014/06/20	相続・遺言の話	大野重國	丸の内公証センター 公証人 会員
2178	2014/07/04	第48回キワニス社会公益賞贈呈式		
2014/7/17-19 第99回国際キワニス・第39回アジア太平洋地域(ASPAC)合同年次総会東京・千葉大会 アジア太平洋地域(ASPAC)年次総会で北里光司郎元会長、国際理事に選出される				
2179	2014/07/25	パーカッションの世界:手の可能性への挑戦	安井源之新	打楽器奏者
2180	2014/08/01	発酵は知恵なり一酒と食を楽しむ	川松正孝	放送大学講師
2181	2014/08/29	経済から見た半世紀	高橋 温	三井住友信託銀行相談役
2014/08/30 第30回東京キワニスクラブ青少年教育賞贈呈式 青少年教育賞受賞団体交流会(50周年記念事業)				
2182	2014/09/12	『知の逆転』と『知の英断』から見えてくる世界の動向	吉成真由美	サイエンスライター
2183	2014/09/19	熟年登山の戒め 一般社団法人東京キワニスクラブ臨時総会	大澤佳雄	(株)許斐会長 会員

■ 編集後記

「まもなく、東京キワニスクラブが設立されて50年になるので、記念事業の一つとして、「50周年史」を刊行したい。ついては、広報委員長よろしく頼む。」と言われたときは、余り深く考えず、気楽に考えていました。しかし、東京キワニスクラブの過去の20周年史、30周年史、40周年史を見てみると、それぞれ先輩達がたいへん立派なものを作られており、これは大変な仕事だなと思ったのが、たぶん、平成25年になってからのことだったと思います。

それから、50周年史の構成を考え、原稿の執筆を会員の皆様にお願いし、印刷会社の「イーネ」と調整をしながら、校正を行い、やっと、東京キワニスクラブ「50年の歩み」を刊行できることになったのは、広報委員会の皆さんや藤原武平太会長を委員長とする「50周年記念固有事業実行委員会」の皆さんをはじめとする会員各位のご指導、ご協力の賜だと思えます。特に、「写真で見る東京キワニスクラブ 50年の歩み」をまとめられた塚越孝三会員、また、事務局の宇田川晶子さんには、大変なお世話になりました。

これからの東京キワニスクラブの会員が、この50周年史に書かれている、先輩会員のご苦労やご業績を真摯に受け止め、東京キワニスクラブの発展に努力されることを切に望む次第です。

最後に、この50周年史の刊行を機会に、本50周年史「50年の歩み」や過去の20周年史、30周年史、40周年史が、東京キワニスクラブのホームページ(<http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo/club/tokyoclub.html>)から参照できるようになったことを申し添えます。

平成26年11月21日
広報委員長 増田好平

50年の歩み

平成 26年 11月 21日 発行

発行者 一般社団法人 東京キワニスクラブ
会長 藤原武平太

〒 101-0047 東京都千代田区内神田 2-3-2 米山ビル
Tel.03-5256-4567 Fax.03-5256-0080
e-mail: tokyokiwanis@japankiwanis.or.jp
URL: <http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo>

Kiwanis
Young Children
Priority One